

An aerial photograph of a large, modern facility, likely a sewerage treatment plant, situated in an urban area. The facility features several large, rectangular buildings with multiple windows, and a large, open area with a circular central feature and several rectangular plots. The surrounding area is densely packed with residential buildings and streets.

# 東京都下水道事業年報

昭和 38 年 度

東京都下水道局

昭和 3 8 年 度

# 東京都下水道事業年報

東京都下水道局



# 東京都下水道事業年報

## 目 次

統計図

地 図

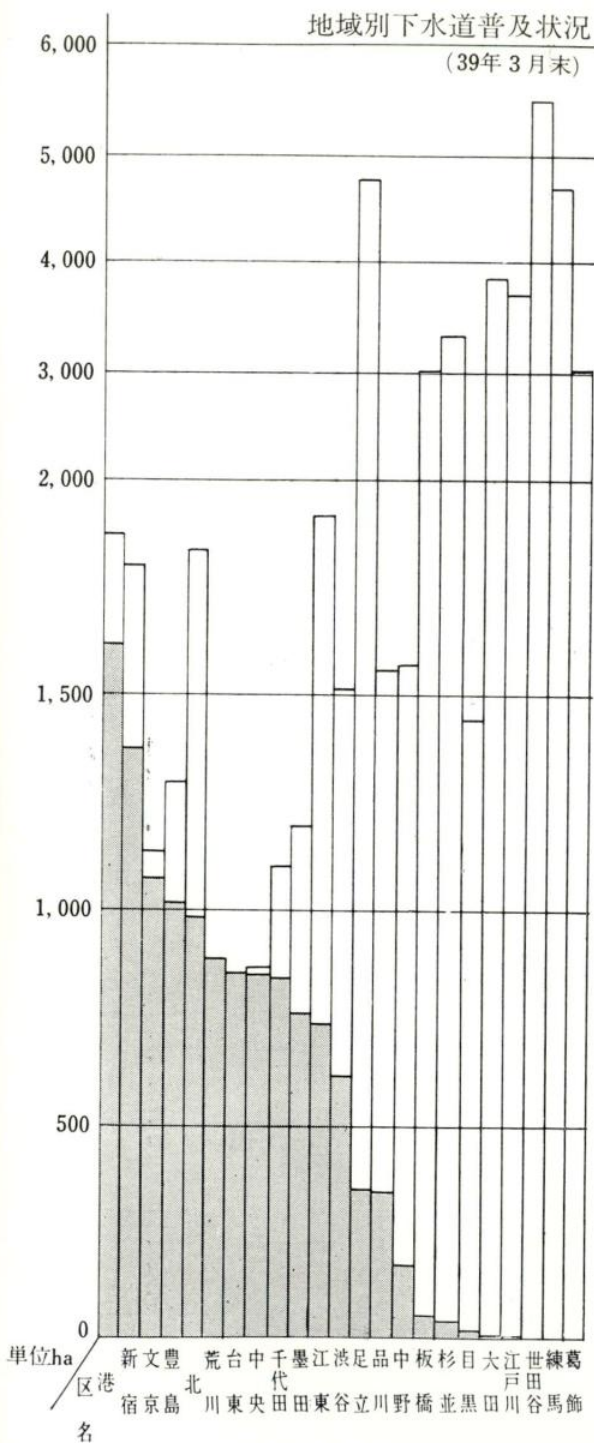
第1章 総 説 .....	1
第1節 序 説 .....	1
第2節 組 織 .....	2
第3節 下水道事業の概要 .....	5
第4節 昭和38年度事業概要 .....	9
第2章 財 務 .....	14
第1節 財 政 .....	14
第2節 固定資産明細書 .....	32
第3章 下水道計画 .....	35
第1節 東京都市計画下水道 .....	35
第2節 東京都市計画下水道事業 .....	35
第3節 東京都市計画下水道並びに同下水 道事業及びその執行年度割の概要 .....	36
第4章 下水道事業経過 .....	46
第1節 下水道事業認可関係 .....	46
第2節 施行済の事業 .....	50
第5章 営 業 .....	53
第1節 営業一般 .....	53
第2節 下水道使用件数 .....	53
第3節 下水道使用水量 .....	56
第4節 下水道料金 .....	59
第5節 料金徴収 .....	59
第6節 排水設備 .....	61

# 東 京 市 水 道 局 年 報

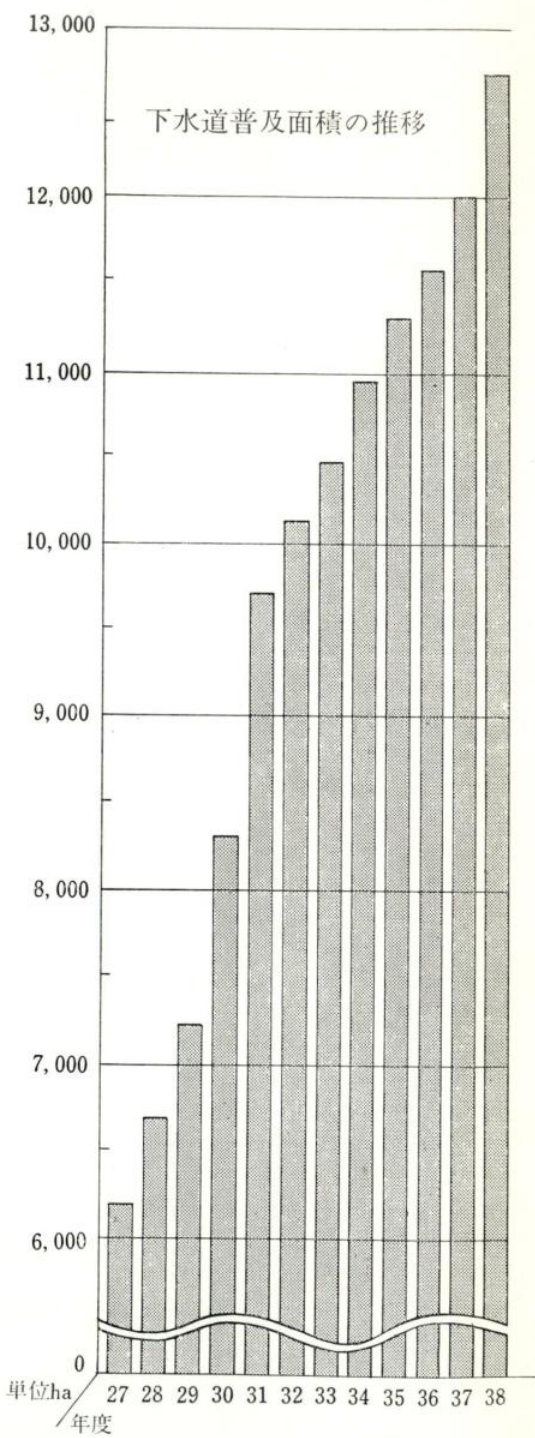
第6章 設 備 .....	64
第1節 管 渠 .....	64
第2節 ポンプ所 .....	66
第3節 処 理 場 .....	91
第4節 し尿消化槽 .....	110
第7章 作 業 .....	112
第1節 管 渠 .....	112
第2節 ポンプ所 .....	113
第3節 処 理 場 .....	114
第4節 水質試験 .....	120
第5節 汚泥試験 .....	128
第6節 降 水 量 .....	130
第7節 処理水の利用 .....	133
第8節 し尿消化槽 .....	133
第8章 工事施工状況 .....	134
第1節 拡張工事 .....	134
第2節 改良工事 .....	158
第3節 設備補修工事 .....	163
第4節 その他工事 .....	167
—— 昭和38年度局主要日誌 —— .....	169



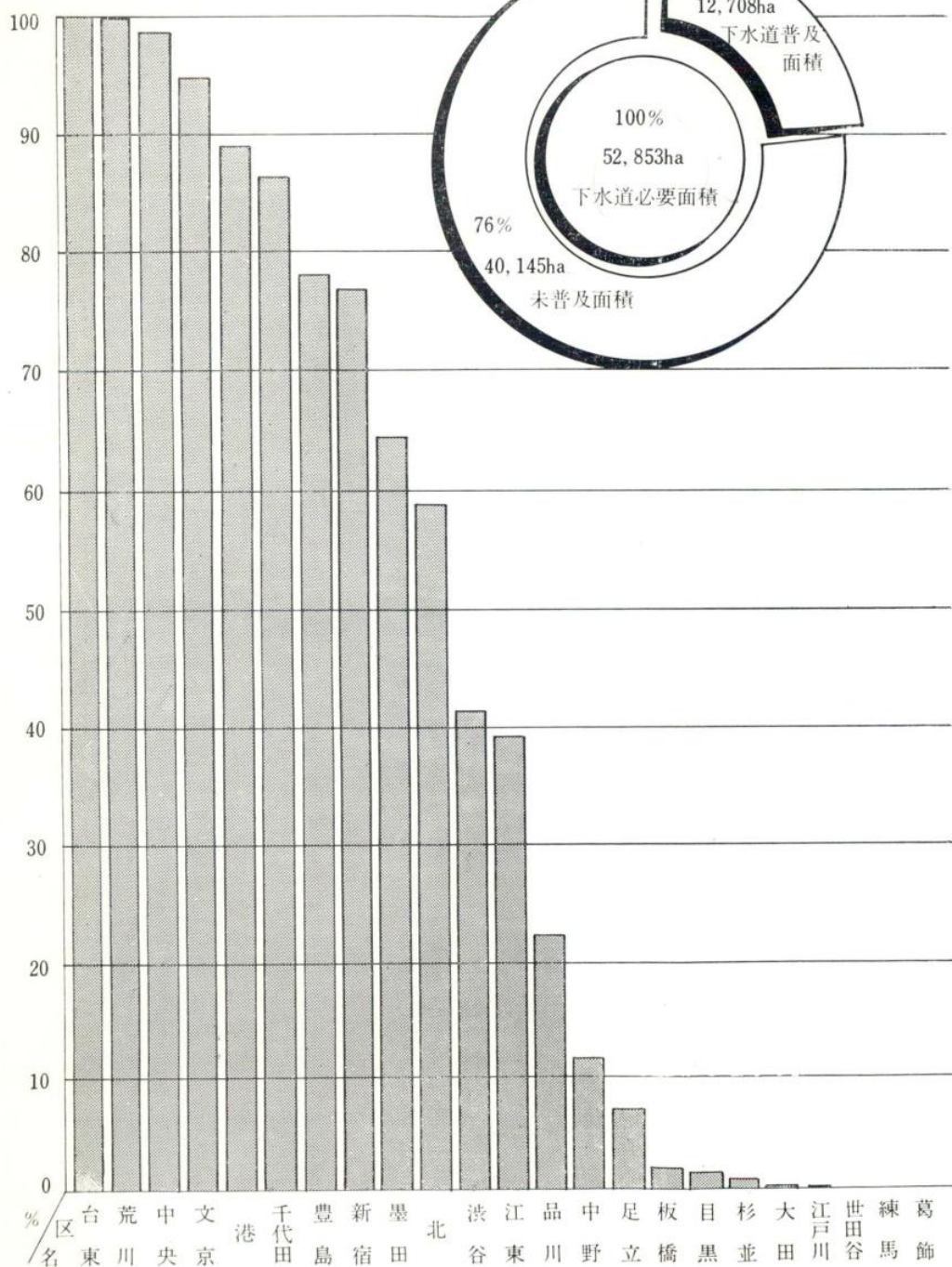
地域別下水道普及状況  
(39年3月末)



下水道普及面積の推移



地域別下水道普及率  
(39年3月末)





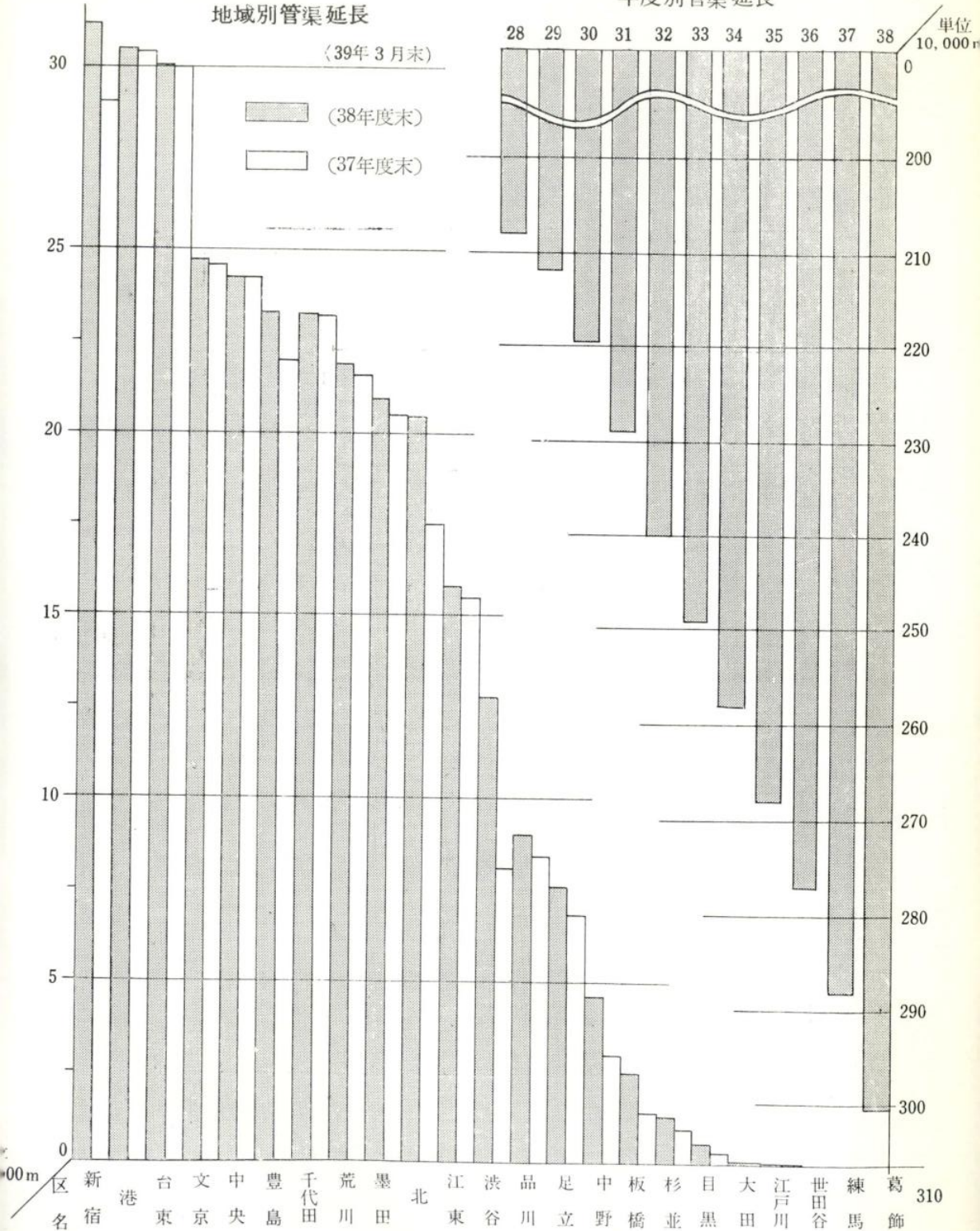
地域別管渠延長

(39年3月末)

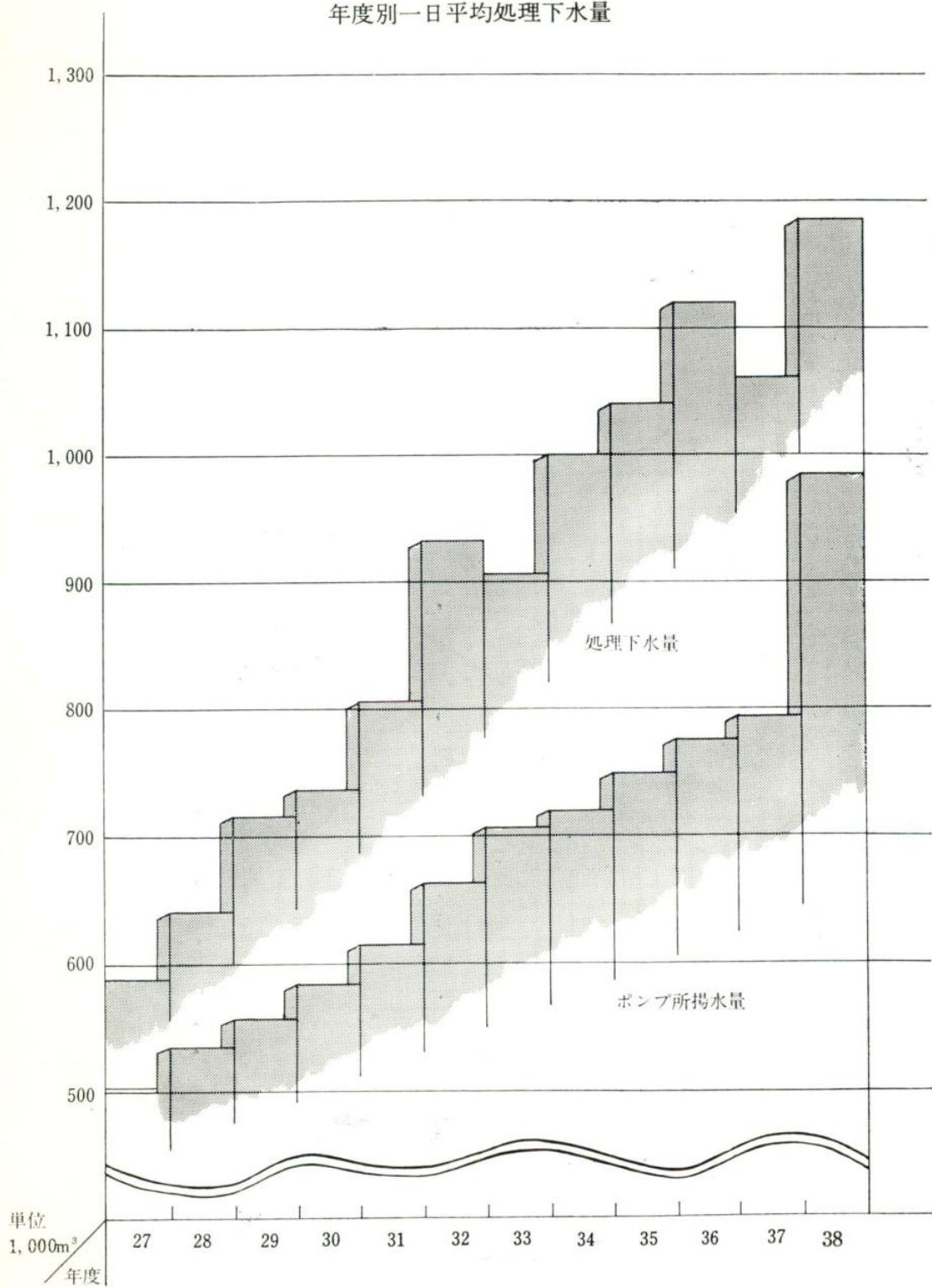
(38年度末)  
 (37年度末)

年度別管渠延長

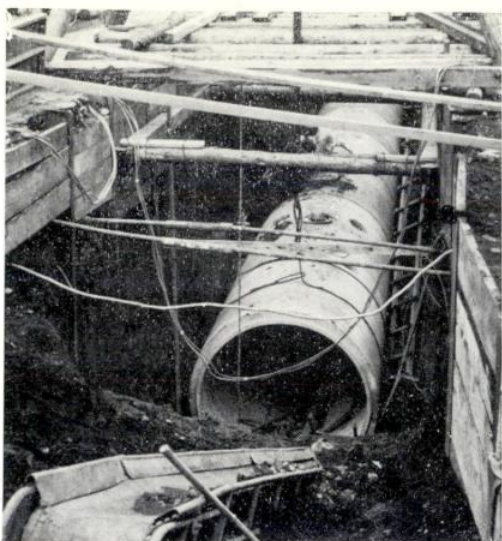
28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38  
 単位 10,000 m



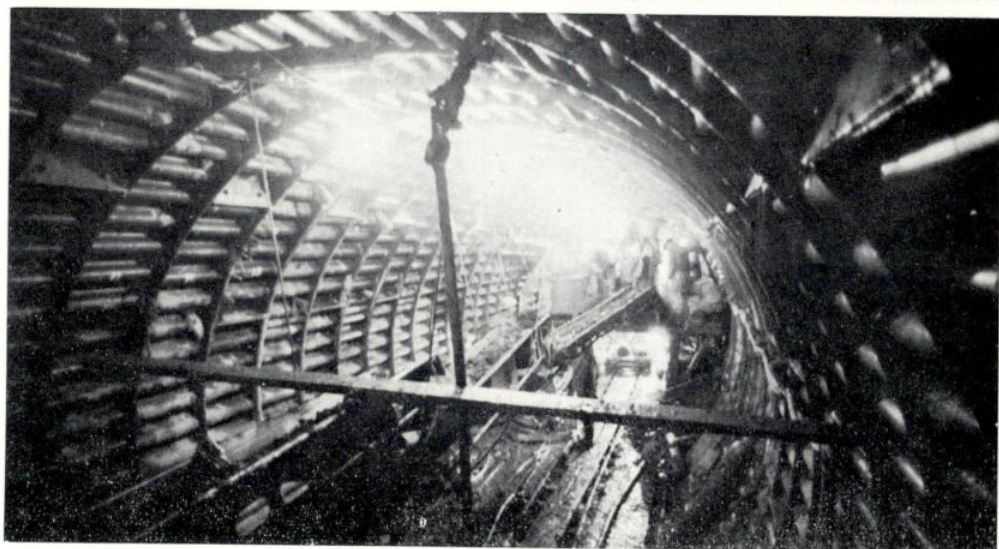
年度別一日平均処理下水量



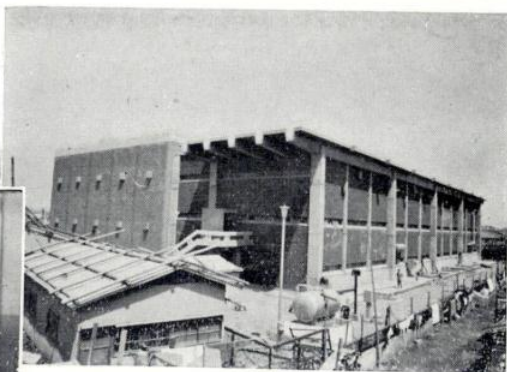
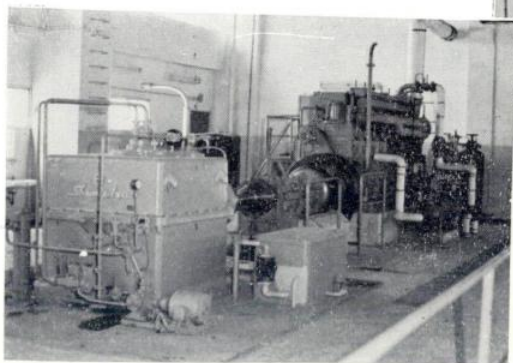




オリンピック関連地域の工事進む。  
宇田川幹線につながる枝線の下水管埋設工事  
(左)と、ワシントンハイツの一部(右)



シールド工法による白山幹線雨水吐工事が行な  
われる。  
内径三・七mという大きな円形管である。  
(三十八年五月撮影)



千住ポンプ所の外観(右)と隅田ポンプ所の雨  
水ポンプ(左)この二つのポンプ所は、昭和三  
十四年に着工、三十八年三月に一部運転を始め  
た。



△九月十日▽下水道促進デーに催された主婦の  
見学会で、知事から説明を聞く主婦たち。  
（落合処理場）



常盤橋地区再開発により、銭瓶ポンプ所も衣替  
えすることになる。写真は三十八年十二月五日  
に行なわれた着工式。



東京五番目の処理場・落合処理場が生まれる。  
△三十九年三月一日▽



# 第 1 章 総 説

## 第 1 節 序 説

近代都市における基本的な施設は、道路・水道・下水道などである。道路は産業の発展のために、水道は住民の生活のために、そして下水道は、環境衛生と都市の美化などを支えるためにある。

この下水道をぬきにしては、健康で文化的な住民の生活は考えられない。すなわち、汚水、雨水を合理的に排除し、処理することにより、住民の保健衛生、都市の美化に貢献するのである。つまり、都市生活に付随する汚水・雨水の衛生的排除、低湿地の災害防除、土地の有効利用、道路の保護、河川の汚濁防止などのために、図り知れない働きをするのが下水道である。しかしながら、東京においてはこれが普及は甚だしく遅れており、区部面積のやつと24.0%、区部総排水量三百数十万 $m^3$ /日(要処理量)のうち155万 $m^3$ /日、主として旧市域内と隣接の一部区域のみの下水を処理している現況である。

これは、東京の特殊な成長条件と、我国の肥料事情による貯蔵式便所が普及していたことなどのほか、一般に上水道・道路・建築などの急務を要する都市施設に優先され、目立たない下水道は、おおむね後まわしにされがちだった事情による。

現在の施設と能力のあらましは次の通りである。

管 渠 延 長	3,062,056 メートル
処 理 場	5 (芝浦, 三河島, 砂町, 小台, 落合)
高級処理能力	1,551,400 $m^3$ /日
ポ ン プ 所	27ヶ所
排 水 面 積	12,708ヘクタール (甲地区 11,001ヘクタール 乙 〃 1,707 〃 )

以上のような状況のため、都内の大部分の地域では、ドブまたは小河川を通じて汚水が直接川または港湾に流される。隅田川のごときはB.O.Dが時には100p.p.m以上となり、環境衛生上も美観上も憂慮にたえない現状である。また、都民の大部分が汲取り便所にたよっており、低地帯の汚水、雨水の氾らんも稀な現象ではない。しかも、近年の急激な人口の集中、ビルの林立、産業の発展はこうした悪現象にさらに拍車をかけている。このように、都市公害が顕著になるに及んで、下水道にたいする一般の関心と要望が高まり、そして、昭和31年、都市計画税の創設、首都圏整備法の制定をみるにおよび、財源事情も好転し、拡張事業も活発になった。

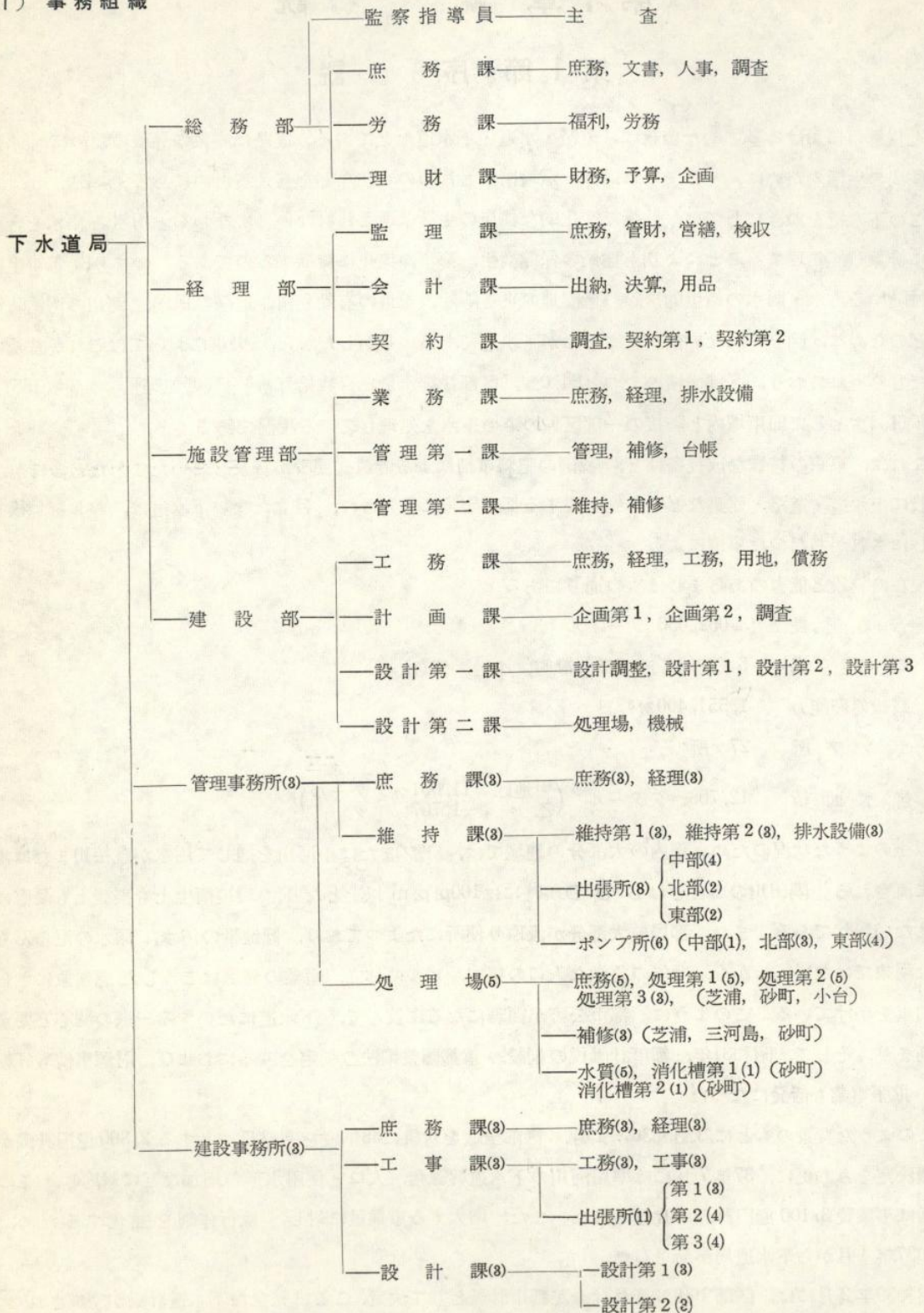
このような背景のもとに、昭和36年1月、区部全域を対象に48年度を完成目途とする2,300億円計画が庁議決定をみ、更に、37年7月には準用河川の下水道幹線化、人口・使用水量の増加などに対応し、この計画は事業費3,100億円計画に改訂された。また、増大する事業量に対し、執行体制を強化するため、昭和37年4月から下水道局が発足した。

昭和39年2月には、区部100%普及計画が都市計画として決定、ここに完全な下水道計画が完成された。

## 第 2 節 組 織

## 1. 機 構

## (1) 事務組織





## (2) 事業所所在地と所管区域

部 別	事 業 所 名	所 在 地	所 管 区 域
本 局	総務部 経理部 施設管理部 建設部	千代田区丸の内3-5	
中 部 管 理 事 務 所		千代田区大手町2-8	芝浦系統に属する千代田、中央、港、新宿、文京、渋谷、豊島各区の大部及び台東、品川、目黒、世田谷、北、荒川各区の一部  落合系統に属する中野、杉並各区の大部及び新宿、世田谷、渋谷、豊島各区の一部  森ヶ崎系統に属する品川、目黒、世田谷各区の大部及び渋谷、杉並各区の一部
落 合 処 理 場		新宿区上落合1-100	
芝 浦 処 理 場		港区芝高浜町2	
北 部 管 理 事 務 所		台東区浅草小島町1-39	三河島系統に属する台東、荒川各区の大部及び千代田、文京、北各区の一部 小台系統に属する北、板橋各区の大部及び豊島、練馬、足立各区の一部
三 河 島 処 理 場		荒川区荒川8-25	
小 台 処 理 場		足立区宮城町38	
東 部 管 理 事 務 所		江東区深川豊住町3-2	砂町系統に属する墨田、江東各区及び中央、足立、江戸川各区の一部
砂 町 処 理 場		江東区南砂町9-2, 473	
第 一 建 設 事 務 所		千代田区大手町2-8	千代田、中央、港、文京、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷各区
第 二 建 設 事 務 所		荒川区荒川8-32-41	台東、墨田、江東、荒川、足立、江戸川各区
第 三 建 設 事 務 所		新宿区上落合1-100	新宿、中野、杉並、豊島、北、板橋、練馬各区

## 2. 職 制

## (1) 事務分掌

局 の 部 課	分 掌 事 務
総 務 部	庶 務 課
	1. 都議会に関すること。 2. 局の機構に関すること。 3. 文書の審査に関すること。 4. 文書の収受、配付、発送、編集及び保存に関すること。 5. 公印に関すること。 6. 局の人事に関すること。 7. 広報及び公聴に関すること。 8. 他の部課に属しないこと。

総務部	労務課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の福利及び共済に関すること。</li> <li>2. 職員の教養に関すること。</li> <li>3. 職員の勤務条件に関すること。</li> <li>4. 職員の労働組合に関すること。</li> </ol>
	理財課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財政計画及び財政報告に関すること。</li> <li>2. 企業債に関すること。</li> <li>3. 予算の見積りに関すること。</li> <li>4. 予算統制に関すること。</li> <li>5. 事業の進行管理に関すること。</li> </ol>
経理部	監理課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定資産台帳の整理及び保管に関すること。</li> <li>2. 資産の調査に関すること。</li> <li>3. 用地の管理に関すること。</li> <li>4. 不動産の処分に関すること。</li> <li>5. 営繕に関すること。</li> <li>6. 物品、材料、請負工事等の検査に関すること。</li> <li>7. 部内他の課に属しないこと。</li> </ol>
	会計課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 収支伝票の審査及びその執行に関すること。</li> <li>2. 現金、有価証券及び担保物の保管出納に関すること。</li> <li>3. 資金の運用に関すること。</li> <li>4. 決算及び会計資料に関すること。</li> <li>5. 貯蔵品の準備計画に関すること。</li> <li>6. 貯蔵品の調査、配給及び運用に関すること。</li> <li>7. 貯蔵品倉庫に関すること。</li> </ol>
	契約課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物品及び材料の購買契約に関すること。</li> <li>2. 工事、修繕その他の請負契約に関すること。</li> <li>3. 舟車馬の供給契約に関すること。</li> <li>4. 物件の貸借及び処分の契約に関すること。</li> <li>5. 市場調査に関すること。</li> </ol>
施設管理部	業務課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 料金徴収委託事務に関すること。</li> <li>2. 井戸汚水その他の汚水の排出量の認定に関すること。</li> <li>3. 排水設備に関すること。</li> <li>4. 指定下水道工事店に関すること。</li> <li>5. 部内他の課に属しないこと。</li> </ol>
	管理第一課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下水道管渠の維持管理、補修、改良及び移設に関すること。</li> </ol>
	管理第二課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 処理場及びポンプ所の維持管理、補修及び改良に関すること。</li> </ol>
建設部	工務課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下水道の拡張工事の事務に関すること。</li> <li>2. 用地の取得に関すること。</li> <li>3. 部内地の課に属しないこと。</li> </ol>
	計画課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下水道の拡張計画に関すること。</li> </ol>
	設計第一課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下水道管きよ（幹線および重要な枝線）の設計に関すること。</li> </ol>
	設計第二課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 処理場及びポンプ所の設計に関すること。</li> </ol>
管理事務所		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下水道の維持管理及び改良工事の施行に関する事務。</li> <li>2. 処理場の維持管理に関する事務。</li> </ol>
建設事務所		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下水道の拡張工事の施行に関する事務。</li> </ol>



## (2) 人員配置

(39年3月末現在)

所 属	職 別	事務 吏員	技術 吏員	主事 補	技師 補	巡 視	事務 助手	技術 助手	作 業 員	工 員	用 務 員	計	定数		
													結 休	未 帰 還	外 休 職
総務部		42	1	17	3		1		1		2	67			
経理部	②	44	① 8	① 20	13		1	1	3			④ 90	4		
施設管理部		13	26	13	23		1		1			77			
建設部		15	① i 52	10	① 61		4	1	1			② i 144	2		1
中部管理事務所		14	48	30	129	6	20	10	① 130	i 98	1	① i 486	1		1
東部	々	13	52	21	118	3	5	6	① i 103	162		① i 483	1		1
北部	々	17	54	30	① 110	6	10	4	77	120	1	① 429	1		
第一建設事務所		10	43	15	② 130		8	2	15			② 223	2		
第二	々	7	41	12	① 73		12	4	7			① 156	1		
第三	々	6	32	19	125		6	0	19			207			
計		② 181	② i 357	① 187	⑤ 785	15	68	28	② i 357	i 380	4	② 23.62	12		3

注 ○は結休内数  
・は休職外数

## 第3節 下水道事業の概要

## 1. 沿革

東京における下水道施設の起源は、明治5年の大火後、銀座煉瓦街に洋風の溝渠が設けられたのに始まる。しかし近代式下水道施設の緊急性が問題化したのは、明治10年市内にコレラが流行したことに端を発するもので、明治16～19年にわたり神田の一部に分流式下水道が敷設されるにいたつた。ただし、これらの施設は部分的なものであり、また在来下水の修築、あるいはその一部を暗渠式に改良した程度の不完全なもので、その他の区域はいまだに江戸時代以来の在来溝渠、濠池により排水をしていた。

総合的計画に基づく下水道設計の調査は明治32年市区改正委員会により着手され、同41年3月にいたり現在の本都計画の基礎となつている東京市下水道改良事業基本計画が内閣の認可をえて決定し、明治44年6月下水改良事務所を設置し、第1期工事として下谷、浅草方面より着工、大正12年にはほぼ完了した。なお、大正11年より三河島処理場が一部操業を開始するにいたり、昭和5・6年には砂町・芝浦処理場がそれぞれ操業を開始した。

その後第2期工事等を逐次実施し、昭和7年には市域拡張にともない郊外12カ町の事業を引き継ぎ、新旧両市域にわたり継続工事を実施中のところ、第2次大戦のために事業は事実上中止するにいたり、旧市域の約8割と隣接新市域の一部を施行したまとなつた。

戦後においては直ちに戦災復旧をはかるとともに、文化的、衛生的首都の復興再建の段階から、さらに



首都整備の一環として下水道の促進がとりあげられ、事業量も次第に増加してきた。その経過は次のとおりである。まず昭和23～26年度当時は、戦後の大混乱からようやく脱脚しようと努めた時期で、昭和23年度から下水道の拡張事業を開始したが、当初の23、24年度は下水道増補改良事業に含めて実施した。また、下水道促進に対する認識も次第に深まってきたが、財政的な極度の制約から拡張財源である起債が制限されて、予算額の半分程度の事業実績をみたすにすぎなかつた。しかし、昭和25年7月には戦後の下水道の基本計画ともいふべき「東京都市計画下水道」が決定し、拡張事業を進めて行く基礎が確立された。

昭和25年6月には首都建設法が制定され、翌26年12月には首都建設緊急5カ年計画がたてられ、下水道も重点施策として盛りこまれ、同じ内容が昭和28年10月には都市計画事業として決定されるにいたつた。一方、財政面をみると、昭和27年10月地方公営企業法の全面適用による下水道事業会計の設定、昭和30年4月以降は失業対策事業の導入による失業対策費の繰り入れ、昭和31年6月地方税法改正により都市計画税収入財源の繰り入れがなされた。

昭和31年4月には、首都圏整備法が首都建設法にかわつて制定され、都市施設の整備が強く推進されることになった。当局では首都圏整備計画の一つとして下水道拡張10カ年計画をたて、下水道築造認可をえて昭和32年度より着手した。政府においても昭和32年に建設省に下水道課を新設、翌33年下水道法が制定され、全国的に下水道築造が促進される傾向となつた。本都においても急増する事業量の執行体制を強化すべく、昭和34年12月1日下水道本部を設置した。

さらに周辺区部の発展や、昭和39年の東京オリンピック開催決定などとともに、本都の都市施設の整備、とりわけ下水道については拡張事業の推進が必要となつた。これに対して、36年1月には昭和48年度完成を目途とする区部全域の下水道整備計画（総事業費2,300億円）を庁議で決定した。

こえて翌37年3月には、この100%普及計画を骨子とする45年度70%普及計画が、新しい「都市計画」として、都市計画地方審議会で決定をみ、3月31日には、建設省告示第1,092号「東京都市計画下水道」、「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割の変更」として告示された。

これによると、対象区域約37,314ヘクタール、計画人口751万人、管渠延長約7,608km、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつている。37年4月から下水道局が発足し、執行態勢が一だんと強化されるとともに、同年7月に前記100%整備計画に再検討を加え、これを総事業費3,100億円計画に改訂した。また小台処理場が一部運転を開始した。

その後、都心部の総合的再開発の一環として、千代田区大手町2丁目付近の市街地再開発が策定され、当局所管の銭瓶町ポンプ所、並びに主要管渠の移設が必要となり、昭和37年12月23日建設省告示第3,205号をもつて、前記、東京都市計画下水道並びに同事業の一部変更を行なつた。

さらに39年2月25日には、区部100%普及計画の残る30%について、建設省告示第292号により「東京都市計画下水道」「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割」として告示された。

この告示により、区部全域100%普及計画が完成した。これによると、計画対象区域は23区全域(52,853ヘクタール)、計画人口950万人、管渠延長10,061,479m、ポンプ所67カ所、処理場9カ所、その他の処理場1カ所となつている。



## 2. 施設概況

## 1. 旧15区内を芝浦、三河島、砂町の3系統に分割する。

築造認可年月	明治41年3月	排水開始年月	大正10年12月
排水方法	合流式、一部分流式	排水区域面積	6,992ヘクタール
予定排水人口	3,000,000人	予定1人1日最大汚水量	250立
			予定1時間最大降水量 50耗

工 種	起 工	竣 工	工 費
創 設 (第1期下水道改良工事)	明治 44 年	大正 12 年	14,618,123円
第1回拡張 (下水渠一部速成工事)	大正 5 年	大正 9 年	2,497,989円
第2回拡張 (第2期下水道改良工事)	大正 9 年	大正 12 年	4,311,283円
第3回拡張 (帝都復興下水道改良工事)	大正 12 年	昭和 6 年	39,603,453円
第4回拡張 (継続都市計画速成工事)	大正 14 年	昭和 9 年	5,600,286円
第5回拡張 (管渠移転工事)	大正 14 年	昭和 5 年	2,310,518円
第6回拡張 (下水道応急整理工事)	大正 15 年	昭和 4 年	948,402円
第7回拡張 (失業救済工事昭和2年度)	昭和 2 年	昭和 3 年	340,415円
第8回拡張 (失業救済工事昭和3年度)	昭和 3 年	昭和 3 年	428,477円
第9回拡張 (失業救済工事昭和4年度)	昭和 4 年	昭和 5 年	1,711,460円
第10回拡張 (昭和5年度速成工事)	昭和 5 年	昭和 7 年	2,674,854円
第11回拡張 (昭和5・6年度第2改良速成工事)	昭和 6 年	昭和 8 年	7,561,665円
第12回拡張 (失業救済工事昭和6年度)	昭和 6 年	昭和 7 年	455,538円
第13回拡張 (失業救済工事昭和7年度)	昭和 7 年	昭和 8 年	461,219円
第14回拡張 (継続都市計画完成(第1期)工事)	昭和 8 年	昭和 19 年 *(昭和 21 年)	27,688,297円 *(38,500,000円)

(注) \*昭和19年戦時に際し打ち切り。( ) 内は全体計画を示す。以下各項目につき同じ。

## 2. 旧大崎町一円

築造認可年月	大正12年3月(第1期) 昭和5年9月及び同11年6月(第2期)	排水開始年月	大正14年
排水方法	合流式	排水区域面積	305ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定排水人口	90,000人
		予定1時間最大降水量	50耗

工 種	起 工	竣 工	工 費
創 設 (大崎町下水道事業第1期)	大正 13 年	昭和 6 年	746,263円
第1回拡張 (大崎町下水道事業第2期)	昭和 5 年	昭和 10 年	793,764円

(注) 昭和7年10月以降は市郡併合により東京市施行。以下各項目につき同じ

## 3. 旧高田町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和 6 年
排水方法	合流式	排水区域面積	254ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定排水人口	78,000人
		予定1時間最大降水量	50耗

工 種	起 工	竣 工	工 費
創 設 (高田町下水道事業)	昭和 5 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	1,638,867円 (2,118,000円)

## 4. 旧西巢鴨町一円

築造認可年月	昭和7年3月	排水開始年月	昭和 7 年
排水方法	合流式	排水区域面積	455ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定排水人口	166,000人
		予定1時間最大降水量	50耗



工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(西 巢 鴨 町 下 水 道 事 業)	昭和 6 年	昭和 6 年 (昭和 21 年)	1,595,529円 (2,910,000円)
5.	旧巢鴨町一円			
築造認可年月	昭和 5 年 3 月	排水開始年月	昭和 5 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	187ヘクタール	予定排水人口 70,000人
予定 1 人 1 日最大汚水量	167立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(巢 鴨 町 下 水 道 事 業)	昭和 4 年	昭和 10 年	1,076,609円
6.	旧王子町一円			
築造認可年月	昭和 4 年 3 月	排水開始年月	昭和 4 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	521ヘクタール	予定排水人口 90,000人
予定 1 人 1 日最大汚水量	167立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(王 子 町 下 水 道 事 業)	昭和 3 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	1,778,423円 (3,135,207円)
7.	旧尾久町一円			
築造認可年月	昭和 3 年 1 月 (第 1 期) 昭和 7 年 7 月 (第 2 期)	排水開始年月	昭和 3 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	228ヘクタール	予定排水人口 164,000人
予定 1 人 1 日最大汚水量	167立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(尾 久 町 下 水 道 事 業 第 1 期)	昭和 2 年	昭和 7 年	779,144円
第 1 回拡張	(尾 久 町 下 水 道 事 業 第 2 期)	昭和 7 年	昭和 15 年	1,254,738円
8.	旧南千住町, 日暮里町, 三河島町一円			
築造認可年月	昭和 6 年 5 月	排水開始年月	昭和 7 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	543ヘクタール	予定排水人口 227,000人
予定 1 人 1 日最大汚水量	167立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(南千住町, 日暮里町 三河島町下水道事業)	昭和 6 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	4,336,851円 (5,380,000円)
9.	旧大久保町一円			
築造認可年月	昭和 3 年 10 月 (第 1 期) 昭和 7 年 9 月 (第 2 期)	排水開始年月	昭和 5 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	200ヘクタール	予定排水人口 61,800人
予定 1 人 1 日最大汚水量	167立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(大 久 保 町 下 水 道 事 業 第 1 期)	昭和 3 年	昭和 6 年	403,762円
第 1 回拡張	(大 久 保 町 下 水 道 事 業 第 2 期)	昭和 8 年	昭和 19 年	1,042,560円
10.	旧滝野川町一円			
築造認可年月	昭和 8 年 12 月	排水開始年月	昭和 9 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	451ヘクタール	予定排水人口 116,000人
予定 1 人 1 日最大汚水量	167立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(滝 野 川 町 下 水 道 事 業)	昭和 8 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	1,359,390円 (3,464,000円)
11.	足立区, 江戸川区, 墨田区の各一部			
築造認可年月	昭和 11 年 3 月	排水開始年月	昭和 18 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	2,193ヘクタール	予定排水人口 589,700人
予定 1 人 1 日最大汚水量	250立	予定 1 時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設	(郊外下水道事業の一部)	昭和 11 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	4,557,573円 (3,890,000円)



## 12. 旧南千住町一円

築造認可年月	大正11年2月(第1期) 昭和2年12月(第2期)	排水開始年月	大正 11 年	
排水方法	合流式	排水区域面積	245ヘクタール	予定排水人口 68,600人
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗	
工 種		起 工	竣 工	工 費
創 設(千住町下水道事業第1期)		大正 10 年	大正 15 年	507,995円
第1回拡張(千住町下水道事業第2期)		昭和 2 年	昭和 7 年	843,225円

## 13. 千代田区他20区

築造認可年月	昭和34年3月			
排水方法	合流式	排水区域面積	22,315ヘクタール	予定排水人口 3,950,000人
予定1人1日最大汚水量	320立	予定1時間最大降水量	50耗	
工 期	自昭和32年	至昭和41年	工 費	36,600,000,000円

## 第 4 節 昭和38年度事業概況

## 1. 総 括 事 項

昭和38年度においては、都市の基幹施設である下水道整備の緊急性にかんがみ、「東京都下水道事業計画」の強力な推進に努め、特にオリンピック対策事業として、環状6号線内側地区の整備を重点とし、鋭意事業の遂行をはかった。

## 経 営

拡張事業の進捗に伴い、昭和39年3月、落合処理場が一部運転を開始した。(処理能力日量9万立方メートル)なお、下水道使用件数は前年度に比して、4万4千余件の増加をみ、当年度末において59万余件となつた。しかし、給水事情は37年度に引続き好転せず、処理場における年間下水処理量は、4億3千余立方メートルで、予定量に対して85.5パーセントの実績を示したにすぎず、料金収入は1割強の2億4千余万円の減収となつた。

他方維持管理諸経費等の増嵩があつたが、一般諸経費の節減に努めた結果、当期の欠損額は2億余万円となつた。

当年度の経営上における、事業実施のおもなものは、つぎのとおりである。

処理場下水処理量	433,568,552立方メートル
ポンプ所下水揚水量	359,297,660立方メートル
管渠管理延長	3,062,056メートル
管渠掃除量	
作業延長	890,460メートル
汚 泥 量	23,711立方メートル

## 建設及び改良

当年度における建設工事の予算額は173億円で、前年度に比し44パーセント増と飛躍的に増大した。事業資金については、各方面の協力により、国庫補助金等については若干収入不足を示したものの、企業債収入及び一般会計繰入金は全額収入をみ、概ね順調に確保することができた。

事業執行にあたっては、管渠工事の設計事務強化のため各建設事務所に設計課を新設する等、増大した事業量の消化に鋭意努めたのであるが、常盤橋地区再開発計画に伴う銭瓶町ポンプ所拡充関連工事及び管渠敷設工事等の一部において工事困難、交通規制強化等の理由から若干工事遅延を余儀なくされ、執行率は84.3パーセントである。

当年度施行した工事の概要は、次のとおりである。

処理場建設工事では、前年度に引続き芝浦、砂町、三河島ならびに小台処理場の施設を拡張し、森ヶ崎処理場は40年度末の一部運転開始を目的に基礎工事に続いて雨水、汚水、沈砂池工事を完了した。また落合処理場は、機械電気工事を予定どおり完了し、昭和39年3月に運転を開始した。ポンプ所工事については、銭瓶町ポンプ所外8カ所の建設工事を施行した。

管渠敷設工事については、これ等処理場、ポンプ所を連絡する管渠工事として幹線 10,949.09メートル枝線146,086.55メートルを敷設したが、このうちには、本年度から着手した銭瓶町ポンプ所の移設に伴う常盤橋地区の管渠移設工事と新河岸川浄化対策としての管渠敷設工事が含まれている。

つぎに改良工事では、老朽管渠、ポンプ所、処理場等における諸設備を積極的に改良し、処理能力の改善に努めた。

経 理

(1) 収益的収支

総収益 5,178,271,643 円に対する総費用は 5,379,176,656 円で、当年度純損失は 200,905,013 円である。

しかしながら、期間外収支においては、常盤橋地区再開発計画に基づく土地売却差益等の収入が2,452,405,583円あり、期間外費用は 61,584,708 円で、差引期間外利益は 2,390,820,875 円であつた。

この結果、上記当年度純損失 200,905,013 円を補てんして、なお 2,189,915,862 円の利益剰余金を繰越すこととなつた。

(2) 資本的収支

総収入15,070,093,717円に対する総支出は15,718,946,212円で、差引不足額は648,852,495円であるが、なお地方公営企業法第26条の規定による翌年度への繰越工事 2,488,230,522 円の資金を留保したので、資金不足額は 3,137,083,017 円となる。

この資本収支の不足額については、前年度からの繰越工事資金、当年度利益剰余金および損益勘定留保資金をもつて充当した。

2. 議 会 議 決 事 項

(1) 予 算 関 係

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 10. 2	第3回定例会	第 3 7 7 号	昭和38年度東京都下水道事業会計追加予算



議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 12. 21	第4回定例会	第 5 6 1 号	昭和38年度東京都下水道事業会計追加予算
39. 3. 3	第1回定例会	第 1 8 7 号	昭和38年度東京都下水道事業会計更正予算
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 9 号	昭和39年度東京都下水道事業会計予算
39. 3. 23	第1回定例会	第 2 1 5 号	昭和39年度東京都下水道事業会計補正予算

## (2) 決 算 認 定

議決年月日	種 別	件 名
39. 3. 23	第1回定例会	昭和37年度東京都下水道事業会計決算の認定について

## (3) 条 例 関 係

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 5 1 号	東京都公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
39. 3. 3	第1回定例会	第 8 6 号	臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会条例を廃止する条例
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 5 5 号	知事の承認を受けて取得及び処分をなすべき東京都公営企業の資産に関する条例の一部を改正する条例
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 5 6 号	東京都公営企業関係業務状況の報告に関する条例の一部を改正する条例
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 5 7 号	東京都公営企業の契約の方法の特例に関する条例の一部を改正する条例

## (4) 工 事 請 負 契 約

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 2 9 号	落合処理場建設その5工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 0 号	落合処理場第2沈澱池機械設備その1工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 1 号	江東区大島町6丁目付近枝線その4工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 2 号	宮城ポンプ所雨水ポンプ設備その1工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 3 号	予算外義務の負担について（第334号に関連して）
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 4 号	日本堤ポンプ所雨水ポンプ設備その3工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 4 号	予算外義務の負担について（第525号に関連して）
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 5 号	小台処理場建設その8工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 6 号	常盤橋地区千代田区大手町2丁目付近管渠移設その1工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 7 号	常盤橋地区千代田区大手町2丁目付近管渠移設その2工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 8 号	常盤橋地区千代田区大手町2丁目付近管渠移設その3工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 9 号	江戸川区逆井2丁目付近枝線工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 0 号	藍染川幹線雨水吐その2工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 1 号	尾久幹線その8工事請負契約



議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 2 号	尾久幹線その9工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 3 号	板橋区小豆沢4丁目付近枝線工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 4 号	板橋区志村町3丁目付近枝線工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 5 号	岩淵幹線その11工事請負契約
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 1 号	予算外義務の負担について（三河島処理場第1沈澱池機械設備その2工事）
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 2 号	予算外義務の負担について（三河島処理場第2沈澱池機械設備その2工事）
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 3 号	予算外義務の負担について（三河島処理場汚泥ポンプ設備その2工事）
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 4 号	予算外義務の負担について（三河島処理場曝気槽散気設備その2工事）
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 5 号	予算外義務の負担について（三河島処理場消毒設備その1工事）
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 6 号	予算外義務の負担について（藍染ポンプ所ポンプ設備その2工事）
38. 12. 21	第4回定例会	第 6 7 7 号	予算外義務の負担について（藍染ポンプ所電気設備その2工事）
39. 3. 23	第1回定例会	第 4 7 号	日本堤ポンプ所建設その6工事請負契約
39. 3. 23	第1回定例会	第 4 8 号	日本堤ポンプ所電気設備その1工事請負契約

(5) 購 入 契 約

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 3 号	森ヶ崎処理場用地の買収について

(6) 売 却 契 約

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
38. 10. 2	第3回定例会	第 3 6 0 号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地売却契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第 3 6 1 号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地売却契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第 3 6 2 号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地売却契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第 3 6 3 号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地交換契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第 3 6 4 号	常盤橋地区再開発計画に伴う銭瓶町ポンプ所の建築物屋上の使用に関する契約

3. 行政官庁許認可事項

該当事項なし

4. 職 員 に 関 す る 事 項

(1) 昭和39年3月31日現在の職員は2,393名で、その内訳はつぎのとおりである。

区 分	種 別	事務吏員	技術吏員	雇 員	備 員	休 養 者	休 職 者	計
経 営 部 門		113名	171名	511名	762名	5名	2名	1,564名
建 設 改 良 部 門		71	188	483	79	7	1	829
計		184	359	994	841	12	3	2,393



## (2) 職員構成表

## (イ) 勤続年数別職員構成表

年数別	種 別	事 務 職 員	技 術 職 員	そ の 他	臨 時 職 員	計
		名	名	名	名	名
1 年 未 満		15	123	4	1	143
1 年 以 上 3 年 未 満		70	658	3		731
3 〃 5 〃		69	442	3	3	517
5 〃 7 〃		40	177	6	6	229
7 〃 10 〃		39	103		6	148
10 〃 15 〃		105	150	1	14	270
15 〃 20 〃		52	101	1	8	162
20 〃 25 〃		16	55			71
25 〃 30 〃		16	36	1		53
30 〃 40 〃		18	74			92
40 年 以 上		2	13			15
計		442	1,932	19	38	2,431
総 勤 続 年 数		4,735	14,124.5	115.5	449	19,424
1 人 当 り 平 均		11	7	6	12	8

## (ロ) 年令別職員構成表

年数別	種 別	事 務 職 員	技 術 職 員	そ の 他	臨 時 職 員	計
		名	名	名	名	名
20 才 以 下		10	134			144
21 才 以 上 25 才 以 下		46	550			596
26 〃 30 〃		93	324	1		418
31 〃 35 〃		136	272	7	2	417
36 〃 40 〃		61	206	6		273
41 〃 45 〃		27	112	1		140
46 〃 50 〃		22	78	1		101
51 〃 55 〃		23	88	1	2	114
56 〃 60 〃		12	83		5	100
61 才 以 上		12	85	2	29	128
計		442	1,932	19	38	2,431
総 年 令		15,472	64,014	753	1,831	80,239
1 人 当 り 平 均		35	33	40	48	33

## (3) 職員の給料について

昭和39年3月28日「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(39.4.1施行, 38.10.1より適用)が公布された。これに従い「東京都下水道局職員の給与に関する規程」の一部も昭和39年4月1日に改正された。

## 5. 料金その他供給条件の設定変更に関する事項

該当事項なし

第 2 章 財 務

第 1 節 財 政

1. 昭和38年度東京都下水道事業予算決算対照表

(1) 収益的收入及び支出

収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差 引 予 算 残 額	執 行 率 ( $\frac{B}{A}$ )
	円	円	円	%
第1款下水道事業収益	5,428,413,000	5,178,271,643	250,141,357	95.4
第1項 営業収益	3,683,691,532	3,364,193,625	319,497,907	91.3
下水道料金	2,288,000,000	2,042,551,928	245,448,072	89.3
一般会計繰入金	721,500,000	721,500,000	0	100.0
受託事業収益	252,000,000	241,502,085	10,497,915	95.8
その他営業収益	422,191,532	358,639,612	63,551,920	84.9
第2項 営業外収益	1,744,721,468	1,814,078,018	△ 69,356,550	104.0
受 取 利 息	29,189,000	48,376,050	△ 19,187,050	165.7
土地物件収益	44,000,000	63,008,310	△ 19,008,310	143.2
一般会計繰入金	1,652,483,000	1,651,940,621	542,379	100.0
雑 収	19,049,468	50,753,037	△ 31,703,569	266.4
計	5,428,413,000	5,178,271,643	250,141,357	95.4

支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差 引 予 算 残 額	執 行 率 ( $\frac{B}{A}$ )
	円	円	円	%
第1款 下水道管理費	5,428,413,000	5,379,176,656	49,236,344	99.1
第1項 営業費用	3,754,241,000	3,709,086,635	45,154,365	98.8
管 渠 費	694,741,000	677,399,461	17,341,539	97.5
ポンプ場費	294,900,000	294,825,749	74,251	100.0
処理場費	813,000,000	809,150,276	3,849,724	99.5
受託事業費	252,000,000	241,502,085	10,497,915	95.8
業務費	432,000,000	431,230,993	769,007	99.8
総 係 費	213,000,000	203,364,117	9,635,883	95.5
減価償却費	940,000,000	938,455,576	1,544,424	99.8
資産減耗費	107,000,000	106,555,464	444,536	99.6
その他営業費用	7,600,000	6,602,914	997,086	86.9
第2項 営業外費用	1,673,172,000	1,670,090,021	3,081,979	99.8
支払利息及企業債取扱諸費	1,652,901,784	1,651,940,621	961,163	99.9
雑 支 出	20,270,216	18,149,400	2,120,816	89.5
第3項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
計	5,428,413,000	5,379,176,656	49,236,344	99.1



## (2) 資本的收入及び支出

## 収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率( $\frac{B}{A}$ )
	円	円	円	%
第1款 企業業債債還入金	10,100,000,000	10,093,375,000	6,625,000	99.9
第1項 企業業債債還入金	10,100,000,000	10,093,375,000	6,625,000	99.9
企業業債債還入金	10,100,000,000	10,093,375,000	6,625,000	99.9
第2款 一般会計繰入金	3,712,201,000	3,676,689,191	35,511,809	99.0
第1項 一般会計繰入金	3,712,201,000	3,676,689,191	35,511,809	99.0
企業債元金償還繰入金	356,201,000	356,200,400	600	100.0
下水道拡張事業費繰入金	2,100,000,000	2,100,000,000	0	100.0
特別失業対策下水施設費繰入金	200,000,000	200,000,000	0	100.0
下水道整備拡充事業費繰入金	606,000,000	606,000,000	0	100.0
都市改造下水施設費繰入金	120,000,000	84,488,791	35,511,209	70.4
新河岸川浄化下水施設費繰入金	330,000,000	330,000,000	0	100.0
第3款 国庫補助入金	1,330,000,000	1,210,000,000	120,000,000	91.0
第1項 国庫補助入金	1,330,000,000	1,210,000,000	120,000,000	91.0
国庫補助入金	1,330,000,000	1,210,000,000	120,000,000	91.0
第4款 固定資産売却収入	134,884,192	23,850,689	111,033,503	17.7
第1項 固定資産売却収入	134,884,192	23,850,689	111,033,503	17.7
固定資産売却収入	134,884,192	23,850,689	111,033,503	17.7
第5款 貸付金返還入金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
第1項 貸付金返還入金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
貸付金返還入金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
第6款 その他資本収入	20,000,000	59,178,837	△ 39,178,837	295.9
第1項 その他資本収入	20,000,000	59,178,837	△ 39,178,837	295.9
その他資本収入	20,000,000	59,178,837	△ 39,178,837	295.9
計	15,304,085,192	15,070,093,717	233,991,475	98.5

## 支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率( $\frac{B}{A}$ )
	円	円	円	%
第1款 建設改良費	18,086,350,911	15,255,745,812	2,830,605,099	84.3
第1項 下水道施設費	729,200,000	619,239,827	109,960,173	84.9
管渠ポンプ場施設費	280,500,000	247,418,317	33,081,683	88.2
処理場施設費	136,200,000	131,280,567	4,919,433	96.4
諸施設費	207,300,000	203,878,928	3,421,072	98.3
第2項 下水道拡張費	105,200,000	36,662,015	68,537,985	34.8
施設拡張費	17,357,150,911	14,636,505,985	2,720,644,926	84.3
特別失業対策下水施設費	12,748,238,032	11,703,684,207	1,044,553,825	91.8
下水道整備拡充施設費	240,000,000	229,401,819	10,598,181	95.6
都市改造下水施設費	2,928,912,879	1,711,386,970	1,217,525,909	58.4
新河岸川浄化下水施設費	120,000,000	84,488,791	35,511,209	70.4
	1,320,000,000	907,544,198	412,455,802	68.8
第2款 企業債償還金	456,201,000	456,200,400	600	100.0
第1項 企業債償還金	456,201,000	456,200,400	600	100.0
企業債償還金	456,201,000	456,200,400	600	100.0
第3款 貸付金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
第1項 貸付金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
職員互助組合貸付金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
業務委託補助貸付金	1,000,000	1,000,000	0	100.0
計	18,549,551,911	15,718,946,212	2,830,605,699	84.7

1. 資本的支出予算額のうち、建設改良工事の繰越は次のとおりである。

下水道拡張費 2,488,230,522円

2. 資本的収入合計15,070,093,717円と資本的支出合計15,718,946,212円との収入不足額648,852,495円に翌年度への繰越工事に対する資金留保額2,488,230,522円を加えた資金不足額3,137,083,017円については、次のとおり補てんした。

内 訳	(1) 前年度からの繰越工事資金	515,150,911円
	(2) 当年度利益剰余金充当	1,770,115,808
	(3) 損益勘定留保資金	851,816,298

## 2. 昭和38年度東京都下水道事業損益計算書

### 1 営業収益

(1) 下水道料金	2,042,551,928円	
(2) 一般会計繰入金	721,500,000	
(3) 受託事業収益	241,502,085	
(4) その他営業収益	<u>358,639,612</u>	3,364,193,625円

### 2 営業費用

(1) 管渠費	677,399,461	
(2) ポンプ場費	294,825,749	
(3) 処理場費	809,150,276	
(4) 受託事業費	241,502,085	
(5) 業務費	431,230,993	
(6) 総係費	203,364,117	
(7) 減価償却費	938,455,576	
(8) 資産減耗費	106,555,464	
(9) その他営業費用	<u>6,602,914</u>	<u>3,709,086,635</u>

営業損失

344,893,010円

### 3 営業外収益

(1) 受取利息	48,376,050	
(2) 土地物件収益	63,008,310	
(3) 一般会計繰入金	1,651,940,621	
(4) 雑収	<u>50,753,037</u>	<u>1,814,078,018</u>

当年度総利益

1,469,185,008

### 4 営業外費用

(1) 支払利息及企業債取扱諸費	1,651,940,621	
(2) 雑支出	<u>18,149,400</u>	<u>1,670,090,021</u>

当年度純損失

200,905,013



## 損 益 計 算 書

借 方

貸 方

営 業 費 用	管 渠 費	677,369,461円	営 業 収 益
	ポンプ場費	294,825,749	
	処 理 場 費	809,150,276	
	受 託 事 業 費	241,502,085	
	業 務 費	431,230,993	
	総 係 費	203,364,117	
	減 価 償 却 費	938,455,576	
	資 産 減 耗 費	106,555,464	
	その他営業費用	6,602,914	
営 業 外 費 用	下 水 道 料 金	2,042,551,928円	営 業 外 収 益
	一般会計繰入金	721,500,000	
	受託事業収益	241,502,085	
	その他営業収益	358,639,612	
	受 取 利 息	48,376,050円	
	土地物件収益	63,008,310	
	一般会計繰入金	1,651,940,621	
	雑 収	50,753,037	
	支 払 利 息 及 企業債取扱諸費	1,651,940,621円	
	雑 支 出	18,149,400	
		(3.74%)	
	当年度純損失	2億90万5413円	

33  
億  
6  
千  
419  
万  
3  
千  
625  
円

(62.54%)

18  
億  
1  
千  
407  
万  
8  
千  
18  
円

(33.72%)

37  
億  
908  
万  
6  
千  
635  
円

(68.95%)

16  
億  
7  
千  
9  
万  
21  
円

(31.05%)

## 3. 昭和38年度東京都下水道事業剰余金計算書

## 利益剰余金の部

## I 減債積立金

1 前年度末残高	3,900,000円	
2 前年度繰入額	<u>6,000,000</u>	
3 当年度末残高		9,900,000円

## II 建設改良積立金

1 前年度末残高	5,000,000	
2 前年度繰入額	114,000,000	
3 当年度処分額	<u>114,000,000</u>	
4 当年度末残高		<u>5,000,000</u>

積立金合計

14,900,000円

## III 未処分利益剰余金

1 前年度未処分利益剰余金		120,214,921
2 前年度利益剰余金処分額		
(1) 減債積立金	6,000,000	
(2) 建設改良積立金	<u>114,000,000</u>	<u>120,000,000</u>
繰越利益剰余金		214,921
3 繰越利益剰余金増加高		
(1) 固定資産売却益	2,442,326,226	
(2) 過年度損益修正	<u>10,079,357</u>	2,452,405,583
4 繰越利益剰余金減少高		
(1) 整備拡充除却損	<u>61,584,708</u>	<u>61,584,708</u>
繰越利益剰余金年度末残高		2,391,035,796
5 当年度純損失		<u>200,905,013</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>2,190,130,783</u>



## 資本剰余金の部

## Ⅰ 国庫補助金

1 前年度末残高	1,223,320,000円	
2 当年度発生高	<u>1,210,000,000</u>	
3 当年度末残高		2,433,320,000円

## Ⅱ 工事負担金

1 前年度末残高	0	
2 当年度発生高	<u>84,488,791</u>	
3 当年度末残高		84,488,791

## Ⅲ 受贈財産評価額

1 前年度末残高	2,594,302,580	
2 当年度発生高	<u>110,563,207</u>	
3 当年度末残高		2,704,865,787

## Ⅳ 事業施設建設受入寄付金

1 前年度末残高	196,732,443	
2 当年度発生高	<u>57,245,537</u>	
3 当年度末残高		253,977,980

## Ⅴ 保険差益

1 前年度末残高	<u>237,653</u>	
2 当年度末残高		<u>237,653</u>

資本剰余金合計 5,476,890,211円

翌年度繰越資本剰余金 5,476,890,211

## 4. 昭和38年度東京都下水道事業剰余金処分計算書

Ⅰ 当年度末処分利益剰余金 2,190,130,783円

## Ⅱ 利益剰余金処分額

1 減債積立金	109,500,000円	
2 建設改良積立金	<u>2,080,000,000</u>	<u>2,189,500,000円</u>

(1,770,115,808円については議決済処分額)

Ⅲ 翌年度繰越利益剰余金 630,783

## 5. 昭和38年度東京都下水道事業貸借対照表

## 資 産 の 部

## I 固 定 資 産

## 1 有形固定資産

(1) 土 地		5,018,803,395円
---------	--	----------------

(2) 立 木		7,364,649
---------	--	-----------

(3) 建 物	3,540,288,193円	
---------	----------------	--

減価償却引当金	<u>210,187,274</u>	3,330,100,919
---------	--------------------	---------------

(4) 構 築 物	40,068,289,528	
-----------	----------------	--

減価償却引当金	<u>3,781,580,966</u>	36,286,708,562
---------	----------------------	----------------

(5) 機 械 及 装 置	6,694,132,541	
---------------	---------------	--

減価償却引当金	<u>697,517,981</u>	5,996,614,560
---------	--------------------	---------------

(6) 車 両 運 搬 具	119,543,815	
---------------	-------------	--

減価償却引当金	<u>61,169,598</u>	58,374,217
---------	-------------------	------------

(7) 器 具 備 品	117,688,058	
-------------	-------------	--

減価償却引当金	<u>47,273,534</u>	70,414,524
---------	-------------------	------------

(8) 建 設 仮 勘 定		<u>17,469,088,681</u>
---------------	--	-----------------------

有形固定資産合計		68,237,469,507円
----------	--	-----------------

## 2 無形固定資産

(1) 借 地 権		15,707,197
-----------	--	------------

(2) 電気ガス供給 施設利用権		<u>140,828,961</u>
---------------------	--	--------------------

無形固定資産合計		156,536,158
----------	--	-------------

## 3 投 資 資 産

(1) 有 価 証 券		120,001,360
-------------	--	-------------

(2) 長期職員互助 組合貸付金		<u>4,000,000</u>
---------------------	--	------------------

投資資産合計		<u>16,001,360</u>
--------	--	-------------------

固定資産合計		68,410,007,025
--------	--	----------------



## Ⅱ 流動資産

## 1 現金及預金

(1) 預金		4,168,853,601円
--------	--	----------------

## 2 未収金

(1) 営業未収金	434,614,049円	
-----------	--------------	--

(2) 営業外未収金	684,120,982	
------------	-------------	--

(3) その他未収金	<u>1,994,084,190</u>	3,112,819,221
------------	----------------------	---------------

## 3 貯蔵品

(1) 材料	128,356,028	
--------	-------------	--

(2) 備消耗品	6,760,716	
----------	-----------	--

(3) その他貯蔵品	<u>3,229,778</u>	138,346,522
------------	------------------	-------------

## 4 仮払金

(1) 概算金		74,045,541
---------	--	------------

## 5 その他流動資産

(1) その他流動資産		<u>350,752</u>
-------------	--	----------------

流動資産合計		7,494,415,637円
--------	--	----------------

## Ⅲ 繰延勘定

## 1 企業債発行差金

(1) 企業債発行差金		<u>6,625,000</u>
-------------	--	------------------

繰延勘定合計		<u>6,625,000</u>
--------	--	------------------

資産合計		<u>75,911,047,662</u>
------	--	-----------------------

## 負債の部

## Ⅳ 流動負債

## 1 未払金

(1) 営業未払金	343,923,396	
-----------	-------------	--

(2) 工事未払金	3,616,311,198	
-----------	---------------	--

(3) その他未払金	<u>49,867,600</u>	4,010,102,194
------------	-------------------	---------------

## 2 前受金

(1) 営業前受金	7,770,089	
-----------	-----------	--

(2) その他前受金	<u>656,270</u>	8,426,359
------------	----------------	-----------

## 3 預 り 金

(1) 預り保証金	15,643,500円		
(2) 預り諸税	8,212,645	23,856,145円	
流動負債合計			4,042,384,698円
負債合計			4,042,384,698

## 資 本 の 部

## V 資 本 金

## 1 自己資本金

(1) 自己資本金	32,972,447,970
-----------	----------------

## 2 借入資本金

(1) 企業債	31,214,294,000
---------	----------------

## 資 本 金 合 計

64,186,741,970

## VI 剰 余 金

## 1 資本剰余金

(1) 国庫補助金	2,433,320,000
(2) 工事負担金	84,488,791
(3) 受贈財産評価額	2,704,865,787
(4) 事業施設建設 受入寄付金	253,977,980
(5) 保険差益	237,653

## 資 本 剰 余 金 合 計

5,476,890,211

## 2 利益剰余金

(1) 減債積立金	9,900,000
(2) 建設改良積立金	5,000,000
(3) 当年度未処分利益剰余金	

繰越利益剰余金  
年度末残高 2,391,035,796円

当年度純損失 200,905,013 2,190,130,783

## 利 益 剰 余 金 合 計

2,205,030,783

## 剰 余 金 合 計

7,681,920,994

## 資 本 合 計

71,868,662,964

## 負 債 資 本 合 計

75,911,047,662



## 貸 借 対 照 表

借 方

貸 方

固 定 資 産	未 払 金	4,010,102,194円	流動負債	40億4千238万4千698円 (5.325%)
	前 受 金	8,426,359	資 本	641 億 8 千 674 万 1 千 970 円  (84.555%)
	預 り 金	23,856,145		
	有形固定資産	68,237,469,507円		
684 億 1 千 万 7 千 25 円  (90.119%)	無形固定資産	156,536,158		
	投 資 資 産	16,001,360		
	自己資本金	32,972,447,970円		
	借入資本金	31,214,294,000		
流動資産	現金及預金	4,168,853,601円	剰 余 金	76億8千192万994円 (10.120%)
	未 収 金	3,112,819,221		
	貯 蔵 品	138,346,522		
	仮 払 金	74,045,541		
74億9千441万5千637円 (9.872%)	その他流動資産	350,752		
	資本剰余金	5,476,890,211円		
	利益剰余金	2,205,030,783		
	繰 延 勘 定	662万5千円 (0.009%)		

## 6. 貸借対照表、損益計算書の比較と分析

## (1) 比較貸借対照表

区 分	3 8 年 度	3 7 年 度	差 引
有 形 固 定 資 産	68,237,469,507	54,097,101,858	14,140,367,649
無 形 固 定 資 産	156,536,158	68,935,180	87,600,978
投 資 資 産	16,001,360	12,856,400	3,144,960
固 定 資 産 計	68,410,007,025	54,178,893,438	14,231,113,587
現 金 及 預 金	4,168,853,601	1,037,835,493	3,131,018,108
未 収 金	3,112,819,221	1,868,215,170	1,244,604,051
貯 蔵 品	138,346,522	100,950,922	37,395,600
仮 払 金	74,045,541	32,886,100	41,159,441
そ の 他 流 動 資 産	350,752	0	350,752
流 動 資 産 計	7,494,415,637	3,039,887,685	4,454,527,952
企 業 債 発 行 差 金	6,625,000	0	6,625,000
繰 延 勘 定 計	6,625,000	0	6,625,000
資 産 合 計	75,911,047,662	57,218,781,123	18,692,266,539
引 当 金	0	56,895,244	△ 56,895,244
固 定 負 債 計	0	56,895,244	△ 56,895,244
未 払 金	4,010,102,194	2,127,974,916	1,882,127,278
未 払 費 用	0	25,482,903	△ 25,482,903
前 受 金	8,426,359	1,170,862	7,255,497
預 り 金	23,856,145	26,807,631	△ 2,951,486
流 動 負 債 計	4,042,384,698	2,181,436,312	1,860,948,386
負 債 計	4,042,384,698	2,238,331,556	1,804,053,142
自 己 資 本 金	32,972,447,970	29,266,247,570	3,706,200,400
借 入 資 本 金	31,214,294,000	21,570,494,400	9,643,799,600
資 本 金 計	64,186,741,970	50,836,741,970	13,350,000,000
資 本 剰 余 金	5,476,890,211	4,014,592,676	1,462,297,535
利 益 剰 余 金	2,205,030,783	129,114,921	2,075,915,862
剰 余 金 計	7,681,920,994	4,143,707,597	3,538,213,397
資 本 合 計	71,868,662,964	54,980,449,567	16,888,213,397
負 債 資 本 合 計	75,911,047,662	57,218,781,123	18,692,266,539



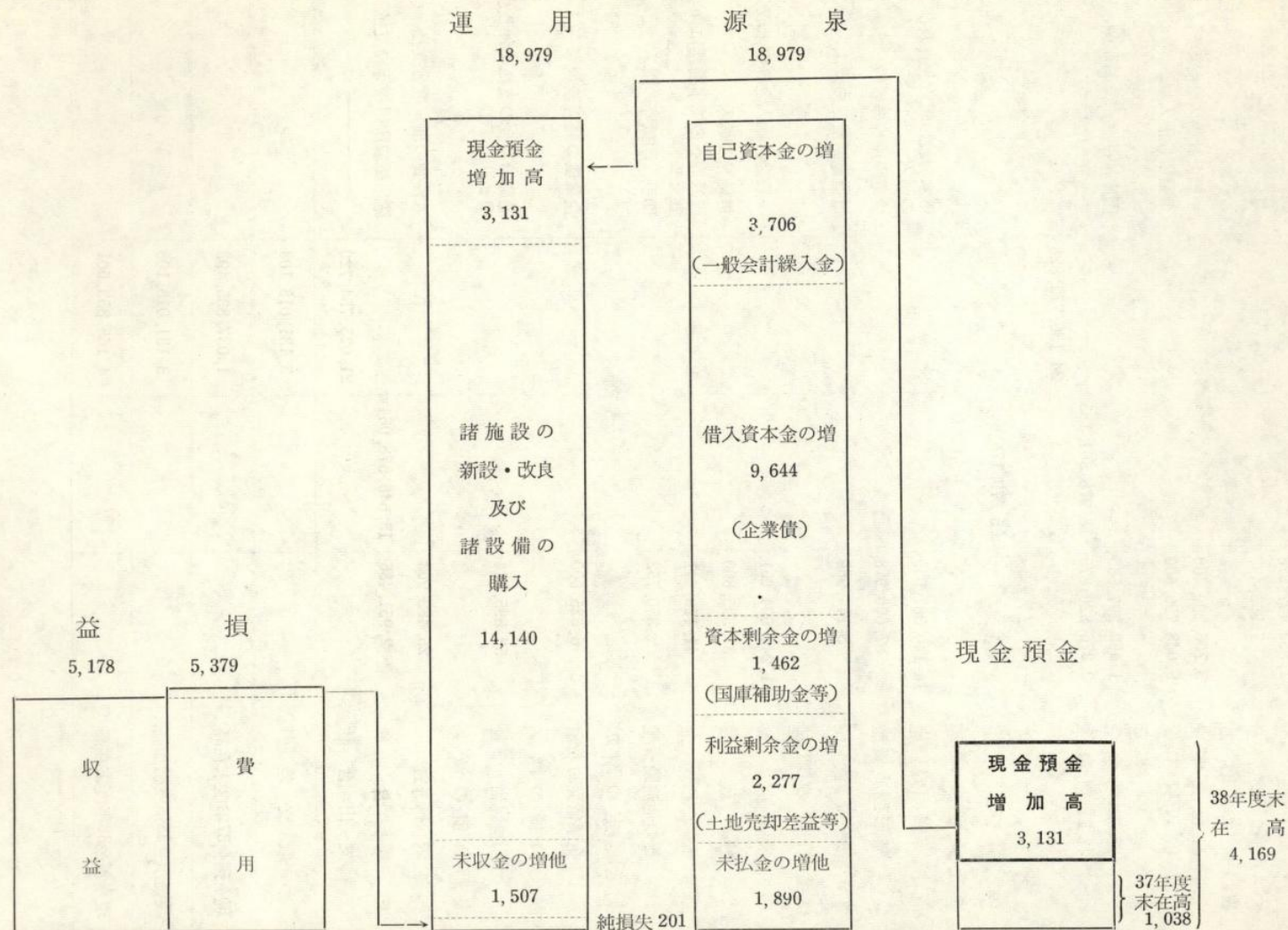
## (2) 損益収支結合表

収 益		円	5,178,271,643	円	
流動負債の増加					
未払金	1,882,127,278				建設改良工事費等の未払分
前受金	7,255,497				管渠改造工事分担金等の概算前受額
資本の増加					
自己資本金	3,706,200,400				一般会計繰入金等の組入れ
借入資本金	9,643,799,600				企業債の借入増
剰余金の増加					
資本剰余金	1,462,297,535				国庫補助金、受贈財産、寄付等
利益剰余金	2,276,820,875	18,978,501,185			土地売却差益
収入合計				24,156,772,828	
費 用			5,379,176,656		
固定資産の増加					
有形固定資産	14,140,367,649				下水施設の新設改良及び諸施設の購入
無形固定資産	87,600,978				受電設備等の新設
投資資産	3,144,960				電信電話債券の購入
流動資産の増加					
未収金	1,244,604,051				一般会計繰入金等の未収分
貯蔵品	37,395,600				材料等の購入
仮払金	41,159,441				国鉄等への工事委託に伴う概算金支払
その他流動資産	350,752				切手、印紙等の購入
繰延勘定の増加					
企業債発行差金	6,625,000				企業債の発行差金
固定負債の減少					
引当金	56,895,244				退職給与金の支払に伴う引当金のとりくずし
流動負債の減少					
未払費用	25,482,903				人件費の前年度分支払
預り金	2,951,486	15,646,578,064			源泉徴収所得税等の支払
支出合計				21,025,754,720	
収支差引				3,131,018,108	
現金預金37年度末在高				1,037,835,493	
現金預金38年度増加高				3,131,018,108	
現金預金38年度末在高				4,168,853,601	

# 資 金 移 動 図 表

(単位 百万円)

26





## (3) 損益計算書、貸借対照表百分比

## 損 益 計 算 書

区 分			金 額	比 率	区 分			金 額	比 率
営 業 費 用			3,709,086,635	68.9	営 業 収 益			3,364,193,625	62.5
営 業 外 費 用			1,670,090,021	31.1	営 業 外 収 益			1,814,078,018	33.7
					計			5,178,271,643	96.2
					当 期 純 損 失			200,905,013	3.8
借 方 合 計			5,379,176,656	100.0	貸 方 合 計			5,379,176,656	100.0
備 考	減 価 償 却 費		938,455,576	17.4	備 考	下 水 道 料 金		2,042,551,928	38.0
	支 払 利 息		1,651,940,621	30.7		受 託 事 業 収 益		241,502,085	4.5
	受 託 事 業 費		241,502,085	4.5		一 般 会 計 繰 入 金		2,373,440,621	44.1

## 貸 借 対 照 表

区 分			金 額	比 率	区 分			金 額	比 率
有 形 固 定 資 産			68,237,469,507	89.891	未 払 金			4,010,102,194	5.283
無 形 固 定 資 産			156,536,158	0.206	前 受 金			8,426,359	0.011
投 資 資 産			16,001,360	0.021	預 り 金			23,856,145	0.031
現 金 及 預 金			4,168,853,601	5.492	自 己 資 本 金			32,972,447,970	43.436
未 収 金			3,112,819,221	4.101	借 入 資 本 金			31,214,294,000	41.119
貯 蔵 品			138,346,522	0.182	資 本 剰 余 金			5,476,890,211	7.215
仮 払 金			74,045,541	0.098	利 益 剰 余 金			2,205,030,783	2.905
そ の 他 流 動 資 産			350,752	0					
企 業 債 発 行 差 金			6,625,000	0.009					
資 産 合 計			75,911,047,662	100.000	負 債 資 本 合 計			75,911,047,662	100.000

(4) 昭和34～38年度比較貸借対照表

区 分 \ 年 度	34 年 度 末	35 年 度 末	36 年 度 末	37 年 度 末	38 年 度 末
	千円	千円	千円	千円	千円
<b>資 産</b>					
固 定 資 産	25,686,798	32,732,911	43,408,075	54,178,893	68,410,007
流 動 資 産	2,531,855	3,802,952	3,556,443	3,039,888	7,494,416
現 金 及 預 金	1,461,585	2,032,909	1,546,792	1,037,836	4,168,854
未 収 金	1,001,164	1,657,025	1,861,787	1,868,215	3,112,819
貯 蔵 品	67,648	108,721	143,247	100,951	138,347
その他流動資産	1,458	4,297	4,617	32,886	74,396
繰 延 勘 定					
企業債発行差金	0	0	0	0	6,625
<b>資 産 合 計</b>	<b>28,218,653</b>	<b>36,535,864</b>	<b>46,964,519</b>	<b>57,218,781</b>	<b>75,911,048</b>
<b>負 債</b>					
固 定 負 債	30,454	38,740	49,382	56,895	0
流 動 負 債	1,398,693	2,520,279	2,749,833	2,181,436	4,042,385
未 払 金	1,394,640	2,452,350	2,671,830	2,127,975	4,010,102
その他流動負債	4,053	67,929	78,003	53,461	32,283
<b>負 債 合 計</b>	<b>1,429,147</b>	<b>2,559,019</b>	<b>2,799,215</b>	<b>2,238,331</b>	<b>4,042,385</b>
<b>資 本</b>					
資 本 金	19,676,962	32,321,715	41,055,271	50,836,742	64,186,742
自己資本金	14,226,466	22,765,139	26,035,850	29,266,248	32,972,448
借入資本金	5,450,496	9,556,575	15,019,421	21,570,494	31,214,294
剰 余 金	7,112,544	1,655,129	3,110,033	4,143,708	7,681,921
資本剰余金	7,095,880	1,629,184	3,060,136	4,014,593	5,476,890
利益剰余金	16,664	25,944	49,897	129,115	2,205,031
欠 損 金	0	0	0	0	0
<b>資 本 合 計</b>	<b>26,789,506</b>	<b>33,976,844</b>	<b>44,165,304</b>	<b>54,980,450</b>	<b>71,868,663</b>
<b>資本、負債合計</b>	<b>28,218,653</b>	<b>36,535,864</b>	<b>46,964,519</b>	<b>57,218,781</b>	<b>75,911,048</b>



## (5) 損益計算書、貸借対照表の分析比率

## (イ) 資産、資本の構成比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位千円)
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{68,410,007}{75,911,048} \times 100 = 90.1$ %
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}}$	$\frac{31,214,294}{75,911,048} \times 100 = 41.1$
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	$\frac{40,654,369}{75,911,048} \times 100 = 53.6$
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$	$\frac{68,410,007}{40,654,369} \times 100 = 168.3$
長期資本対固定資産比率	$\frac{\text{自己資本} + \text{固定負債}}{\text{固定資産}}$	$\frac{71,868,663}{68,410,007} \times 100 = 105.1$
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{7,494,416}{4,042,385} \times 100 = 185.4$
酸性試験比率	$\frac{\text{現金} + \text{預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}}$	$\frac{7,281,673}{4,042,385} \times 100 = 180.1$
現金比率	$\frac{\text{現金} + \text{預金}}{\text{流動負債}}$	$\frac{4,168,853}{4,042,385} \times 100 = 103.1$

## (ロ) 資産、資本の回転率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位千円)
総資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{総資本平均在高}}$	$\frac{3,364,194}{63,424,556} = 0.05$
自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{自己資本平均在高}}$	$\frac{3,364,194}{37,032,163} = 0.09$
固定資産対営業収益回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{固定資産平均在高}}$	$\frac{3,364,194}{61,294,450} = 0.05$

減 価 償 却 率	当 期 償 却 費 減 価 償 却 資 産	$\frac{938,456}{46,837,205}=0.02$
流 動 資 産 回 転 率	営 業 収 益 流 動 資 産 平 均 在 高	$\frac{3,364,194}{5,267,152}=0.64$
現 金 預 金 回 転 率	当 期 支 出 額 現 金 預 金 平 均 在 高	$\frac{17,809,221}{2,603,345}=6.84$
貯 蔵 品 回 転 率	払 出 高 貯 蔵 品 平 均 在 高	$\frac{1,270,473}{119,649}=10.62$
未 収 金 回 転 率	営 業 収 益 営 業 未 収 金 平 均 在 高	$\frac{3,364,194}{2,490,517}=1.35$

(ハ) 損益に関する各種比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位千円)
総 資 本 利 益 率	当 期 純 利 益 総 資 本 平 均 在 高	$\frac{\triangle 200,905}{63,424,556} \times 100 = 0.32 (\%)$
営業収益対営業費用比率	営 業 収 益 営 業 費 用	$\frac{3,364,194}{3,709,087} \times 100 = 90.7 (\%)$
総収益対総費用比率	総 収 益 総 費 用	$\frac{5,178,272}{5,379,177} \times 100 = 96.3 (\%)$
利 子 負 担 率	支 払 利 息 総 負 債 平 均 在 高	$\frac{1,651,941}{29,532,752} \times 100 = 5.6 (\%)$
企業債償還額対減価償却額比率	企 業 債 償 還 額 当 期 償 却 費	$\frac{456,200}{938,456} \times 100 = 48.6 (\%)$
職員1人当営業収益	営 業 収 益 損益勘定所属職員数	$\frac{3,364,194}{1,594} = 2,111 (\text{円})$
職員1人当有形固定資産	有 形 固 定 資 産 全 職 員 数	$\frac{68,237,470}{2,431} = 28,070 (\text{円})$

(注) 本表における用語の説明  
1. 負債 固定負債＋流動負債  
2. 固定負債 借入資本金  
3. 自己資本 自己資本金＋利益剰余金＋資本剰余金  
4. 平均在高 (期首在高＋期末在高) ÷ 2



# 7. 企業債および一時借入金

## (1) 企業債

種 別	発行年月日	発行額	償還高	未償還残高	借入先	発行価格	利 率	償還終期
		内 昭和38年度分 訳 昭和38年度末	内 昭和38年度分 訳 昭和38年度末					
下水道拡張	昭和	円	円	円		円	分 厘	昭和
	24年4月25日	10,100,000,000	450,818,572		資金運用部	99.00円 5,250,000,000	6. 3	63年3月
					簡易保険局		6. 5	
	39年3月28日	32,094,000,000	887,491,546	31,206,508,454	公 募	99.75円 7,100,000,000	7. 2	
					交付公債	100.00円 19,744,000,000	7. 3 7. 5	
管渠移設復旧	21年5月20日	0	1,648,428				3. 2	
	26年3月15日	17,140,000	13,516,454	3,623,546	資金運用部	100.00円	6. 3	51年2月
水害下水道復旧	23年4月30日	0	3,690,000					
	25年3月25日	32,700,000	28,830,000	3,870,000	資金運用部	100.00円	6. 3	42年3月
郊外下水道 改良費	17年5月20日	0	43,400					
		736,400	444,400	292,000	簡易保険局	100.00円	4. 2	45年11月
計		10,100,000,000	456,200,400					
		32,144,576,400	930,282,400	31,214,294,000				

## (2) 支払利息

種 別 年 度	企業債利息	企業債取扱費	計	備 考
38 年 度	1,609,253,023 円	42,687,598 円	1,651,940,621 円	

## (3) 一時借入金

なし

## 第 2 節 固 定 資

## 有 形 固 定 資

資 産 の 種 類	年 度 当 初 現 在 高		当 年 度 増 加 高	
土 地	1,149,785.78 <sup>m<sup>2</sup></sup>	3,939,612,448 <sup>円</sup>	48,034.80 <sup>m<sup>2</sup></sup>	1,143,060,113 <sup>円</sup>
事務所用地	2,329.28	50,288,360	1,328.40	33,151,800
施設用地	1,139,342.59	3,817,026,223	46,706.40	1,109,908,313
その他用地	8,113.91	72,297,865	0	0
立 木	—	7,131,053	—	233,596
建 物	71,503.11	2,728,889,236	15,774.86	828,560,774
事務所用建物	9,286.52	221,899,142	177.93	6,606,599
施設用建物	44,744.85	2,304,227,376	11,819.53	711,099,571
公舎合宿用建物	7,741.26	111,872,328	2,457.43	81,373,212
倉庫車庫用建物	6,645.88	63,281,726	1,273.30	23,254,377
工場用建物	1,095.14	12,599,645	0	2,295,036
その他建物	1,989.46	15,009,019	46.67	3,931,979
構 築 物	—	32,198,625,489	—	8,021,471,343
排水設備	—	25,062,960,287	—	6,481,771,929
処理設備	—	6,647,720,465	—	1,411,111,202
諸設備	—	487,944,737	—	128,588,212
機 械 及 装 置	—	5,444,608,665	—	1,381,194,478
電気設備	—	1,954,164,114	—	460,573,967
ポンプ設備	—	959,836,713	—	570,426,395
処理機械設備	—	2,227,257,699	—	307,003,762
その他機械装置	—	303,350,139	—	43,190,354
車 両 運 搬 具	—	114,013,999	—	10,141,200
器 具 備 品	—	102,309,850	—	18,013,903
建 設 仮 勘 定	—	13,472,384,690	—	10,524,858,006
合 計		58,007,575,430		21,927,533,413



# 産 明 細 書

## 産 明 細 書

当 年 度 減 少 高		年 度 末 現 在 高		減価償却引当金	減価償却未済高
5,359.65 $m^2$	63,869,166 $円$	1,192,460.93 $m^2$	5,018,803,395 $円$	— $円$	5,018,803,395 $円$
0	0	3,657.68	83,440,160	—	83,440,160
4,459.16	63,203,714	1,181,589.83	4,863,730,822	—	4,863,730,822
900.49	665,452	7,213.42	71,632,413	—	71,632,413
—	0	—	7,364,649	—	7,364,649
2,134.26	17,161,817	85,143.71	3,540,288,193	210,187,274	3,330,100,919
81.21	958,540	9,383.24	227,547,201	17,638,482	209,908,719
830.31	13,111,670	55,734.07	3,002,215,277	162,930,902	2,839,284,375
485.62	1,086,078	9,713.07	192,159,462	13,289,958	178,869,504
631.52	1,529,179	7,287.66	85,006,924	9,222,535	75,784,389
0	200,000	1,095.14	14,694,681	3,422,279	11,272,402
105.60	276,350	1,930.53	18,664,648	3,683,118	14,981,530
—	151,807,304	—	40,068,289,528	3,781,580,966	36,286,708,562
—	137,922,251	—	31,406,809,965	3,261,889,117	28,144,920,848
—	11,033,708	—	8,047,797,959	444,329,160	7,603,468,799
—	2,851,345	—	613,681,604	75,362,689	538,318,915
—	131,670,602	—	6,694,132,541	697,517,981	5,996,614,560
—	87,979,542	—	2,326,758,539	186,076,221	2,140,682,318
—	4,631,919	—	1,525,631,189	171,210,763	1,354,420,426
—	38,197,457	—	2,496,064,004	295,201,416	2,200,862,588
—	861,684	—	345,678,809	45,029,581	300,649,228
—	4,611,384	—	119,543,815	61,169,598	58,374,217
—	2,635,695	—	117,688,058	47,273,534	70,414,524
—	6,528,154,015	—	17,469,088,681	—	17,469,088,681
—	6,899,909,983	—	73,035,198,860	4,797,729,353	68,237,469,507

無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
借地権	1,250,156 <sup>円</sup>	19,073,186 <sup>円</sup>	4,616,145 <sup>円</sup>	15,707,197 <sup>円</sup>
電気ガス供給施設利用権	67,685,024	83,273,142	10,129,205	140,828,961
計	68,935,180	102,346,328	14,745,350	156,536,158

投資資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
有価証券	8,856,400 <sup>円</sup>	3,184,960 <sup>円</sup>	40,000 <sup>円</sup>	12,001,360 <sup>円</sup>
長期職員互助組合貸付金	4,000,000	0	0	4,000,000
計	12,856,400	3,184,960	40,000	16,001,360

(有形固定資産) 減価償却費

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
建物	2,820,429,032 <sup>円</sup>	56,242,250 <sup>円</sup>
構築物	29,195,240,788	598,687,309
機械及装置	5,202,456,987	242,473,607
車両運搬具	98,462,353	18,420,541
器具備品	89,794,940	7,886,519
計	37,406,384,100	923,710,226

(無形固定資産)

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
借地権	18,080,102 <sup>円</sup>	4,616,145 <sup>円</sup>
電気ガス供給施設利用権	145,008,056	10,129,205
計	163,088,158	14,745,350



## 第 3 章 下 水 道 計 画

### 第 1 節 東京都市計画下水道

東京の下水道計画は、従来旧東京市下水道、郊外下水道、旧隣接12カ町村下水道の3計画によつて事業を施行してきた。

戦後本都の復興計画に対応して、この3計画を統合した区部全域（練馬区の大部、板橋区の一部及び、新荒川以東を除く）を対象とする、約36,155ヘクタールの地域に下水道計画を策定、昭和25年7月10日建設省告示第740号で、東京都市計画下水道が決定された。しかし、近年における本都の著しい発展、極度の地盤沈下、あるいは集中豪雨の発生などにより、施設の追加変更が必要となつたため、昭和37年3月31日建設省告示第1,092号をもつて、昭和45年度までに区部全域の約70%、37,314ヘクタールの地域に普及を目ざす、計画変更を行なつた。

その後、区部周辺の人口増大、産業の発展などによつて、早急に区部全域に下水道を整備する必要が生じた。このため、これまで計画の対象外にあつた地域を計画に加え、区部全域に下水道計画を策定、昭和39年2月25日建設省告示第292号をもつて、区部全域の東京都市計画下水道が決定された。

この変更理由の主なものは次のとおりである。

(1) 排水区域は、新荒川以東の地域（葛飾区の全部、足立、江戸川両区の大部）および練馬区の大部と中野、板橋両区の一部で、約15,539ヘクタールの地域を追加した。

(2) 隅田川の主な汚染源となつている、新河岸川流域の工場排水や、その他の汚水を処理するための浮間処理場と、その他必要施設を追加した。

なお、この計画では管渠延長10,061,479メートル（延長2,452,379メートルの増）、ポンプ所67カ所（25カ所増）処理場9カ所（3カ所増）、処理施設1カ所となつており、計画内容は後記（3の第1）のとおりである。

### 第 2 節 東京都市計画下水道事業

この計画は昭和25年7月決定の都市計画下水道のうち急施を要する施設を緊急に施行する予定で、昭和28年都市計画事業として決定されたものである。

これは都心部及びその周辺、約19,326ヘクタールの地域について管渠約400,000メートル、ポンプ所7カ所、下水処理場6カ所を事業費90億円をもつて5カ年間に執行する計画であつた。けれども事業が資金難・用地難その他により予定通り進捗せず、更に準用河川と下水幹線の重複を調整する必要が生じた等の理由により再三にわたり年度割を延長してきた。しかし、近年における本都の発展に対処するため、37年3月都市計画下水道の計画変更の際、事業内容を大幅に拡大、昭和45年度までに都市計画下水道全域、37,314ヘクタールについて下水道を完成するよう事業計画を変更し、昭和37年3月31日、建設省告示第1,092



号をもつて決定した。

更に37年12月22日には、都心部の総合的開発の一環として、銭瓶町ポンプ所周辺の市街地再開発が策定された。これに伴い銭瓶町ポンプ所、および主要管渠の移設が必要となり、建設省告示第3,205号をもつて前記の都市計画下水道事業の一部変更を行なつた。

一方、隅田川の汚濁は近年悪化の一途をたどり、環境衛生上種々の問題を提起しつつある。このことから、隅田川の浄化を本格的に推し進めることとなつた。この対策では、隅田川の主要汚染源である、新河岸川、神田川、及び隅田川上流部を浄化しようとするものである。当局では、この対策のひとつとして、新河岸川流域の工場廃水、その他の汚水を処理するため、浮間処理場とその他施設の事業計画を策定した。そして、昭和39年2月25日、建設省告示第292号をもつて決定された。

この事業計画は、従来の「東京都市計画下水道事業」を追加変更したもので、管渠延長5,475,051メートル、ポンプ所40カ所、処理場6カ所（処理能力410,000立方メートル）の施設を総事業費約2,277億円（一部執行済）をもつて施行するもので、施設の大要は、後記（3の第2）のとおりである。

### 第 3 節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業及びその執行年度割の概要

第 1 東京都市計画下水道を次のように変更する。

#### （1）排水区域及び面積

排水区域名	面積 (ヘクタール)	区 域
芝 浦	約 6,328	港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷、各区の大部、並びに文京、品川、目黒、世田谷、豊島、各区の一部
三 河 島	〃 3,936	台東、荒川、両区の全部、及び文京、豊島、両区の大部、並びに千代田、新宿、北、各区の一部
砂 町	〃 3,977	墨田区の全部、及び江東区の大部、並びに中央、足立、江戸川、各区の一部
小 台	〃 4,552	北、板橋、両区の大部、及び新宿、豊島、練馬、足立、各区の一部
落 合	〃 6,151	中野、杉並、両区の大部、及び新宿、世田谷、渋谷、豊島、練馬、各区の一部



排水区域名	面積 (ヘクタール)	区 域
森 ケ 崎	約 12,370	大田区の全部、及び世田谷、品川、目黒、各区の大部並びに渋谷、杉並、両区の一部
小 菅	〃 5,382	足立区の大部並びに葛飾区の一部
葛 西	〃 5,193	葛飾、江戸川、両区の大部
新 河 岸	〃 4,964	練馬区の大部並びに中野、板橋、両区の一部
計	〃 52,853	千代田、中央、港、新宿、文京、台東、墨田、江東、品川、大田、目黒、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、練馬、北、荒川、板橋、足立、葛飾、江戸川、各区の全部

## (2) 下 水 管 渠

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
芝 浦	千駄ヶ谷幹線ほか25幹線	断面 内径45～ 断面 巾750×高360	83,152	
	枝 線		1,270,172	
	計		1,353,324	
三 河 島	尾久幹線ほか14幹線	断面 内径80～ 断面 巾400×高250並列	63,578	
	枝 線		927,428	
	計		991,006	
砂 町	小松川幹線ほか5幹線	管径 内径45～ 断面 巾600×高480	24,346	
	枝 線		831,382	
	計		855,728	
小 台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35～ 断面 巾1,400×高600	32,207	
	枝 線		875,082	
	計		907,289	

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
落 合	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径60～ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,266,435	
	計		1,314,091	
森 ヶ 崎	烏山幹線ほか16幹線	断面 内径45～ 断面 巾2,000×高490	110,991	
	枝 線		2,076,671	
	計		2,187,662	
小 菅	梅田幹線ほか11幹線	断面 内径45～ 断面 巾600×高420	33,047	
	枝 線		639,553	
	計		672,600	
葛 西	中川幹線ほか14幹線	断面 内径50～ 断面 巾600×高480	42,590	
	枝 線		870,510	
	計		913,100	
新 河 岸	練馬幹線ほか5幹線	断面 内径40～ 断面 巾600×高540	41,529	
	枝 線		825,150	
	計		866,679	
合 計			10,061,479	

## (3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	港区新門前町地内	断 面 1,500×500	渋谷川幹線雨水吐口
	他 250 カ 所	省 略	
三 河 島	文京区関口水道町地内	断 面 120×108	雑司ヶ谷幹線雨水吐口
	他 48 カ 所	省 略	
砂 町	墨田区吾嬬町1丁目地内	断 面 400×400	業平橋ポンプ所吐口
	他 13 カ 所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 89 カ 所	省 略	



排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 224 カ 所	省 略	
森 ケ 崎	目黒区下目黒2丁目地内	断 面 2,800×500	目黒川幹線雨水吐口
	他 93 カ 所	省 略	
小 菅	足立区小台大門町地内	断 面 420×252	熊の木ポンプ所吐口
	他 8 カ 所	省 略	
葛 西	葛飾区水元飯塚町地内	断 面 420×210	稲荷ポンプ所吐口
	他 10 カ 所	省 略	
新 河 岸	練馬区北町2丁目地内	断 面 600×480	田柄川幹線雨水吐口
	他 134 カ 所	省 略	

## (4) ポ ン プ 所

主 要 設 備 省 略

排 水 区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	銭 瓶 町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町4丁目地内	0.01
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02	汐 留	中央区銀座東8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	和 泉 町	千代田区神田和泉町地内	0.05	南 千 住	荒川区南千住町8丁目地内	0.16
	日 本 堤	台東区浅草日本堤2丁目 地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56
砂 町	業 平 橋	墨田区吾嬬橋3丁目地内	0.44	越 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08
	三 ノ 橋	墨田区竪川4丁目地内	0.47	東 雲	江東区深川8号埋立地々内	0.30

排水区域名	名称	位置	地積 (ヘクタール)	名称	位置	地積 (ヘクタール)
砂町	佃島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	木場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89
	月島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	千住西	足立区千住桜木町地内	0.40
	千住	足立区千住曙町地内	0.60	小松川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	隅田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62	大島	江東区大島町6丁目地内	0.89
	吾嬬	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62	砂町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小台	志村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	王子	北区豊島2丁目地内	0.47
	志茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	鹿浜	足立区南堀之内町地内	0.70			
森ヶ崎	鮫州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平和島	大田区平和島地内	0.55	羽田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢口	大田区古市町地内	0.50			
小菅	熊の木	足立区大台大門町地内	0.48	五兵衛	足立区五兵衛町地内	0.30
	舎人	足立区入谷町地内	0.12	伊藤谷	足立区五兵衛町地内	0.09
	高野	足立区高野町地内	0.12	普賢寺	足立区普賢寺町地内	0.11
	伊興	足立区伊興町谷下地内	0.08	亀有	葛飾区青戸町4丁目地内	0.51
	梅田	足立区梅田町地内	1.16	本田	葛飾区本田木根川町地内	0.56
	東島根	足立区東栗原町地内	0.12	堀切	葛飾区堀切町1丁目地内	0.58
	加平	足立区東加平町五兵衛町 各地内	0.28			
葛西	稲荷	葛飾区水元飯塚町地内	0.37	西小松川	江戸川区西小松川2丁目地内	0.45
	水元	葛飾区水元小合町地内	0.22	東小松川	江戸川区東小松川1丁目地内	0.57
	新宿	葛飾区新宿町3丁目地内	0.56	前野	江戸川区前野町東篠崎町 各地内	0.42



排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
葛西	細 田	葛飾区奥戸新町地内	0.75	下 鎌 田	江戸川区江戸川2・3丁目 東瑞江2丁目各地内	0.51
	小 岩	江戸川区興之宮町地内	0.60	瑞 江	江戸川区西瑞江町4丁目 地内	0.18
	平 井	葛飾区平井中町地内	0.54	一 之 江	江戸川区東船堀町地内	0.48

(5) 処 理 場

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通 5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森ヶ崎	森ヶ崎	大田区森ヶ崎町及び京浜 三区埋立地内	36.36	〃
小 菅	小 菅	葛飾区小菅町地内	14.32	〃
葛 西	葛 西	江戸川区新田2丁目地先	13.34	〃
新 河 岸	新 河 岸	板橋区新河岸町地内	15.95	〃

(6) その他の施設

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
小 台	浮 間	板橋区舟渡町1丁目 北区浮間町4丁目各地内	4.91	主要施設等省略

第 2 昭和37年12月22日建設省告示，第 3,025 号東京都市計画下水道事業を次のように変更する。

(1) 排水区域及び面積

東京都市計画下水道に同じ

(2) 下 水 管 渠

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
芝 浦	千駄ヶ谷幹線ほか15幹線	断面 内径45～ 断面 巾750×高360	33,407	
	枝 線		578,878	
	計		612,285	

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
三 河 島	尾久幹線ほか13幹線	断面 内径25～ 断面 440×264	29,243	
	枝 線		47,834	
	計		77,077	
砂 町	小松川幹線ほか5幹線	断面 内径45～ 断面 巾600×高480	19,211	
	枝 線		505,009	
	計		524,220	
小 台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35～ 断面 巾1,400×高600	31,116	
	枝 線		761,420	
	計		792,536	
落 合	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径40～ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,247,986	
	計		1,295,642	
森 ヶ 崎	烏山幹線ほか16幹線	断面 内径45～ 断面 巾1,400×高450	103,161	
	枝 線		2,070,130	
	計		2,173,291	
合 計			5,475,051	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	中央区日本橋浜町2丁目地内	管 径 165	浜町ポンプ所吐口
	他 42カ所	省 略	
三 河 島	文京区春日町1丁目地内	断 面 330×330	白山幹線雨水吐口
	他 7カ所	省 略	



排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
砂 町	中野区新佃島東町1丁目地内	断 面 270×162	佃島ポンプ所吐口
	他 9 カ 所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 74 カ 所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 217 カ 所	省 略	
森 ケ 崎	大田区新井宿7丁目地内	断 面 480×336	馬込西幹線雨水吐口
	他 89 カ 所	省 略	

## (4) ポ ン プ 所

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	銭 瓶 町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	汐 留	中央区銀座東8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02			
	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町 4丁目地内	0.01			
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	日 本 堤	台東区浅草日本堤 2丁目地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56
砂 町	業 平 橋	墨田区吾妻橋3丁目地内	0.44	千 住 西	足立区千住桜木町地内	0.40
	三 ノ 橋	墨田区堅川4丁目地内	0.47	千 住	足立区千住曙町地内	0.60
	佃 島	中央区新佃島東町1丁目 地内	0.50	隅 田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62
	月 島	中央区新佃島東町1丁目 地内	0.05	吾 嬬	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
砂 町	趣 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08	小 松 川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	東 雲	江東区深川8号埋立地地内	0.30	大 島	江東区大島6丁目地内	0.89
	木 場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89	砂 町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小 台	志 村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	鹿 浜	足立区南堀之内町地内	0.70
	志 茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮 城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	王 子	北区豊島2丁目地内	0.47			
森 ケ 崎	鮫 州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高 畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜 川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六 郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平 和 島	大田区平和島地内	0.55	羽 田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢 口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処 理 場

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森 ケ 崎	森 ケ 崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地地内	36.36	〃

(6) その他の施設

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
小 台	浮 間	板橋区舟渡町1丁目 北区浮間町4丁目各地内	4.91	主要施設等省略



第 3 昭和37年 3 月31日 建設省告示第1092号都市計画下水道事業の執行年度割を次のように変更する。

自	昭和28年度	約 1 割 7 分
至	昭和37年度	
	昭和38年度	約 7 分
	昭和39年度	約 1 割
	昭和40年度	約 1 割 2 分
	昭和41年度	約 1 割 2 分
	昭和42年度	約 1 割 1 分
	昭和43年度	約 1 割 1 分
	昭和44年度	約 1 割 1 分
	昭和45年度	約 9 分

事業費改訂経過

年次	年 度	第1回(昭和33年3月) 変 更(建設省告示第983号)		第2回(昭和35年3月) 変 更(建設省告示第805号)		第3回(昭和36年3月) 変 更(建設省告示第815号)		第4回(昭和37年3月) 変 更(建設省告示第1,092号)		第5回(昭和39年2月) 変 更(建設省告示第292号)	
		事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合
		千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
1	28	490,760	5.5	490,760	2.5	490,760	1.7	490,760	0.2	490,760	0.2
2	29	434,046	4.8	434,046	2.2	434,046	1.5	434,046	0.2	434,046	0.2
3	30	744,073	8.3	744,073	3.7	744,073	2.5	744,073	0.3	744,073	0.3
4	31	1,047,411	11.6	1,047,411	5.3	1,047,411	3.6	1,047,411	0.5	1,047,411	0.5
5	32	2,226,000	24.7	2,032,984	10.2	2,032,984	6.9	2,032,984	0.9	2,032,984	0.9
6	33	3,000,000	33.3	2,909,780	14.6	2,909,780	9.9	2,909,780	1.3	2,909,780	1.3
7	34	1,057,710	11.8	4,476,950	22.5	4,171,154	14.2	4,171,154	1.9	4,171,154	1.8
8	35			7,774,050	39.0	8,010,000	27.3	7,181,363	3.3	7,181,363	3.1
9	36					9,500,000	32.4	10,578,011	4.9	9,666,337	4.2
10	37							12,000,000	5.5	10,667,618	4.5
11	38							25,000,000	11.5	17,357,151	7.0
12	39							27,000,000	12.4	21,780,000	10.0
13	40							26,000,000	12.0	28,000,000	12.0
14	41							26,000,000	12.0	27,500,000	12.0
15	42							24,000,000	11.0	24,342,849	11.0
16	43							20,000,000	9.2	24,000,000	11.0
17	44							16,000,000	7.3	24,000,000	11.0
18	45							12,126,708	5.6	21,390,764	9.0
	計	9,000,000	100.0	19,910,054	100.0	29,340,208	100.0	217,716,290	100.0	227,716,290	100.0

第 4 章 下水道事業経過

第 1 節 下水道事業認可関係

明治37年 2 月東京市区改正委員会は、中島鋭治博士を臨時委員に推し、東京市下水道設計調査を委嘱した。この結果40年 3 月にその成果を得、同委員会はこれを設計・財源・衛生の 3 部門に分けて審査したうえ、41年 3 月内閣の認可を得た。ここに初めて東京の改良下水道事業の確立をみるに至つたのである。

翌42年市会は、工事費半額の国庫補助詮議方意見書を内務大臣に提出、44年 5 月に至り、内務・大蔵大臣より第 1 期事業（工費6,130,000円、自44年 至 48 年の 5 カ年継続）の認可を得た。直ちに下水改良事務所を設置して事務を開始することとなつた。

しかし、その後降雨量・交通量その他の状況の変遷から、原設計の一部変更の必要が生じた。このため、総工費を 6,300,000 円、継続年限を大正 7 年度まで延長する計画をたて、大正12年11月内務・大蔵両大臣の認可を得た。これにより同年第 1 期下水道改良工事に着手するに至つた。

その後約40年間、下表のように多くの工事が行なわれた。戦後は東京都の復興と対応して、昭和25年東京区部の大部の68%にわたる東京都市計画下水道をたて、これを基本として事業を執行してきた。

昭和37年 3 月には、荒川以東と練馬区の大部、板橋区の一部を除く区部70%について都市計画決定を受けた（昭和37年12月、都心部再開発計画により一部変更）。さらに昭和39年 2 月、残る30%について都市計画決定を受け、これにより都内区部23区 100 %の都市計画下水道が完成したのである。

現在、この計画により鋭意工事中である。

第 1 期下水道改良工事以後の認可関係は、下表のとおりである。

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可	執行	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号	事業費	年度		
第 1 期下水道 改良工事	—	—	(市区改 正認可)	明 41. 3. 26	内閣批 第 32 号	(市区改正 認可)丙 明44. 3. 29 第 318 号 大 2. 11. — 同 9. 3. 31 内務省告示 同13. 3. 29 第 162 号	円 15,000,000	自明44 至大12	第 2 区の 大部	
下水渠一部 造成工事	—	—	同	同	同	(市区改正 認可) 大 3. 5.	— 2,520,000	自大 5 至同 9	第 1 区の 一部	
第 2 期下水道 改良工事	—	—	同	同	同	大 9. 12. 8  大13. 4. 1 内務省告示 同13. 10. 27 第 172 号 同13. 12. 29 第 677 号	— 20,000,000	自大 9 至同12	第 1 区の 一部	
帝都復興下水 道改良工事	—	—	大 13. 12. 29	同	内務省告示 第 795 号	昭 4. 3. 29 第 796 号 同 5. 3. 29 第 63 号 同 6. 3. 31 第 71 号	40,211,321	自大12 至昭 6	震災焼失 下町一帯	



事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可	施行	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号	事業費	年度		
継続都市計画 速成工事	昭 5. 9. 13	内務省東衛 第1,402号	同	同	大14. 8. 11 昭3. 9. 20 同5. 8. 13 同9. 4. 20	内務省告示 第140号 第153号 第159号 第217号	円 5,740,695	自大14 至昭9	神田、日 本橋、京 本所 深川各 を深く市 内各方面	千川改修 のみ築造 認可を受 く
管渠移転工事	—	—	—	—	—	—	2,454,911	自大14 至昭9	第2区の 大部	
下水道応急 整理工事	—	—	—	—	—	—	1,600,000	自大15 至昭4	区画整理 に伴う既 設下水管 の整理	
失業救済工事 昭和2年度	—	—	大13. 12. 26	内務省告示 第795号	—	—	355,108	昭2	山の手 方面	
失業救済工事 昭和3年度	昭 4. 3. 27	内務省東衛 第134号	同	同	—	—	461,624	昭3		
失業救済工事 昭和4年度	4. 11. 15	内務省東衛 第1,087号	同	同	昭5. 1. 30	内務省告示 第20号	1,932,460	昭4		
昭和5年度 速成工事	5. 11. 25	内務省東衛 第593号	同	同	大14. 8. 11 昭5. 8. 13	内務省告示 第140号 第159号	3,000,000	自昭5 至同7		市内31箇 所
第2改良 速成工事	6. 3. 21 8. 3. 31	内務省東衛 第2号 第1,191号	同	同	大4. 8. 11 昭5. 12. 29 同8. 4. 11	内務省告示 第140号 第257号 第76号	8,250,000	自昭5 至同8	市内70箇 所	
失業救済工事 昭和6年度 (冬期)	7. 3. 23	内務省東衛 第83号	同	同	大14. 8. 11 昭7. 4. 11	内務省告示 第140号 第76号	500,000	自昭6 至同7	市内14箇 所	
失業救済工事 昭和7年度 (夏期)	7. 12. 23	内務省東衛 第1,112号	同	同	大14. 8. 11 昭8. 3. 27	内務省告示 第140号 第81号	476,184	自昭7 至同8	市内12箇 所	
継続都市計画 完成(第1期) 工事	9. 3. 31 11. 3. 31	内務省東衛 第1,191号 内務省東衛 第1,536号	同	同	昭8. 8. 12 同10. 4. 16 同17. 4. 23	内務省告示 第251号 第265号 第227号	38,500,000	自昭7 至同19	市内未完 成部分	当初 36,500, 000 の処 2,000 000 追加認可 を得
大崎町下水道 事業(第1期)	大 13. 3. 26	内務省東衛 第27号	—	—	—	—	794,723	自大13 至昭6	旧大崎町 の中央部	
大崎町下水道 事業(第2期)	昭 5. 9. 9 11. 6. 23	内務省2東衛 第959号 内務省10東衛 第92号	昭8. 12. 24 9. 4. 20 10. 4. 19	内務省告示 第327号 第218号 第280号	昭3. 12. 24 同9. 4. 20 同10. 4. 10	内務省告示 第327号 第218号 第208号	798,000	自昭5 至同10	同 上 残部区域	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可	施行	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号	事業費	年度		
高田町 下水道事業	昭 6. 5. 23	内務省 5 東衛 第 1,562 号	昭 5. 12. 29	内務省告示 第 250 号	昭 5. 12. 29 同 11. 4. 24 同 14. 4. 21	内務省告示 第 250 号 第 276 号 第 235 号 第 284 号	2,118,000	自昭 5 至同 21	旧高田町 区域	
西巢鴨町 下水道事業	8. 3. 31	内務省 6 東衛 第 1,136 号	8. 2. 23	内務省告示 第 37 号	昭 7. 2. 23 同 17. 4. 23	内務省告示 第 37 号 第 229 号	2,910,000	自昭 6 至同 21	旧西巢鴨 町 全 域	
巢鴨町 下水道事業	5. 3. 18	内務省 4 東 衛第 451 号	5. 1. 30 9. 4. 20 10. 4. 16	内務省告示 第 18 号 第 218 号 第 281 号	昭 5. 1. 30 同 9. 4. 20 同 10. 4. 16	内務省告示 第 18 号 第 218 号 第 281 号	1,273,282	自昭 4 至同 10	旧巢鴨町 全 域	
王子町 下水道事業	4. 3. 25	内務省 3 東 衛第 123 号	3. 12. 24 5. 12. 23	内務省告示 第 326 号 第 244 号	昭 3. 12. 24 同 5. 12. 23 同 18. 5. 10	内務省告示 第 326 号 第 244 号 第 284 号	3,135,207	自昭 3 至同 21	旧王子町 大 部	
尾久町下水道 事業(第 1 期)	3. 1. 31	内務省 2 東 衛第 777 号	—	—	—	—	1,077,145	自昭 2 至同 7	旧尾久町 中 央 部	
尾久町下水道 事業(第 2 期)	7. 7. 5	内務省 6 東 衛 第 55 号	7. 4. 11	内務省告示 第 77 号	昭 7. 4. 11 同 12. 4. 9 同 14. 4. 24 同 14. 4. 18	内務省告示 第 77 号 第 225 号 第 234 号 第 261 号	1,510,650	自昭 7 至同 15	同上残部	
南千住町, 日 暮里町, 三河 島町下水道事 業	6. 5. 30	内 務 省 5 東 衛 第 1,457 号	5. 12. 29	内務省告示 第 253 号	昭 5. 12. 29 同 11. 4. 27 同 14. 2. 24 同 18. 5. 10	内務省告示 第 253 号 第 275 号 第 235 号 第 284 号	5,380,000	自昭 6 至同 21	旧南千住 旧日暮里 旧三河島 各町の一 部	東部下水 道町村組 合改良下 水道事業
大久保町下水 道事業(第 1 期)	3. 10. 31	内務省東衛 第 18 号	—	—	—	—	478,046	自昭 3 至同 6	旧大久保 町の一部	
大久保町下水 道事業(第 2 期)	7. 9. 30	内務省東衛 第 1,007 号	7. 10. 4	内務省告示 第 241 号	昭 9. 1. 10 同 17. 4. 23	内務省告示 第 5 号 第 230 号	1,026,000	自昭 8 至同 21	同上残部	
滝野川町 下水道事業	8. 12. 19	内務省東衛 第 1,249 号	7. 10. 4	内務省告示 第 242 号	昭 9. 1. 10 同 11. 4. 23	内務省告示 第 5 号 第 232 号	3,494,000	自昭 8 至同 21	旧滝野川 町の一部	都市計画 事業は合 併して年 割決定



事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可	施行	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号	事業費	年度		
郊外下水道 事業 砂町系統の 一部 吾嬬排水区	昭 11. 3. 31	内務省 10 東衛 第 2 号	昭 5. 3. 29	内務省告示 第 65 号	昭 10. 4. 16 同15. 4. 18 同16. 4. 23 同18. 5. 10	内務省告示 第 271 号 第 261 号 第 231 号 第 284 号	円 3,000,000	自昭11 至同21	向島区の 内寺島町、 吾嬬町の 一部	都市計画 経費へ 3,890, 000
千住町下水道 事業(第1期)	大 11. 2. 2	内務省9東 衛第945号	—	—	—	—	589,953	自大10 至同15	旧千住町 の中央部	
千住町下水道 事業(第2期)	昭 2. 12. 8	内務省東衛 第 903 号	昭 2. 3. 28	内務省告示 第 296 号	昭 2. 3. 28 同 7. 2. 23 同 7. 4. 4	内務省告示 第 296 号 第 39 号 第 66 号	930,000	自昭 2 至同 7	同上荒川 以東の残 部	臨時部と して引続 き後残部 施行
都市計画 下水道				建設省告示 25. 7. 10 第 740 号	昭28. 10. 12	建設省告示 第 1,358 号	9,000,000	自昭28 至同31		千代田区 他20区の 中既定区 域の50% と新区域 の急施を 要する箇 所を選定
				(変更) 建設省告示 28. 10. 12 第 1,358 号	昭33. 3. 31	建設省告示 第 983 号		自昭28 至同34		
					昭35. 3. 31	第 805 号		自昭28 至同35		
					昭36. 3. 29	第 815 号		自昭28 至同36		
				建設省告示 37. 3. 31 第 1,092 号	昭37. 3. 31	第 1,092 号	217,716, 000,000	自昭28 至同45	新荒川以 西	練馬区の 大部、板 橋区の一 部を除く
				37. 12. 22 建設省告示 第 3,205 号	同 上	同 上	同 上	同上	同上	同上
自 昭和32年 至 昭和41年 下水道	昭 34. 3. 11	建33東計 第 47 号					36,600,000	自昭32 至同41		昭和32年 既定区域 を 100 % 新区域を 45.5%施 行に変更
	34. 3. 23	厚東衛 第 570 号								
都市計画 下水道				建設省告示 39. 2. 25 第 292 号	昭39. 2. 25	第 3,205 号	227,716,000	自昭28 至同45	新荒川以 東及練馬 区の大部 及中野板 橋各区の 一部	

## 第2節 施行済の事業

### (1) 東京都市計画東京市下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘 要
	円	円	m		
第1期下水道改良工	15,000,000	14,618,123	135,818	自明治44年 至大正12年	浅草区、下谷区の大部、本郷区、神田区の一部並びに田町和泉町ポンプ所及び三河島処理場竣工
下水渠一部速成工事	2,520,000	2,497,989	14,876	自大正 5年 至同 9年	山の手及び下谷方面芝区の内雨水氾濫箇所に対し施行
第2期下水道改良工	20,000,000	4,311,283	35,115	自大正 9年 至同 12年	麴 町、日本橋、京橋区の一部並 銭瓶町ポンプ所の一部施行、震災 の為打切
帝都復興下水道改良工	40,211,321	39,603,453	280,057	自大正12年 至昭和 6年	焼失区域一帯並びに芝浦、銭瓶町 木場、業平、三ノ橋各ポンプ所、 砂町処理場
管渠移転工事	2,454,911	2,310,518	102,567	自大正14年 至昭和 5年	震災後区画整理に伴う第1期区域 内、下水道の移転整理
下水道応急整理工事	1,600,000	948,402	30,465	自大正15年 至昭和 4年	震災後区画整理に伴う第1期区域 内、既設計下水道の整理
失業救済工事 (昭和2年度)	355,108	340,415	2,518	自昭和 2年 至同 3年	山の手方面雨水氾濫箇所に対し施 行
〃 (昭和3年度)	461,624	428,477	4,472	昭和 3年	〃
〃 (昭和4年度)	1,932,460	1,711,460	17,563	自昭和 4年 至同 5年	全市域に亘り雨水氾濫箇所に行 施
昭和5年度速成工事	3,000,000	2,674,854	39,619	自昭和 5年 至同 7年	同並に急施を要すべき箇所に施行
失業救済工事 (昭和6年度)	500,000	455,538	12,285	自昭和 6年 至同 7年	〃
〃 (昭和7年度)	500,000	461,219	8,516	自昭和 7年 至同 8年	〃
昭和5.6.7年度 第2改良速成工事	8,250,000	7,561,665	120,534	自昭和 5年 至同 8年	同並びに芝浦ポンプ所の拡張
継続都市計画 速成工事	5,740,695	5,600,286	33,792	自大正14年 至昭和 9年	全市域並びに急施を要すべき箇所
継続都市計画 完成下水道改良工事	38,500,000	27,688,297	336,689	自昭和 7年 至同 19年	同市域内下水道の内ポンプ所下水 処理場の完成管渠残部の約5割
計	141,026,119	111,211,979	1,174,886		
下水課以外にて施行	9,905,046	9,905,064	247,700	昭和19年度	復興局・府・市・道路改修施行せ るものの工費推計による
全市域合計	150,931,183	121,117,043	1,422,586		



## (2) 東京都市計画郊外下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘要
	円	円	m		
大崎町(第1期工事)	746,263	746,263	24,812	自大正13年 至昭和6年	市域併合以前旧大崎町地内に施行
同(第2期工事)	273,369	273,369	20,246	自昭和5年 至同7年	〃
大久保町 (第1期工事)	408,763	408,763	10,066	自昭和3年 至同6年	市域併合以前旧大久保町地内に施行
〃(第2期工事)	4,743	4,743	—	昭和7年	〃
高田町	527,407	527,407	10,669	自昭和5年 至同7年	市域併合以前旧高田町地内に施行
西巣鴨町	68,829	68,829	514	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧西巣鴨町地内に施行
巣鴨町	674,982	674,982	27,998	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧巣鴨町地内に施行
王子町	731,194	731,194	10,826	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧王子町地内に施行
尾久町(第1期工事)	779,144	779,144	27,731	自昭和2年 至同7年	市域併合以前旧尾久町地内に施行
〃(第2期工事)	10,050	10,050	196	昭和7年	〃
東部下水道町村組合	837,842	837,842	9,034	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧日暮里, 三河島, 南千住町地内に施行
千住町(第1期工事)	507,995	507,995	13,149	自大正10年 至同15年	市域併合以前旧千住町地内に施行
〃(第2期工事)	819,869	819,870	28,019	自昭和2年 至同7年	〃
臨時部下水道 千住町工事	27,000	23,355	703	昭和7年	千住町(第2期)残部市域併合後 旧千住町地内に施行
継続郊外下水道 改良工事	15,800,000	15,440,595	285,197	自昭和7年 至同19年	新市域内旧町村にて施行中のものを 引継ぎ旧市域併合後一部追加施行す
計	22,217,450	21,854,401	469,160		
下水課以外にて施行	2,228,612	2,228,612	56,301	昭和19年度	府, 市道路に伴い施行せるものの 工費は推計による
新市域合計	24,446,062	24,083,013	525,461		
総計	175,377,245	145,200,056	1,948,047		

備考 継続都市計画完成下水道改良工事, 及び継続郊外下水道改良工事は, 戦時に際し, 昭和19年度限り国庫補助中止となつたため, 同年度限り工事打切りとした。

(3) 終 戦 後 施 行

事業名	予算額	決算額	竣工延長	施行年度	備 考
下水道復旧	円 15,795,000	円 15,795,000	m —	昭和 年度 20—23	戦災箇所及び戦時未補修のまま機能低下または停止をみた箇所を復旧
計	15,795,000	15,795,000	—	—	23年度で完了
下水道復旧	6,615,000	5,106,000	2,262	21	区画整理地区内の下水管移設及び新管を敷設する
〃	900,000	900,000	569	22	〃
管渠移設	8,550,000	8,500,000	2,090	23	〃 (事業名変更)
〃	15,500,000	15,500,000	2,614	24	〃
〃	29,500,000	25,402,460	8,286	25	〃
〃	40,000,000	39,129,844	9,649	26	〃
〃	56,000,000	55,245,816	11,649	27	〃
〃	60,000,000	58,017,088	11,805	28	〃
〃	57,000,000	51,828,572	10,415	29	〃
〃	85,000,000	79,776,048	16,243	30	〃
〃	139,195,995	122,992,105	23,125	31	〃
〃	95,000,000	88,456,072	12,832.2	32	〃
計	593,260,995	550,854,005	111,559.2		
下水道増補改良	82,500,000	21,473,830		21—25	既存設備の改良増補
計	82,500,000	21,473,830			
下水道拡張	増補改良事業費に含む 20,000,000	11,645,000	209	23	下水道施設を拡張する
〃	同上 30,000,000	18,923,856	1,883	24	〃
〃	20,000,000	10,226,413	1,146	24	〃
〃	206,000,000	55,134,095	4,364	25	〃
〃	309,000,000	159,962,267	14,296	26	〃
〃	479,323,469 (144,391,984)	257,601,869	17,992	27	〃
〃	721,721,600 (221,721,600)	490,760,207	15,267	28	〃
〃	830,961,393 (230,961,393)	434,046,434	22,075	29	〃
〃	749,898,877 (149,898,877)	413,675,924	26,373.6	30	〃
〃	1,633,000,000	1,047,411,361	74,588	31	〃
〃	2,226,000,000	2,032,984,363	82,103.5	32	〃
〃	3,179,200,000 (179,200,000)	2,909,780,265	74,745.7	33	〃
〃	4,731,000,000 (231,000,000)	4,171,154,459	77,109.87	34	〃
〃	8,010,000,000 (410,000,000)	7,181,363,259	83,872.76	35	〃
〃	10,580,200,506 (538,010,506)	9,666,336,043	77,860.00	36	〃
〃	12,060,000,000 (60,000,000)	10,667,617,617	105,240.78	37	〃
〃	17,357,150,911 (515,150,911)	14,636,505,985	157,222.90	38	〃
計	63,143,456,756	54,165,129,417	836,349.11		



## 第 5 章 営 業

### 第 1 節 営 業 一 般

昭和27年10月、地方公営企業法が都条例第82号により下水道事業に全面的に適用され、企業会計制度が確立するとともに、上下水道営業事務が一元化され、料金も上下水道一体で徴収されてきた。

その後37年4月に下水道局が発足してからも、都民の利便や企業の経済性発揮等の理由により、下水道料金の徴収は水道局に委託し、従前通り同時徴収が行なわれている。

### 第 2 節 下水道使用件数

都においては、急激な人口の増大と諸産業の集中等により公共施設の完備が急務とされている。下水道についても、都市の健全な発展と公衆衛生の向上に寄与するため、重点施策として32年から48年度までの長期計画が立てられ、23区全域100%普及を目標として実施されている。

したがって、下水道使用件数も年々増加し、38年度末の使用件数はつぎのとおりである。

#### 水 道 汚 水 徴 収 件 数

(甲地区)

年 度	業 種	計		一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用
		件 数	指 数				
30 年 度 末		315,833 <sup>件</sup>	100	286,208 <sup>件</sup>	18,701 <sup>件</sup>	569 <sup>件</sup>	10,355 <sup>件</sup>
31	〃	336,881	106	307,588	19,166	597	9,530
32	〃	355,606	112	327,076	19,218	623	8,689
33	〃	371,649	117	343,158	20,080	638	7,773
34	〃	387,499	122	359,243	20,588	643	7,025
35	〃	399,652	126	372,171	20,677	642	6,162
36	〃	415,433	131	387,927	20,879	654	5,973
37	〃	431,419	136	404,080	21,226	648	5,465
38	〃	480,418	152	450,960	22,800	669	5,989

(乙地区)

30 年 度 末	74,307 <sup>件</sup>	100	62,376 <sup>件</sup>	2,116 <sup>件</sup>	137 <sup>件</sup>	9,678 <sup>件</sup>
31	73,530	98	62,428	2,055	137	8,910
32	74,208	99	63,865	2,113	133	8,097
33	76,963	103	67,096	2,231	129	7,507
34	81,001	109	71,875	2,494	136	6,496
35	87,106	117	78,498	2,687	137	5,784
36	92,808	124	85,020	2,811	138	4,839
37	100,674	135	93,058	3,107	159	4,350
38	94,974	127	88,813	2,687	152	3,322

注 乙地区の徴収件数減は、北区、荒川区の告示替によるものである。

井戸汚水使用件数

(甲地区)

(乙地区)

業種 年度	手 動		動 力		湧水	手 動		動 力	
	専 用	併 用	浴場用	その他		専 用	併 用	浴場用	その他
30 年	1,257 <sup>件</sup>	5,967 <sup>件</sup>	341 <sup>件</sup>	1,630 <sup>件</sup>	15 <sup>件</sup>	128 <sup>件</sup>	904 <sup>件</sup>	85 <sup>件</sup>	216 <sup>件</sup>
31 〃	1,294	6,069	378	1,945	18	134	924	111	297
32 〃	1,325	6,156	396	2,395	19	130	928	118	387
33 〃	1,308	6,167	429	2,633	25	138	927	124	455
34 〃	1,302	6,221	448	3,136	28	218	1,008	128	501
35 〃	1,117	6,094	464	3,573	46	200	1,024	127	596
36 〃	1,004	6,052	473	3,975	74	212	1,003	120	666
37 〃	913	6,079	473	4,384	76	295	1,062	132	790
38 〃	923	5,903	483	5,335	79	494	1,070	120	1,115

行政区別徴收件数調

(39年3月末)

種 別 区 別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	便 器		徴収現在数	井戸件数
			大 便 器	小 便 器		
全 区	480,418 <sup>件</sup>	12,723 <sup>件</sup>	566,902 <sup>個</sup>	191,937 <sup>個</sup>	94,974 <sup>件</sup>	2,799 <sup>件</sup>
千 代 田	24,437	399	56,804	29,567	—	—
中 央	34,235	169	59,844	32,381	—	—
港	55,624	1,092	74,755	25,667	738	31
新 宿	57,688	2,869	63,428	19,087	7,347	164
文 京	50,786	1,709	53,995	16,823	0	—
台 東	58,445	1,085	76,410	23,555	—	—
墨 田	28,166	140	34,600	10,504	4,177	21
江 東	26,759	83	28,553	7,309	821	—
品 川	732	121	768	302	11,720	481
目 黒	756	28	830	266	159	—
大 田	—	—	—	—	59	3
世 谷	—	—	—	—	—	—
渋 谷	20,934	150	11,611	2,828	1,906	109
中 野	—	—	—	—	8,523	53
杉 並	—	—	—	—	2,010	49
豊 島	40,493	3,472	38,663	10,176	9,923	1,108
北	39,994	1,259	27,611	5,970	7,873	316
荒 川	40,778	137	38,679	7,436	15,392	118
板 橋	215	6	188	40	2,415	205
練 馬	—	—	—	—	—	—
足 立	376	4	193	26	21,881	140
葛 飾	—	—	—	—	—	—
江 戸 川	—	—	—	—	30	1



## 水道局支所別徴收件数調

(39年3月末)

種 別 支所別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	大 便 器	小 便 器	徴収現在数	井戸件数
全 支 所	480,418 <sup>件</sup>	12,723 <sup>件</sup>	566,902 <sup>個</sup>	191,937 <sup>個</sup>	94,974 <sup>件</sup>	2,799 <sup>件</sup>
中 央	128,390	2,429	209,298	93,266	738	31
中 央	43,142	629	57,331	20,117	441	14
鎌倉河岸	58,672	509	116,648	61,948	—	—
大 木 戸	26,576	1,291	35,319	11,201	297	17
東部第一	54,925	223	63,153	17,813	5,028	22
東部第一	985	4	824	192	4,888	21
千 歳 町	53,940	219	62,329	17,621	110	—
江 戸 川	—	—	—	—	30	1
東部第二	41,154	141	38,872	7,462	37,273	258
東部第二	40,778	137	38,679	7,436	15,392	118
足 立	376	—	193	26	21,881	140
葛 飾	—	—	—	—	—	—
西 部	18,716	1,388	19,305	6,788	17,880	266
西 部	18,716	1,388	19,305	6,788	7,347	164
中 野	—	—	—	—	8,523	53
杉 並	—	—	—	—	2,010	49
南部第一	732	121	768	302	11,779	484
南部第一	—	—	—	—	180	3
荏 原	732	121	768	302	11,599	481
雪ヶ谷	—	—	—	—	—	—
蒲 田	—	—	—	—	—	—
南部第二	21,690	178	12,441	3,094	2,065	109
南部第二	—	—	—	—	—	—
目 黒	756	28	830	266	159	—
澁 谷	20,934	150	11,611	2,828	1,906	109
北部第一	174,602	6,919	195,266	57,202	9,923	1,108
北部第一	40,493	3,472	38,633	10,176	9,923	1,108
神楽河岸	75,664	2,362	80,223	23,471	—	—
三 筋 町	58,445	1,085	76,410	23,555	—	—
北部第二	40,209	1,265	27,799	6,010	10,288	521
北部第二	215	6	188	40	2,415	205
王 子	39,994	1,259	27,611	5,970	7,873	316
営 業 部		59				

### 第 3 節 下水道使用数量

生活水準の向上による電気洗濯機、水洗便所の普及、産業、人口の集中、高層ビルの激増及び冷房装置の普及等に加え、下水道の普及による使用件数の増加も多く、下水道の使用数量は年々増大している。

38年度水道汚水の用途別使用量は、つぎのとおりである。

用 途 別 使 用 水 量 表 (水道汚水)

(甲地区)

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	140,092,547 <sup>m<sup>3</sup></sup>	26,464,605 <sup>m<sup>3</sup></sup>	7,594,321 <sup>m<sup>3</sup></sup>	845,800 <sup>m<sup>3</sup></sup>	174,997,273 <sup>m<sup>3</sup></sup>
34	154,798,592	29,543,939	7,667,943	756,380	192,766,854
35	170,817,596	32,222,823	7,619,596	660,556	211,320,571
36	186,191,291	36,485,630	7,656,850	660,875	230,994,646
37	181,192,727	34,147,182	6,962,062	600,400	222,902,371
38	199,268,390	38,274,401	6,884,004	549,590	244,976,385

(乙地区)

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	18,120,801 <sup>m<sup>3</sup></sup>	1,038,166 <sup>m<sup>3</sup></sup>	906,537 <sup>m<sup>3</sup></sup>	777,935 <sup>m<sup>3</sup></sup>	20,843,439 <sup>m<sup>3</sup></sup>
34	20,041,647	1,332,677	775,882	711,177	22,861,383
35	22,886,929	1,684,498	908,692	594,073	26,074,192
36	25,653,785	2,087,171	930,177	541,058	29,212,191
37	27,770,179	2,424,064	933,814	489,277	31,617,334
38	29,494,065	2,162,850	936,152	367,053	32,960,120



38年度用途別使用水量表 (水道污水)

(甲地区)

用途 月別	一 般 用			営 業 用			浴 場 営 業 用			共 用			計		
	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量	使用水量	件 数	1件当り 使用量
総 計	199,268,390 <sup>m<sup>3</sup></sup>	5,174,924 <sup>件</sup>	38.5 <sup>m<sup>3</sup></sup>	38,274,401 <sup>m<sup>3</sup></sup>	265,137 <sup>件</sup>	144.3 <sup>m<sup>3</sup></sup>	6,884,004 <sup>m<sup>3</sup></sup>	7,933 <sup>件</sup>	867.7 <sup>m<sup>3</sup></sup>	549,590 <sup>m<sup>3</sup></sup>	63,134 <sup>件</sup>	8.7 <sup>m<sup>3</sup></sup>	244,976,385 <sup>m<sup>3</sup></sup>	5,511,128 <sup>件</sup>	44.4 <sup>m<sup>3</sup></sup>
4	13,825,497	419,340	33.0	2,529,061	20,440	123.7	562,225	627	896.6	33,735	4,329	7.7	16,950,518	444,736	38.1
5	14,946,318	403,042	37.1	2,842,548	21,878	129.9	588,955	666	884.3	50,759	5,770	8.7	18,428,580	431,356	42.7
6	16,687,308	428,500	38.9	3,134,754	21,174	148.0	591,438	635	931.3	43,982	4,633	9.4	20,457,482	454,942	44.9
7	16,863,991	410,313	41.1	3,205,489	22,102	145.0	568,150	688	825.7	54,514	5,659	9.6	20,692,144	438,762	47.1
8	19,478,453	441,056	44.1	3,774,359	21,685	174.0	691,408	662	1,044.0	50,180	5,026	9.9	23,994,400	468,429	51.2
9	19,536,809	414,832	47.1	3,888,635	21,999	176.7	636,664	703	905.6	59,508	5,892	10.0	24,121,616	443,426	54.3
10	18,738,449	452,438	41.4	3,688,212	22,316	165.2	580,035	652	889.6	47,193	5,036	9.3	23,053,889	480,442	47.9
11	16,808,866	416,912	40.3	3,307,494	22,273	148.4	536,908	667	804.9	48,937	5,680	8.6	20,702,205	445,532	46.4
12	17,043,853	467,743	36.4	3,264,216	22,934	142.3	554,607	644	861.1	41,600	5,133	8.1	20,904,276	496,454	42.1
1	15,680,835	421,950	37.2	3,021,754	22,490	134.3	593,596	679	874.2	42,944	5,693	7.5	19,339,129	450,812	42.8
2	15,250,323	470,512	32.4	2,912,082	22,952	126.8	456,694	631	723.7	39,734	4,790	8.2	18,658,833	498,885	37.4
3	14,407,688	428,286	33.6	2,705,797	22,894	118.1	523,324	679	770.7	36,504	5,493	6.6	17,673,313	457,352	38.6

38 年度用途別使用水量表 (水道汚水)

(乙地区)

58

用途 月別	一 般 用			営 業 用			浴 場 営 業 用			共 用			計		
	使用水量 $m^3$	件 数	1件当り 使用量 $m^3$	使用水量 $m^3$	件 数	1件当り 使用量 $m^3$	使用水量 $m^3$	件 数	1件当り 使用量 $m^3$	使用水量 $m^3$	件 数	1件当り 使用量 $m^3$	使用水量 $m^3$	件 数	1件当り 使用量 $m^3$
総 計	29,494,065	1,140,302	25.9	2,162,850	35,225	61.4	936,152	1,889	495.5	367,053	41,010	8.9	32,960,120	1,219,489	27.0
4	1,848,395	88,612	20.9	167,398	2,904	57.6	95,771	178	538.0	25,819	2,872	8.9	2,137,380	94,566	22.6
5	2,458,437	99,269	24.8	203,016	3,463	58.6	83,550	148	564.5	44,680	4,849	9.2	2,789,683	107,792	25.8
6	2,345,620	92,480	25.4	167,511	2,645	63.3	80,338	171	469.8	23,896	2,484	9.6	2,617,365	97,780	26.7
7	2,763,879	101,683	27.2	220,620	3,561	61.9	83,406	150	556.0	43,191	4,738	9.1	3,111,096	110,132	28.2
8	2,632,000	86,776	30.3	173,808	2,395	72.5	87,891	159	552.7	22,745	2,062	11.0	2,916,444	91,392	31.9
9	3,310,327	102,830	32.2	246,736	3,557	69.3	87,529	147	595.4	50,523	5,039	10.0	3,695,115	111,573	33.1
10	2,376,852	88,734	26.8	146,093	2,164	67.5	69,816	164	425.7	21,629	2,136	10.1	2,614,390	93,198	28.0
11	2,926,881	102,906	28.4	215,882	3,454	62.5	68,478	150	456.5	38,102	4,452	8.5	3,249,343	110,962	29.2
12	2,079,496	87,532	23.8	116,872	2,156	54.2	67,975	168	404.6	17,201	1,989	8.6	2,281,544	91,845	24.8
1	2,574,133	99,339	25.9	215,112	3,403	63.2	73,816	145	509.0	34,049	4,192	8.1	2,897,110	107,079	27.0
2	1,833,862	87,736	20.9	110,550	2,075	53.2	61,042	161	379.1	15,400	2,025	7.6	2,020,854	91,997	21.9
3	2,344,183	102,405	22.9	179,252	3,448	51.9	76,540	148	517.1	29,821	4,172	7.1	2,629,796	110,173	23.8



第 4 節 下 水 道 料 金

下水道事業経営の基本的収入である下水道料金は、使用料創設期の昭和18年6月以降の経済情勢の変遷と共に、11回にわたり改正されて現行料金にいたっているものである。現行料金の改正は、昭和36年6月第2回東京都議会定例会に提案され、7月に一部修正のうえ可決、8月分より実施された。

現行の下水道料金はつぎのとおりである。

下 水 道 料 金 表

A 甲地区（し尿を下水道に流せる地区）

水 道 汚 水		水道料金の $\frac{3}{10}$	
井 戸	浴場営業用	排出量1立方メートルにつき4円50銭	
	そ の 他	〃	5円
汚 水	大 便 器	1個1月につき20円	
	小 便 器	〃	20円

B 乙地区（甲地区以外の下水道地区）

水 道 汚 水		水道料金の $\frac{2}{10}$	
井 戸	浴場営業用	排出量1立方メートルにつき3円	
	そ の 他	〃	3円30銭

水 道 料 金 表

用 途	基 本 料 金	超 過 料 金
一 般 用（家庭・官公署・会社・工場等）	1カ月8 $m^3$ まで 120円	10 $m^3$ をこえるもの
	1カ月10 $m^3$ まで 140円	1 $m^3$ につき 20円
営 業 用（料理飲食店・娯楽場等）	1カ月10 $m^3$ まで 140円	〃 32円
浴 場 営 業 用	1カ月10 $m^3$ まで 140円	〃 15円
共 同（一戸につき）	1カ月8 $m^3$ まで 80円	8 $m^3$ をこえるもの 1 $m^3$ につき 15円

第 5 節 料 金 徴 収

下水道局発足にしたがつて、下水道料金の徴収業務は当局で行なうべきであるが、水道局に委託され、上・下水道料金の同時徴収が行なわれている。

これは水道局が都内に現有する大きな業務組織を活用して都民の利便と徴収業務の経済性の発揮という観点からの思慮によるもので、水道局営業部の連絡調整のもとに、支所・営業所がこれにあたり、徴収方法は、水道局と全く同様である。

また、下水道局での料金収入整理及び水道局との連絡調整等の業務事務は経理部会計課及び施設管理部業務課が分掌している。

なお、昭和38年度の下水道料金収入状況及び、近年5カ年の収入状況はつぎのとおりである。

水道局支所別下水道料金調定収入調

(昭和38年度)

種別 支所	調 定			収 入	未 収 入
	前年度未収繰越	昭和37年度分	計		
全 支 所	61,233,562 <sup>円</sup>	2,042,551,928 <sup>円</sup>	2,103,785,490 <sup>円</sup>	1,998,646,818 <sup>円</sup>	105,138,672 <sup>円</sup>
中 央	30,348,718	840,966,030	871,314,748	821,523,169	49,791,579
東 部 第 一	6,297,856	219,848,069	226,145,925	215,225,201	10,920,724
東 部 第 二	4,991,582	141,402,674	146,394,256	138,698,899	7,695,357
西 部	1,212,650	97,025,889	98,238,539	95,587,933	2,650,606
南 部 第 一	1,537,056	32,026,821	33,563,877	31,427,417	2,136,460
南 部 第 二	409,797	52,145,298	52,555,095	47,334,023	5,221,072
北 部 第 一	15,475,302	573,750,620	589,225,922	565,174,908	24,051,014
北 部 第 二	960,601	71,718,962	72,679,563	70,400,291	2,279,272
営 業 部	0	12,963,095	12,963,095	12,649,120	313,975
施設管理部	0	704,470	704,470	625,857	78,613
前 年 同 期	25,925,932	1,859,189,181	1,885,115,113	1,823,881,551	61,233,562
北 較 増 減	35,307,630	183,362,747	218,670,377	174,765,267	43,905,110

下水道料金調定収入の推移

年 度 別	調 定 額	収 入 額	収 入 率
	円	円	
昭和 33 年 度	1,194,723,979	1,185,489,720	99.2
〃 34 〃	1,313,672,843	1,306,918,080	99.4
〃 35 〃	1,436,839,685	1,424,268,159	99.1
〃 36 〃	1,787,933,363	1,762,159,531	98.5
〃 37 〃	1,859,189,181	1,798,642,398	96.7
〃 38 〃	2,042,551,928	1,937,917,533	94.9



## 第 6 節 排 水 設 備

近代的文化都市を建設するための要素はいろいろあるが、何といても完全な下水道を施設し、衛生的で快適な環境をつくることが第一である。それに、生活環境が清潔になれば、必然蚊・ハエ・寄生虫等の発生を防ぎ、その他の悪疫の流行も予防できる。

本都においては、大正13年にはじめて排水設備の設置をみて以来、下水道施設の拡張と相まつて、排水設備の普及は漸次進み、昭和15年には施設面積1,893.2ヘクタール、施設済戸数200,961戸、使用大便器数95,582個に及んだが、第二次大戦の激化に伴ない本都における排水設備の施設数は急激に減じた。その状態は昭和18年・19年に最もひどく、20年には極少を示した。昭和21年に入り僅かであるが排水設備の施設数が増加しはじめた。戦災による排水設備の被害は相当ひどく、昭和20年の終戦当時は、戦災前の排水設備施設済最高戸数の約5割の減少であつたため、その復旧にはかなりの日時を要した。

しかし、戦災復興計画に沿つて下水道の応急復旧工事、増補改良工事が実施されたので、排水設備施設の成績は着々と上昇し、昭和23年には一応戦前の排水設備施設済最高数なみの回復がみられた。

昭和24年には5カ年水洗便所助成改造事業（昭和24年～28年）を計画し、甲地区告示区域内のくみ取り便所110,000個を水洗化する目標で、水洗便所助成規則（昭和24年8月）を制定し、助成金（大便器1個当り改造費の一部4,350円）を交付し実施したが、昭和28年度末には目標を上廻る118,926個を施行し、その後もひき続き実施中である。

年度別告示面積及び排水設備施行状況

種 別 年 度	告 示 面 積	排水設備設置数	水 洗 便 器 数	
			大 便 器	小 便 器
	ヘクタール	件	個	個
21	5,433.70		38,831	26,320
22	5,433.70		45,928	30,822
23	5,446.20		53,560	35,384
24	5,477.90		77,894	39,900
25	5,643.30		129,275	48,805
26	5,688.10		157,530	54,212
27	6,196.72		216,789	89,184
28	6,696.14		256,726	101,364
29	7,233.26		294,362	112,799
30	8,307.15	346,044	323,489	121,549
31	9,699.30	364,304	366,610	136,456
32	10,104.39	381,737	394,966	145,878
33	10,456.38	398,322	413,686	152,232
34	10,900.85	416,742	440,264	159,868
35	11,267.36	431,703	466,734	167,103
36	11,547.39	450,526	491,522	173,197
37	11,966.56	471,190	514,387	180,604
38	12,707.48	507,730	566,902	191,937

## 行政区別告示面積及び排水設備設置数

(38年度末)

区 別	種 別	下水道必要面積	告 示 面 積	排水設備設置数	便 器 数	
					大 便 器	小 便 器
		ヘクタール	ヘクタール	件	個	個
千 代 田		1,102	845.59	23,410	56,804	29,567
中 央		865	853.75	33,837	59,844	32,381
港		1,869	1,614.11	53,567	74,755	25,667
新 宿		1,798	1,378.89	56,960	63,428	19,087
文 京		1,138	1,080.97	46,445	53,995	16,823
台 東		856	856.00	54,099	76,410	23,555
墨 田		1,195	765.63	29,324	34,600	10,504
江 東		1,912	739.11	24,206	28,553	7,309
品 川		1,555	343.14	10,999	768	302
目 黒		1,440	19.40	816	830	266
大 田		3,852	3.99	60	0	0
世 田 谷		5,714	—	—	—	—
澁 谷		1,511	621.22	19,514	11,611	2,828
中 野		1,566	175.20	7,035	0	0
杉 並		3,338	33.99	1,648	0	0
豊 島		1,299	1,020.00	41,565	38,633	10,176
北		1,836	1,072.67	39,908	27,611	5,970
荒 川		887	886.17	43,308	38,679	7,436
板 橋		2,997	50.15	2,277	188	40
練 馬		4,684	—	—	—	—
足 立		4,790	345.01	18,720	193	26
葛 飾		2,955	—	—	—	—
江 戸 川		3,694	2.49	30	0	0
計		52,853	12,707.48	507,703	566,902	191,937



水洗便所助成状況

年 度	改 造 計 画	助 成 金 額 （1個当り）		施 行 個 数
		一 般	生 活 扶 助 家 庭	
	個	円	円	個
24 ～ 28	110,000	4,350	8,700	127,814 (内 383 個は全額助成)
29	15,000	2,000	11,000	
30	15,000	3,000	〃	
31	10,000	〃	〃	9,997 (内 1 個は全額助成)
32	11,389	〃	〃	9,821 (内 1 個は全額助成)
33	12,000	〃	〃	7,535 (内 1 個は全額助成)
34	10,000	5,500	〃	9,977 (内23個は全額助成)
35	12,000	〃	〃	7,165 (内18個は全額助成)
36	9,000	〃	〃	5,748 (内 7 個は全額助成)
37	9,000	〃	〃	8,037 (内 5 個は全額助成)
38	7,000	8,800	17,700	6,805 (内66個は特別助成)
合 計	220.389			129.899

なお、助成金額は、昭和38年 9 月に助成規程が改正され、38年 4 月 1 日より、一般助成 8,800 円（家族構成全員の年間平均月収が 7 万円未満の者）、特別助成17,700円（特別区民税の非課税者及び課税保留者）に増額し、告示区域内（甲地区）のくみ取り便所の解消をはかっている。

排水設備の工事

排水設備の工事については、使用者との請負契約により下水道局指定の下水道工事店で施行する。この指定工事店制度は、昭和35年 4 月より発足したもので、従来は、水道局の指定工事店が、水道局の指導、監督のもとに行なっていた。

指定下水道工事店が一定の技術水準を保ち、工事店の行なう工事の万全を期するため、昭和36年 4 月より排水設備技術者制度を設け、排水設備技術の保持をすることとなつた。さらに37年11月からは、施行責任者として、排水設備配管工制度が設けられ、工事店には必ず両者を置くことが義務づけられた。

38年度末における指定工事店数は1,566店、排水設備技術者の登録人数4,015名、排水設備配管工の登録人数5,231名（労働省の給排水衛生設備配管工技能検定登録者をも含む。）である。

# 第 6 章 設 備

## 第 1 節 管 渠

### ( 1 ) 下水管渠施設状況

年 度 別			管 渠 種 別				人 孔 個	汚 水 井 個	
			総 数 (m)	暗 渠 (m)					開 渠 (m)
				総 数	幹 線	枝 線			
昭 和 22 年 度			1,950,860	1,939,508	122,687	1,816,821	11,352	49,701	168,461
23			1,959,953	1,948,601	122,687	1,825,914	11,352	49,952	169,843
24			1,970,862	1,959,510	124,459	1,835,051	11,352	50,201	172,145
25			1,984,230	1,972,878	124,930	1,847,948	11,352	50,592	173,502
26			2,010,810	1,999,458	125,862	1,873,596	11,352	51,755	176,860
27			2,047,108	2,035,756	127,323	1,908,433	11,352	52,966	181,647
28			2,083,088	2,071,736	129,096	1,942,640	11,352	54,207	187,445
29			2,120,682	2,109,330	130,901	1,979,429	11,352	55,253	192,900
30			2,195,329	2,183,977	130,994	2,052,983	11,352	57,733	203,082
31			2,290,369	2,279,017	130,994	2,148,023	11,352	60,952	217,324
32			2,396,948	2,385,596	131,652	2,253,944	11,352	64,374	233,101
33			2,489,519	2,478,167	135,242	2,342,925	11,352	67,175	244,195
34			2,580,907	2,569,555	137,950	2,431,605	11,352	69,984	258,382
35			2,681,332	2,671,280	145,851	2,525,429	10,052	73,159	274,912
36			2,767,882	2,764,478	149,875	2,614,603	3,404	75,971	290,907
37			2,876,329	2,873,426	158,981	2,714,445	2,903	79,607	310,942
38			3,062,056	3,059,201	175,124	2,884,077	2,855	85,086	342,709
千 代 田 中 央 港 新 宿 文 京 台 東 墨 田 江 東 品 川 目 黒 太 田 渋 谷 中 野 杉 並 豊 島 北 荒 川 板 橋 足 立 江 戸 川	233,123	233,123	22,378	120,745		5,545	22,237		
	241,924	241,924	6,215	235,709		5,665	22,864		
	304,866	304,866	23,054	281,812		8,296	31,297		
	315,714	315,714	12,515	303,199		9,051	35,244		
	247,209	247,209	23,332	223,877		7,499	27,610		
	300,517	300,517	20,862	279,655		8,139	30,670		
	208,548	208,548	4,203	204,345		5,624	23,590		
	158,262	158,262	7,624	150,638		4,005	16,059		
	89,016	89,016	3,327	85,689		1,787	8,797		
	5,541	5,541	370	5,171		128	544		
	1,032	1,032	0	1,032		22	234		
	138,365	138,365	7,537	130,828		4,434	21,292		
	46,408	46,408	7,143	39,265		1,318	7,022		
	13,143	13,143	1,543	11,600		404	1,644		
	233,177	230,322	9,340	220,982	2,855	7,356	28,592		
	204,428	204,428	9,140	195,288		6,766	29,890		
218,682	218,682	13,446	205,236		6,582	24,013			
24,998	24,998	2,077	22,921		666	2,583			
76,577	76,577	1,018	75,559		1,793	8,483			
526	526	0	526		6	44			



## ( 2 ) 管渠管理延長前年度比較

廠名	種 別	38年度管渠延長及び個数	37年度管理延長及び個数	比 較 (増)	増 加 率
中部管理事務所	幹 線	114,840	102,447	12,393	12.10
	枝 線	1,702,583	1,589,467	113,116	7.12
	計	1,817,423	1,691,914	125,509	7.42
	人 孔	50,670	46,968	3,702	7.88
	汚 水 樹	199,587	180,841	18,746	10.37
北部管理事務所	幹 線	49,373	43,066	6,307	14.64
	枝 線	795,143	747,680	47,463	6.25
	計	844,516	790,746	53,770	6.80
	人 孔	24,005	22,435	1,570	7.00
	汚 水 樹	100,374	88,787	11,587	13.05
東部管理事務所	幹 線	13,766	13,766		
	枝 線	386,351	379,903	6,448	1.70
	計	400,117	393,669	6,448	1.64
	人 孔	10,411	10,204	207	2.03
	汚 水 樹	42,748	41,314	1,434	3.47
合 計	幹 線	177,979	159,279	18,700	11.74
	枝 線	2,884,077	2,717,050	167,027	6.15
	計	3,062,056	2,876,329	185,727	6.46
	人 孔	85,086	79,607	5,479	6.88
	汚 水 樹	342,709	310,942	31,767	10.22

## ( 3 ) 系統別管渠管理延長

系 統 名	排 水 区 名	38年度増加延長			38年度末累計延長			備 考
		幹 線	枝 線	計	幹 線	枝 線	計	
芝浦系統	千代田, 中央, 港, 新宿, 文京, 目黒, 渋谷, 豊島, 北, 台東, 品川	6,221	62,588	68,809	98,819	1,428,453	1,527,272	
三河島系統	千代田, 台東, 豊島 荒川	3,156	8,821	11,977	36,056	501,169	537,225	
砂町系統	中央, 江東, 墨田, 足立, 江戸川	536	11,428	11,964	14,784	456,762	471,546	
森ヶ崎系統	太田, 品川, 目黒		6,855	6,855	1,284	89,639	90,923	
落合系統	新宿, 中野, 杉並	4,253	41,592	45,845	12,819	176,027	188,846	
小台系統	豊島, 北, 板橋	4,534	35,743	40,277	14,217	232,027	246,244	
計		18,700	167,027	185,727	177,979	2,884,077	3,062,056	

(4) 管種別内訳

種 別	大 き さ	昭 和 3 8 年 度 末	
		延 長 (m)	割 合 (%)
円 形 管	内 径 45cm以下	2,026,058	66.2
〃	〃 90 〃 〃	625,856	20.4
〃	〃 140 〃 〃	167,145	5.5
〃	〃 141 〃 以上	37,659	1.2
計		2,856,718	93.3
馬 蹄 形 渠	巾 150 〃 以下	15,306	0.5
〃	〃 300 〃 〃	48,397	1.6
〃	〃 301 〃 以上	5,536	0.2
計		69,239	2.3
矩 形 渠	巾 150 〃 以下	24,258	0.8
〃	〃 300 〃 〃	63,949	2.1
〃	〃 301 〃 以上	32,120	1.0
計		120,328	3.9
開 渠	巾 150 〃 以下		
〃	〃 301 〃 以上	2,855	0.1
卵 形 渠		4,907	0.2
伏 越 渠		8,009	0.3
計		15,771	0.5
合 計		3,062,056	100.0

第 2 節 ポ ン プ 所

ポ ン プ 所 目 次

中部管理事務所々管		14. 地 蔵 堀 ポ ン プ 所	78頁
1. 銭 瓶 町 ポ ン プ 所	68頁	15. 藍 染 ポ ン プ 所	78 〃
2. 箱 崎 町 ポ ン プ 所	69 〃	16. 宮 城 ポ ン プ 所	79 〃
3. 中 洲 町 ポ ン プ 所	69 〃	17. 千 住 ポ ン プ 所	80 〃
4. 浜 町 ポ ン プ 所	70 〃	東部管理事務所々管	
5. 汐 留 ポ ン プ 所	71 〃	18. 木 場 ポ ン プ 所	81 〃
6. 桜 橋 ポ ン プ 所	71 〃	19. 月 島 ポ ン プ 所	82 〃
北部管理事務所々管		20. 越 中 島 ポ ン プ 所	83 〃
7. 南 千 住 ポ ン プ 所	72 〃	21. 三 ノ 橋 ポ ン プ 所	84 〃
8. 汐 入 ポ ン プ 所	73 〃	22. 業 平 橋 ポ ン プ 所	85 〃
9. 橋 場 ポ ン プ 所	74 〃	23. 砂 町 ポ ン プ 所	86 〃
10. 和 泉 町 ポ ン プ 所	75 〃	24. 大 島 ポ ン プ 所	87 〃
11. 日 本 堤 ポ ン プ 所	75 〃	25. 吾 嬬 ポ ン プ 所	88 〃
12. 山 谷 ポ ン プ 所	76 〃	26. 小 松 川 ポ ン プ 所	89 〃
13. 町 屋 ポ ン プ 所	77 〃	27. 隅 田 ポ ン プ 所	90 〃



## 1 ポンプ所計画排水量と現有排水能力

(昭和38年度末)

系 統 別	ポンプ所名	計 画 排 水 量			現 有 排 水 能 力		備 考
		晴天時汚水量	雨天時汚水量	雨 水 量	汚 水 ポンプ能力	雨 水 ポンプ能力	
		m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /分	m <sup>3</sup> /日	m <sup>3</sup> /分	
芝 浦	銭 瓶 町	368,000	734,400		695.520		
	箱 崎 町			38.40		38.00	
	中 洲 町			28.56		29.00	
	浜 町			247.20		252.00	
	汐 留			930.70		1,116.00	
	桜 橋			1,499.34		1,800.00	
三 河 島	南 千 住	25,800	47,000	118.92	69,120	200.60	
	汐 入	16,500	30,758	289.74	25,920	60.00	
	橋 場	7,776	14,515	217.62	10,368	72.00	
	日 本 堤			2,220.00		1,000.00	
	山 谷			120.60		279.00	
	和 泉 町	11,900	20,822		31,882		
	地 蔵 堀	2,333	4,258	60.00	4,320	60.00	
	町 屋	70,600	127,267	708.66	167,040	450.00	
小 台	藍 染	314,323	553,738	1,960.20	208,800	1,185.00	
	宮 城			572.40		360.00	
砂 町	木 場	257,800	444,269	2,504.40	408,672	1,080.00	
	越 中 島			139.68		178.00	
	月 島	50,600	84,499		60,480		
	三 ノ 橋	119,000	205,978	1,286.58	195,120	1,220.00	
	業 平 橋	45,600	78,019	733.68	136,800	1,050.00	
	砂 町	308,700	535,680	1,528.92	144,000	400.00	
	大 島	213,580	368,496	1,588.80	123,840	270.00	
	小 松 川	23,600	43,200	1,309.56	23,040	520.00	
	吾 嬬	113,500	194,486	1,380.06	109,440	1,460.00	
	隅 田	28,598	48,816	967.20	27,360	200.00	
	千 住	26,438	46,456	1,023.18	27,360	630.00	
計		2,004,648	3,582,657	21,564.40	2,469,082	13,909.60	

(註) 計画排水量は東京都市計画下水道添付資料による。

( 1 ) 銭瓶町ポンプ所

所在地千代田区大手町 2 丁目 8 番地

創設昭和 6 年 3 月

敷地面積13,332㎡(4,040坪)

設置目的千代田，中央両区の大部ならびに文京，新宿両区の一部の汚水を吸揚して，大手町幹線，中段幹線，銭瓶幹線等により芝浦処理場へ送る。

計画排水面積汚水1,440.19ヘクタール

計画人口242,000人

計画排水量晴天時4.259㎡/S(368,000㎡/D)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延1,903.33㎡			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 巾 1.25m 矩 形 高 1.68m	1	月 島 機 械	
〃	〃 径 1.22m	1	〃	
〃	〃 径 1.000m	1	〃	
〃	径 0.600m	1		
集 水 池	長巾 12.15m 深 6.10m 7.62m	1		
集水池阻水扉	巾高 1.88m 馬蹄形 2.00m	2	日 立 製 作 所	
沈 砂 池	長巾 21.33m 5.18m 有効水深 1.88m 有効容量 207.7 ㎡	2		
揚 泥 機	門型移動グラブバケット式	1	桜 田 機 械	
ろ 格 機	ドル式S型 巾 1.88m 機械掻上式 高巾 2.424m 目巾 25mm	4	三 機 工 業	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 4.10mm 軸型両吸込式 揚水量 17㎡/m 渦巻ポンプ 揚程 9.75m 馬力 60HP	1	日 立 製 作 所	
〃	ディーゼル 口 径 400mm エンジン直結 揚水量 20㎡/m 横軸型両吸込 揚程 10.2m 式渦巻ポンプ 馬力 75HP	1	〃	
〃	電動機厚結横 口 径 610mm 軸型両吸込式 揚水量 42㎡/m 渦巻ポンプ 揚程 9.75m 馬力 140HP	2	〃	
〃	〃 口 径 810mm 揚水量 84㎡/m 揚程 9.55m 馬力 275HP	2	〃	



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 810mm 揚水量 84 m <sup>3</sup> /m 揚程 9.8m 馬 力 271HP	1	日 立 製 作 所	
〃	〃	口 径 900mm 揚水量 110 m <sup>3</sup> /m 揚程 9.8m 馬 力 320HP	1	〃	
昇 降 機	荷 物 用	能 力 1 ton	1	日 本 エ レ ベ ー タ	
沈砂篩渣搬出機	フラットコンベア式		1	理 研 金 属 工 業	

## ( 2 ) 箱崎町ポンプ所

所 在 地	中央区日本橋箱崎町 4 丁目18番地
創 設	昭和32年 9 月
敷 地 面 積	85.455 m <sup>2</sup> (25.85坪)
設 置 目 的	地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋箱崎町 4 丁目付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。
計画排水面積	雨水 5.02ヘクタール
計画排水量	雨水量 0.640 m <sup>3</sup> /S (38.4 m <sup>3</sup> /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延41.05 m <sup>2</sup>			
ろ 格 機	機械掻上式	巾 1.80m 高 2.3m 目巾 25mm	1	江 戸 川 機 械	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結及びディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ	口 径 550mm 揚水量 38 m <sup>3</sup> /m 揚程 3.7m 電動機馬力 47HP エンジン馬力 60HP	1	電 業 社	

## ( 3 ) 中洲町ポンプ所

所 在 地	中央区日本橋中洲町 2 番地
創 設	昭和32年 8 月
敷 地 面 積	201.65 m <sup>2</sup> (61.0坪)
設 置 目 的	地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋中洲一帯の雨水を吸揚し箱崎川に放流する。
計画排水面積	雨水 3.35ヘクタール

計画排水量      雨水量   0.476 m<sup>3</sup>/S (28.56 m<sup>3</sup>/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	コンクリート建 延 39.50 m <sup>2</sup>			
ろ 格 機	機械掻上式 巾 1.50 m 高巾 3.5 m 目巾 25 mm	1	江戸川機械	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結及口 径 500 mm ディーゼルエ 揚水量 29 m <sup>3</sup> /m ンジン歯車掛 揚 程 3 m 縦軸型斜流ボ 電動機馬力 30 HP ン プ エンジン馬力 40 HP	1	電 業 社	

( 4 ) 浜 町 ポ ン プ 所

所 在 地      中央区日本橋浜町 2 丁目   浜町公園内

創      設      昭和36年 4 月

敷 地 面 積      580 m<sup>2</sup> (176 坪)

設 置 目 的      地盤沈下のため、高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた中央区浜町付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。

計画排水面積   雨水   27.71ヘクタール

計画排水量      雨水量   4.120 m<sup>3</sup>/S (247.2 m<sup>3</sup>/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延36.60 m <sup>2</sup>			
沈 砂 池	長 巾 16.00 m 有効水深 1.70 m 有効容量 2.60 m <sup>3</sup> 141 m <sup>3</sup>	2		
掻 集 機	沈砂掻揚用	2	守 住 土 木	
ろ 格 機	機械掻揚式 高巾 3.66 m 巾 1.7 m 目巾 25 mm	2	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動機ディーゼルエ 口 径 1,000 mm ンジン共用縦 揚水量 130 m <sup>3</sup> /m 軸型軸派ボ 揚 程 4.5 mm ン プ 電 動 機 馬 力 187 HP エ ン ジ ン 馬 力 200 HP	2	日 立 製 作 所	



( 5 ) 汐留ポンプ所

所在地 中央区銀座東8丁目19番地先  
創設 昭和37年4月  
敷地面積  $2,396.8\text{ m}^2$  (725坪)  
設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が、不可能となつた千代田区内幸町、有楽町及び中央区銀座西、銀座、銀座東、築地一帯の雨水を吸揚し築地川に放流する。  
計画排水面積 雨水 88.47ヘクタール  
計画揚水量 雨水量  $15.511\text{ m}^3/\text{S}$  ( $930.7\text{ m}^3/\text{min}$ )

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪) $546\text{ m}^2$				
入口阻水扉	油圧開閉式	高巾 $3.0\text{ m}$ $1.6\text{ m}$	2	久保田鉄工	
〃	〃	高巾 $1.92\text{ m}$ $2.4\text{ m}$	1	〃	
放流口阻水扉	〃	高巾 $2.5\text{ m}$ $2.45\text{ m}$	2	〃	
ろ格室 入口阻水扉	〃	高巾 $2.5\text{ m}$ $2.0\text{ m}$	3	〃	
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 $7.5\text{ m}$ $2.4\text{ m} \times 2$ 目巾 $40\text{ mm}$	3	日立金属	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛堅軸型斜流ポンプ	口径 $1,200\text{ mm}$ 揚水量 $186\text{ m}^3/\text{m}$ 揚程 $4.6\text{ m}$ エンジン馬力 $280\text{ HP}$ 電動機馬力 〃	3	荏原製作所	
〃	ディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ	口径 $1,200\text{ mm}$ 揚水量 $186\text{ m}^3/\text{m}$ 揚程 $4.6\text{ m}$ 馬力 $280\text{ HP}$	3	〃	

( 6 ) 桜橋ポンプ所

所在地 中央区新富町1丁目1番地先  
創設 昭和37年4月  
敷地面積  $2,512.23\text{ m}^2$  (760坪)  
設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた千代田区有楽町、丸ノ内および中央区日本橋、京橋、室町、兜町、茅場町、西八丁堀、銀座東、新富町附近一帯の雨水を吸揚し、桜川に放流する。  
計画排水面積 雨水 117.61ヘクタール  
計画排水量 雨水量  $24.989\text{ m}^3/\text{S}$  ( $1,499.34\text{ m}^3/\text{min}$ )

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 (建坪) 918㎡			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高 3.6m 巾 2.3mm	2	荏 原 製 作 所	
放 流 口 阻 水 扉	〃 高 3.3m 巾 1.6m	2	〃	
放 流 口 阻 水 扉	電動開閉式 高 3.5m 巾 1.65m	2	大 原 鉄 工 所	
ろ 格 室	〃 高 3.5m	3	荏 原 製 作 所	
入 口 阻 水 扉	〃 高 2.5m			
ろ 格 機	機械掻上式 高 7.5m 巾 2.1m×2 目巾 40mm	3	桜 田 機 械	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛縦軸型斜流ポンプ 口 径 1,500mm 揚 水 量 300㎡/m 揚 程 4.5m エンジン馬力500HP 電動機馬力440HP	3	荏 原 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン歯車掛縦軸型斜流ポンプ 口 径 1,500mm 揚 水 量 300㎡/m 揚 程 4.5m 馬 力 500HP	3	〃	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 610mm 揚 水 量 42㎡/m 揚 程 9.75m 馬 力 140HP	1	日 立 製 作 所	

( 7 ) 南 千 住 ポ ン プ 所

所 在 地 荒川区南千住 8 丁目89番地

創 設 昭和9年3月

敷 地 面 積 1,610.4㎡ (488坪)

設 置 目 的 荒川区南千住 5, 6, 8 丁目一帯の汚水および雨水と汐入ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 156.48ヘクタール

雨水 58.00ヘクタール

計 画 人 口 46,000人

計画排水量 晴天時 0.299㎡/S (25,800㎡/D)

雨水量 1.982㎡/S (118.92㎡/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
事 務 所	コンクリート建 延64.02㎡			
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延360.10㎡			
入 口 阻 水 扉	電動開閉式 高 1.68m 巾 1.82m 矩 形	2	久 保 田 鉄 工	
沈 砂 池	長 13.64m 巾 3.64m 有効水深 1.36m 有効容量 67.5㎡	2		



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
揚 泥 機	移 動 式	1	油 谷 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 4.06m 目巾 2.42m×2 25mm	1	浅 野 物 産	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 450mm 機水量 24 m <sup>3</sup> /m 揚程 4.55m 馬 力 35IP	2	荏 原 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型可動羽根 式軸流ポンプ 口 径 760mm 機水量 67.8 m <sup>3</sup> /m 揚程 3.95m 馬 力 90IP	2	〃	
〃	電動機直結デイ ーゼルエンジン 切替駆動堅型斜 流ポンプ 口 径 760mm 機水量 65 m <sup>3</sup> /m 揚程 5m 電 動 機 115IP エンジン 115IP	1	〃	

## ( 8 ) 汐 入 ポ ン プ 所

所 在 地	荒川区南千住10丁目20番地
創 設	昭和16年 5 月
敷 地 面 積	915.22 m <sup>2</sup> (277.34坪)
設 置 目 的	荒川区南千住10丁目附近の汚水、雨水ならびに橋場ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により南千住ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 80.87ヘクタール 雨水 48.70ヘクタール
計 画 人 口	27,000人
計画排水量	晴天時 0.191 m <sup>3</sup> /S (16,500 m <sup>3</sup> /D) 雨水量 4.829 m <sup>3</sup> /S (289.74 m <sup>3</sup> /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	木造モルタル建 延136.55 m <sup>2</sup>			
入 口 阻 水 扉	高巾 1.20m 1.60m 矩 形	1	ゼ ネ ラ ル 商 会	雨 水 用
〃	高巾 0.50m 0.50m 正 方 形	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長巾 14.00m 2.50m 有効水深 0.82m 有効容量 28.7 m <sup>3</sup>	2		
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 2.9m 目巾 2.2m 41mm	1		雨 水 用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格	手 掻 上 式	高 巾 2.9m 目 巾 1m 25mm	1		汚 水 用
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 250mm 揚水量 9m <sup>3</sup> /m 揚馬 力 7m 25HP	2	荏 原 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型固定羽根 式軸流ポンプ	口 径 500mm 揚水量 30m <sup>3</sup> /m 揚馬 力 3.5m 40HP	2	西 島 製 作 所	

( 9 ) 橋 場 ポ ン プ 所

所 在 地	荒川区南千住 3 丁目 190 番地
創 設	昭和13年 3 月
敷 地 面 積	542. 19m <sup>2</sup> (164. 3坪)
設 置 目 的	荒川区南千住3, 4, 丁目附近の汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は荒川へ放流し, 汚水は南千住幹線により汐入ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 32. 17ヘクタール 雨水 32. 17ヘクタール
計 画 人 口	11,000人
計画排水量	晴天時 0. 090m <sup>3</sup> / S (7,776m <sup>3</sup> /D) 雨水量 3. 627m <sup>3</sup> / S / (721. 62m <sup>3</sup> /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	コンクリート建	延165. 99㎡			
入 口 阻 水 扉	高 巾	1. 50m 1. 80m 短 形	1		雨 水 用
〃	高 巾	0. 70m 0. 70m 正 方 形	1		汚 水 用
沈 砂 池	長 巾	10. 0m 4. 0m	2		
	有効水深	1. 4m			
	有効容量	56m <sup>3</sup>			
ろ 格 機	機械掻揚式	高 巾 3. 2m 目 巾 2. 4m 41mm	1		雨 水 用
ろ 格	手 掻 上 式	高 巾 3. 2m 目 巾 1. 2m 25mm	1		汚 水 用
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 175mm 揚水量 36m <sup>3</sup> /m 揚馬 力 9. 0m 15HP	2	荏 原 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型可動羽根 式軸流ポンプ	口 径 450mm 揚水量 24m <sup>3</sup> /m 揚馬 力 2. 8m 27HP	2	〃	
〃	ディーゼルエ ンジン直結横 軸型可動羽根 式軸流ポンプ	口 径 450mm 揚水量 24m <sup>3</sup> /m 揚馬 力 2. 8m 30HP	1	〃	



(10) 和泉町ポンプ所

所在地  
創設  
敷地面積  
設置目的

千代田区神田和泉町1番地  
大正11年8月  
452.1㎡(137坪)  
国電山手線、秋葉原駅より御徒町に至る周辺、即ち台東区仲御徒町1、2、3丁目及び松永町西ならびに千代田区花岡町等より以西の大部の汚水を吸揚し、浅草幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積  
計画人口  
計画排水量

汚水 47.60ヘクタール  
11,000人  
晴天時 0.138㎡/S (11,900㎡/D)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延314.29㎡			
入口止水扉	径 0.60m	2		
沈砂池	長 8.17m 巾 4.17m 有効水深 1.52m 有効容量 52.0㎡	2		
ろ 格	手掻上式 巾 4.1m×2 高 2.424m 目巾 10mm	1		
汚水ポンプ	電動横直結 口 径 200mm 横軸型片吸 揚水量 5.1㎡/m 込式渦巻ポ 揚程 4.5m ンプ 馬力 10HP	1	荏原製作所	
//	// 口 径 250mm 揚水量 8.52㎡/m 揚程 4.5m 馬力 15HP	2	//	

(11) 日本堤ポンプ所

所在地  
創設  
敷地面積  
設置目的

台東区浅草日本堤2丁目1番地  
昭和37年12月  
3,775.60㎡(1,142.39坪)  
台東区の東北部は、旧田町ポンプ所排水流域であつたが、近年地盤沈下が甚しく又その周辺区域も同様に沈下し、雨水をポンプ吸揚して排水する必要が生じた。このため田町ポンプ所を大規模に改造し、台東区の大部(合羽橋附近より北部の概ね全域)荒川区日暮里町1～4及9丁目の一部の雨水を吸揚して山谷堀に放流する。

計画排水面積  
計画排水量

雨水 432.60ヘクタール  
雨水量 37.000㎡/S (2,220㎡/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪) 369㎡			
入口止水扉	油圧開閉式 高 3.24m 巾 2.00m	2	奥村機械	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 所 作 名	備 考
沈 砂 池	長 11.5m 巾 5.0m 有効水深 3.67m 有効容量 211m <sup>3</sup>	2		
揚 泥 機	グラブバケット式	1	奥 村 機 械	
掻 集 機	沈砂掻揚用	2	〃	
ろ 格 機	機械掻上式 高 6.30m 巾 2.16m 目巾 52mm×2	2	〃	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結横軸型斜流ポンプ 口 径 2,000mm 揚水量 500m <sup>3</sup> /m 揚程 6.5m 馬 力 1,050IP	2	荏 原 製 作 所	

(12) 山 谷 ポ ン プ 所

所 在 地 台東区浅草橋場町 3 丁目 2 番地

創 業 昭和29年 3 月

敷 地 面 積 542.55m<sup>2</sup> (164.41坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため、雨水放流不能となつた荒川区南千住 2, 3 丁目, 台東区三の輪町, 浅草日本堤 4 丁目, 浅草田中町 3 丁目, 浅草山谷 3, 4 丁目, 浅草清川町 3 丁目, 浅草石浜町 2, 3 丁目, 浅草橋場 2, 3 丁目方面の雨水を吸揚して荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 45.06ヘクタール

計画排水量 雨水量 3.510m<sup>3</sup>/S (210,6m<sup>3</sup>/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延356.96㎡			
入 口 阻 水 扉	高 2m 巾 2.1m 矩 形	1	日 本 燃 化 機	
沈 砂 池	長 11.0m 巾 4.6m 有効水深 1.75m 有効容量 88.6m <sup>3</sup>	1		
揚 泥 機	バケット・エレベーター式	1	守 住 土 木 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式 高 3.25m 巾 1.75m 目巾 31mm	1	東 興 造 機	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口 径 700mm 揚水量 63m <sup>3</sup> /m 揚程 43m 馬 力 100IP	1	電 業 社	
〃	〃 口 径 900mm 揚水量 108m <sup>3</sup> /m 揚程 4.1m 馬 力 150IP	1	〃	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口 径 900mm 揚水量 108m <sup>3</sup> /m 揚程 4.1m 馬 力 170IP	1	〃	



(13) 町屋ポンプ所

所在地 荒川区町屋8丁目21番地の10  
 創設 昭和30年3月  
 敷地面積  $3,867.6m^2$  (1,172坪)  
 設置目的 荒川区町屋の大部、尾久町、三河島町等の一部の汚水、雨水および荒川区尾久町の大部、北区昭和町の全部、田端新町、堀船町、上中里町、中里町、田端町等の一部の汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は尾久幹線により三河川処理場へ送る、  
 計画排水面積 汚水 494.80ヘクタール  
 雨水 142.58ヘクタール  
 計画人口 140,000人  
 計画排水量 晴天時  $0.817m^3/S$  ( $70,600m^3/D$ )  
 雨水量  $11.811m^3/S$  ( $708.66m^3/min$ )

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延1,298.68㎡			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 $2.16m$ $2.70m$	2	安藤鉄工	雨水用
〃	〃 高巾 $0.98m$ $1.40m$	1	〃	汚水用
沈砂池	長巾 $20.0m$ $6.0m$ 有効水深 $2.10m$ 有効容量 $252m^3$	2		雨水用
〃	長巾 $10.0m$ $3.0m$ 有効水深 $0.49m$ 有効容量 $14.7m^3$	1		汚水用
揚泥機	走行グラブバケット型	1	関東鉄工	
ろ格機	機械掻上式 巾 $2.90m$ 高巾 $3.55m$ 目巾 $25mm$	4	〃	雨水用
〃	〃 巾 $3.00m$ 高巾 $3.70m$ 目巾 $25mm$	1	〃	汚水用
雨水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口径 $1,100mm$ 揚水量 $150m^3/m$ 揚程 $6.4m$ 馬力 $300HP$	2	日立製作所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口径 $1,100mm$ 揚水量 $150m^3/m$ 揚程 $6m$ 馬力 $320HP$	1	〃	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口径 $500mm$ 揚水量 $33m^3/m$ 揚程 $14.5m$ 馬力 $150HP$	2	〃	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 700mm 揚水量 50m <sup>3</sup> /m 揚程 15m 馬 力 230HP	1	荏 原 製 作 所	

(14) 地蔵堀ポンプ所

所 在 地	荒川区南千住 7 丁目 122 番地
創 設	昭和24年 3 月
敷 地 面 積	572.42m <sup>2</sup> (173.46坪)
設 置 目 的	荒川区南千住 7 丁目及び三河島 8 丁目附近の汚水及び雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は三河島処理場へ送る。
計画排水面積	汚水 34ヘクタール 雨水 25ヘクタール
計 画 人 口	7,488人
計画揚水量	晴天時 0.027m <sup>3</sup> /S (2,333m <sup>3</sup> /D) 雨水量 1.0m <sup>3</sup> /S (60m <sup>3</sup> /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	木造建 延81.34 m <sup>2</sup>			
入 口 阻 水 扉	径 1,000mm手動開閉式	1	共 栄 精 機 所	
沈 砂 池	長 9.00m 巾 3.00m 有効水深 0.90m 有効容量 24.3m <sup>3</sup>	1	文 珠 興 業	
ろ 格	手搔上式 高巾 2.02m 巾 1.4m×2 目巾 30mm	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 3m <sup>3</sup> /m 揚程 6m 馬 力 10HP	1	水 野 組	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型固定羽根 式軸流ポンプ 口 径 500mm 揚水量 30m <sup>3</sup> /m 揚程 4.3m 馬 力 54HP	2	荏 原 製 作 所	

(15) 藍梁ポンプ所

所 在 地	荒川区荒川 8 丁目三河島処理場構内
創 設	昭和39年 4 月
設 置 目 的	荒川区の一部の汚水、雨水並びに北、豊島、文京、荒川、台東各区の一部の汚水並びに南千住、湯島各ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流、汚水は三河島処理場へ送る。
計画排水面積	汚水 2,70.05ヘクタール



雨水 335.52ヘクタール

計画人口 720,000人

計画排水量 晴天時  $3.638m^3/S$  ( $314,300m^3/D$ )雨水量  $32.67m^3/S$  ( $1,960.20m^3/min$ )

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボンプ室 入口阻水扉	鉄筋コンクリート建(建坪)800㎡ 油圧開閉式	高巾 2.0m 2.8m	4	桜田機械	雨水用
〃	〃	高巾 2.0m 1.8m	1	〃	汚水用
沈砂池	長巾 20m 有効水深 5m 有効容量 2.8m³		4		雨水用
〃	長巾 12m 有効水深 4m 有効容量 1.2m³		1		汚水用
揚泥機	グラブパケット, ジブクレーン式		2	桜田機械	雨水用
〃	パケットエレベーター式		1	〃	汚水用
ろ格機	機械掻上式	高巾 4.7m 2.3m 目巾 45mm	8	〃	雨水用
〃	〃	高巾 4.8m 1.8m 目巾 20mm	2	〃	汚水用
雨水ポンプ	電動機直結堅軸型斜流ポンプ	口径 1,700mm 揚水量 $395m^3/m$ 揚程 7.2m 馬力 867HP	1	荏原製作所	
〃	ディーゼルエンジン直結堅軸型斜流ポンプ	口径 1,700mm 揚水量 $395m^3/m$ 揚程 7.2m 馬力 950HP	2	〃	
汚水ポンプ	電動機直結堅軸型斜流ポンプ	口径 700mm 揚水量 $72.5m^3/m$ 揚程 15m 馬力 330HP	2	〃	

## (16) 宮城ポンプ所

所在地 足立区宮城町小台処理場構内

創 設 昭和39年4月

設置目的 足立区宮城町, 小台町, 本木町地帯の雨水を吸揚して, 荒川へ放流する。

計画排水面積 雨水 90.00ヘクタール

計画排水量 雨水量  $9.54m^3/S$  ( $572.4m^3/min$ )

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボンプ室 入口阻水扉	鉄筋コンクリート建(建坪) 208.25㎡ 油圧開閉式	高巾 2.16m 1.80m	2	田原製作所	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
沈 砂 池	長 巾 20m 有効水深 5m 有効容量 2.5m <sup>3</sup> 250m <sup>3</sup>	2		
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 3m 目巾 2.25m 25mm	4	三 機 工 業	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエ 口 径 1,100mm ンジン直結堅 揚水量 180m <sup>3</sup> /m 軸型斜流ポン 揚程 7m プ 馬 力 450HP	1	日 立 製 作 所	
〃	電動機直結堅 口 径 1,100mm 軸型斜統ポン 揚水量 180m <sup>3</sup> /m プ 揚程 7m 馬 力 400HP	1	〃	

(17) 千住ポンプ所

所 在 地 足立区千住曙町61番地

創 設 昭和38年4月

敷地面積 5,950.44m<sup>2</sup> (1,800坪)

設置目的 足立区千住, 千住大川町, 日の出町, 柳原町, 千住曙町, 千住関屋町, 千住橋戸町, 他の地域の汚水, 雨水並びに千住西ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し, 雨水は, 綾瀬川に放流, 汚水は砂幹線により吾嬬ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 410.70ヘクタール

雨水 298.70ヘクタール

計画人口 61,000人

計画揚水量 晴天時 0.306m<sup>3</sup>/S

雨水量 17.053m<sup>3</sup>/S (1,023.18m<sup>3</sup>/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延2,048.10m <sup>2</sup>			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高巾 6.46m 2.45m	4	日 立 製 作 所	雨 水 用
〃	〃 高巾 2.58m 1.35m	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長 巾 20.0m 有効水深 5.4m 有効容量 2.6m <sup>3</sup> 280m <sup>3</sup>	4		雨 水 用
〃	長 巾 16m 有効水深 2.0m 有効容量 0.55m <sup>3</sup> 17.6m <sup>3</sup>	1		汚 水 用



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
掻 集 機	ダブルチェーンコンベアー式	1	日 立 製 作 所	
掻 揚 機	//	1	//	
搬 出 機	ベルトコンベアー式	2	//	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 4.3m 目巾 2.45m 45mm	4	//	雨 水 用
//	// 高巾 5.4m 目巾 2.0m 15mm	1	//	汚 水 用
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結堅型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 210m <sup>3</sup> /m 揚程 5.2m 馬力 375HP	2	//	
//	電動機直結堅型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 210m <sup>3</sup> /m 揚程 5.2m 馬力 333HP	1	//	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結堅型片吸込式渦巻ポンプ 口径 350mm 揚水量 19m <sup>3</sup> /m 揚程 15m 馬力 100HP	1	//	

## (18) 木場ポンプ所

所 在 地	江東区深川豊住町 3 丁目 2 番地
創 設	昭和 4 年 12 月
敷 地 面 積	8,906.7m <sup>2</sup> (2,699坪)
設 置 目 的	江東区南西部即ち白河町, 扇橋, 木場, 平野町, 東陽町他の地域の汚水, 雨水ならびに三ノ橋, 月島各ポンプ所から送られて来る汚水を吸揚し, 雨水は十間川に放流し, 汚水は木場幹線により砂町処理場へ送る。
計画排水面積	汚水 1,385.00ヘクタール 雨水 443.0ヘクタール
計 画 人 口	325,000人
計画排水量	晴天時 2.984m <sup>3</sup> /S (257,800m <sup>3</sup> /D) 雨水量 42.52m <sup>3</sup> /S (2,551.2m <sup>3</sup> /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延2,943.13m <sup>2</sup>			
入 口 阻 水 扉	高巾 3.00m 1.80m 矩 形	8	桜 田 機 械	
沈 砂 池	長巾 18.03m 5.23m 有効水深 5.91m 有効容量 557m <sup>3</sup>	4		
揚 泥 機	門型移動式	2	日 立 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 6.65m 目巾 1.82m×2 25mm	4	米 井 商 店	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 250mm 揚水量 66m <sup>3</sup> /m 揚程 7.0m 馬 力 18HP	1	荏原製作所	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 510mm 揚水量 25.2m <sup>3</sup> /m 揚程 7.6m 馬 力 60HP	1	日立製作所	
〃	〃	口 径 600mm 揚水量 42m <sup>3</sup> /m 揚程 7.8m 馬 力 100HP	1	〃	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 610mm 揚水量 42m <sup>3</sup> /m 揚程 7.5m 馬 力 100HP	1	〃	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 810mm 揚水量 84m <sup>3</sup> /m 揚程 7.1m 馬 力 180HP	2	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型可動羽根式2段軸流ポンプ	口 径 1,140mm 揚水量 180m <sup>3</sup> /m 揚程 6.5m 馬 力 400HP	2	荏原製作所	
〃	電動機直結横軸型斜流ポンプ	口 径 1,140mm 揚水量 180m <sup>3</sup> /m 揚程 7.5m 馬 力 450HP	4	〃	

## (19) 月島ポンプ所

所 在 地 中央区新佃島東町1丁目13番地

創 設 昭和30年4月

敷地面積 503.25m<sup>2</sup> (152.5坪)

設置目的 中央区佃島, 新佃島西町, 西河岸通, 西仲通, 月島通, 東仲通, 東河岸通, 晴海町他の汚水を吸揚し月島幹線, 三ノ橋幹線等により木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 188.00ヘクタール

計画人口 27,000人

計画排水量 晴天時 0.586m<sup>3</sup>/S (50,600m<sup>3</sup>/D)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延350.06㎡			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高巾	0.90m 0.80m	1	守住土木機械	
阻 水 扉	手動開閉式 径	600mm	1		
沈 砂 池	長巾 有効水深 有効容量	9.0m 1.5m 0.78m <sup>3</sup> 10㎡	1		



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格 機	機械掻上式 巾 1.50m 高巾 3.40m 25mm	1	土 谷 製 作 所	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 400mm 揚水量 20m <sup>3</sup> /m 揚程力 21m 150HP	1	西 島 製 作 所	
〃	〃 口 径 300mm 揚水量 11m <sup>3</sup> /m 揚程力 21m 85HP	2	〃	
揚 泥 機	バケットエレベーター式 1 KW	1	土 谷 製 作 所	
掻 泥 機	バケットコンベアー式 2 KW	1	〃	
昇 降 機	ローベツト懸垂型 電動ホイスト付 1 ton 3 KW	1	日本エレベーター	

## (20) 越中島ポンプ所

所在地 江東区深川越中島町 8 番地

創 設 昭和30年10月

敷地面積 808.5m<sup>2</sup> (245坪)

設置目的 高潮時に江東区深川越中島町一帯の雨水をポンプ吸揚により越中島川に放流する。

計画排水面積 雨水 36.70ヘクタール

計画排水量 雨水量 2.328m<sup>3</sup>/S (139.68m<sup>3</sup>/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延344.68㎡			
入 口 阻 水 扉	電動開閉式 高巾 1.40m 1.40m	1	日 立 製 作 所	
放 流 阻 水 扉	〃 高巾 1.40m 1.40m	1	〃	
沈 砂 池	長巾 12.0m 4.0m 有効水深 1.26m 有効容量 60.5㎡	1	〃	
ろ 格	手 掻 上 式 高巾 3.40m 4.00m 目巾 30mm	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエ ンジン直結横 軸型固定羽根 式軸流ポンプ 口 径 800mm 揚水量 84m <sup>3</sup> /m 揚程力 4.2m 130HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型斜流ポン プ 口 径 600mm 揚水量 47m <sup>3</sup> /m 揚程力 4.5m 75HP	2	〃	

## (21) ミノ橋ポンプ所

所在地 墨田区竪川町4丁目1番地

創 設 昭和4年7月

敷地面積  $4,674.94m^2$  (1,416.65坪)

設置目的 墨田区南部、即ち亀沢町、錦糸町、江東橋他及び、江東区西北部即ち森下町、高橋、猿江町、他の地域の汚水、雨水ならびに業平橋ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は竪川へ放流し、汚水は木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 724.00ヘクタール

雨水 422.00ヘクタール

計画人口 189,000人

計画排水量 晴天時  $1.378m^3/S$  ( $119,000m^3/D$ )雨水量  $21.443m^3/S$  ( $1,286.58m^3/min$ )

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 入口阻水扉	鉄筋コンクリート建 延3,034.84 $m^2$ 高巾 3.00 $m$ 矩 形 1.50 $m$	8	桜 田 機 械	
沈 砂 池	長巾 18.18 $m$ 6.06 $m$ 有効水深 2.13 $m$ 有効容量 234.6 $m^3$	4		
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 6.06 $m$ 目巾 $1.67m \times 2$ 25 $mm$	4	月 島 機 械	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横口 径 460 $mm$ 軸型両吸込式 揚水量 $21m^3/m$ 渦巻ポンプ 揚程 5.8 $m$ 馬 力 45 $HP$	2	日 立 製 作 所	
〃	〃 口 径 610 $mm$ 揚水量 $42m^3/m$ 揚程 5.3 $m$ 馬 力 80 $HP$	2	〃	
〃	ディーゼルエンジン直結横口 径 250 $mm$ 軸型斜流ポンプ 揚水量 $9.5m^3/m$ 揚程 4.5 $m$ 馬 力 20 $HP$	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動歯車掛横口 径 1,140 $mm$ 軸型両吸込式 揚水量 $170m^3/m$ 渦巻ポンプ 揚程 3.5 $m$ 馬 力 180 $HP$	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横口 径 1,140 $mm$ 軸型両吸込式 揚水量 $170m^3/m$ 渦巻ポンプ 揚程 5 $m$ 馬 力 250 $HP$	3	〃	
〃	電動機直結横口 径 1,140 $mm$ 軸型可動羽根式軸流ポンプ 揚水量 $180m^3/m$ 揚程 3.5 $m$ 馬 力 200 $HP$	3	〃	
揚 泥 機	門型移動グラブバケット式	2	日 本 機 械 貿 易	
昇 降 機	荷 物 用 能 力 1 ton	2	内 外 エ レ ベ ー タ ー	



(22) 業平橋ポンプ所

所在地 墨田区吾妻橋3丁目17番地  
 創設 昭和4年7月  
 敷地面積 4,435.2㎡ (1,344坪)  
 設置目的 墨田区中部、即ち向島、吾妻橋、東駒形の地域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は北十間川に放流し、汚水は業平橋幹線により、三ノ橋ポンプ所へ送る。  
 計画排水面積 汚水 302.00ヘクタール  
 雨水 302.00ヘクタール  
 計画人口 83,000人  
 計画排水量 晴天時 0.528㎡/S (45,600㎡/D)  
 雨水量 12.228㎡/S (733.68㎡/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延2,544.76㎡			
入口止水扉	高巾	2.44m 1.52m 矩 形	8	安 治 川 鉄 工 所	
沈 砂 池	長巾	18.28m 4.55m 有効水深 3.73m 有効容量 308.5㎡	4		
揚 泥 機	バケットエレベーター式		2	米 井 商 店	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾	5.44m 1.67m×2 25mm 目巾	4	桜 田 機 械	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 500mm 揚水量 30㎡/m 揚程 6.4m 馬 力 60HP	1	日 立 製 作 所	
〃	〃	口 径 510mm 揚水量 27㎡/m 揚程 5.8m 馬 力 55HP	2	〃	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 300mm 揚水量 11㎡/m 揚程 6.5m 馬 力 27HP	1	電 業 社	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 1,140mm 揚水量 170㎡/m 揚程 4.0m 馬 力 230HP	3	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	口 径 1,140mm 揚水量 180㎡/m 揚程 3.0m 馬 力 180HP	3	〃	
捲 揚 機	傾斜路型	1 ton	1	内外エレベーター	

(23) 砂町ポンプ所

所在地 江東区南砂町5丁目1番地  
創 設 昭和35年4月  
礮地面積 8,785㎡ (2,657.52坪)  
設置目的 砂町系統のうち、砂町排水区（江東区の半分）の汚水、雨水を吸揚し東京湾に放流する。  
将来、汚水は大島ポンプ所より来る汚水をあわせ砂町処理場にする計画である。  
計画排水面積 汚水 2,238.57ヘクタール  
雨水 488.86ヘクタール  
計画人口 462,000人  
計画排水量 晴天時 3.573㎡/S (308,700㎡/D)  
雨水量 25.482㎡/S (1,528.92㎡/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延2,295.26㎡			
入 口 阻 水 扉	高巾 1.80m 2.00m	1	久 保 田 鉄 工	汚 水 用
〃	高巾 1.80m 1.95m	4	〃	雨 水 用
沈 砂 池	長巾 20.00m 3.00m 有効水深 1.80m 有効容量 108.0㎡	1		汚 水 用
〃	長巾 20.00m 4.50m 有効水深 2.77m 有効容量 249.3㎡	4		雨 水 用
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 5.1m 目巾 2.0m 25mm	8	桜 田 機 械	雨 水 用
〃	〃 高巾 6.1m 目巾 3.0m 25mm	1	〃	汚 水 用
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエ 口 径 1,200mm ンジン歯車掛 揚水量 200㎡/m 堅軸型斜流ボ 揚 程 9m ンブ 馬 力 600IP	2	荏 原 製 作 所	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結堅 口 径 900mm 軸型片吸込式 揚水量 100㎡/m 渦巻ポンブ 揚 程 18m 馬 力 533IP	1	〃	
ス キ ッ プ ホ イ ス ト	電動巻上式 7.5IP	1	桜 田 機 械	
篩 渣 用 脱 水 機	長巾 2.3m 0.6m	1	〃	
揚 泥 機	グラブバケット式	3	〃	
砂 洗 機	バケットコンペアー式	1	〃	
高架ホツパー	油圧閉閉式 容量 5.6㎡	1	〃	
篩 渣 用 破 碎 機	スイングハンマー式 処理能力 3㎡/h	1	〃	



## (24) 大島ポンプ所

所在地 江東区大島町6丁目地内

創 設 昭和39年4月

敷地面積  $8,349.62m^2$  (2,526.36坪)

設置目的 墨田区吾娯町の一部、江東区亀戸町の全域よりの汚水、雨水並びに吾娯、小松川各ポンプ所より送られて来る汚水とを吸揚し、雨水は豎川に放流、汚水は砂幹線により砂町ポンプ所へ送水する。

計画排水面積 汚水 1,749.71ヘクタール

雨水 469.78ヘクタール

計画人口 361,000人

計画排水量 晴天時  $2.472m^3/S$  ( $213,580.8m^3/D$ )雨水量  $26.480m^3/S$  ( $1,588.80m^3/min$ )

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $193.5m^2$			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 $3.0m$ 2.2m	2	田原製作所	雨水用
〃	〃 高巾 $2.2m$ 2.0m	1	〃	汚水用
沈砂池	長巾 $20m$ 5m 有効水深 $5.4m$ 有効容量 $540m^3$	6		雨水用
〃	長巾 $15m$ 4m 有効水深 $5.25m$ 有効容量 $315m^3$	2		汚水用
糞泥機	グラブバケット、ジグクレーン式	1	三機工業	雨水用
〃	バケットエレベータ式	1	〃	汚水用
ろ格機	機械掻上式 高巾 $4.58m$ 4.60m 目巾 $45mm$	4	〃	雨水用
〃	〃 高巾 $5.00m$ 5.04m 目巾 $20mm$	2	〃	汚水用
汚水ポンプ	電動機直結縦軸型斜流ポンプ 口径 $800mm$ 揚水量 $86m^3/m$ 揚程 $7.5m$ 馬力 $200HP$	1	電業社	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結縦軸斜流ポンプ 口径 $1,400mm$ 揚水量 $270m^3/m$ 揚程 $10m$ 馬力 $900HP$	1	日立製作所	

(25) 吾 婦 ポ ン プ 所

所 在 地 墨田区吾婦町東5丁目35番地

創 設 昭和16年3月

敷 地 面 積 5,890.5㎡ (1,785坪)

設 置 目 的 墨田区隅田町の一部、寺島町の大部、吾婦町の全域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川に放流する。将来は千住、隅田各ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し、砂幹線により大島ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 1,005.60ヘクタール

雨水 402.90ヘクタール

計 画 人 口 224,000人

計画排水量 晴天時 1.314㎡/S (113,500㎡/D)

雨水量 23.001㎡/S (1,380.06㎡/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延855.55㎡			
入 口 阻 水 扉	高 巾 3.50m 2.00m 矩 形	4	久 保 田 鉄 工	雨 水 用
〃	高 巾 1.20m 2.00m 矩 形	1		汚 水 用
沈 砂 池	長 巾 18.00m 5.60m 有効水深 2.96m 有効容量 298.0㎡	4		
揚 泥 機	移 動 式	1	守 住 土 木 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式 高 巾 5.267m 2.15m×2 目巾 40mm	2	浦 賀 船 渠	雨 水 用
〃	〃 高 巾 2.11m 2.1m×2 目巾 21mm	1		汚 水 用
〃	〃 高 巾 5m 2.0m×2 目巾 25mm	2	東 興 造 機	雨 水 用
篩 渣 脱 水 置 換 出 装 置	圧 縮 式	1	東 興 造 機	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸両吸込式渦巻ポンプ 口 径 650mm 揚水量 30㎡/m 揚程 9m 馬 力 100HP	2	五 十 嵐 鉄 工 所 荏 原 製 作 所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸両吸込式渦巻ポンプ 口 径 350mm 揚水量 16㎡/m 揚程 10m 馬 力 60HP	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結堅軸型可動羽根式軸流ポンプ 口 径 1,600mm 揚水量 330㎡/m 揚程 5.7m 馬 力 600HP	1	〃	



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨 水 ポ ン プ	電動機直結堅軸型斜流ポンプ	口径 1,600mm 揚水量 330m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬力 340HP	2	荏原製作所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口径 1,000mm 揚水量 140m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬力 340HP	1	〃	
送 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口径 150mm 揚水量 1.41m <sup>3</sup> /m 揚程 26.5m 馬力 27HP	2	〃	
ホ イ ス ト	荷 物 用	能 力 2 ton	1	日 立 製 作 所	
高 架 ホ ッ パ ー	油圧開閉式	容 量 3 m <sup>3</sup>	1	三 興 工 業	

(26) 小松川ポンプ所

所 在 地	江戸川区平井 1 丁目 2, 185 番地
創 設	昭和37年 4 月
敷 地 面 積	4,662m <sup>2</sup> (1,410坪)
設 置 目 的	墨田区吾嬬町の一部及び江戸川区平井、逆井、小松川等の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川へ放流する。将来汚水は小松川幹線、砂幹線により大島ポンプ所へ送水する。
計画排水面積	汚水 274.33ヘクタール 雨水 274.33ヘクタール
計 画 人 口	37,000人
計画排水量	晴天時 0.273m <sup>3</sup> /S (23,600m <sup>3</sup> /D) 雨水量 21.826m <sup>3</sup> /S (1,309.56m <sup>3</sup> /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延2,295.26m <sup>2</sup>			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	高 1.0m 巾 1.0m	1	桜 田 機 械	汚 水 用
〃	〃	高 3.25m 巾 1.6m	4	〃	雨 水 用
沈 砂 池	長 12.0m 巾 1.8m 有効水深 0.7m 有効容量 15.1m <sup>3</sup>		1		汚 水 用
〃	長 20.0m 巾 4.5m 有効水深 2.7m 有効容量 240m <sup>3</sup>		4		雨 水 用
揚 泥 機	走行ジブクレーン式		1	桜 田 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式	高 5.8m 巾 1.5m 目巾 25mm	1	〃	汚 水 用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 5.5m 目巾 1.75m×2 25mm	4	桜 田 機 械	雨 水 用
スキット ホ イ ス ト	電動巻上式	7.5HP	1	〃	
高架ホッパー	油圧開閉式	容量 6m³×2	1	〃	
篩 渣 破 碎 機	スイングハンマー式	処理能力3m³/h	1	三 菱 化 工 機	
〃 脱 水 機		〃 0.04m³/m	1	〃	
砂 洗 機		〃 3m³/h	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結 軸型渦巻ポン プ	口 径 350m 揚水量 16m³/m 揚程 15m 馬 力 80HP	1	日 立 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエ ンジン歯車掛 軸斜流ポン プ	口 径 1,400m 揚水量 260m³/m 揚程 8m 馬 力 700HP	2	〃	

## (27) 隅田ポンプ所

所 在 地 墨田区堤通 2 丁目16番地

創 設 昭和38年 4 月

敷 地 面 積 6,180.7m² (1,869.66坪)

設 置 目 的 墨田区隅田町大部, 寺島町の一部よりの汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は荒川に放流し, 汚水は砂幹線により吾嬬ポン所へ送る。

計画排水面積 汚水 192.00ヘクタール

雨水 192.00ヘクタール

計 画 人 口 53,000人

計画排水量 晴天時 0.331m³/S (28,598m³/D)

雨水量 16.120m³/S (967.20m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延1,694m²			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	高巾 3.60m 2.25m	4	田 原 製 作 所 日 立 金 属	雨 水 用
〃	〃	高巾 1.00m 1.35m	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長巾 20m 5m 有効水深 2.6m 有効容量 260m³		4		雨 水 用
〃	長巾 16m 1.5m 有効水深 0.54m 有効容量 13m³		1		汚 水 用



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
揚 泥 機	走行ジブクレーン式	1	日 立 製 作 所	
ろ 格 機	機械掻上式 高 5.00m 巾 2.25m 目巾 45mm	4	日 立 金 属	雨 水 用
〃	〃 高 5.8m 巾 1.5m 目巾 15m	1	〃	汚 水 用
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン歯車掛 堅軸型斜流ポンプ 口 径 1,200mm 揚水量 200m <sup>3</sup> /m 揚程 8m 馬 力 550HP	1	電 業 社	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結堅軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 350mm 揚水量 19m <sup>3</sup> /m 揚程 12.5m 馬 力 80HP	2	〃	

第 3 節 処 理 場

1. 処理場・処理能力の推移

年 次	三 河 島	芝 浦	砂 町	小 台	落 合	森 ケ 崎	合 計
32	165,000	539,800	178,800				883,600
33	〃	〃	〃				〃
34	〃	〃	〃				〃
35	〃	〃	〃				〃
36	267,400	633,000	225,000				1,125,400
37	223,000	770,000	302,700	100,000			1,389,000
38	209,700	770,000	302,700	179,000	90,000		1,551,400

( 1 ) 芝 浦 処 理 場

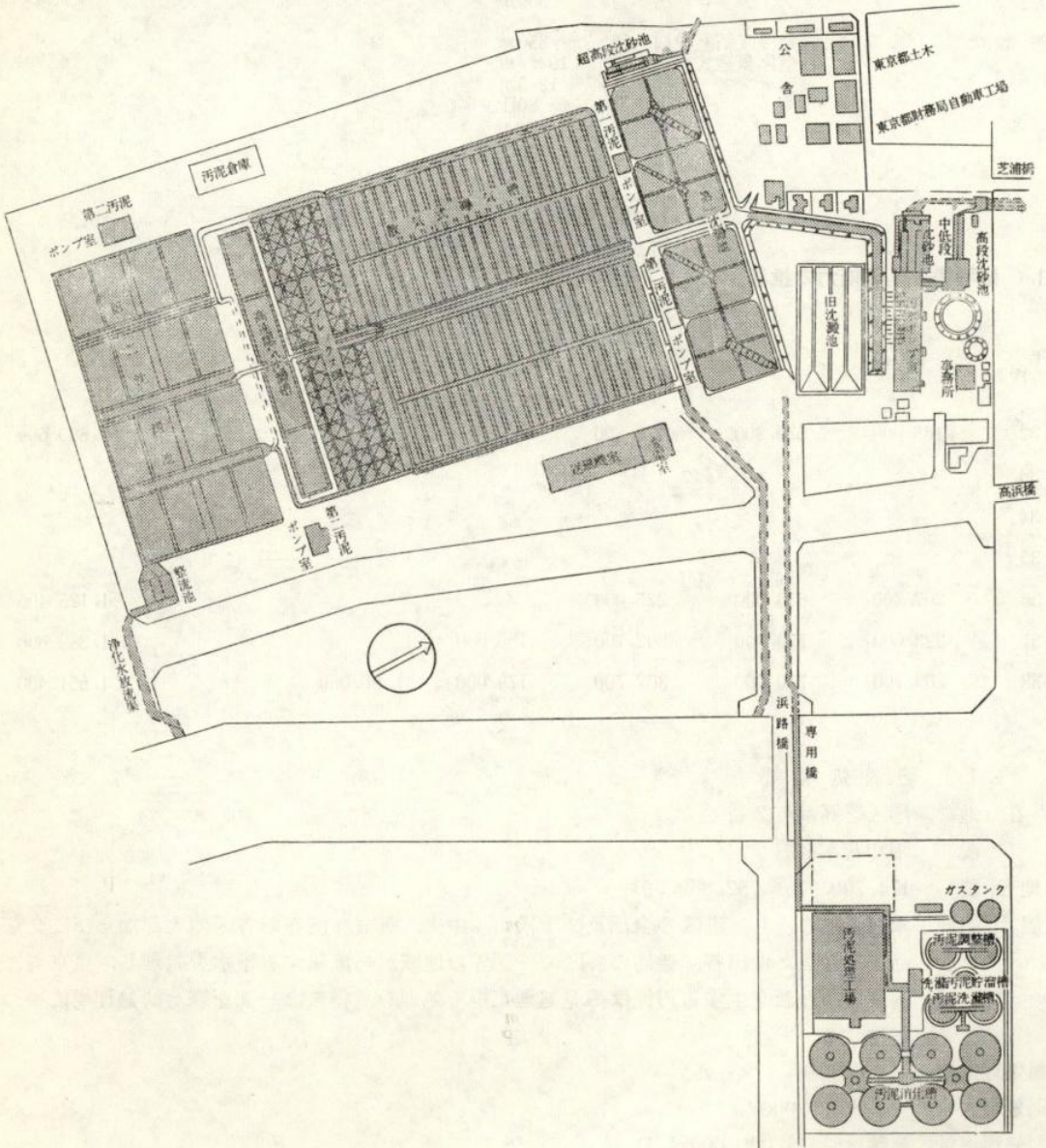
所 在 地	港区芝高浜町 2 番地
創 設	昭和 6 年 3 月
敷 地 面 積	174,700.97m <sup>2</sup> (52,859.59坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷の各区の大部ならびに文京、品川、目黒、世田谷、豊島の各区の一部等の地域から流集する下水を処理し、東京湾に放流する、なお発生する汚泥は汚泥処理工場で処理し、将来は一部を森ヶ崎処理場に送つて処理する。
計画処理面積	6,328ヘクタール
計画処理人口	1,030,000人
計画処理水量	晴天時 1,020,000m <sup>3</sup> /D
現有処理能力	〃 770,000m <sup>3</sup> /D

事務所	木造建	延	295.35 $m^2$
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延	2,292.35 $m^2$
送風機室	〃	延	874.14 $m^2$
汚泥処理工场上屋	〃	延	3,039.40 $m^2$

芝浦処理場計画平面図

完成部分

39. 3. 31 現在





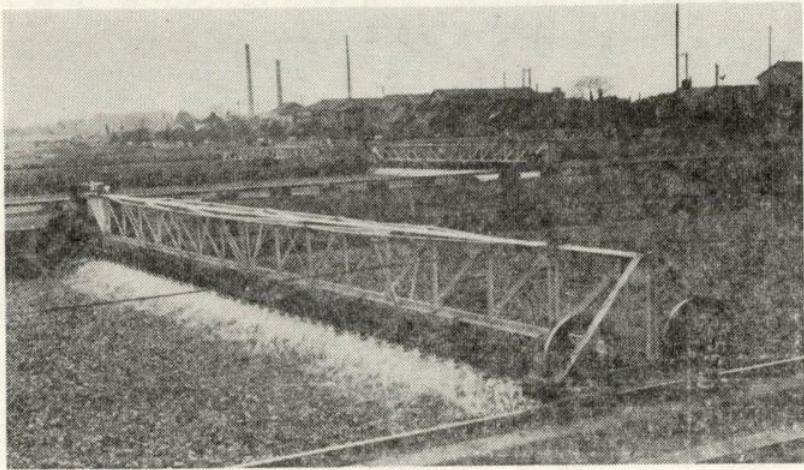
種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
伏越阻水扉	巾高	1.67m 1.82m 馬蹄形	3	中山貫一商店	
入口阻水扉	電動開閉式 巾高	1.8m 1.5m	2	石井鉄工所	超高段用
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	15m 3m 1.72m 77.4m <sup>3</sup>	2		"
撈泥機	パケットエレベーター式		2	"	"
ろ格機	機械撈上式 高巾 目巾	2.82m 1.25m×2 25mm	2	"	"
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	30.00m 2.40m 1.85m 105m <sup>3</sup>	2		高段用
撈泥機	リンクベルト式		2	大塚工場	"
揚泥機	固定式		2	"	"
ろ格機	機械撈上式 高巾 目巾	4.0m 2.4m×2 25mm	2	江戸川機械	"
入口阻水扉	巾高	2.25m 1.4m 矩 形	1	関機械製作所	"
"	巾高	0.95m 1.40m 矩 形	2	江戸川機械	"
"	巾高	1.83m 2.44m 矩 形	2	日立製作所	中低段用
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	19.08m 6.06m 1.79m 200m <sup>3</sup>	2		"
揚泥機	移動式		2	"	"
ろ格機	機械撈上式 高巾 目巾	3.8m 2.424m×2 26mm	2	"	"
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口径 410mm 揚水量 16.8m <sup>3</sup> /m 揚程 5m 馬力 30HP	2	"	高段用
"	"	口径 610mm 揚水量 42m <sup>3</sup> /m 揚程 5m 馬力 70HP	1	"	"
"	"	口径 810mm 揚水量 85m <sup>3</sup> /m 揚程 5.0m 馬力 130HP	1	"	"
"	"	口径 610mm 揚水量 33.3m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬力 70HP	2	"	中低段用
"	"	口径 700mm 揚水量 60m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬力 130HP	2	"	"

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸入式渦巻ポンプ	口 径 810mm 揚水量 66.6 m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬 力 130HP	1	日 立 製 作 所	中 低 段 用
〃	〃	口 径 920mm 揚水量 120 m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬 力 240HP	3	酉 島 製 作 所 日 立 製 作 所	〃
第 1 沈 澱 池	長巾 有効水深 有効容量	45.72m 45.72m 3.66m 7,650 m <sup>3</sup>	4		
掻 集 機	ドル式	45.72m 隔丸方形返	4	東洋パプコックアンドリュース商会	第 1 沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型ブレードレスポンプ	口 径 200mm 揚水量 5 m <sup>3</sup> /m 揚程 29m 馬 力 80HP	6	日 立 製 作 所	
曝 気 槽 (シンプレックス式)	長巾 有効水深 有効容量	81.20m 9.80m 5.60m 4,150 m <sup>3</sup>	8		
曝 気 機	シンプレックス式		8	関 機 械 製 作 所	第 1 沈澱池用
曝 気 槽 (散気式)	長巾 有効水深 有効容量	80.00m × 4 回路 6.70m 4.10m 8,000 m <sup>3</sup>	12	三井物産機械部 三 井 建 設	
送 風 機	電動機直結横軸型ターボプロワー	口 径 450mm 風量 250 m <sup>3</sup> /m 段 5段 圧 力 53maq 馬 力 450HP	12	荏 原 製 作 所	
第 2 沈 澱 池	長巾 有効水深 有効容量	40.00m 20.00m 4.40m 3,520 m <sup>3</sup>	14		
採 泥 機	走行構桁サイホン式		16	桜 田 機 械 安 藤 鉄 工 所 関 機 械 製 作 所	第 2 沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 500mm 揚水量 32 m <sup>3</sup> /m 揚程 6m 馬 力 60HP	3	日 立 製 作 所	
〃	電動機直結縦軸型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 500mm 揚水量 33 m <sup>3</sup> /m 揚程 7.6m 馬 力 78HP	3	久 保 田 鉄 工	
高速曝気沈澱池	長巾 有効水深	40.00m 16.00m 4.9m	4	エバライン フィルコ	
高速曝気槽用 汚 泥 ポ ン プ	電動機直結縦型	口 径 160mm 揚水量 2 m <sup>3</sup> /m 揚程 15m 馬 力 20HP	2	荏 原 製 作 所	
汚 泥 槽	径 有効水深 有効容量	22.00m 4.56m 1,540 m <sup>3</sup>	2		
〃	径 有効水深 有効容量	14.55m 3.64m 500 m <sup>3</sup>	1		
滅 菌 機	磯村式MSV型真空滅菌機	5.6kg/h	8	磯 村 産 業	
〃	D. V. G. 型真空滅菌機	6kg/h	1	水 道 機 工	



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
濃 縮 槽	内径 有効水深 有効容量	20.00m 4.2m 1,530m <sup>3</sup>	2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 揚程 20m 馬 力 28HP	2	荏原製作所	〃
貯 留 槽	内径 有効深さ 有効容量	15m 3.5m 630m <sup>3</sup>	1		汚泥処理工場用
貯留槽ポンプ	電動機ベルト 掛横軸型片吸 込式渦巻ポン プ	横口径 250mm 揚水量 1.7m <sup>3</sup> /m 揚程 14m 馬 力 28HP	2	日 曹 製 鋼	〃
洗 滌 槽	内径 有効深さ 有効容量	20m 3m 940m <sup>3</sup>	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機ベルト 掛横軸型片吸 込式渦巻ポン プ	横口径 150×100mm 揚水量 17m <sup>3</sup> /m 揚程 6m 馬 力 21HP	2	日 曹 製 鋼	〃
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量	25m 9m 4,500m <sup>3</sup>	8		
汚泥循環ポンプ	電動機直結横 軸型ブレード レスポンプ	口 径 160mm 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 揚程 12m 馬 力 20HP	8	荏原製作所	〃
ボ イ ラ ー	三胴水管式	圧 力 25m Aq 出力 1,583,000Kcal/h 伝熱面積 140m <sup>2</sup>	3	安藤鉄工所	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横 軸型渦巻ポン プ	口 径 160mm 揚水量 3.15m <sup>3</sup> /m 揚程 14.5m 馬 力 15HP	3	荏原製作所	
熱 交 換 器	二重管式	出力 920,000 Kcal/h 圧 力 1.5kg/cm <sup>2</sup>	8	安藤鉄工所	〃
薬品溶解槽	辺 有効深さ 有効容量	2.5×2.5m 3m 20m <sup>3</sup>	2		〃
汚泥混和槽	辺 有効深さ 有効容量	2.0×2.0m 2m 8m <sup>3</sup>	2		〃
消石灰ホツパー	容 量	4m <sup>3</sup>	1	大 成 鉄 工	〃
真 空 ろ 過 機	連続回転式円筒型 ろ過面積 馬 力	32m <sup>2</sup> 3HP	12	エバラインファイルコ	〃
ケーキホツパー	手動開口式	容量 5m <sup>3</sup>	4	大 成 鉄 工	〃
真 空 ポンプ	電動機ベルト 掛横型水冷ブ レート弁式	容量 65.4m <sup>3</sup> /m 真空度 600mmHg 馬力 100HP	6	三 国 重 工	〃
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト 掛縦型1段式	容量 16.7m <sup>3</sup> /m 圧力 2gk/cm <sup>2</sup> 馬力 100HP	3	〃	〃
ガスブロワー	電動機直結片 吸込式2段タ ーボブローア	口径 160mm 容量 24m <sup>3</sup> /m 圧力 550mmAq 馬力 7.5HP	2	荏原製作所	〃

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ガスコンプレッサー	電動機ベルト掛 横型水冷単気筒 複動1段式	容量 $16.1m^3/m$ 圧力 $5Kg/cm^2$ 馬力 100HP	2	大 都 工 業	汚泥処理工場用
脱 硫 器	乾 式	容量 $30,000m^3/D$	1	石 井 鉄 工	〃
ガ ス タ ン ク	球 形	直径 $13.15m$ 容量 $1,300m^3$ 圧力 $5kg/cm^2$	1	〃	〃



大正12年に建設された三河島処理場の散水汙床は、40余年もくもくと働いてきた、しかし、近年の都市構造などの変化により、汚水量の増大、処理の高級化が要求され、能率のよい散気式曝気槽に改造されることになった。すでに汙床の半分（12床）は37年10月から撤去され、39年 9 月より新しい散気一式曝気槽が運転を始めている。

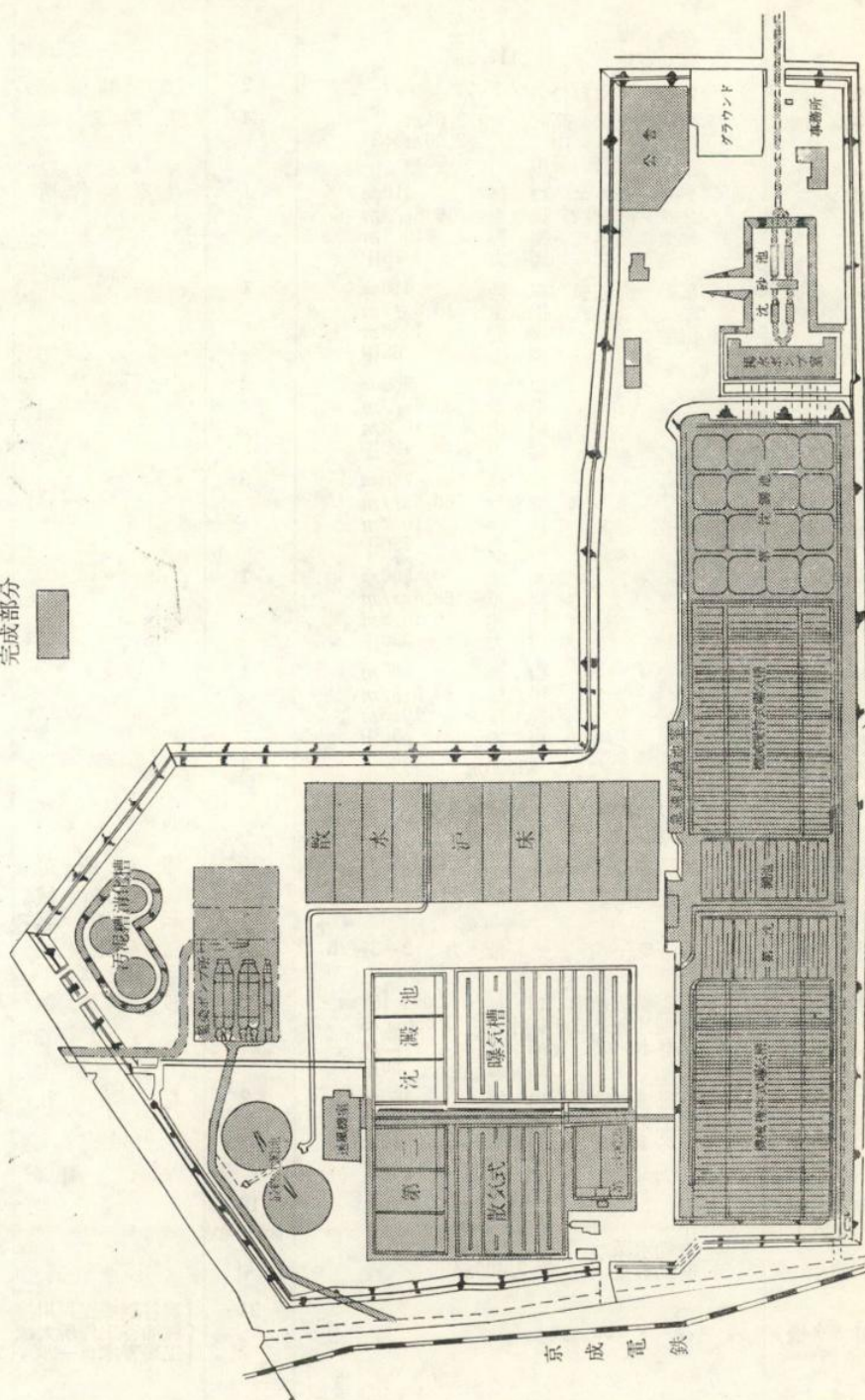
（2） 三河島処理場

所 在 地	荒川区荒川 8 丁目25番地
創 設	大正12年 3 月
敷 地 面 積	$184,856.08m^2$ (55,932.25坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、台東，荒川両区の全部及び文京，豊島両区の大部ならびに千代田，新宿北各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお発生する汚泥は全部を砂町処理場へ送つて処理する。
計画処理面積	3,936ヘクタール
計画処理人口	1,120,000人
計画処理水量	晴天時 $520,000m^3/D$
現在処理能力	〃 $209,700m^3/D$



三河島処理場計画平面図  
39. 3. 31. 現在

完成部分



事務所	鉄筋コンクリート建	延	395.27 $m^2$
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延	1,445.73 $m^2$
送風機上家	鉄筋コンクリート建	延	2,255.74 $m^2$

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	巾 2.10m 高 1.80m 馬蹄形	2	ゐのくち式機械 事 務 所	
沈 砂 池	長巾 有効水深 有効容量	19.70m 5.45m 1.21m 117.3m³	2		
揚 泥 機	チェーン走行バケツトスクレツパー式		2	江 戸 川 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式	高巾 3.64m 目巾 2.00m×2 25mm	4	東 興 造 機	
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 410mm 揚水量 16.8m³/m 揚程 10.5m 馬 力 75HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 410mm 揚水量 16.8m³/m 揚程 10.5m 馬 力 65HP	1	〃	
〃	〃	口 径 560mm 揚水量 33.6m³/m 揚程 10.3m 馬 力 120HP	3	〃	
〃	〃	口 径 760mm 揚水量 66.6m³/m 揚程 10.2m 馬 力 230HP	3	〃	
〃	〃	口 径 800mm 揚水量 68.4mm/m 揚程 10.2m 馬 力 230HP	1	〃	
〃	〃	口 径 800mm 揚水量 84.6m³/m 揚程 10.5m 馬 力 250HP	1	〃	
第 1 沈 澱 池	長巾 有効水深 有効容量	84.00m 21.21m 2.90m 4,440m³	4		
掻 集 機	星型中心運転式		16	浦 賀 船 渠	
ホ ツ パ ー	油圧開閉式	能 力 12m³	3	江 戸 川 機 械 三 菱 化 工	
脱 水 機	ローラー式	能 力 2—3m³/h	3	江 戸 川 機 械 三 菱 化 工	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 200×150mm 揚水量 0.056m³/S 揚程 22m 馬 力 50HP	2	日 曹 製 鋼	第1沈澱池用
〃	電動機直結縦軸型ブレードレスポンプ	口 径 160mm 揚水量 2.5m³/m 揚程 10m 馬 力 15HP	2	電 業 社	第1沈澱池用
曝 気 槽 (パドル式)	長巾 有効水深 有効容量	84.75m 21.20m 1.50m 2,400m³	12		
攪 拌 機	パ ド ル 式		24	{ 岡谷鋼機江戸川機 械油谷工作所大塚 工場青木ロール	



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
第 2 沈 澱 池	長 巾 有効水深 有効容量	33.00m 18.00m 3.7m 2,190m <sup>3</sup>	8		
採 泥 機	走行構桁型サイホン式		8	油 谷 工 作 所	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 300mm 揚水量 12m <sup>3</sup> /m 揚程 4.5m 馬 力 20HP	4	荏 原 製 作 所	第 2 沈澱池用
ろ 床	長 巾 ろ材深さ ろ床面積	66.67m 30.30m 1.49~1.60m 2,020m <sup>2</sup>	12		
散 水 機	ハートレー式		24		散水ろ床用
最 終 沈 澱 池	内径 有効深さ 有効容量	36.0m 3.2m 3,260m <sup>3</sup>	2		
掻 集 機	星型中心運転式	2本アーム	2	桜 田 機 械	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 150mm 揚水量 2.4m <sup>3</sup> /m 揚程 15m 馬 力 20HP	2	荏 原 製 作 所	最終沈澱池用
滅 菌 機	D. V. G 真空式	6kg/h	3	水 道 機 工	
汚 泥 槽	径 有効深さ 有効容量	21.82m 4.09m 1,00m <sup>3</sup>	2		
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量	15m 4.5m 1,00m <sup>3</sup>	1		
ガ ス タ ン ク	直径 高 容量	10m 4.0m 310m <sup>3</sup>	1		
吐 口 ポ ン プ	電動機直結横 軸固定羽根式 軸流ポンプ	口 径 800mm 揚水量 82.8m <sup>3</sup> /m 揚程 3m 馬 力 100HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型斜流ポン プ	口 径 700mm 揚水量 64m <sup>3</sup> /m 揚程 4m 馬 力 80HP	1	〃	
〃	電動機直結横 軸固定羽根式 軸流ポンプ	口 径 500mm 揚水量 30m <sup>3</sup> /m 揚程 3m 馬 力 40HP	1	〃	
送 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 150mm 揚水量 1.41m <sup>3</sup> /m 揚程 26.5m 馬 力 27HP	2	〃	
第 1 沈 澱 池	長 巾 有効水深 有効容量	40m 16m 3m 1,920m <sup>3</sup>	2		尾久幹線用
掻 集 機	リンクベルト式 主コレクター クロコレクター	長 83.6m 長 32.5m	2	日 立 金 属	〃
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結縦 型フレードレ ースポンプ	口 径 150mm 揚水量 2m <sup>3</sup> /m 揚程 7m 馬 力 10HP	2	電 業 社	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
曝 気 槽 (散 気 式)	長 巾 有効水深 有効容量	75m×4回路 7.35m 4.20m 9,260m <sup>3</sup>	2		尾久幹線用
送 風 機	電動機直結横 軸型ターボブ ローア	口 径 450mm 風 量 250m <sup>3</sup> /m 5段 力 5.2mAq 440P	3	日 立 製 作 所	〃
第 2 沈 澱 池	長 巾 有効水深 有効容量	40m 24m 3.5m 3,360m <sup>3</sup>	3		〃
掻 泥 機	リンクベルト式		3	日 住 金 属 機 械	〃
汚 泥 ポ ン プ	主コレクター クロスコレクター	長 78m 長 27m	3	電 業 社	
	電動機直結縦 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 300mm 揚水量 12m <sup>3</sup> /m 8m 馬 力 40P	3		

## (3) 砂 町 処 理 場

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地

創 設 昭和5年2月

敷 地 面 積 378,770.85m<sup>2</sup> (114,605.4坪)

設 置 目 的 本都内部のうち、墨田、江東両区の全部及び中央、足立、江戸川各区の一部等の地域から  
 流集する下水を処理して東京湾に放流する。なお発生する汚泥は三河島処理場より送られ  
 て来る汚泥と併せて処理する。

計画処理面積 3,977ヘクタール

計画処理人口 840,000人

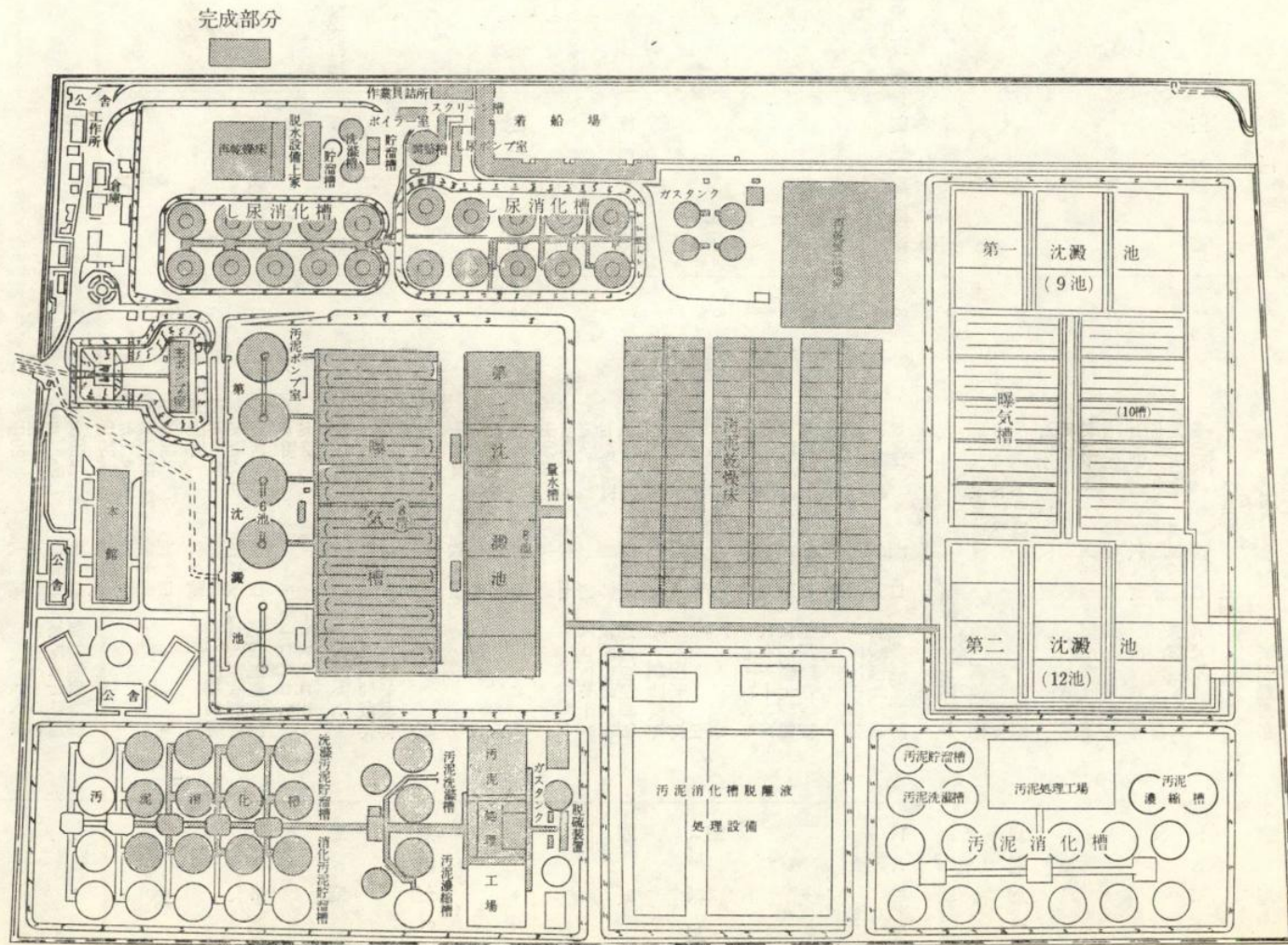
計画処理水量 晴天時 630,000m<sup>3</sup>/D現有処理能力 〃 302,700m<sup>3</sup>/D

事 務 所	鉄筋コンクリート建	延 2,013.52m <sup>2</sup>
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート建	延 750.42m <sup>2</sup>
送 風 機 室	鉄筋コンクリート建	延 3,167.06m <sup>2</sup>
汚泥処理工場上家	鉄筋コンクリート建	延 336m <sup>2</sup>



## 砂町处理场計画平面図

39. 3. 31 現在



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
人 口 阻 水 扉	巾 高	1.80m 1.80m 馬蹄形	2	電業社原動機	
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 目巾	3.1m 2.42m 40mm	2	三 機 工 業	
汚 水 ポ ン プ	ディーゼルエ ンジン直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 410mm 揚水量 16m <sup>3</sup> /m 揚程 13m 馬 力 70HP	4	西 島 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 800mm 揚水量 84m <sup>3</sup> /m 揚程 13m 馬 力 335HP	4	〃	
第 1 沈 澱 池	直径 有効水深 有効容量	36.0m 3.7m 3,766m <sup>3</sup>	4		
掻 集 機	十字型中心運転式		4	江 戸 川 機 械 守 住 土 木	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 2.1m <sup>3</sup> /m 揚程 5.0m 馬 力 6.7HP	3	荏 原 製 作 所	第1沈澱池用
〃	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口 径 200mm 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 揚程 5m 馬 力 14.8HP	3	〃	〃
曝 気 槽 (散 気 式)	長 巾 有効水深 有効容量	80m×4 6.30m 4.80m 9,677m <sup>3</sup>	6		
送 風 機	電動機直結横 軸型片吸込式 ターボプロア ー	口 径 400mm 容 量 250m <sup>3</sup> /m 段 5段 圧 力 5.3mAq 馬 力 440HP	3	石 川 島 重 工 業	
〃	〃	口 径 450mm 容 量 300m <sup>3</sup> /m 段 5段 馬 力 533HP	3	荏 原 製 作 所	
第 2 沈 澱 池	長 巾 有効水深 有効容量	45m 25m 3.80m 4,275m <sup>3</sup>	6		
掻 泥 機	リンクベルト式		6	日 立 金 属	第2沈澱池用
泥 泥 ポ ン プ	主コレクター クロスコレクター	長 83m 長 25m	3	日 立 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 350mm 揚水量 15m <sup>3</sup> /m 揚程 4.5m 馬 力 25HP	2	〃	
〃	〃	口 径 350mm 揚水量 22.5m <sup>3</sup> /m 揚程 4.5m 馬 力 34HP	2	〃	
〃	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口 径 250mm 揚水量 7.5m <sup>3</sup> /m 揚程 4.5m 馬 力 20HP	1	〃	



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
滅 菌 機	磯村式真空スーパ－滅菌機 20 kg/h	1	磯 村 産 業	
〃	〃 5.6 kg/h	4	〃	
濃 縮 槽	内 径 25m 有効水深 4.5m 有効容量 2,200m <sup>3</sup>	2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 160mm 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 揚程 20m 馬 力 30HP	3	電 業 社	〃
消 化 槽	内 径 25m 有効水深 9.5m 有効容量 3,300m <sup>3</sup>	8		〃
汚泥循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 130mm 揚水量 1.7m <sup>3</sup> /m 揚程 14m 馬 力 15HP	12	安 藤 鉄 工 日 曹 製 鋼	
貯 留 槽	内径 18m 有効水深 3.7m 有効容量 910m <sup>3</sup>	1		
貯留槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 160mm 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 揚程 16m 馬 力 25HP	3	電 業 社	〃
洗 滌 槽	内径 25m 有効水深 3.5m 有効容量 1,720m <sup>3</sup>	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ 口 径 160mm 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 揚程 7.5m 馬 力 10HP	3	電 業 社	〃
ボ イ ラ ー	三胴水管式 圧 力 2.5kg/cm <sup>2</sup> 出 力 5.5t/h 伝熱面積 170m <sup>2</sup>	2	安 藤 鉄 工	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 3m <sup>3</sup> /m 揚程 14m 馬 力 15HP	3	日 立 製 作 所	
熱 交 換 器	二重管式 出 力 400,000kcal/h 圧 力 1.5kg/cm <sup>2</sup>	12	安 藤 鉄 工	
薬品溶解槽	有効容量 22m <sup>3</sup>	2		
汚泥混和槽	〃 16m <sup>3</sup>	1		
真 空 ろ 過 機	連続回転式多 室型 ろ過面積 32m <sup>2</sup> 馬 力 5HP	16	三 菱 化 工 機	〃
真 空 ポ ン プ	電動機ベルト 掛横型往復式 容 量 65m <sup>3</sup> /m 真空度 600mmHg 馬 力 100HP	8	宇野沢鉄工所	〃
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト 掛横型水冷式 容 量 20m <sup>3</sup> /m 圧 力 3kg/cm <sup>2</sup> 馬 力 100HP	4	〃	〃
ガスブロワー	電動機直結タ ーボブロワー 口 径 160mm 容 量 24m <sup>3</sup> /m 圧 力 600mmAq 馬 力 7.4HP	2	荏 原 製 作 所	〃
ガ ス 圧 縮 機	電動機ベルト 掛横型水冷式 容 量 11.9m <sup>3</sup> /m 圧 力 5kg/cm <sup>2</sup> 馬 力 80HP	2	大 都 工 業	〃
脱 硫 器	乾 式 60m <sup>3</sup>	1	石川島重工業	〃

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ガ ス タ ン ク	球 形 直 径 15m 容 量 1,770m <sup>3</sup> 圧 力 5kg/cm <sup>2</sup>	1	石川島重工業	汚泥処理工場用

(4) 小 台 処 理 場

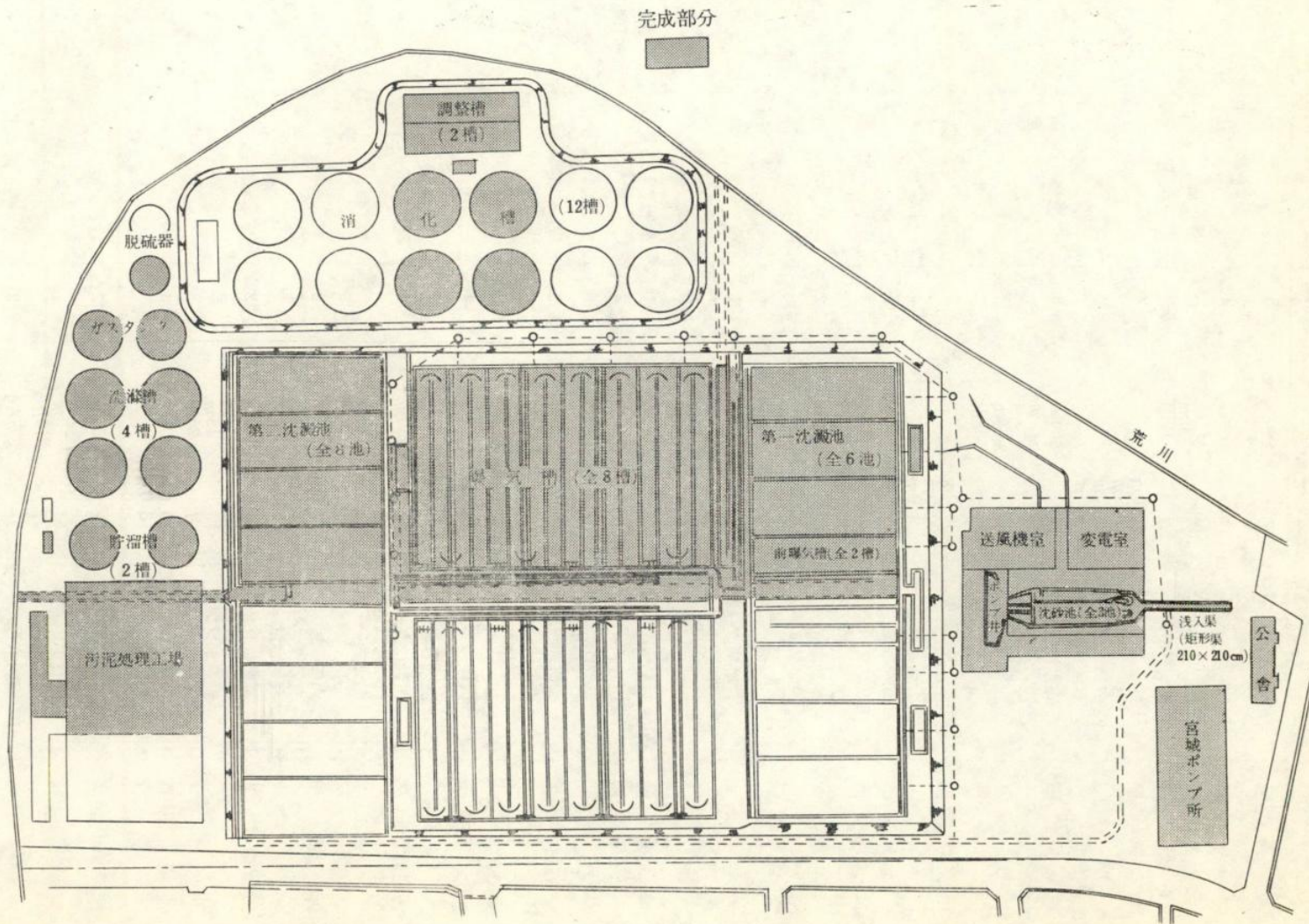
所 在 地	足立区宮城町24番地
創 設	昭和37年 4 月
敷 地 面 積	84,738.18m <sup>2</sup> (25,639.39坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、北、板橋両区の大部及び新宿、豊島、練馬、足立の各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお、発生する汚泥は、落合処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。
計画処理面積	4,552ヘクタール
計画処理人口	970,000人
計画処理水量	(晴天時) 420,000m <sup>3</sup> /D
現有処理能力	(晴天時) 179,000m <sup>3</sup> /D
本 館	鉄筋コンクリート建 延 6,103m <sup>2</sup>
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延 3,580.80m <sup>2</sup>
汚泥処理工場	鉄筋コンクリート建 延 5,917m <sup>2</sup>

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 矩形型 高 2.0m 巾 1.8m	3	桜 田 機 械	
沈 砂 池	辺 高 20.0m×巾4.0m 有効深さ 2.9m 有効容量 232m <sup>3</sup>	3		
揚 泥 機	固 定 式	3	桜 田 機 械	
洗 砂 機	処理能力 3m <sup>3</sup> /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
高架ホツパー	油圧開閉式 容 量 3.5m <sup>3</sup>	2	桜 田 機 械	
ろ 格 機	機械掻上式 高 2.9m 巾 1.5×2 目巾 25mm	3	〃	
篩 渣 破 碎 機	スイングハンマー式 処理能力 3m <sup>3</sup> /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
〃 脱 水 機	〃 3m <sup>3</sup> /h	1	住 友 機 械	
汚 水 ボ ン プ	電動機直結縦 口 径 700mm 軸型片吸込式 揚水量 75m <sup>3</sup> /m 渦巻ポンプ 揚 程 13m 馬 力 300HP	2	荏 原 製 作 所	
前 曝 気 槽	長 51.5m 巾 6.0m 有効水深 4.5m 有効容量 2,700m <sup>3</sup>	1		
第 一 沈 澱 池	長 50.0m 巾 20.0m 有効水深 3.6m 有効容量 3,500m <sup>3</sup>	2		



# 小台処理場計画平面図

39. 3. 31現在



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
掻 集 機	リングベ 主コレクター 長さ 96m ルト式 クロスコレクター 24m	3	日 立 金 属	第一沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 160mm 軸型片吸込式 揚水量 2m <sup>3</sup> /m ブレードレス 揚程 6m ポンプ 馬力 10HP	4	電 業 社	〃
曝 気 槽	長 70.0m 巾 6.3m 有効水深 4.2m 有効容量 7,410m <sup>3</sup>	2		
送 風 機	電動機直結横 口 径 500mm 軸型ターボ 風量 300m <sup>3</sup> /m ブローア 力 4 馬力 5.3mAq 533HP	3	荏 原 製 作 所	
第 二 沈 澱 池	長 50.0m 巾 20.0m 有効水深 4.0m 有効容量 3,900m <sup>3</sup>	2		
掻 泥 機	リンクベ 主コレクター 長さ 97.5m ルト式 クロス 23.5m	4	日 立 金 属	
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結 口 径 350mm 型斜流ポンプ 揚水量 13m <sup>3</sup> /m 馬力 4m 20HP	2	電 業 社	第二沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 350mm 型斜流ポンプ 揚水量 16m <sup>3</sup> /m 馬力 4m 25HP	1	電 業 社	第二沈澱池用
滅 菌 機	DV型真空滅菌機 30kg/h	1	水 道 機 工	〃
濃 縮 槽	辺 巾 10m×長40m 有効深さ 4m 有効容量 1,660m <sup>3</sup>	2		汚泥処理工場用
濃 縮 槽 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 160m 軸型片吸込式 揚水量 2.1m <sup>3</sup> /m 渦巻ポンプ 揚程 18m 馬力 25HP	2	電 業 社	〃
消 化 槽	内径 23.0m 有効深さ 12.0m 有効容量 5,000m <sup>3</sup>	4		〃
汚 泥 循 環 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 150m 軸型片吸込式 揚水量 2.8m <sup>3</sup> /m 渦巻ポンプ 揚程 12m 馬力 20HP	4	電 業 社	〃
貯 留 槽	内径 17.0m 有効深さ 3.0m 有効容量 680m <sup>3</sup>	2		〃
貯 留 槽 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 160m 軸型片吸込式 揚水量 2.5m <sup>3</sup> /m 渦巻ポンプ 揚程 18m 馬力 25HP	2	電 業 社	〃
洗 滌 槽	内径 19.0m 有効深さ 3.0m 有効容量 850m <sup>3</sup>	4		〃
洗 滌 槽 ポ ン プ	電動機直結横 口 径 130mm 軸型片吸込式 揚水量 1.2m <sup>3</sup> /m 渦巻ポンプ 揚程 5m 馬力 7.5HP	2	電 業 社	〃
ボ イ ラ ー	三胴水管式 圧 力 25mAq 出 力 3,000,000kcal/h 伝熱面積 170m <sup>2</sup>	2	安 藤 鉄 工	〃



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 180mm 揚水量 3.55 $m^3/m$ 揚馬力 14 $m$ 20HP	2	電 業 社	〃
熱 交 換 器	二重管式	出 力 680,000kcal/h 圧 力 1.5kg/cm $\hat{a}$	4	安 藤 鉄 工	汚泥処理工場用
薬品溶解槽	有効容量	20 $m^3$	2	三 機 工 業	〃
汚泥混和槽	〃	20 $m^3$	1	〃	〃
消石灰ホツパー	容 量	5 $m^3$	1	三 機 工 業	〃
真空ろ過機	連続回転式円筒型	ろ過面積 32 $m^2$ 馬 力 2HP	6	〃	〃
ケーキホツパー	油圧開口式	容 量 5 $m^3$	2	〃	〃
真空ポンプ	電動機ベルト掛横型一段プレート弁式	容 量 65 $m^3/m$ 真空度 600mmHg 馬 力 100HP	3	三 国 重 工	〃
空気圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷式	容 量 30 $m^3/m$ 圧 力 3kg/cm $\hat{a}$ 馬 力 145HP	1	〃	〃
ガスブロワー	電動機直結ターボブロワー	口 径 160mm 容 量 25 $m^3/m$ 圧 力 700mmAq 馬 力 10HP	2	荏 原 製 作 所	〃
ガス圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷単気筒複動1段式	容 量 11.9 $m^3/m$ 圧 力 5.2kg/cm $\hat{a}$ 馬 力 72HP	2	大 都 工 業	〃
脱 硫 器	乾 式	30,000 $m^3/D$	1	石 井 鉄 工	〃
ガスタンク	球 形	直 径 15.6m 容 量 2,000 $m^3$ 圧 力 5kg/cm $\hat{a}$	1	〃	〃

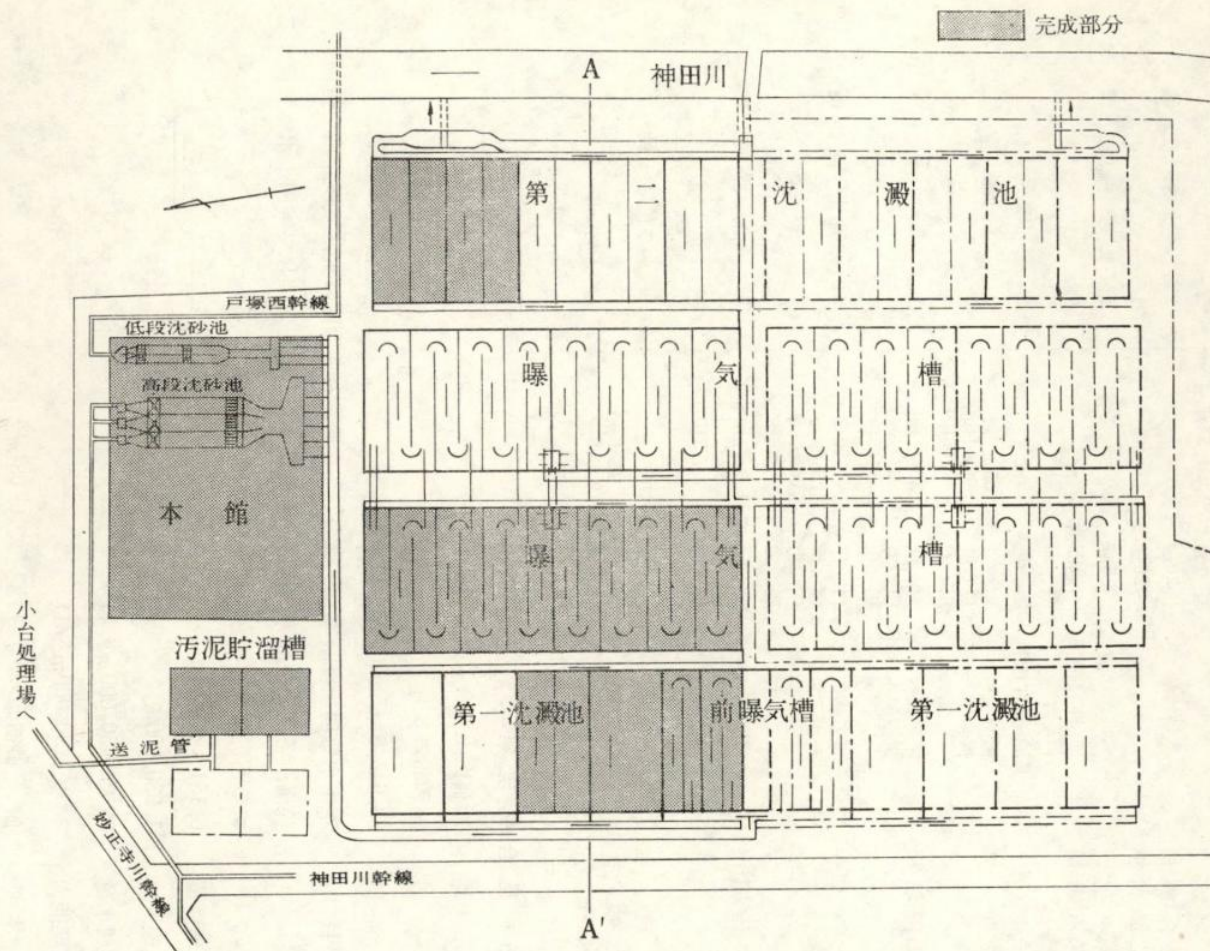
(5) 落 合 処 現 場

所 在 地	新宿区上落合1丁目100番地
創 設	昭和39年3月
敷 地 面 積	68,645.61 $m^2$ (20,770.23坪)
設 置 目 的	本下水処理場は、本都区部のうち中野、杉並両区の大部及び新宿、世田谷、渋谷、豊島練馬、各区の一部等の地域から流集する下水を処理して神田上水へ放流する。尚、発生する汚泥は全部小台下水処理場へ送つて処理する。
計画処理面積	6,151ヘクタール
計画処理人口	1,230,000人
計画処理水量	晴天時450,000 $m^3/D$
現有処理能力	90,000 $m^3/D$
本 館	鉄筋コンクリート建 延 15,084 $m^2$
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 480 $m^2$
送風機室	鉄筋コンクリート建 延 768 $m^2$

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	電動開閉式 巾高	1.8m 2.5m	3	久保田鉄工所 東邦製作所	高 段 用

39. 3. 31 現在

落合処理場計画平面図





種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
沈 砂 池	長巾 22m 4m 有効水深 1.27m 有効容量 111.8m <sup>3</sup>	2		
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 3.7m 1.534m 200mm 巾 1.8m 1.2m	4	新三菱重工業	〃
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 巾 1.8m 高 1.2m	2	久保田鉄工所 油 研 工 業	低 段 用
沈 砂 池	長巾 12m 1.8m 有効水深 0.61m 有効容量 13.2m <sup>3</sup>	2		〃
ろ 格 機	機械掻上式 高巾 2.8m 巾 1.534m 20mm	2	新三菱重工業	〃
汚 水 ポ ン プ	電動機直結縦軸型斜流ポンプ 口 径 900mm 揚水量 120m <sup>3</sup> /m 揚程 6m 馬力 253HP	2	電 業 社	高 段 用
〃	電動機直結縦軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 350mm 揚水量 14.5m <sup>3</sup> /m 揚程 13m 馬力 73HP	1	〃	〃
〃	電動機直結及びディーゼルエンジン掛片吸込式渦巻ポンプ 口 径 350mm 揚水量 14.5m <sup>3</sup> /m 揚程 13m 電動機馬力 73HP エンジン馬力 85HP	1	〃	〃
前 曝 気 槽	長巾 40m×2 5.4m 有効水深 4.5m 有効容量 1.940m <sup>3</sup>	2		
送 風 機	電動機直結横軸型ターボブロアー 口 径 500mm 風量 360m <sup>3</sup> /m 圧力 5.3m <sup>3</sup> Aq 馬力 666m	4	新三菱重工業	
第 一 沈 澱 池	長巾 40m 20m 有効水深 3.2m 有効容量 2,560m <sup>3</sup>	4		
掻 集 機	リンクベルト式主コレクター クロスコレクター	2	浦 賀 重 工	第一沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式ブレードレス 口 径 160mm 揚水量 3m <sup>3</sup> /m 揚程 45m 馬力 7.3HP	3	久 保 田 鉄 工	〃
曝 気 槽	長巾 39.6m×8m 6.3m 有効水深 4.55m 有効容量 9.080m <sup>3</sup>	4		〃
第 二 沈 澱 池	長巾水深 40m×20m×2.8m 二階 37m×20m×2.5m 有効水深 4.240m <sup>3</sup>	5		
掻 集 機	リンクベルト式	8	石川島播磨重工	第二沈澱池用
汚 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式斜流渦巻ポンプ 口 径 450mm 揚水量 26m <sup>3</sup> /m 揚程 4.0m 馬力 40HP	2	久 保 田 鉄 工	第二沈澱池用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
送 泥 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式ブレードレスポンプ	口 径 160mm 揚水量 4.5m <sup>3</sup> /m 揚程 5m 馬力 10P	1	〃	前曝気槽用
〃	〃	口 径 200mm 揚水量 3.6m <sup>3</sup> /m 揚程 18m 馬力 40P	4	〃	
塩 素 滅 菌 機	DV型真空式	3.5kg/h	1	水 道 機 工	

第 4 節 尿 尿 消 化 槽 (清掃局委託)

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地 砂町処理場内

建 設 開 始 昭和24年9月1日

建 設 完 了 昭和35年3月31日

尿尿消化処理量 計画 2,700m<sup>3</sup>/D (ほかに種汚泥として下水汚泥20%を混入)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
尿 尿 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式特殊渦巻ポンプ	口 径 200mm 揚水量 5.4m <sup>3</sup> 揚程 8.0m 馬力 30P	1	荏 原 製 作 所	
〃	〃	口 径 200mm 揚水量 5.4m <sup>3</sup> 揚程 12.0m 馬力 40P	3	〃	
尿 尿 沈 砂 槽	長巾有効水深有効容量	9.9m 11.3m 1.79m 200m <sup>3</sup>	1		
ろ 格 機	ドル型機械捲上式	巾 2.0m 高 2.0m 目巾 35mm	3	三 機 工 業	
ろ 格 機	〃	巾 2.0m 高 2.0m 目巾 19mm	3	〃	
シ ン サ 脱 水 装 置	ロール圧縮式	処理能 10m <sup>3</sup> /h	2	三 菱 化 工 機	
調 整 槽	内径有効深さ有効容量	22.0m 4.75m 1,800m <sup>3</sup>	1		
攪 拌 機	翼 車 式		1	三 機 工 業	
調 整 槽 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式特殊渦巻ポンプ	口 径 200mm 揚水量 5.4m <sup>3</sup> /m 揚程 8.0m 馬力 25P	2	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横軸型片吸込式特殊渦巻ポンプ	口 径 200mm 揚水量 5.4m <sup>3</sup> /m 揚程 7.5m 馬力 25P	1	〃	
消 化 槽 ポ ン プ	〃	口 径 200mm 揚水量 5.4m <sup>3</sup> /m 揚程 21.0m 馬力 60P	1	〃	



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
消化槽ポンプ	電動機直結横軸型ブレードレスポンプ 口径 200mm 揚水量 3m <sup>3</sup> /m 揚程 15m 馬力 60HP	2	荏原製作所	
消 化 槽	内径 25.0m 有効深さ 6.0m 有効容量 3.250m <sup>3</sup>	20		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 口径 80mm 揚水量 0.47m <sup>3</sup> /m 揚程 5m 馬力 3HP	2	三菱化工機 酒井製作所	
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 口径 130mm 揚水量 1.5m <sup>3</sup> /m 揚程 15m 馬力 1.5HP	1	三菱化工機 酒井製作所	
真空脱水機	廻 転 式	4	三菱菱化工機 ウノサワ組鉄工所	
真空ポンプ	電動機ベルト掛横軸型真空ポンプ 口径 760mm×300mm 揚水量 68m <sup>3</sup> /m 真空度 500mm/Hg 馬力 100HP	4	ウノサワ組鉄工所	
再乾燥床		1,440m <sup>2</sup>		
乾燥床		30,000m <sup>2</sup>		
乾燥汚泥掻取装置	構桁自走式 軌間 10m 走行速度 4.08m/min	1	浦賀ドック	
ガスタンク	内径 {14.9m 15.25m} 容量 {1,200m <sup>3</sup> 2,000m <sup>3</sup> }	2 2	石井鉄工 石川島重工	
乾燥脱硫機	乾式 4,000m <sup>3</sup> /D	2	石井鉄工	
ガス洗滌塔	湿式 5,000m <sup>3</sup> /D	2	〃	
〃	〃 21,600m <sup>3</sup> /D	1	岡谷鋼機	
洗滌ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口径 250mm 揚水量 6m <sup>3</sup> /m 揚程 12m 馬力 30HP	1	荏原製作所	
〃	〃 口径 260mm 揚水量 7.5m <sup>3</sup> /m 揚程 16m 馬力 30HP	1	日立製作所	
掻 集 機	廻 転 式	2	住友機械	第1, 第2洗滌槽用
ボ イ ラ ー	三胴水管式 缶圧 2.5kg/cm <sup>2</sup> 出力 {常用=700,000kcal/h 最大=900,000 〃}	5	岡谷鋼機 大阪ボイラー	
ボ イ ラ ー	三胴水管式 缶圧 2.5kg/cm <sup>2</sup> 出力 {常用=1,940,000kcal/h 最大=2,330,000kcal/h}	1	安藤鉄工	

第 7 章 作 業

第 1 節 管 渠

管 渠 掃 除 実 績 表

(昭和38年度)

管 理 事 務 所 名	中 部	北 部	東 部	合 計
所管区域	千代田・港・中央・文京各区の大部	台東・豊島・北・荒川各区の大部	中央区の一部 墨田区・江東区	
種 別	新宿・品川・目黒・渋谷・豊島・中野・杉並・台東・北・荒川各区の一部 大田区	千代田・文京両区の一部 板橋区・足立区		
修 理 延 長 (m)	74	103	26	203
補 修 個 数 (個)	3,044	920	639	4,603
掃 除 延 長 (m)	435,611	226,824	228,025	890,460
汚 泥 量 (m <sup>3</sup> )	10,393	7,007	6,004	23,404
掃 除 個 数 (個)	6,298	4,023	1,680	12,001
汚 泥 量 (m <sup>3</sup> )	84	169	54	307

作業費実績累年比較表

(過去5年間)

年 度	分 類 管渠 人孔樹	管理延長 (m)	掃除延長 (m)	汚 泥 量 (m <sup>3</sup> )	修 繕 員 数 (個)
		同 個 数 (個)	同 個 数 (個)		
34	管 渠	2,580,907	976,979	26,836.30	280.00
	人孔樹	328,366	29,587	1,759.45	3,683
35	管 渠	2,681,332	815,930	22,787.96	654.00
	人孔樹	348,071	26,148	1,434.65	3,805
36	管 渠	2,767,882	961,288	26,035.65	379.60
	人孔樹	366,878	21,098	886.31	3,842
37	管 渠	2,876,329	872,792	23,062.82	330.20
	人孔樹	390,549	19,440	488.60	4,238
38	管 渠	3,062,056	890,460	23,404.00	203.0
	人孔樹	427,795	12,001	307.00	4,603



## 第 2 節 ポ ン プ 所

## ポ ン プ 作 業 状 況

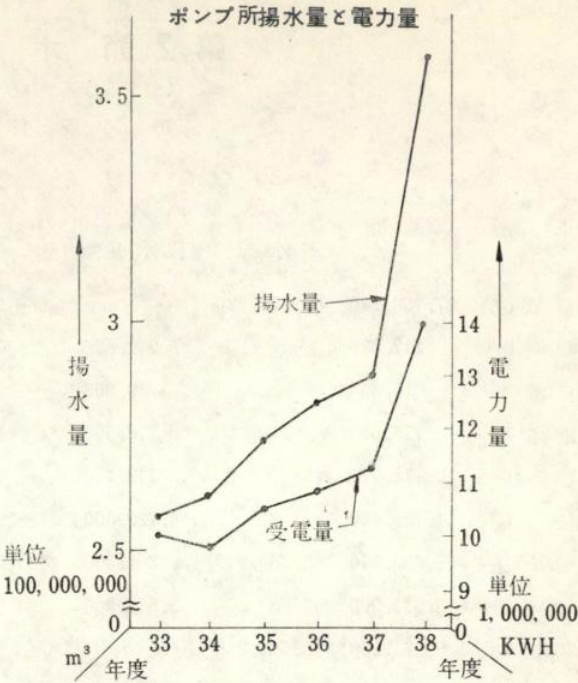
(昭和38年度)

ポンプ所	揚水量	揚水量内訳		シサ量	沈砂量	受電量	受電量内訳	
		送水量	放水量				ポンプ 運 転	諸機 械 照 明
銭瓶町	87,753,220 <sup>m³</sup>	87,753,220 <sup>m³</sup>	<sup>m³</sup>	966.2 <sup>m³</sup>	1,450.0 <sup>m³</sup>	3,295,192 <sup>KWH</sup>	3,034,530 <sup>KWH</sup>	260,662 <sup>KWH</sup>
箱崎町	217,626		217,626			5,708.1	3,232.3	2,475.8
中洲町	10,353		10,353			1,337.3	160.7	1,176.6
浜町	776,500		776,500			42,005.0	14,412.5	27,592.5
汐留	2,713,770		2,713,770	65.9		90,264	20,340	69,924
桜橋	14,729,600		14,729,600	88.9		591,360	426,466	164,894
南千住	5,634,540	5,369,940	264,600	117.4	88.5	127,665	89,302	38,363
日本堤	3,511,000		3,511,000	31.9	95.7			
和泉町	3,571,250	3,571,250		64.1	10.5	95,154	82,125	13,029
地藏堀	848,910	420,750	428,160	59.4	113.5	34,253	20,650	13,603
町屋	21,940,700	21,021,510	919,190	230.2	204.0	1,133,037	1,048,614	84,423
橋場	1,170,490	982,030	188,460	11.2	77.7	43,752	30,839	12,913
汐入	2,538,710	2,268,390	270,320	6.1	50.1	63,972	53,863	10,109
山谷	524,061		524,061	12.1	15.1	14,026	8,404	5,622
千住	10,359,441		10,359,441	21.5	76.0	482,830	372,105	110,725
千住曙町	0							
小台橋	143,618		143,618	2.2	1.5	3,778	3,778	
八幡堀	3,292,460		3,292,460	8.6		84,828	82,297	2,531
木場	79,225,730	74,692,030	4,533,700	323.0	1,490.0	2,869,416	2,194,045	675,371
越中島	141,875		141,875	1.5	10.0	17,406	2,230	15,176
月島	8,183,392	8,004,356	179,536	61.0	88.5	572,210	522,670	49,540
三之橋	47,594,575	41,607,025	5,987,550	360.5	90.8	1,421,940	1,101,930	320,010
業平橋	21,626,730	17,936,900	3,689,830	253.6	37.5	796,800	508,701	288,099
吾嬬	34,116,372		34,116,372	263.6	353.0	1,559,196	1,151,390	407,806
砂町	4,845,820		4,845,820	43.0	92.0	269,863	196,990	72,873
小松川	1,375,907		1,375,907	16.1	32.5	126,972	38,156	88,816
隅田	2,450,510		2,450,510	9.3	12.8	209,441	82,878	126,563
合 計	359,297,660	263,627,401	95,670,259	3,017.3	4,389.7	13,952,405.4	11,090,108.5	2,862,296.9

ポンプ所揚水量及び電力量と作業費

年度	揚水量	受電量
33	258,268,809 <sup>m<sup>3</sup></sup>	9,959,817.2 <sup>KWH</sup>
34	262,752,707	9,801,494.2
35	274,571,669	10,549,543.7
36	282,709,165	10,727,510.84
37	288,646,790	11,187,502.9
38	359,297,660	13,952,405.4

年度	作業費	揚水量100 <sup>m<sup>3</sup></sup> 当り作業費
33	72,254,634 <sup>円</sup>	27.98 <sup>円</sup>
34	69,665,705	26.62
35	73,209,092	26.66
36	85,167,314	33.19
37	10,335,913	35.80
38	117,009,882	32.57



第 3 節 処 理 場

処 理 作 業 状 況 1

※ は回数平均

処理場名	種 別	処理水量(m³)	簡易処理水量(m³)	高級処理水量(m³)	汚泥量 (m³)	シサ量 (m³)
芝処理 浦場	年 合 計	240,616,616	12,501,527	226,704,149	1,410,940	2,281.2
	日 最 大	1,172,052	481,783	801,529	6,850	20.1
	日 平 均	657,422※	140,467	619,410	3,866※	6.6
三処 河理 島場	年 合 計	100,595,770	3,743,600	96,206,390	645,780	788.3
	日 最 大	503,820	207,400	377,950	3,710	6.50
	日 平 均	274,852※	54,255	262,859	1,817※	2.62
小処 理 台場	年 合 計	16,067,160	73,380	15,675,890	317,890	132.7
	日 最 大	134,900	13,920	125,500	2,840	3.3
	日 平 均	43,899※	8,153	42,830	930※	0.5
砂処 理 町場	年 合 計	76,289,006	34,600	74,912,506	1,341,900	336.6
	日 最 大	308,012	34,600	293,798	7,760	3.5
	日 平 均	208,440※	34,600	204,679	3,666※	0.92
落処 理 合場	年 合 計	—	—	—	—	—
	日 最 大	—	—	—	—	—
	日 平 均	—	—	—	—	—
合 計	年 合 計	433,568,552	16,353,107	413,498,935	3,716,510	3,538.8
	日 最 大	1,951,101	—	—	—	—
	日 平 均	1,184,614	—	—	—	—



## 処 理 作 業 状 況 2

処理場名	種 別	沈砂量 (m <sup>3</sup> )	塩素使用量 (kg)	受電量 (KWH)	付属ポンプ所 ンボ運転 (KWH)	処理用 (KWH)
芝 理 浦 場	年 合 計	4,598.1	6,450	24,890,000	6,255,434	18,634,566
	日 最 大	60.3	40	91,480	27,882	67,402
	日 平 均	※ 22.9	※ 165	68,005	17,091	50,914
三 河 島 場	年 合 計	1,382.0	9,714	13,471,197	4,156,113	9,315,084
	日 最 大	15.50	384	46,776	21,006	30,300
	日 平 均	※ 4.99	※ 141	36,807	11,356	25,451
小 処 理 台 場	年 合 計	713.7	368.1	5,891,712	1,980,620	3,911,092
	日 最 大	37.5	70	19,290	9,080	13,540
	日 平 均	※ 7.8	※ 41	16,098	5,412	10,686
砂 処 理 町 場	年 合 計	—	170	18,794,760	5,506,222	13,288,538
	日 最 大	—	170	62,035	22,388	45,533
	日 平 均	—	170	51,352	15,044	36,307
落 処 理 台 場	年 合 計	—	—	243,492	112,056	131,436
	日 最 大	—	—	13,288	4,020	10,100
	日 平 均	—	—	4,774	2,197	2,577
合 計	年 合 計	6,693.8	16,702.1	63,291,161	18,010,445	45,280,716
	日 最 大	—	—	—	—	—
	日 平 均	—	—	—	—	—

※ は回数平均

## 汚 泥 処 理 作 業 状 況

処理場名	種 別	汚泥処理量 (m <sup>3</sup> )	汚泥投入量 (m <sup>3</sup> )	消化汚泥量 (m <sup>3</sup> )	脱水汚泥量 (m <sup>3</sup> )	硝 石 灰 (kg)	鉄 塩 剤 (kg)	受 電 量 (KWH)
芝 理 浦 場	年 合 計	1,410,940	1,410,940	345,323	18,928	938,600	633,679	2,049,689
	日 最 大	6,850	6,850	1,782	93.2	4,300	4,420	7,292
	日 平 均	3,866	3,866	944	63.3	3,139	2,119	5,600
小 処 理 台 場	年 合 計	317,890	317,890	30,580	6,753	334,550	148,670	1,322,000
	日 最 大	2,840	2,840	560	75	2,960	1,330	5,500
	日 平 均	930	930	135	24	1,166	518	3,612
砂 処 理 町 場	年 合 計	1,464,650	1,464,650	142,290	27,602	1,064,230	635,280	2,232,360
	日 最 大	8,010	8,010	1,530	178	7,000	3,820	8,800
	日 平 均	4,002	4,002	470	94	3,645	2,176	6,099
合 計	年 合 計	3,193,480	3,193,480	518,193	53,283	2,337,360	1,417,629	5,604,049
	日 最 大	—	—	—	—	—	—	—
	日 平 均	—	—	—	—	—	—	—

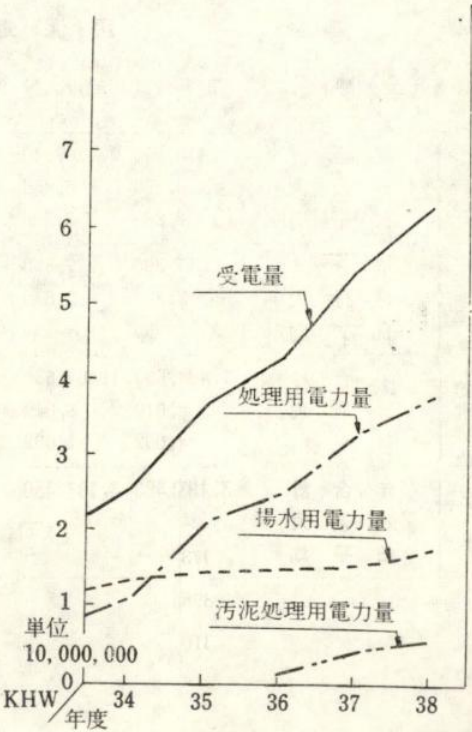
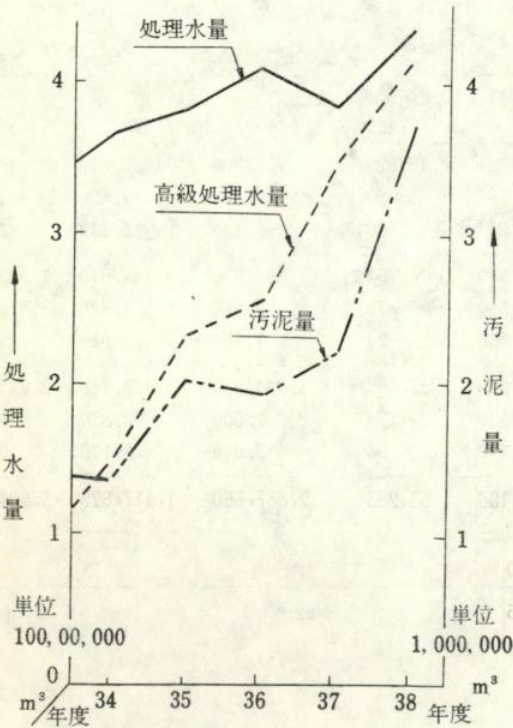
全処理場年間処理量と作業費の推移

年 度	処 理 水 量	汚 泥 量	作 業 費	処理水量 100 m <sup>3</sup> 当 り 作 業 費
	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	円	円
33	328,051,617	1,396,016	123,832,115	37.75
34	364,175,547	1,373,030	142,172,508	39.04
35	380,583,785	2,043,041	180,791,094	47.50
36	408,748,345	1,924,198	226,507,385	55.41
37	344,870,245	2,210,823	343,951,434	89.36
38	433,568,552	3,716,510	399,102,598	92.05

全処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量 (m <sup>3</sup> )	高級処理水量 (m <sup>3</sup> )	汚泥量(m <sup>3</sup> )	受電量 (KWH)	揚水用電力量 (KWH)	処理用電力量 (KWH)	汚泥処理用電 力量(KWH)
34	364,175,547	146,238,657	1,373,030	25,405,727	13,046,720	11,245,943	—
35	380,583,785	231,538,421	2,043,041	36,579,165.6	14,400,128	21,268,547	—
36	408,748,345	256,754,105	1,924,198	42,920,128.6	15,086,045	25,153,569	1,092,631
37	384,870,245	346,605,278	2,210,823	54,466,255	15,578,410	33,131,684	4,091,879
38	433,568,552	413,498,935	3,716,510	63,047,669	17,898,389	37,969,870	5,604,049

年間処理量と電力量全処理場

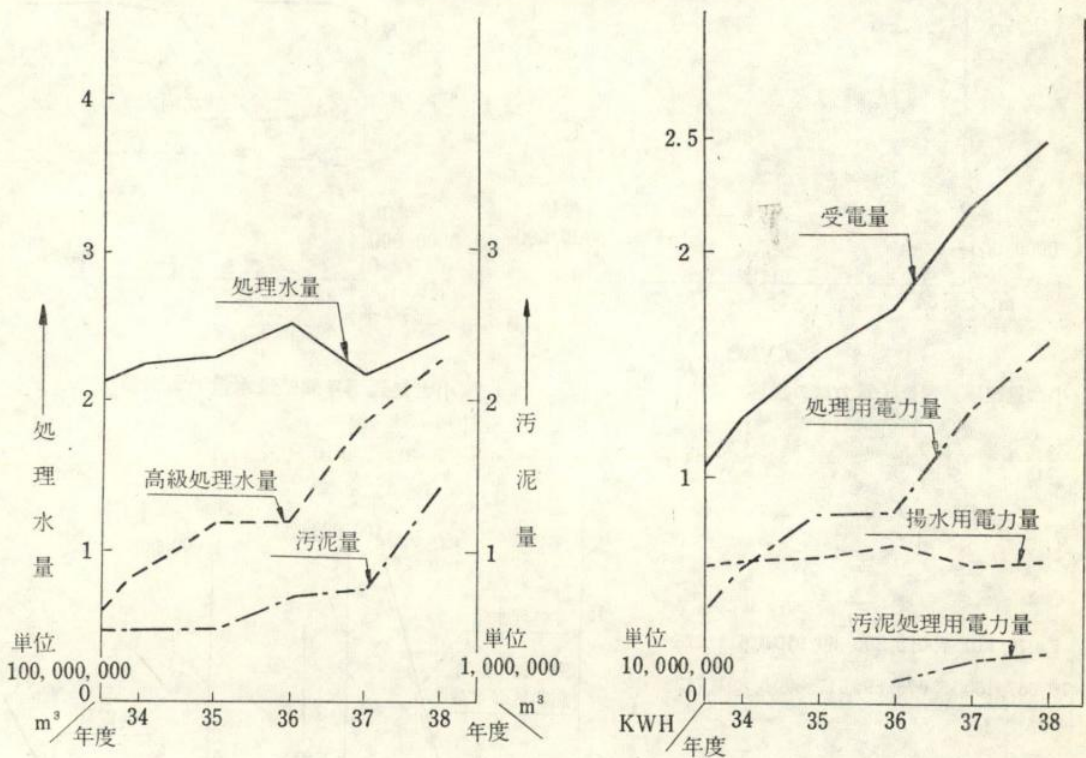




芝浦処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量( $m^3$ )	高級処理水量( $m^3$ )	汚泥量( $m^3$ )	受 電 量(KWH)	揚水量電力量(KWH)	処理用電力量(KWH)	汚泥処理用電力量(KWH)
34	222,069,824	83,007,896	468,100	12,486,828	6,269,630	5,802,404	—
35	227,840,591	117,137,887	478,100	15,370,960	6,483,500	8,389,446	—
36	251,813,272	119,333,774	693,850	17,485,720	7,040,871	8,405,891	1,092,631
37	216,306,223	134,842,528	749,870	22,019,960	6,184,463	13,106,047	1,905,479
38	240,616,616	226,704,149	1,410,940	24,890,000	6,255,434	15,965,153	2,049,689

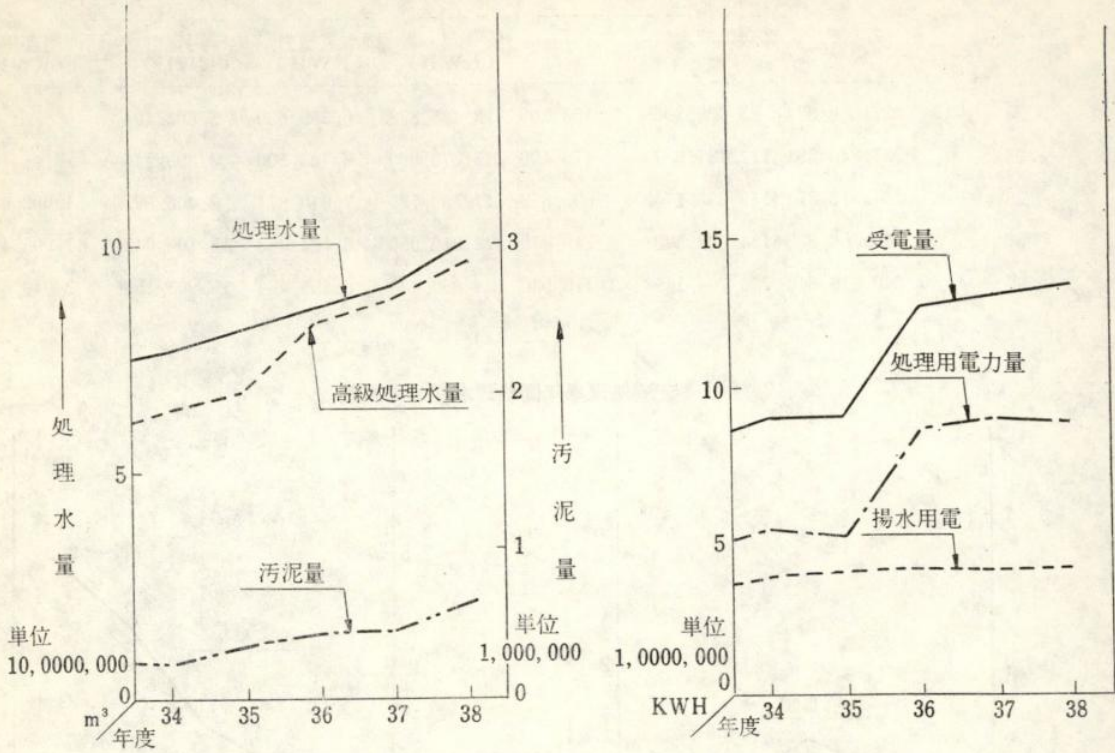
芝浦処理場年間処理水量と電力量



三河島処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量( $m^3$ )	高級処理水量( $m^3$ )	汚泥量( $m^3$ )	受 電 量(KWH)	揚水用電力量(KWH)	処理用電力量(KWH)	汚泥処理用電力量(KWH)
34	76,744,973	63,230,761	257,630	9,153,134	3,832,534	5,308,025	—
35	81,291,898	67,035,999	360,315	9,113,454	3,925,894	5,105,325	—
36	86,631,310	82,161,864	436,051	12,729,968.6	4,069,109	8,652,862	—
37	91,156,360	88,223,171	460,598	13,172,876	4,009,595	9,059,200	—
38	100,595,770	96,206,390	645,780	13,471,197	4,156,113	8,908,422	—

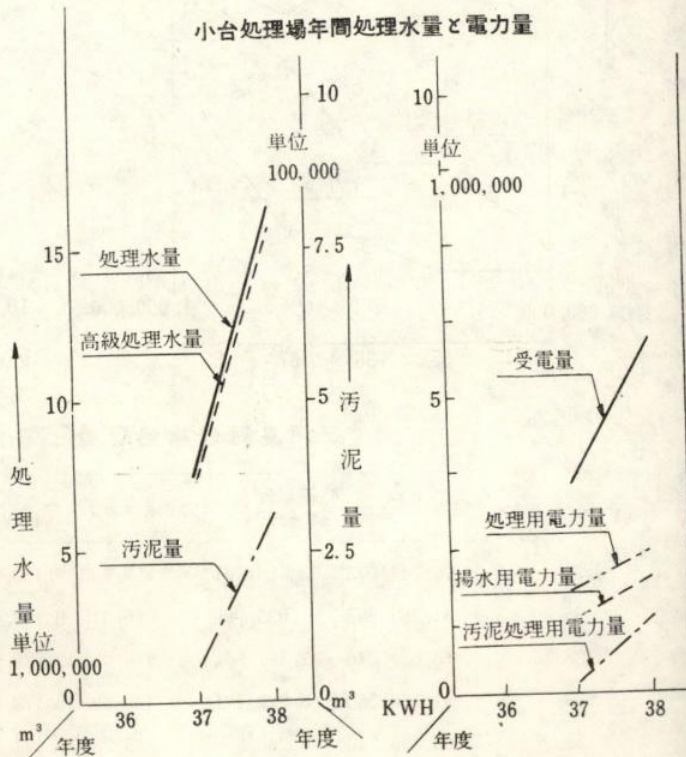
三河島処理場年間処理水量と電力量



小台処理場処理量・電力量の推移

年度	処理水量 ( $m^3$ )	高級処理 水量 ( $m^3$ )	汚泥量 ( $m^3$ )	受 電 量 (KWH)
34	—	—	—	—
35	—	—	—	—
36	—	—	—	—
37	7,079,110	7,018,200	60,910	3,614,276
38	16,067,160	15,675,890	317,890	5,891,712

小台処理場年間処理水量と電力量



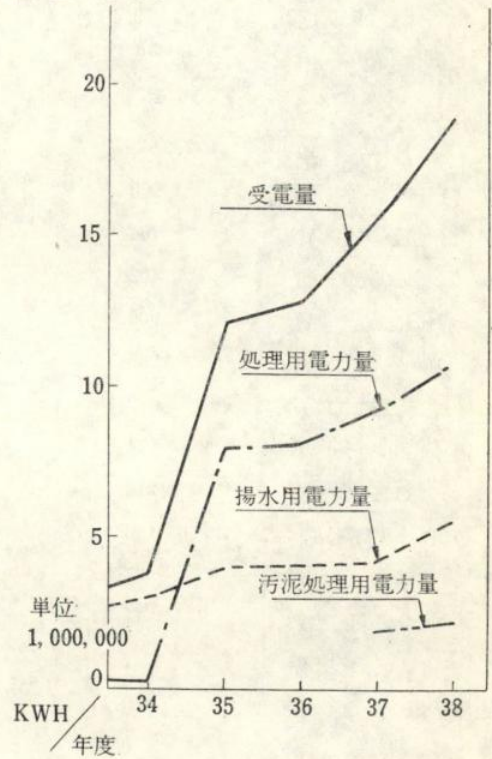
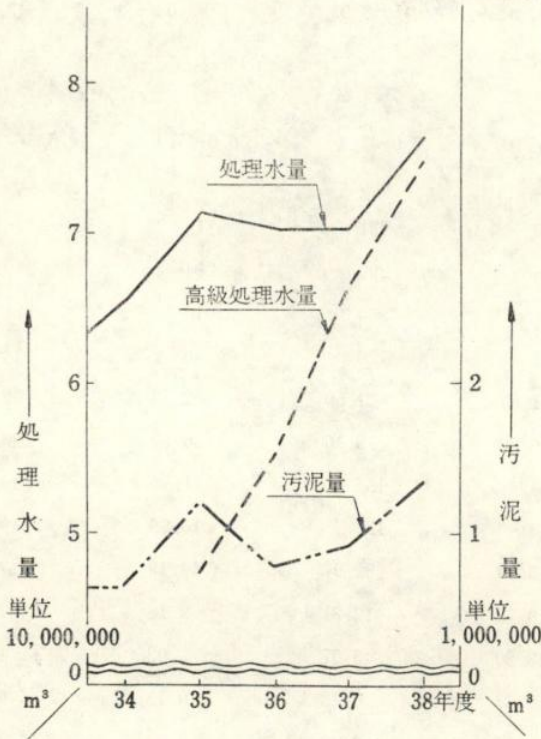
年度	揚水量・電 力量(KWH)	処理用・電 力量(KWH)	汚泥処理用電 力量(KWH)
34	—	—	—
35	—	—	—
36	—	—	—
37	1,250,190	1,821,280	290,900
38	1,980,620	2,417,530	1,322,000



砂町処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量( $m^3$ )	高級処理水量( $m^3$ )	汚泥量 ( $m^3$ )	受 電 量 (KWH)	揚水量電力量 (KWH)	処理用電力量 (KWH)	汚泥処理用電力量 (KWH)
34	65,360,750	—	647,300	3,765,765	2,944,556	135,514	—
35	71,451,296	47,364,535	1,204,626	12,094,759	3,990,734	7,773,776	—
36	70,303,763	55,258,467	794,297	12,704,440	3,796,065	8,094,786	—
37	70,328,552	66,521,379	939,445	15,659,143	4,134,162	9,145,157	1,895,500
38	76,289,006	74,912,506	1,341,900	18,794,760	5,506,222	10,678,765	2,232,360

砂町処理場年間処理水量と電力量



## 第 4 節 水 質 試 験

### 1 定期精密試験

#### (1) 芝浦処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試 験 名		生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活性汚泥法散気式及シンプレックス式処理水	活性汚泥法高速曝気式処理水
採 取 個 所		沈 砂 池	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口	第二沈澱池出口
気 温		17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
水 温		17.3	17.7	17.6	17.9	17.8
透 視 度		3.4	2.4	3.9	83.0	43.0
色 相		—	—	—	—	—
臭 気		—	—	—	—	—
P H 値		7.0~7.7	7.0~7.6	7.0~7.4	6.6~7.1	6.5~7.1
蒸 発 残 留 物		1,106	1,325	1,030	922	995
熱 灼 残 留 物		704	819	731	718	776
熱 灼 減 量		402	506	299	204	219
溶 解 性 物 質		900	854	904	916	981
浮 遊 物 質		206	471	126	6	14
溶存酸素 (D.O.)		3.36	1.67	1.50	2.53	2.52
酸素飽和百分率		34.80	16.90	15.10	26.90	26.20
B. O. D.		216	304	158	11.90	16.20
C.O.D. (高温法)		180	266	125	13.90	19.60
総 窒 素		37.09	45.80	32.97	16.12	17.44
アンモニア性窒素		11.54	13.72	12.21	9.18	7.07
アルブミノイド窒素		7.74	13.80	5.97	1.03	1.28
亜硝酸性窒素		0.17	0.25	0.23	0.18	0.41
硝酸性窒素		0.39	0.32	0.47	2.94	4.20
有機性窒素		24.99	31.51	20.06	3.82	5.76
塩 素 イ オ ン		334	320.	354.	393	423
硫化物(ヨウ素消費量)		28.54	37.22	24.78	5.11	4.39
油 類		13.70	17.67	6.40	1.10	1.10
一 般 細 菌 数		584,000	982,000	767,000	23,300	20,400
大 腸 菌 群 数		—	—	—	3,000	2,200



(2) 三河島処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試料名		生水	生水	沈澱水	活性汚泥法 パドル式 処理水	生水	沈澱水	沈澱水	活性汚泥法 散気式 処理水
採取箇所	沈砂池	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	第二沈澱池 出	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	曝気槽入口	第二沈澱池 出	
水温	19.4	19.4	19.4	19.4	19.1	19.1	19.1	19.1	
水温	17.5	17.5	17.7	17.6	16.6	16.8	14.8	19.1	
透明度	3.5	3.5	4.1	28.0	4.4	5.2	4.5	23.6	
色相	—	—	—	—	—	—	—	—	
臭気	—	—	—	—	—	—	—	—	
PH値	6.5~8.4	6.6~7.0	6.6~7.2	6.9~7.3	6.2~7.1	6.3~6.9	6.4~6.9	6.6~7.0	
蒸発残留物	1,237	1,299	1,361	959	706	638	892	722	
熱灼残留物	792	833	967	220	431	380	578	530	
熱灼減量	445	466	394	239	275	258	314	192	
溶解性物質	1,049	1,075	1,221	941	575	534	779	700	
浮遊物質	188	224	140	18	131	104	113	22	
溶存酸素(D.O.)	3.43	2.94	2.27	2.65	4.76	5.22	4.78	3.79	
酸素飽和百分率	33.10	28.80	22.90	27.20	50.60	38.20	45.90	38.60	
B.O.D.	182.00	205.00	149.40	12.10	130.15	108.40	128.80	13.50	
C.O.D.(高温法)	150.00	168.10	119.80	20.90	105.30	84.40	102.90	21.20	
総窒素	32.66	36.37	31.09	18.97	28.23	28.34	30.80	14.03	
アンモニア性窒素	11.60	13.10	14.00	12.70	12.10	12.80	13.00	8.10	
アルブミノイド窒素	6.30	7.60	5.30	1.50	4.00	4.10	4.60	0.94	
亜硝酸性窒素	0.14	0.17	0.19	0.37	0.23	0.22	0.20	0.23	
硝酸性窒素	2.31	2.10	1.90	0.90	1.99	2.20	2.00	2.00	
有機性窒素	18.61	21.00	15.00	5.00	13.91	13.12	15.60	3.70	
塩素イオン	402.00	408.00	499.00	375.00	157.00	141.00	262.00	234.00	
硫化物(ヨウ素消費量)	30.60	32.30	24.70	3.00	14.50	13.10	17.50	2.60	
油類	13.90	17.30	10.20	2.20	9.30	6.40	5.80	1.50	
一般細菌数	520,000	599,000	632,000	16,000	545,000	583,000	476,000	136,800	
大腸菌群数	109,700	125,500	208,800	2,490	133,000	87,000	63,000	1,825	

## (3) 砂町処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試 料 名		生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活 性 汚 泥 法 散 気 式 処 理 水
採 取 個 所		マ ン ホ ー ル	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
気	温	17.3	17.3	17.3	17.3
水	温	15.7	17.1	17.2	17.3
透 視	度	6.1	1.9	3.4	57.3
色	相	—	—	—	—
臭	気	—	—	—	—
P	H 値	6.8~7.3	6.9~7.7	6.9~8.1	6.9~7.8
蒸 発 残 留 物		2,032	3,051	2,007	1,534
熱 灼 残 留 物		1,418	1,773	1,426	1,167
熱 灼 減 量		614	1,278	581	367
溶 解 性 物 質		1,848	1,810	1,762	1,508
浮 遊 物 質		164	1,241	245	26
溶 存 酸 素 (D. O.)		3.83	2.33	2.55	5.37
酸 素 飽 和 百 分 率		34.69	22.10	24.90	52.57
B. O. D.		126.60	338.60	153.90	14.50
C. O. D. (高温法)		97.20	277.80	118.00	16.30
総 窒 素		24.51	60.19	32.96	16.44
アンモニア性窒素		11.31	23.99	17.58	13.35
アルブミノイド窒素		5.20	12.38	6.73	2.84
亜硝酸性窒素		0.08	0.07	0.09	0.18
硝酸性窒素		0.10	0.10	0.08	0.06
有機性窒素					
塩 素 イ オ ン		765	770.	744	675
硫 化 物 (ヨウ素消費量)		17.96	95.44	54.24	4.88
油 類		10.10	32.75	8.50	3.10
一 般 細 菌 数		2,300,000	3,300,000	2,400,000	140,000
大 腸 菌 群 数		54,000	71,000	56,000	1,900



## (4) 小台処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試 験 名	生 下 水	池 澱 下 水	活 性 汚 泥 法 散 気 式 処 理 水
採 取 個 所	前 曝 気 槽 入 口	第 一 沈 澱 池 出 口	第 二 沈 澱 池 出 口
気 温	19.2	19.2	19.2
水 温	18.6	18.3	18.4
透 視 度	3.1	7.8	82.0
色 相	—	—	—
臭 気	—	—	—
P H 値	6.3~8.1	7.0~7.5	6.5~7.5
蒸 発 残 留 物	888	481	378
熱 灼 残 略 物	530	285	237
熱 灼 減 量	358	196	141
溶 解 性 物 質	555	413	358
浮 遊 物 質	333	68	20
溶 存 酸 素 (D.O.)	4.00	3.50	4.30
酸 素 飽 和 百 分 率	42.98	36.28	51.21
B. O. D.	225.00	81.80	4.60
C. O. D. (高温法)	194.90	75.10	15.30
総 窒 素	26.25	19.11	9.89
アンモニア性窒素	9.30	9.40	6.20
アルブミノイド窒素	6.50	3.20	1.00
亜硝酸性窒素	0.23	0.25	0.16
硝酸性窒素	1.02	0.79	1.63
有機性窒素	15.70	8.67	1.90
塩 素 イ オ ン	116.00	74.00	67.00
硫 化 物 (ヨウ素消費量)	20.10	9.07	2.12
油 類	19.80	6.10	3.78
大 腸 菌 群 数	635,000	1,223,000	1,300

## 2. 混 合 精 密 試 験

## (1) 芝浦処理場混合精密試験

(昭和38年度平均)

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活性汚泥法散気式及シンプレックス式処理水	活性汚泥法高速曝気式処理水
	沈 砂 沈	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口	第二沈澱池出口
採 取 個 所					
気 温	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
水 温	18.1	18.4	18.4	18.3	18.4
透 視 度	5.1	2.7	5.2	76.0	37.5
色 相	—	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—	—
P H 値	7.2~7.4	7.1~7.4	7.2~7.4	7.2~7.4	7.0~7.4
蒸 発 残 留 物	1,400	1,580	1,300	1,039	1,196
熱 灼 残 留 物	972	992	918	801	932
熱 灼 減 量	428	588	382	238	264
溶 解 性 物 質	1,262	1,145	1,175	1,029	1,181
浮 遊 物 質	138	435	125	10	15
溶存酸素(D.O.)	—	—	—	—	—
酸素飽和百分率	—	—	—	—	—
B. O. D.	148.20	229.00	112.80	7.30	12.90
C. O. D. (高温法)	115.60	213.00	100.60	14.20	18.00
総 窒 素	28.77	43.46	29.91	17.63	19.13
アンモニア性窒素	10.71	13.60	12.81	10.99	10.78
アルブミノイド窒素	5.11	10.88	5.25	0.95	1.12
亜硝酸性窒素	0.14	0.29	0.36	0.88	0.61
硝酸性窒素	0.63	0.30	0.50	1.35	2.94
有機性窒素	17.29	29.27	16.24	4.41	4.80
塩 素 イ オ ン	546.00	484.00	509.00	464.00	527.00
硫化物(ヨウ素消費量)	23.16	34.11	20.47	4.92	7.30
油 類	12.20	18.90	7.30	4.20	3.30
A B S	3.39	4.33	3.76	2.08	1.86



## (2) 三河島処理場混合精密試験

(昭和38年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法 パドル式 処理水	生下水	沈澱下水	沈澱下水	活性汚泥法 散気式 処理水
採取箇所	沈砂池	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	第二沈澱池 出	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	曝気槽入口	第二沈澱池 出
気 温	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
水 温	18.1	18.0	18.1	18.0	17.6	17.6	17.8	18.0
透 視 度	4.4	3.5	4.6	23.0	5.3	5.8	5.4	21.4
色 相	—	—	—	—	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—	—	—	—	—
P H 値	6.8～7.1	6.8～7.0	6.9～7.1	7.1～7.3	6.7～6.8	6.7～6.8	6.7～6.9	6.8～7.2
蒸 発 残 留 物	1,006	1,087	944	915	577	550	689	670
熱 灼 残 留 物	665	653	569	597	378	367	464	522
熱 灼 減 量	341	434	375	318	199	183	225	148
溶 解 性 物 質	844	851	829	890	454	475	611	640
浮 遊 物 質	162	236	115	25	123	75	78	30
溶存酸素(D.O.)	—	—	—	—	—	—	—	—
酸素飽和百分率	—	—	—	—	—	—	—	—
B. O. D.	136.60	154.60	123.90	15.20	92.00	80.20	97.20	13.20
C. O. D. (高温法)	111.00	126.90	97.50	28.10	78.80	66.90	78.80	22.60
総 窒 素	27.48	30.58	27.42	19.05	22.02	22.76	23.95	18.13
アンモニア性窒素	12.80	13.90	13.60	12.80	8.90	10.10	10.50	11.00
アルブミノイド窒素	5.00	7.10	4.80	1.70	4.80	3.50	4.00	1.00
亜硝酸性窒素	0.18	0.18	0.27	0.40	0.12	0.26	0.15	0.13
硝酸性窒素	1.60	1.50	2.15	0.90	1.80	2.30	1.90	3.70
有機性窒素	12.90	15.00	11.40	4.95	11.20	10.10	11.40	3.30
塩 素 イ オ ン	326.00	329.00	321.00	315.00	129.00	135.00	200.00	214
硫化物(ヨウ素消費量)	18.60	20.10	14.90	2.90	10.50	10.50	12.70	3.60
油 類	11.30	13.10	9.70	2.80	9.90	5.50	8.00	2.50
A B S	5.40	—	3.80	1.80	4.40	3.80	3.98	0.17

(3) 砂町处理場混合精密試験

(昭和38年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法 散気式処理水
採取箇所	マンホール	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
気温	19.6	—	—	—
水温	18.1	18.3	18.4	19.2
透視度	5.4	1.6	2.8	44.5
色相	—	—	—	—
臭気	—	—	—	—
P H 値	6.8~7.3	6.8~7.4	6.8~7.5	7.2~7.8
蒸発残留物	1,795	2,584	1,918	1,641
熱灼残留物	1,337	1,543	1,390	1,259
熱灼減量	458	1,041	528	382
溶解性物質	1,625	1,775	1,650	1,618
浮遊物質	170	809	268	23
溶存酸素 (D. O.)	5.18	0.38	2.19	5.41
酸素飽和百分率	55.00	4.00	22.50	58.00
B. O. D.	120.20	307.50	178.60	12.30
C. O. D. (高温法)	103.10	302.50	138.10	18.10
総窒素	20.30	57.14	37.23	22.38
アンモニア性窒素	10.35	22.89	20.36	15.48
アルブミノイド窒素	5.47	14.43	10.11	2.80
亜硝酸性窒素	0.04	0.03	0.06	0.14
硝酸性窒素	0.03	0.03	0.03	0.07
有機性窒素	—			
塩素イオン	685.00	715.00	710.00	710.00
硫化物 (ヨウ素消費量)	19.67	86.78	54.26	6.34
油類	8.30	27.40	10.50	4.50
A B S	4.04	4.63	3.82	1.82



## (4) 小台処理場混合精密試験

(昭和38年度平均)

試料名			生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法 散気式処理水
採取箇所			前曝気槽入口	第一沈澱池 入口	第一沈澱池 出口	第二沈澱池出口
気	温		—	—	—	—
水	温		—	—	—	—
透視	度		3.7	3.0	7.3	80.0
色	相		—	—	—	—
臭	気		—	—	—	—
P	H	値	6.8~7.3	7.4	7.0~7.5	7.0~7.4
蒸発	残留物		611	829	465	375
熱灼	残留物		348	472	285	232
熱灼	減量		263	357	180	143
溶解	性質		424	530	395	360
浮遊	物質		187	299	70	15
溶存	酸素 (D.O.)		—	—	—	—
酸素飽和	百分率		—	—	—	—
B.	O.	D.	138.00	208.00	73.30	4.90
C.	O.	D. (高温法)	125.90	215.00	62.00	14.30
総	窒素		20.33	32.62	16.42	11.21
アンモニア	性窒素		8.70	22.00	9.00	6.90
アルブミノイド	窒素		5.80	8.20	3.20	1.00
亜硝酸	性窒素		0.54	0.43	0.46	0.09
硝酸	性窒素		0.29	0.19	0.26	1.12
有機	性窒素		10.80	10.00	6.70	3.20
塩素	イオン		70.00	118.00	70.00	68.00
硫化物	(ヨウ素消費量)		19.99	8.88	13.96	4.92
油	類		14.10	8.40	6.80	4.10
A	B	S	7.61	4.70	5.81	3.02

## 第5節 汚 泥 試 験

## (1) 芝浦処理場

## (イ) 汚 泥 試 験

(昭和38年度年平均)

試 料 名	生 汚 泥	濃 縮 汚 泥	消 化 汚 泥	洗 滌 汚 泥	脱 水 汚 泥
採 取 個 所	濃 縮 槽 入 口	濃 縮 槽 出 口	消 化 槽 出 口	2 次 洗 滌 槽 出 口	脱 水 機 シ コ ー ト
汚 泥 温 度	18.0	18.2	39.2	21.6	—
P H 値	5.6~6.9	5.45~6.80	6.3~7.8	6.0~7.5	—
水 分 (%)	96.88	95.11	94.58	92.86	71.16
固 形 分 (%)	3.12	4.89	5.42	7.14	28.84
有 機 分 (乾物中) (%)	51.10	49.70	38.40	32.80	32.50
無 機 物 ( %) (%)	48.90	50.30	61.60	67.20	67.50
純 窒 素 ( %) (%)	—	2.93	3.46	—	2.27
アンモニア性窒素(%) (%)	—	0.28	1.08	—	—
アルカリ度 (ppm)	—	—	2,099	663	—

## (ロ) 廃 液 試 験

(昭和38年度年平均)

試 験 名	脱 り 液	洗 滌 廃 液	脱 水 汚 液
採 取 個 所	消 化 槽 出 口	2 次 洗 滌 槽 出 口	脱 水 機 出 口
温 度	31.0	20.5	19.8
P H 値	6.7~7.4	6.5~7.6	10.3~12.5
蒸 発 残 留 物 (ppm)	2,528	4,065	5,258
熱 灼 残 留 物 ( % )	1,335	2,340	3,627
熱 灼 減 量 ( % )	1,193	1,725	1,631
※溶解性物質 ( % )	2,063	1,112	5,188
※浮遊物質 ( % )	407	2,953	57
※B O D ( % )	921	746	252
アンモニア性窒素 ( % )	393	—	144

注 ※は7月~3月の平均

## (ハ) ガ ス 試 験

(昭和38年度年平均)

試 料 名	ガ ス	ガ ス
採 取 個 所	脱 硫 器 入 口	脱 硫 器 出 口
メ タ ン (%)	53.48	53.35
水 素 (%)	2.57	3.32
炭 酸 ガ ス (%)	36.56	36.03
酸 素 (%)	0.37	0.73
硫 化 水 素 (%)	0.0048	0.00025
窒 素 (%)	7.02	6.57
発 熱 量 (Kcal/m <sup>3</sup> )	4,800	4,800



## (2) 砂町処理場

## (イ) 汚泥試験

(昭和38年度年平均)

試料名	生汚泥	濃縮汚泥	消化汚泥	洗滌汚泥	脱水汚泥
採取箇所	濃縮槽入口	濃縮槽出口	消化槽出口	2次洗滌槽出口	脱水機シコート
汚泥温度	14.0	18.5	25.6	20.0	—
P H 値	6.4~6.9	6.7~7.8	6.8~7.2	7.1~9.1	—
水分(%)	96.15	95.84	94.23	93.11	76.05
固形分(%)	3.85	4.16	5.77	6.89	23.95
有機分(乾物中)(%)	49.47	50.46	43.37	43.26	38.25
無機分(%)	50.53	49.54	56.63	56.74	61.75
総窒素(%)	4.74	3.78	3.74	3.04	1.58
アンモニア性窒素(%)	1.09	0.93	1.19	0.73	0.16
アルカリ度(ppm)	530	—	—	—	—

## (ロ) 廃液試験

(昭和38年度年平均)

試料名	脱り液	洗滌廃液	脱水汚液
採取箇所	消化槽出口	2次洗滌槽出口	脱水機出口
温度	26.2	15.0	18.3
P H 値	6.8~7.14	7.1~7.4	10.1~13.1
蒸発残留物(ppm)	21,604	5,500	15,161
熱灼残留物(%)	11,613	3,732	11,302
熱灼減量(%)	9,986	1,768	4,109
※溶解性物質(%)	5,880	1,581	9,759
※浮遊物質(%)	21,037	3,838	2,700
※B O D(%)	2,990	970	123
アンモニア性窒素(%)	612	280	297

注 ※は10月~3月の平均

## (ハ) ガス試験

(昭和38年度年平均)

試料名	ガス	ガス
採取箇所	脱硫器入口	脱硫器出口
メタン(%)	54.14	55.66
水素(%)	8.16	7.67
炭酸ガス(%)	32.05	31.04
酸素(%)	0.10	0.08
硫化水素(%)	0.02	0.
窒素(%)	5.53	5.55
発熱量(Kcal/m <sup>3</sup> )	4,839	4,955

# 第 6 節 降 水 量

(1) 銭瓶町ポンプ所及び三河島処理場降水量月別累年比較概要

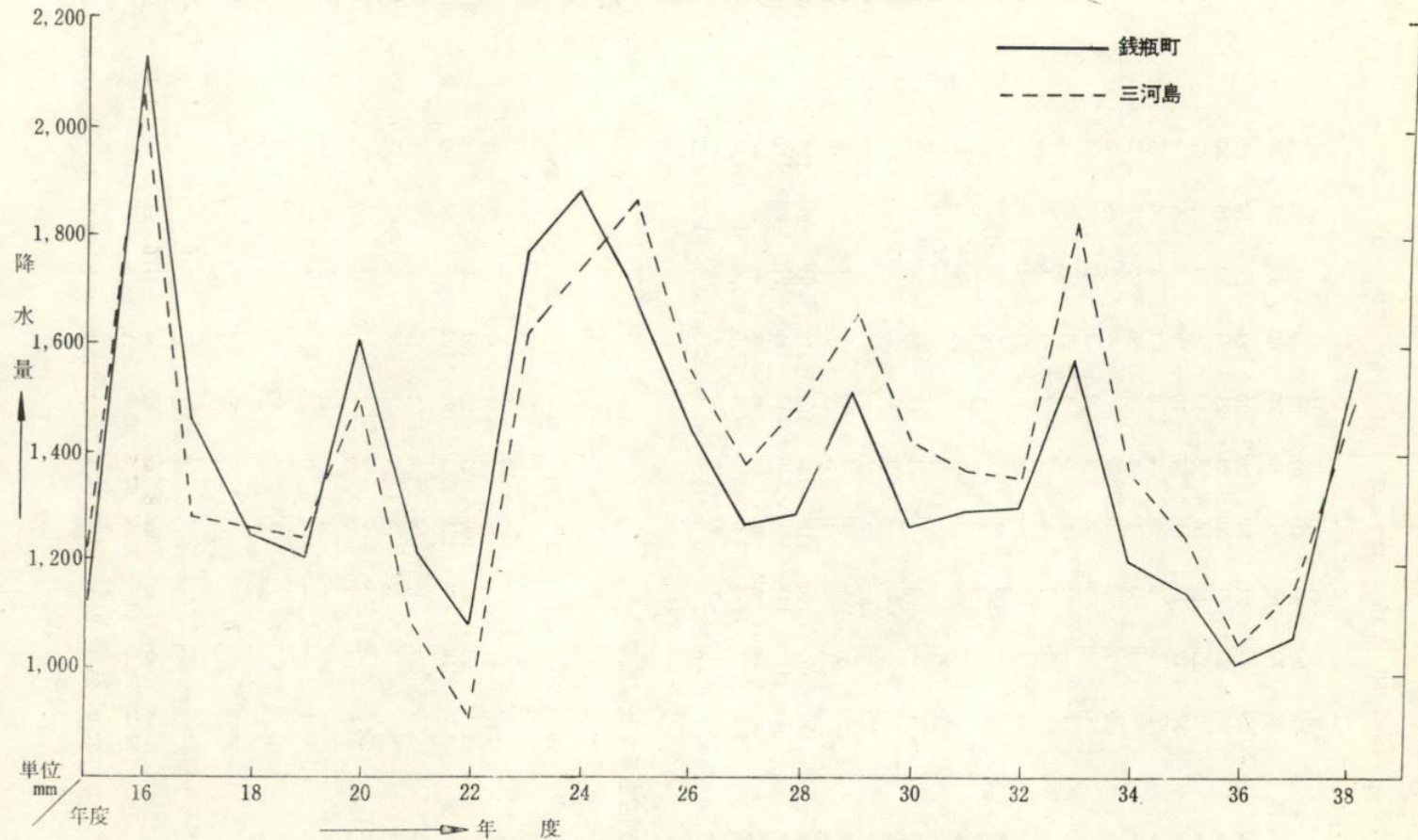
(最近10年間)

年度 月別 場所	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	10カ年 平 均
4月 { 銭 瓶	137.4	75.6	116.1	99.8▲	24.6	124.1	143.9	175.7	113.2	61.1	107.15
{ 三河島	170.4	77.8	122.8	108.7▲	26.8	135.4	155.9	148.1	106.5	60.0	111.24
5月 { 同	111.6	131.7●	279.6	133.1	65.0	162.0	99.9	42.6	193.5	113.6	133.26
{ 同	125.0	144.7●	306.4	145.9	69.5	186.5	112.2	47.8	190.0	110.0	143.80
6月 { 同	● 253.6	71.5	95.4●	274.1	55.0	95.6	69.5●	271.1●	209.5	222.2	161.75
{ 同	● 275.2	62.6	96.2●	287.3	56.2	126.6	62.3	272.8●	217.0	221.5	167.77
7月 { 同	92.8	55.2	78.5	128.9	168.3	54.1▲	27.2	25.8	140.5	39.8	81.11
{ 同	125.0	68.5	89.0	108.7	226.1	66.0▲	29.3	29.5	188.5	43.5	97.41
8月 { 同	111.3	178.0	96.4▲	30.3	69.2	113.2●	196.1	23.7	33.0●	371.9	122.31
{ 同	115.3	178.8	91.2▲	34.5	72.8	135.0●	226.8	24.1	64.0●	348.5	129.10
9月 { 同	222.4	156.4	169.1	215.8●	574.3	139.2	143.7	28.1	3.7	114.3	176.70
{ 同	234.3	183.1	176.2	214.1●	687.8	163.8	135.6	35.2	12.0	104.0	194.61
10月 { 同	117.9●	252.4	259.3	105.3	286.3●	176.5	150.5	263.7	95.7	289.9●	199.75
{ 同	147.8●	316.3	267.9	117.1	267.0●	199.4	182.3●	302.6	101.0	269.0●	217.04
11月 { 同	122.2	86.6	56.4	43.3	65.0	99.1	102.9	43.8	128.2	74.1	82.16
{ 同	133.0	102.3	65.4	57.1	82.8	97.8	110.2	47.0	135.0	78.5	90.91
12月 { 同	73.2▲	20.1	1.9	109.9	86.3	131.2	63.2	32.4	58.3▲	26.3	60.28
{ 同	68.2▲	22.9	2.9	109.6	93.3	139.0	72.7	33.0	55.5▲	25.0	62.21
1月 { 同	▲ 37.6	74.9▲	0.5	59.2	30.3	50.7	31.1	36.2▲	0	124.6	44.51
{ 同	▲ 38.0	88.0▲	0.3	56.8	54.0	49.5	30.0	33.0▲	0	116.5▲	46.61
2月 { 同	71.4	35.8	74.3	54.4	89.3▲	5.2	34.9▲	8.8	17.9	50.4▲	44.24
{ 同	74.2	44.9	80.8	62.0	107.7▲	3.6	37.7▲	12.0	13.5	42.0	47.84
3月 { 同	166.1	118.5	62.7	48.1	67.9	51.7	79.5	54.0	73.9	86.3	80.87
{ 同	149.2	128.8	67.7	50.7	86.6	49.4	83.6	48.5	65.0	75.0	80.45
合計 { 同	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4	1,574.5	1,294.09
{ 同	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.2	1,238.6	1,033.6	1,148.0	1,493.5	1,388.99

(注) ●……最大降水量、 ▲……最小降水量



銭瓶町ポンプ所及三河島処理場降水量年度別曲線



銭瓶町および三河島処理場降水量年度別表

年度 場所	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
銭瓶町	1,092.0	2,124.0	1,456.3	1,250.4	1,204.6	1,605.8	1,220.0	1,072.2	1,752.0	1,879.7	1,680.4	1,462.2	1,263.4	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4	1,574.5
三河島	1,145.6	2,061.1	1,277.1	1,245.0	1,245.9	1,499.6	1,074.6	912.7	1,604.9	1,733.5	1,860.5	1,554.0	1,373.6	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,148.0	1,493.5

(2) 降水量別回数年比較概要

年 度	降水量		場 所	最 大											
	10 何 下	計		100 以上	90 — 100	80 — 90	70 — 80	60 — 70	50 — 60	40 — 50	30 — 40	20 — 30	10 — 20		
29	錢 瓶 三 河 島	83.6 68 68	83.6 74.0 104.6	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
30		82.4 82.4 104.6	82.4 82.4 104.6	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
31		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
32		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
33		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
34		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
35		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
36		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
37		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
38		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		
10 年 均		82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	82.2 74.4 82.2	120.0 103.0 411.0	88.1 81.8 95.3	126.5 103.6 81.5	110.5 121.3 110.5	116.9 110.3 0.7	0.5 0.1 0.2	0.8 0.5 0.4	0.6 0.5 0.6	0.5 0.5 0.5		

(3) 降雨強度別回数年比較概要

年度		場所		降雨強度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
10 年	平均	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	10 何下	錢瓶	三河島	10 — 20	20 — 30	30 — 40	40 — 50	50 — 60	60 以上	最大																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
日	101.1	107.9	8	5	1	2	1	1	1	—	1	—	6	7	4	7	6	10	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6



第 7 節 処 理 水 の 利 用

処理水は、従来そのまま河海に放流していたが、これら未利用資源を活用して事業運営の救果をあげるため、処理水の工業用水化を実施している。すなわち、三河島処理場においては、活性汚泥法による処理下水を、急速ろ過施設により更なるろ過して供給するもので、昭和30年2月から千住製紙工場、さらに36年6月には荒川工業用水利用組合に供給契約を結び送水中である。

契約料金は次のとおりである。

供 給 先	契 約 料 金	契 約 期 間
千 住 製 紙	基本料金 1 カ月使用水量300,000 $m^3$ まで 1 $m^3$ につき 2 円10銭 超過料金 1 カ月使用水量300,000 $m^3$ を超えるもの 1 $m^3$ につき1円80銭	
荒川工業用水利用組合	最低責任使用料 1 か月35,000 $m^3$ 1 カ月使用料 56,000 $m^3$ 未満 1 $m^3$ につき 5 円80銭, 56,000 $m^3$ 以上, 70,000 $m^3$ 未満 1 $m^3$ につき 5 円, 70,000 $m^3$ 以上84,000 $m^3$ 未満 1 $m^3$ につ き 4 円40銭, 84,000 $m^3$ 以上 1 $m^3$ につき 4 円	

なお38年度においても上記の契約で利用されている。

三河島処理場急速砂ろ過施設

ろ 過 池            6 池その他一式

当初施設	3 池
昭28—12 起工	昭29— 8 竣工
工 事 費	25,462,171円
増設施設	3 池
昭34— 6 起工	昭34—11 竣工
工 事 費	25,121,725円

送 水 量 と 収 入 金 額

年 度	送 水 量 ( $m^3$ )	収 入 金 額 (円)
29 年 度	472,650	936,476
30        "	3,879,140	7,582,452
31        "	4,399,090	8,513,362
32        "	4,815,270	9,267,486
33        "	5,320,460	10,176,828
34        "	5,948,860	11,307,948
35        "	6,642,880	13,037,184
36        "	7,392,020	15,778,519
37        "	7,761,260	16,839,076
38 年 度	8,059,570	17,654,384

第 8 節 し 尿 消 化 槽

昭和38年度作業実績

	し 尿 量	シ サ 量	消 化 槽 投 入 量	廃 液 量	消化汚泥量	乾 燥 量	ガス発生量	重油消費量	電 力 量
年 合 計	857,335 $m^3$	6,405 $m^3$	850,930 $m^3$	1,149,171 $m^3$	162,325 $m^3$	18,454.0 $m^3$	5,009,600 $m^3$	733,156 $\ell$	3,410,460 KWH
日 最 大	3,134	24	3,114	4,204	620	190.0	16,800	9,200	12,250
日 平 均	2,748	21	2,727	3,660	520	58.4	14,072	4,888	9,318

(注) 乾燥量は脱水汚泥と乾燥汚泥の合計量。

第 8 章 工事施行状況

第 1 節 拡張工事

総括表

種 別		施 行 内 容			
施設拡張 11,703,684,207円 繰越	管渠施設 6,575,850,184円 繰越 880,079,695円	幹線延長	7,611.32m		
		枝線延長	126,447.17m		
		側溝延長	22,287.50m		
		設計委託	28件		
		試堀	21件	2,594件	
	ポンプ所 1,294,124,631円 繰越 26,008,207円	構築物及び建物	尾久・宮城・藍染・大島各ポンプ所上屋及びポンプ設備その他。 大島・隅田・千住・小松川各ポンプ所、公舎新築その他。 機械及び装置 町屋・日本堤・宮城・藍染各ポンプ所、ポンプ設備その他。 設計管理委託 日本堤・大島・志茂・東雲・藍染・宮城各ポンプ所のポンプ設計管理委託。		
		そ の 他	3 件		
	処 理 場 1,748,911,127円 繰越 29,862,000円	構築物及び建物	森ヶ崎処理場	汚水・雨水両沈砂池及び放流渠吐口工事	
			落合処理場	送污管・高級処理量水槽・汚泥貯留槽・空気本管・散気設備・第2沈澱池工事	
			小台処理場	曝気槽・第2沈澱池及び同汚泥ポンプ、散気板・空気管工事	
			砂町処理場	汚泥消化槽	
		機械及び装置	落合処理場	特高変電所・配電盤工事・第2沈澱池機械設備・汚泥ポンプ設備・第1沈澱池機械設備・沈砂池機械設備・消毒設備・送風機設備工事	
			小台処理場	汚水ポンプ設備・第2沈澱池機械設備・第1沈澱池機械設備・汚泥ポンプ設備・ボイラー設備工事	



種	別	施	行	内	容
		芝浦処理場 防泡設備 砂町処理場 汚泥脱水設備・電気設備工事 設計管理委託 落合処理場 本館・造園工事設計・公舎新築に伴う設計管理委託 芝浦処理場 第2ポンプ室上家新築工事設計管理委託 そ の 他 6 件			
	用地買収 1,176,577,273円	管渠用地	4 件	2,536.12㎡	
		ポンプ所用地	4 件	4,830.49㎡	
		処理場用地	2 件	40,383.74㎡	
	そ の 他	事務費, 補償費, 映画製作費, 乗用自動車, 鋼矢板, 計算器, その他			
特別失業対策管渠敷設 229,401,819円		管渠枝線延長	15,038.39m		
		就労人員延	52,086人		
整備拡充 1,711,386,970円	管 渠 981,991,631円	幹線延長	1,981.16m		
		枝線延長	166.8m		
	繰 越 914,538,819円				
	ポンプ所 繰越 187,570,542円 236,971,801円	構築物	汐入ポンプ所 銭瓶ポンプ所		
整備拡充費	ポンプ所	設計管理委託 その他の 用地買収	3 件 3 件 840.59㎡	汐入, 銭瓶, 湯島各ポンプ所 汐入ポンプ所	
	処理場 525,669,730円	構築物 建物その他	6 件 10 件	三河島処理場処理施設改造	
都市改造費 84,488,791円	管 渠	件 数 管 渠 延 長	12 件 3,508.84m		
	そ の 他	汚水桝設置 試 堀	33カ所 61カ所		
新河岸川浄化 907,544,198円	管 渠 883,649,798円	幹線延長 枝線延長 試 堀 その他の工事	1,356.61m 925.35m 8 件 在来管復旧	84.5m	
	そ の 他 繰越 23,894,400円 399,670,000円	用地買収, 機械器具			

## (1) 管 渠 敷 設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
幹 線	神田川幹線その13工事	□幹195 <sub>cm</sub> ×156 <sub>cm</sub> 465.80m 枝○25~80 750.90	99,978,997	円 年 月 日 38. 4. 1 39. 3. 3	
	岩淵幹線その10工事	○210~□235×175 □200×200 662.11	156,167,766	38. 4. 1 39. 3. 3	
	妙正寺川幹線その2工事	幹○200~□195×175 385.20 枝○25~80 348.60	83,255,670	38. 4. 1 39. 2. 8	
	石神井川下幹線その10工事	○180 943.00	176,782,776	38. 4. 1 39. 3. 27	
	尾久幹線その7工事	幹○150~165 590.62 枝○25~40 247.80	90,302,168	38. 4. 1 39. 6. 16	
	砂町幹線その15工事	幹□210×210~ □270×273 314.98 枝○30~100 17.05	89,739,783	38. 4. 1 39. 3. 10	
	戸塚西幹線その5工事	幹○180 157.17 枝○35 12.47	22,177,116	38. 5. 10 38. 10. 21	
	砂幹線その13工事施工委託	○100 65.00	23,114,780	38. 5. 1 38. 11. 11	水道局へ委託
	千駄ヶ谷幹線その9工事	幹□270×243 320.43	42,857,422	38. 7. 9 39. 1. 23	
	〃 その6工事	幹□750×335 480.70 枝○25 261.44	62,002,166	38. 6. 27 38. 11. 15	
	戸塚西幹枝その6工事	幹○180 206.51 枝○60~165 64.37	34,325,178	38. 9. 17 39. 3. 31	
	千駄ヶ谷幹線その7工事	○750×361 覆蓋 329.94	60,931,907	38. 9. 5 39. 2. 13	
	妙正寺川幹線その2工事 施行委託	幹□180×180 14.00 枝○25~30 28.00	9,753,000	38. 7. 23 39. 1. 31	西武鉄道へ委託
	桃園川幹線その10工事	└─600 <sub>cm</sub> ×350 <sub>cm</sub> ~ └─600×465 底張(366.97m)	55,824,922	38. 9. 18 39. 3. 31	
	妙正寺川幹線その3工事	○120~□210×147 330.10	40,995,490	38. 10. 1 39. 3. 31	
	尾久幹線その8工事	○135~165 551.65	181,491,840	38. 10. 3 39. 3. 31	
	〃 その9工事	幹□520×416 18.00 枝○60 54.80	40,155,490	38. 10. 3 39. 8. 15	繰越額 102,344,510円
	砂幹線その14工事	幹□210×210 30.00 枝○80 17.40	14,613,500	38. 8. 16 39. 3. 31	東武鉄道へ委託
	〃 その17工事	0	144,296	39. 9. 5 39. 5. 30	繰越額 2,140,704円 国鉄へ委託
	千駄ヶ谷幹線その8工事	▽650×360~ ▽750×360 153.80	29,368,582	38. 10. 15 39. 3. 2	
	砂幹線その16工事	□445×352 18.50	13,663,296	38. 10. 30 39. 6. 30	繰越額48,236, 704円部予算外 義務負担39年度



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	多摩川幹線その1工事に伴う地質調査	25m 6カ所 20m 6カ所	1,440,000円	38. 11. 11 39. 1. 30	
	〃 その2工事	25m 6カ所 20m 6カ所	1,440,000	38. 11. 15 39. 1. 30	
	妙正寺川幹線その4工事	幹□195cm×156cm 176.64m □210×147 枝●35~70 183.87	41,868,690	39. 1. 6 39. 3. 31	
	〃 その5工事	幹□195×156 163.40 枝●25~50 161.21	36,884,384	38. 12. 10 39. 3. 31	
	桃園川幹線その11工事	└┐600×425~600×445 112.55 └┐ 〃 (402.75)	44,905,549	38. 12. 20 39. 3. 31	
	〃 その11工事	└┐600×445~ └┐600×465 (346.17)	34,400,000	38. 12. 20 39. 3. 31	
	神田川幹線その15工事	幹□180×162 205.00 枝●25~40 218.85	42,413,419	39. 1. 7 39. 3. 31	
	〃 その14工事	幹●160~□195×156 200.0 枝●25~80 163.30	43,395,935	39. 1. 7 39. 3. 31	
	谷端川幹線その2工事	└┐295×120~ └┐370×200 (237.81)	41,882,960	39. 1. 17 39. 3. 31	
	〃 その5工事	└┐500×450 (235.00)	48,160,671	39. 2. 8 39. 3. 31	
	〃 その6工事	└┐500×450 (250.00)	51,748,380	39. 2. 8 39. 3. 31	
	〃 その7工事	└┐500×450 (250.00)	53,008,619	39. 2. 8 39. 3. 31	
	〃 その3工事	└┐500×450 (250.00)	49,129,489	39. 2. 8 39. 3. 31	
	〃 その4工事	└┐500×450 (250.00)	49,572,803	39. 2. 8 39. 3. 31	
	千駄ヶ谷幹線その10工事	□274×280~363×380 148.01 □274×250 7.00	9,212,716	39. 2. 6 39. 3. 31	
	十二社幹線その1工事	幹●150 38.40 枝●25 41.00	6,134,420	39. 2. 25 39. 3. 31	
	砂幹線その18工事施行委託	0	0	39. 2. 7 39. 5. 30	繰越額 2,717,000円 帝都高速 度交通営団へ委託
	桃園川幹線污水管その他工事	●120 14.50	2,844,274	39. 2. 25 39. 3. 31	
	岩淵幹線その8工事	0	6,872,953	37. 4. 2 38. 7. 23	37年度よりの繰越 工事設計変更によ る38年度分
	神田川幹線その11工事	幹●200 391.43 枝●25~90 534.20	82,181,710	37. 10. 6 39. 2. 29	37年度予算外 義務負担
	砂幹線その12工事	●40~□270×243 枝 34.42	14,058,432	37. 10. 6 38. 5. 10	
	岩淵幹線その8工事	幹□150×180~●180 43.52 枝●60×135 10.08	44,601,316	37. 4. 2 38. 7. 23	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
枝 線	尾久幹線その6工事	幹○165 <sub>cm</sub> 42.60 <sub>m<sup>2</sup></sub>	13,513,707	円 年 月 日 38. 1. 29 38. 5. 29	
	戸塚西幹線その4工事	幹□180×180 30.76 枝○25~50 1.69	10,750,895	38. 1. 10 38. 5. 11	
	岩淵幹線その8工事に伴う軌道 復旧工事外13件	軌道復旧・地管調査 道路舗装・外	87,777,432		
	渋谷区穂田2丁目付近枝線工事	○25~60 304.85	6,068,047	38. 4. 1 38. 7. 4	事故繰越
	渋谷区並木町	○35~90 566.48	33,680,198	38. 4. 1 38. 7. 16	〃
	渋谷区田毎町恵比寿東2丁目付 近枝線その2工事	○50~80 291.75	21,389,616	38. 4. 15 38. 10. 12	〃
	渋谷区若木町羽沢町 付近枝線工事	○25~50 1,473.47	30,030,738	38. 6. 17 38. 9. 30	〃
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目 付近枝線その2工事	○25~90 1,124.10	23,089,699	38. 6. 3 38. 11. 5	〃
	渋谷区代々木町代々木富ヶ谷 町付近枝線工事施行委託	□330×297 15.17	15,728,940	38. 3. 10 38. 12. 20	小田急へ 委託
	江東区南砂町1・8丁目 付近枝線工事	○80~150 66.53	26,849,949	37. 9. 26 38. 5. 30	
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目 〃	○60~180 8.18	14,266,099	37. 11. 5 38. 4. 30	
	江東区大島町6丁目 付近枝線その2工事	□240×240 ~□400×360 126.17	39,411,940	37. 12. 8 38. 6. 29	
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目付近 枝線工事施工委託	0	52,520	37. 10. 23 38. 3. 25	国鉄へ委託
	江戸川区平井1丁目 〃	□300×300 13.00	13,863,012	37. 12. 4 39. 2. 28	〃
	江戸川区平井1丁目付近 枝線工事施工委託その2	0	9,009,207	37. 10. 30 39. 3. 31	建設局へ 委託
	江東区南砂町5・6丁目付近 枝線その3工事	○25~80 181.70	12,473,695	38. 1. 7 38. 5. 20	
	北区堀舟町2丁目付近枝線工事	○45~150 168.90	28,169,389	38. 1. 10 38. 6. 8	
	〃1丁目 付近枝線その1工事	○120 30.10	6,891,217	38. 1. 16 38. 4. 30	
	〃 その2工事	○50~120 110.20	9,533,142	38. 1. 16 38. 4. 30	
	中野区新山通1丁目 付近枝線工事	○25~80 21.80	16,404,243	38. 2. 8 38. 4. 30	
	渋谷区代々木富ヶ谷町代々木 深町付近枝線工事	○120~□330×297 208.60	96,233,939	38. 6. 12 39. 1. 28	
	北区赤羽町2丁目付近 枝線その5工事	○100~□195×195 244.25	62,587,903	38. 4. 1 38. 10. 31	



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	台東区谷中天王寺町谷中坂町付近 枝線工事	◎25 <sub>cm</sub> ~45 <sub>cm</sub> 280.70m	4,290,178	年 月 日 38. 4. 1 38. 6. 21	
	荒川区尾久町8丁目付近 枝線その1工事	◎25~180 142.40	30,721,188	38. 4. 1 38. 12. 16	
	品川区中延4丁目付近枝線工事	◎150~□210×189 194.67	22,826,987	38. 4. 1 38. 7. 29	
	渋谷区青葉町金王町付近	◎25~60 420.85	8,704,755	38. 4. 1 38. 6. 17	
	渋谷区原宿2丁目付近 枝線その3工事	◎25~50 572.73	8,488,787	38. 4. 1 38. 7. 3	
	豊島区池袋5・6丁目付近 枝線その2工事	◎25~40 627.95	10,513,919	38. 4. 1 38. 7. 4	
	中野区氷川町川添町付近 枝線工事	◎25~60 745.81	19,916,072	38. 4. 1 38. 7. 20	
	新宿区柏木2丁目付近 枝線その2工事	◎180 199.55	23,338,082	38. 4. 1 38. 8. 20	
	文京区関口町付近 枝線その2工事	◎25 262.30	3,435,277	38. 4. 13 38. 6. 3	
	墨田区隅田町1丁目付近 枝線その4工事	◎120 32.00	6,808,980	38. 5. 1 38. 7. 8	
	杉並区高円寺6丁目付近 枝線工事	◎25~120 794.81	14,763,532	38. 5. 6 38. 9. 21	
	足立区宮城町付近 枝線その4工事	◎25~120 1,925.38	56,727,831	38. 5. 1 38. 10. 5	
	北区堀船2・3丁目付近 枝線その1工事	◎25~100 335.51	17,612,434	38. 5. 10 38. 10. 3	
	北区豊島6丁目付近枝線工事	◎60 21.90	2,526,935	38. 5. 14 38. 7. 10	
	渋谷区鉢山町鶯谷町付近 枝線工事	◎25~165 607.45	48,609,756	38. 5. 15 38. 10. 23	
	新宿区上落合1丁目付近 枝線その1工事	◎25~120 855.84	28,933,317	38. 5. 15 38. 11. 6	
	杉並区阿佐ヶ谷1丁目付近 枝線工事	◎25~40 175.34	2,621,372	38. 6. 4 38. 7. 31	
	江東区大島町6丁目付近 枝線その3工事	□300×300~ □400×420 109.26	48,723,325	38. 6. 22 38. 11. 21	
	渋谷区恵比寿南2丁目付近 枝線工事	◎25~35 896.78	12,879,432	38. 6. 27 38. 9. 28	
	渋谷区千駄ヶ谷3・4丁目付近	◎25~□270×120 369.10	75,577,684	38. 6. 26 39. 2. 20	
	江東区大島町6丁目付近 枝線その4工事	◎25~□400×220 346.41	129,178,197	38. 7. 6 39. 3. 31	
	渋谷区大山町栄通2丁目付近 枝線工事	◎25~120 1973.70	36,301,612	38. 6. 24 38. 11. 2	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	目黒区中目黒1丁目 下目黒3丁目付近枝線その2工事	◎90 <sub>cm</sub> ~□180 <sub>cm</sub> ×180 <sub>cm</sub> 410.51 <sub>m</sub>	円 年 月 日 45,654,186 38. 6. 27 39. 1. 27		
	渋谷区神園町 神南町付近枝線工事	◎25~120 516.15	16,144,691 38. 7. 1 39. 1. 28		
	渋谷区本町2・4丁目付近 〃	◎25~100 2,202.35	48,995,229 38. 6. 20 39. 2. 13		
	豊島区池袋4・5・7丁目付近枝線工事	◎25~80 1,811.96	33,947,319 38. 7. 16 38. 10. 5		
	新宿区淀橋十二社付近枝線工事	◎25~70 1,491.85 <sub>m</sub>	32,476,766 38. 7. 12 38. 12. 17		
	墨田区吾嬬町東7・8丁目付近枝線その2工事	◎50~135 620.33	63,336,531 38. 6. 26 39. 2. 22		
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その5工事	□225×202~ □240×216 179.47	65,171,334 38. 6. 26 39. 1. 30		
	千代田区平河町2丁目付近枝線工事	◎25 250.55	4,945,833 38. 8. 1 38. 12. 14		
	中央区日本橋本町 日本橋小伝馬町付近枝線工事	◎25~35 496.45	6,035,201 38. 7. 1 38. 8. 27		
	新宿区上落合1丁目付近枝線その1工事施工委託	◎120 17.00	2,898,000 38. 6. 17 38. 12. 20		西武鉄道へ委託
	渋谷区新橋町恵比寿通2丁目付近枝線工事	◎25~50 1,214.66	21,538,399 38. 7. 22 38. 11. 4		
	新宿区上落合1丁目付近枝線その3工事	◎25~80 1,777.97	24,442,206 38. 2. 10 39. 2. 6		
	中野区氷川町 宮園通1丁目付近枝線工事	◎25~50 1,869.00	41,367,512 38. 8. 10 39. 1. 29		
	北区王子3丁目付近枝線工事	◎25~120 1,393.62	44,671,737 38. 8. 12 39. 2. 11		
	足立区宮城町付近枝線その5工事	◎165~180 468.20	69,434,308 38. 9. 5 39. 3. 31		
	渋谷区恵比寿南1丁目付近枝線工事	◎25~70 802.50	12,820,336 38. 8. 27 38. 11. 11		
	渋谷区千駄ヶ谷4丁目付近 〃	◎135~□270×327 289.20	48,682,688 38. 9. 2 39. 3. 19		
	北区豊島4・6丁目付近枝線工事	◎25~135 1,437.30	38,990,277 38. 9. 12 39. 3. 2		
	渋谷区並木町 田毎町付近 〃	◎25~35 651.20	12,451,322 38. 9. 5 38. 11. 20		
	渋谷区元代々木町付近 〃	□160×240~ □300×300 205.57	63,884,686 38. 9. 5 39. 3. 31		
	渋谷区松濤1丁目 神山町 〃	◎25~60 1,785.90	28,518,560 38. 9. 12 38. 12. 18		
	板橋区中丸町 幸町 〃	◎135~□210×160 310.61	41,730,843 38. 9. 16 39. 3. 23		



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	荒川区尾久町 8 丁目付近枝線 その 2 工事	◎180 <sub>cm</sub> 112.40 <sub>m</sub>	37,255,534	円 年 月 日 38. 9. 19 39. 3. 25	
	〃 その 3 工事	◎180 106.20	37,779,761	38. 9. 19 39. 3. 14	
	北区王子 1 丁目 堀船 1・2 丁目 付近枝線工事	◎25~50 1,073.09	19,478,904	38. 9. 5 38. 12. 20	
	渋谷区千駄ヶ谷 2 丁目 原宿 1 丁目付近枝線工事	◎25~100 1,459.35	31,383,603	38. 9. 11 39. 2. 15	
	渋谷区穂田 3 丁目 原宿 3 丁目 付近枝線工事	◎25~135 993.79	64,066,207	38. 9. 5 39. 3. 31	
	渋谷区田毎町付近枝線工事施工 委託	◎60~70 43.50	5,978,480	38. 10. 12	東急電鉄へ 委託
	渋谷区原宿 2 丁目 青葉町付近 枝線工事	◎25~60 1,592.51	21,833,375	38. 9. 16 39. 2. 22	
	渋谷区千駄ヶ谷 3 丁目付近枝線 その 4 工事	◎25~70 1,310.20	19,805,802	38. 9. 27 39. 1. 7	
	渋谷区大和田町付近枝線工事	◎25~30 270.45	11,999,044	38. 10. 10 39. 3. 2	
	新宿区戸塚町 1 丁目 付近枝線工事	◎25~30 109.80	1,813,799	38. 9. 6 38. 10. 5	
	荒川区町屋 5 丁目 〃	◎25~50 570.47	9,084,263	38. 10. 1 39. 2. 25	
	足立区宮城町付近枝線その 6 工 事	◎25~60 770.49	1,400,152	38. 10. 5 39. 3. 17	
	墨田区吾嬬町西 2 丁目付近枝線 その 5 工事	◎25~70 1,045.55	23,114,295	38. 9. 25 38. 12. 14	
	江戸川区逆井 2 丁目付近枝線工 事	□210×210~ □330×330 138.15	76,954,557	38. 10. 3 39. 3. 31	
	新宿区上落合 1 丁目付近枝線 その 2 工事	◎25~110 1,389.48	45,610,776	38. 9. 30 39. 3. 31	
	北区滝野川 2・3 丁目付近枝線 その 2 工事	◎25 126.38	4,086,128	38. 9. 17 38. 11. 14	
	中野区宮前町本町通 3 丁目 付近枝線工事	◎25~80 1,475.20	23,967,127	38. 10. 1 39. 2. 25	
	目黒区洗足町原町 〃	◎30~150 842.40	44,913,573	38. 10. 10 39. 3. 17	
	新宿区上落合 1 丁目付近枝線そ の 2 工事施工委託	◎70~170 34.80	1,960,000	38. 9. 14 39. 3. 30	西武鉄道へ 委託
	渋谷区宅田川町 北谷町 付近枝線工事	◎25~150 1,006.83	35,782,616	38. 10. 10 39. 3. 14	
	渋谷区猿楽町八幡通 3 丁目 〃	◎25~50 1,873.11	46,125,889	38. 10. 11 39. 3. 16	
	渋谷区代々木 3 丁目 〃	◎25~70 463.39	16,994,952	38. 9. 26 39. 12. 18	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	墨田区吾嬬町東 7 丁目付近枝線 その 2 工事	◎25cm~70cm 535.40m	20,700,752	円 年 月 日 38. 12. 10 39. 3. 31	
	北区豊島 7 丁目 王子 3 丁目 付近枝線工事	◎25~70 821.55	18,021,612	38. 10. 8 39. 1. 24	
	品川区中延 3・4 丁目 〃	■195×195~ ■210×189 289.20	43,314,655	38. 10. 15 39. 3. 21	
	目黒区洗足町 原町付近枝線工 事施工委託	◎120 21.87	2,737,800	38. 9. 16 38. 12. 27	東急電鉄へ 委託
	中野区桃園町 宮園通 4 丁目付 近枝線工事	◎25~100 697.60	36,419,131	38. 10. 21 39. 3. 28	
	江東区南砂町 5・8 丁目付近 枝線その 2 工事	◎25~100 1,013.04	44,581,602	38. 10. 11 39. 3. 31	
	墨田区吾嬬町東 5 丁目付近枝線 工事	◎25~120 749.91	22,869,812	38. 10. 10 39. 3. 30	
	新宿区戸塚町 3・4 丁目付近 枝線その 2 工事	◎25~80 905.58	18,608,998	38. 11. 4 39. 3. 31	
	目黒区下目黒 3・4 丁目 付近枝線工事	◎25~■210×189 658.60	60,427,756	38. 9. 28 39. 3. 28	
	千代田区永田町 2 丁目 〃	◎60 52.00	4,094,612	38. 10. 7 38. 11. 9	
	北区堀船 2・3 丁目付近枝線 その 2 工事	◎29~70 895.70	23,924,019	38. 11. 1 39. 2. 22	
	墨田区吾嬬橋 1 丁目 付近枝線工事	◎70~80 235.87	5,392,871	38. 11. 13 39. 1. 25	
	渋谷区上通 2 丁目金王町 〃	◎25~45 1,287.45	20,949,869	38. 10. 21 39. 2. 24	
	杉並区和田本町付近枝線その 4 工事	◎25~180 754.59	34,577,421	38. 10. 25 39. 3. 31	
	中野区小滝町 文園町 付近枝線工事	◎25~110 1,348.85	51,002,594	38. 11. 26 39. 3. 23	
	渋谷区原宿 1 丁目 〃	◎25~70 662.10	16,833,255	38. 11. 4 39. 3. 28	
	渋谷区千駄ヶ谷 3・4 丁目付近 枝線その 2 工事	◎25~50 502.55	6,283,424	38. 11. 20 39. 2. 22	
	渋谷区恵比寿西 1・2 丁目付近 枝線工事	◎25~60 2,062.67	36,833,411	38. 11. 20 39. 3. 31	
	北区滝野川 4 丁目付近枝線その 2 工事	◎25~■200×250 1,705.31	31,206,941	38. 11. 26 39. 6. 20	繰越額 5,581,559円
	渋谷区恵比寿南 2 丁目付近枝線 その 1 工事施工委託	◎70 42.05	1,681,445	38. 10. 12 39. 2. 15	国鉄へ委託
	渋谷区原宿 3 丁目付近枝線その 1 工事	◎25~45 1,026.45	16,791,825	38. 11. 18 39. 3. 13	
	渋谷区桜ヶ丘町付近枝線その 1 工事	◎25~40 1,063.75	20,218,692	38. 11. 11 39. 3. 4	



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	渋谷区恵比寿東2丁目 西1・2丁目付近枝線工事	◎25 <sub>cm</sub> ~60 <sub>cm</sub> 1,782.65 <sub>m</sub>	24,804,164 <sub>円</sub>	年 月 日 38. 11. 25 39. 1. 31	
	中野区朝日ヶ丘町 相生町付近枝線工事	◎25~150 1,431.31	33,985,448	38. 12. 2 39. 2. 13	
	渋谷区上通3丁目円山町	◎25~70 1,702.26	39,510,104	38. 12. 2 39. 2. 13	
	中野区小滝町付近枝線その3工事	◎25~70 704.53	12,533,124	38. 11. 26 39. 3. 31	
	中野区小滝町付近枝線その2工事	◎25~120 746.55	29,082,480	38. 11. 26 39. 3. 31	
	渋谷区常盤松町 氷川町付近枝線工事	◎25~40 819.05	13,535,556	38. 11. 25 39. 3. 24	
	北区滝野川2・3・4丁目	◎25~110 1,075.34	32,264,848	38. 11. 26 39. 3. 31	
	中野区千代田町	◎25~100 920.90	22,174,169	38. 12. 2 39. 3. 31	
	北区滝野川4・5丁目付近枝線その1工事	◎25~165 541.60	39,997,059	38. 12. 10 39. 3. 31	
	枝線その2工事	◎25~90 323.80	19,497,116	38. 12. 10 39. 3. 31	
	新宿区柏木3丁目付近枝線工事	◎25~150 1,029.33	42,180,971	38. 12. 10 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町4丁目	◎25~200 637.38	8,415,913	38. 12. 17 39. 2. 25	
	港区三田南寺町 麻布笄町付近枝線工事	◎25 295.20	3,254,354	38. 12. 21 39. 3. 19	
	北区滝野川2・3・4丁目付近枝線その2工事	◎25~40 736.94	9,994,203	38. 12. 12 39. 3. 25	
	渋谷区代々木1丁目付近枝線その2工事	◎135~165 279.56	44,050,854	38. 12. 21 39. 3. 31	
	渋谷区千駄ヶ谷4・5丁目	◎25~60 466.83	7,739,235	38. 12. 16 39. 3. 10	
	新宿区上落合1丁目 下落合3丁目付近枝線工事	◎25~70 1,087.85	18,265,248	38. 12. 12 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町4丁目付近枝線その2工事	◎25~70 1,302.43	22,124,524	38. 12. 12 39. 3. 31	
	〃 〃 その3工事	◎25~80 1,184.70	15,492,474	38. 12. 25 39. 3. 25	
	〃 〃 その4工事	◎25~50 922.65	12,226,748	38. 12. 12 39. 3. 31	
	渋谷区並木町付近枝線その2工事	◎35 49.00	2,111,794	39. 1. 11 39. 2. 15	
	新宿区戸塚町4丁目 〃 その6工事	◎60~90 256.65	9,033,537	39. 1. 6 39. 3. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	新宿区戸塚町4丁目付近枝線その5工事	◎25 <sub>cm</sub> ~100 <sub>cm</sub> 2,011.02m	35,534,179 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 12. 17 39. 3. 23	
	北区赤羽町2・4丁目 付近枝線工事	□195×195 75.40	24,111,638	38. 12. 10 39. 3. 17	
	北区田端新町3丁目 〃	◎20~35 186.46	3,770,069	39. 1. 8 39. 2. 15	
	新宿区戸塚町3丁目 付近枝線工事	◎25~70 1,229.81	15,227,708	38. 12. 16 39. 5. 30	繰越額 円 29,842,292
	新宿区下落合2・3丁目 〃	◎25~50 717.00	17,195,214	38. 12. 25 39. 5. 25	繰越額 円 17,380,557
	渋谷区桜ヶ丘町付近枝線その2 工事	◎25~50 941.60	24,197,059	38. 12. 26 39. 3. 28	
	渋谷区千駄ヶ谷4・5丁目 付近枝線工事	◎25~60 381.00	27,621,718	38. 12. 23 39. 3. 16	
	渋谷区富ヶ谷1丁目神山町 付近枝線工事	◎25~40 712.80	9,696,249	39. 1. 4 39. 3. 19	
	新宿区柏木2丁目付近枝線その 3工事	◎30~120 898.55	27,219,825	39. 1. 10 39. 3. 31	
	渋谷区鉢山町付近枝線工事	◎25~100 1,476.45	41,365,877	38. 12. 26 39. 3. 13	
	渋谷区南平台町 〃	◎25~60 1,260.47	21,177,550	38. 12. 26 39. 3. 26	
	渋谷区千駄ヶ谷4・5丁目 付近枝線その3工事	◎25~70 1,114.10	22,255,912	38. 12. 25 39. 3. 25	
	渋谷区原宿3丁目 〃 その2工事	◎25~80 831.79	17,886,551	38. 12. 26 39. 3. 31	
	品川区平塚1・2丁目付近枝線 工事	◎25~80 947.65	24,805,849	39. 1. 8 39. 3. 31	
	新宿区戸塚3丁目付近枝線工事 施工委託	◎60 17.01	850,000	38. 12. 14 39. 3. 31	西武へ委託
	渋谷区南平台町 桜ヶ丘町 付近枝線工事	◎25~60 1,482.80	29,949,515	38. 12. 26 39. 3. 31	
	渋谷区原町 〃	◎25~70 1,004.30	19,785,798	38. 12. 26 39. 3. 31	
	新宿区下落合3丁目 付近枝線工事	◎50 9.60	590,420	39. 1. 6 39. 1. 29	
	千代田区麴町1丁目 〃	◎25 446.53	8,147,201	38. 12. 26 39. 3. 16	
	渋谷区代々木4丁目付近枝線工 事施工委託	0	5,310,000	38. 12. 20 39. 5. 30	繰越額 11,7 93,000円小田 急電鉄へ委託
	渋谷区千駄ヶ谷3丁目付近枝線 その5工事	◎25~50 1,345.19	23,172,255	38. 12. 26 39. 3. 18	
	北区滝野川4丁目付近枝線工事	◎100~135 187.10	49,125,827	39. 1. 17 39. 3. 31	



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	渋谷区原町付近枝線その2工事	◎25 <sub>cm</sub> ~40 <sub>cm</sub> 718.90m	10,137,130 <sup>円</sup>	年 月 日 39. 1. 8 39. 3. 31	
	渋谷区代々木深町代々木5丁目 付近枝線工事	◎25~135 392.80	19,583,432	39. 1. 8 39. 7. 13	繰越額 円 9,896,568
	渋谷区長谷戸町 〃	◎25~60 913.15	20,776,364	39. 1. 8 39. 3. 30	
	品川区西中延1・2丁目 付近枝線工事	◎25~70 1,389.68	37,101,879	39. 1. 9 39. 3. 31	
	渋谷区上通4丁目神泉町 〃	◎25~□980×540 1,151.08	33,568,427	39. 1. 9 39. 3. 31	
	渋谷区上通4丁目神泉町付近枝 線その2工事	◎25~30 785.13	14,180,029	39. 1. 9 39. 3. 21	
	杉並区神明町付近枝線工事	◎180 60.63	11,066,928	39. 1. 17 39. 3. 10	
	北区十条仲原1丁目 上十条3 丁目付近枝線工事	◎25~30 355.30	6,001,621	39. 1. 17 39. 2. 27	
	北区滝野川2丁目 〃	◎40~70 63.90	14,079,191	39. 1. 28 39. 3. 31	
	北区王子5丁目豊島8丁目 〃	◎25~60 770.78	16,273,959	39. 1. 17 39. 3. 31	
	渋谷区神山町 〃	◎25~60 949.80	19,035,212	39. 1. 9 39. 3. 23	
	北区東十条1丁目 王子2丁目 〃	◎25~40 984.10	23,063,013	39. 1. 17 39. 3. 31	
	北区豊島2・3丁目 〃	◎25~70 1,064.58	22,495,158	39. 1. 17 39. 3. 31	
	渋谷区代々木4丁目 〃	◎135~165 132.60	16,833,179	39. 1. 31 39. 5. 29	繰越額 円 13,666,821
	墨田区吾嬬町西4丁目 〃	◎25~70 553.95	13,675,486	39. 2. 1 39. 3. 31	
	墨田区吾嬬町東5丁目 付近枝線その2工事	◎25~45 589.64	10,281,138	39. 2. 1 39. 3. 31	
	新宿区柏木3丁目付近枝線その 2工事	◎25~60 766.95	14,958,298	39. 2. 5 39. 3. 31	
	板橋区大和町 付近枝線工事	◎30~150 474.25	28,201,667	39. 2. 5 39. 3. 31	
	北区岸町1丁目 王子本町2丁 目 〃	◎25~40 653.63	12,497,366	39. 2. 5 39. 3. 31	
	新宿区柏木4丁目 〃	◎25~45 838.40	15,024,764	39. 2. 5 39. 3. 31	
	豊島区雑司ヶ谷4丁目巣鴨6丁 目付近枝線工事	◎25~30 395.85	4,975,260	39. 2. 25 39. 3. 31	
	渋谷区恵比寿東1丁目付近枝線 工事	◎25 53.20	1,627,237	39. 2. 24 39. 3. 30	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
枝 線	新宿区柏木2丁目付近枝線その4工事	◎60cm 19.00m	1,893,436円	39. 2. 10 39. 2. 10	
	荒川区荒川8丁目付近枝線工事	◎70 145.55	5,285,666	39. 2. 10 39. 5. 11	繰越額 円 11,844,334
	渋谷区本町1丁目付近枝線工事	◎50~150 146.40	13,283,154	39. 2. 19 39. 3. 31	
	豊島区池袋2・4丁目付近枝線工事	◎25~30 848.75	11,504,869	39. 2. 25 39. 3. 31	
	北区上十条1丁目 堀船1丁目	◎25~30 218.15	4,149,098	39. 2. 20 39. 3. 31	
	中野区上高田3・5丁目	◎50 60.80	153,854	39. 3. 14 39. 5. 30	繰越額 円 26,846,146
	渋谷区内汚水枥設置その2工事	枥工事 128カ所	2,388,156	39. 2. 26 39. 3. 31	
	〃 その3工事	〃 205カ所	3,368,925	39. 2. 26 39. 3. 30	
	渋谷区代々木深町 代々木5丁目付近枝線工事施工委託	0	0	39. 5. 30	繰越額 16,48 9,000円 小田 急電鉄へ委託
	新宿区下落合2・3丁目	◎60 26.20	1,610,000	39. 2. 18 39. 3. 31	西部鉄道へ 委託
	渋谷区代々木1・2丁目付近枝線工事	0	0	39. 3. 30 39. 6. 20	繰越額 円 22,800,000
	新宿区下落合1・2丁目	0	0	39. 3. 19 39. 8. 31	繰越額 円 21,800,000
	新宿区下落合3丁目上落合2丁目付近枝線工事	0	0	39. 4. 14 39. 8. 31	繰越額 円 30,300,000
	渋谷区代々木1・2丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 3. 27 39. 6. 30	繰越額 円 31,700,000
	〃 〃 その4工事	0	0	39. 3. 27 39. 6. 18	繰越額 円 15,080,000
	青梅街道舗装に伴う新宿区柏木1・2丁目 淀橋付近人孔その他工事	◎25~60 83.46	3,929,383	39. 3. 14 39. 3. 25	
	渋谷区富ヶ谷町1丁目付近枝線工事	0	0	39. 3. 24 39. 8. 15	繰越額 円 22,190,000
	渋谷区代々木2丁目	0	0	39. 3. 24 39. 8. 31	繰越額 円 32,600,000
	渋谷区代々木4丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 4 39. 8. 24	繰越額 円 25,200,000
	〃 〃 その3工事	0	0	39. 3. 24 39. 8. 31	繰越額 円 28,540,000
	渋谷区代々木5丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 3. 24 39. 8. 31	繰越額 円 30,450,000
	〃 〃 その3工事	0	0	39. 4. 7 39. 8. 3	繰越額 円 32,930,000



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	環状6号舗装工事に伴う中野区上ノ原町付近人孔その他工事	◎30 <sub>cm</sub> ~40 <sub>cm</sub> 19.30 <sub>m</sub>	743,689	円 年 月 日 39. 3. 14 39. 3. 31	
	新宿区上落合2丁目付近枝線工事	0	0	39. 4. 10 39. 8. 31	繰越額 円 29,000,000
	新宿区下落合2丁目	0	0	39. 4. 10 39. 8. 31	繰越額 円 24,770,000
	新宿区下落合3丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 10 39. 8. 31	繰越額 円 25,500,000
	新宿区下落合2・3丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 20 39. 8. 31	繰越額 円 28,860,000
	大田区調布嶺町1丁目先永富開渠改築工事施工委託	0	1,469,080	38. 4. 1 38. 7. 31	国鉄へ委託
	新宿区淀橋十二社付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 15 39. 7. 13	繰越額 円 11,700,000
	渋谷区穂田3丁目付近枝線工事	0	0	39. 3. 31 39. 6. 30	繰越額 円 2,350,000
	渋谷区代々木1・2丁目付近枝線その3工事	0	0	— 39. 6. 30	繰越額 円 3,000,000
	北区滝野川4丁目付近枝線その2工事施工委託	0	0	— —	繰越額 円 1,752,000 国鉄へ委託
	佃川埋立に伴う下水管埋設工事	◎25~180 415.00	10,979,582	38. 11. 26 39. 3. 31	建設局へ委託
	渋谷区代々木1丁目付近枝線その3工事	0	0	39. 4. 21 39. 8. 31	繰越額 円 25,960,000
	渋谷区代々木4丁目付近枝線その4工事	0	0	39. 4. 21 39. 8. 31	繰越額 円 31,690,000
	渋谷区緑ヶ岡町 港区赤坂青山高樹町付近枝線工事	0	0	— 39. 7. 13	繰越額 円 8,700,000
	渋谷区代々木2・3丁目付近枝線工事	0	0	— 39. 8. 31	繰越額 円 24,000,000
	渋谷区代々木3丁目付近枝線その2工事	0	0	— 39. 8. 31	繰越額 円 29,000,000
	渋谷区代々木4丁目付近枝線その5工事	0	0	— 39. 8. 31	繰越額 円 41,000,000
	中野区新山通2丁目付近枝線工事外28件	埋設物調査197カ所 土質調査20カ所 設計図の作成39,944m 測量4,600m 汚水柵456カ所 その他	50,122,099	— —	繰越額 円 1,528,500
側 溝	豊島区高松町2丁目付近側溝工事	L型延長 (2,142.00 <sub>m</sub> )	2,550,000	38. 8. 1 38. 12. 20	
	渋谷区千駄ヶ谷1・4丁目	(2,418.10)	3,612,466	38. 8. 9 39. 1. 11	
	新宿区柏木2・3丁目	(1,202.80)	1,670,000	38. 8. 26 39. 1. 16	
	北区滝野川3・5丁目	(1,556.20)	1,783,702	38. 9. 12 39. 12. 12	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
側 溝	渋谷区大和田町上通3丁目 付近側溝工事	(2,556.60m)	3,355,202	円 年 月 日 38. 10. 12 39. 3. 27	
	北区豊島6・7丁目 〃	(1,379.40)	1,652,125	38. 11. 26 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町3・4丁目 〃	(2,098.50)	2,370,000	38. 11. 1 39. 3. 24	
	板橋区熊野町 中丸町 〃	(1,721.70)	2,165,285	38. 10. 25 39. 3. 9	
	北区王子町 〃	(1,472.70)	1,914,810	39. 1. 7 39. 3. 31	
	北区王子町付近側溝その2工事	(1,222.40)	1,501,575	39. 1. 7 39. 3. 21	
	渋谷区恵比寿南2丁目 付近側溝工事	(2,977.40)	4,006,500	38. 12. 26 39. 3. 31	
	北区上十条2・3丁目 〃	(1,177.70)	1,318,074	39. 1. 17 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町3丁目 新宿4丁目 〃	(362.0)	390,000	39. 2. 5 39. 3. 31	
試 掘	試 掘 調 査	2,594カ所	23,452,269		21件
設計委託	渋谷区上通2丁目 全王町 付近枝線工事外2カ所	(3,031m)	730,000	38. 5. 16 38. 9. 9	
	渋谷区常盤松氷川町 〃	(2,952)	630,000	38. 5. 16 38. 9. 9	
	品川区平塚町1・2丁目 付近枝線工事外1カ所	(2,453)	790,000	38. 5. 19 38. 10. 21	
	渋谷区桜ヶ丘町付近枝線その1 工事外3カ所	(3,429)	918,972	38. 5. 16 38. 9. 9	
	中野区朝日ヶ丘相生町付近枝線 工事外1カ所	(2,210)	630,000	38. 6. 15 38. 9. 21	
	北区滝野川2・3・4丁目付近枝 線その1工事外1カ所	(1,920)	630,000	38. 6. 19 38. 9. 26	
	北区王子5丁目 豊島8丁目付 近枝線工事外1カ所	(2,230)	663,000	38. 6. 19 38. 9. 26	
	渋谷区代々木4丁目付近枝線工 事	23	60,000	38. 8. 9 38. 12. 20	小田急電鉄 へ委託
	江東区大島町7丁目 付近枝線その1工事外2カ所	(4,050)	1,560,000	38. 10. 24 39. 3. 9	
	墨田区吾嬬町東1・3丁目付近枝 線工事外3カ所	(2,630)	1,280,000	38. 10. 24 39. 3. 7	
	渋谷区原町付近枝線その1工事 外1カ所	(1,949)	460,000	38. 10. 7 38. 11. 14	
	渋谷区上通4丁目 神泉町付近 枝線その1工事外1カ所	(2,592)	625,000	38. 10. 7 38. 11. 28	



## (2) ポンプ所建設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
構 築 物 及び建物	大島ポンプ所雨水吐工事	放流渠 9.8m 吐 口 10.5m	35,459,726	円 年 月 日 37. 12. 10 39. 3. 31	
	日本堤ポンプ所建設その5工事	ポンプ室上家 延3,099.86㎡放流渠 38.5mの一部	142,616,306	38. 4. 1 39. 8. 19	予算外義務 負担工事
	尾久ポンプ所建設その2工事	流入渠27.5m 污水管14. 04m 沈砂池4池 ポンプ 室下部 634.95m 放流渠	135,565,398	38. 4. 1 39. 3. 27	
	宮城ポンプ所建設その2工事	ポンプ所上家 鉄筋コンクリート造 延床面積 1,169.835㎡ 雨水放流渠 68.00m 電気設備 その他1式	37,158,961	38. 4. 1 38. 9. 25	
	藍染ポンプ所 流入渠及び阻水扉室工事	流 入 渠 155.0m 放 流 渠 38.5m 阻水扉室 1式	60,219,153	38. 6. 26 39. 2. 9	
	隅田、千住ポンプ所 公舎新築その他工事	鉄筋コンクリート各2世 帯 隅田2階建延94.84㎡ 千住平家建 80.36	9,451,000	38. 8. 26 39. 3. 15	経理部へ 委 託
	小松川ポンプ所	木造2階建 2世帯延 94.05㎡	3,190,000	38. 11. 11 39. 3. 13	経理部へ 委 託
	大島ポンプ所 公舎新築工事	木造2階建 2世帯延 97.20㎡	3,480,000	39. 1. 30 39. 3. 31	経理部へ 委 託
	尾久ポンプ所 建設その3工事	ポンプ室上家 延床面積 675.92㎡ の 一 部	8,217,625	39. 1. 16 39. 6. 20	繰越額 23,870,207
	大島ポンプ所雨水吐工事	次頁の工事と同一	14,950,000		
機 械 及 置 装 置	起重機設備工事	20t天井走行起重機 1基 走行軌条布設ならびに付 帯設備 1式	5,520,000	37. 10. 6 38. 4. 12	
	藍染ポンプ所 起重機設備工事	20t天井走行起重機 1基 走行軌条布設ならびに付 帯設備 1式	5,529,000	37. 10. 6 38. 4. 1	
	〃 ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ ディーゼル駆動φ1700 2台 電動機駆動 φ1700 1台 その他付帯工事	206,000,000	37. 10. 6 38. 8. 6	
	町屋ポンプ所 污水ポンプ設備その2工事	污水ポンプ φ 500 1台 および付帯工事	7,760,000	38. 5. 6 38. 12. 16	
	宮城ポンプ所 電気設備その1工事	配電盤工事 1式 所内発電機工事 1式 配線工事 1式 その他	39,300,000	38. 7. 1 39. 3. 21	
	〃 沈砂池機械設備工事	阻水扉2組 グリットエ レベーター2基 汚格機 4基 汚格子4面 沈砂 篩渣搬出設備1式 阻水 扉用配電盤及油圧装置	31,000,000	38. 7. 1 39. 3. 10	
	〃 起重機設備工事	15t天井走行 起重機 1基 その他付帯設備 1式	3,550,000	38. 7. 1 39. 1. 20	
	藍染ポンプ所 放流扉設備工事	放流扉 1基 同上用捲揚機 1台	6,680,000	38. 7. 1 39. 3. 18	
	砂町ポンプ所 污水ポンプ設備その1工事	污水ポンプ 1台 給排水ポンプ 各1台 の残部	12,710,000	37. 6. 21 38. 5. 10	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
機 械 及 置 装	日本堤ポンプ所 沈砂池機械設備その2工事	止水扉 2基 揚泥機 1台 沈砂掻集機 2台の残部	円 年 月 日 3,957,000 37. 7. 19 38. 4. 30		
	宮城ポンプ所 雨水ポンプ設備その1工事	雨水ポンプディーゼル φ1100機関駆動 1台 φ1100電動機駆動 1台 クーリングタワー 1台 その他付帯設備	66,400,000	38. 7. 6 39. 3. 10	
	日本堤ポンプ所 雨水ポンプ設備その3工事	雨水ポンプ電動機駆動 φ2000 1台 および付帯工事 1式 の一部	42,400,000	38. 7. 6 39. 11. 10	繰越額 1,10 0,000円一部 予算外義務 負担39年度 (74,000,000)
	〃 〃 その2工事	雨水ポンプ、ディーゼ ル駆動 φ 200 1台 同上用ディーゼル機関 1台	106,800,000	37. 4. 2 38. 4. 20	
	大島ポンプ所沈砂池 機械設備その1工事	雨水用止水扉 2面 汚水用 〃 1面 雨水用揚泥機 1台 汚水用 〃 1組 雨水用戸格機 4面 汚水用 〃 2面 沈砂篩渣搬送設備 1式	53,000,000	37. 10. 6 38. 7. 2	
	藍染ポンプ所 電気設備その1工事	配電盤工事 1式 所内発電機工事 1式 配線工事 1式	63,900,000	37. 10. 6 38. 8. 24	
	大島ポンプ所 ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ、ディーゼル 駆動 φ1400 1台 汚水 〃 電動機駆動 φ 800 1台 その他付帯工事	99,700,000	37. 10. 6 38. 7. 2	
	〃 電気設備その1工事	高圧受電装置 1式 配電盤工事 1式 所内発電機工事 1式	42,500,000	37. 10. 6 38. 7. 29	
設 計 管 理 委 託	大島ポンプ所 構内管理委託	本館管理 延床面積 2,471.00㎡	628,379	38. 4. 1 38. 8. 31	
	藍染ポンプ所 構内管理委託	本館及び機械 延床面積 4,212.02㎡ 汚水用揚泥機 1組 その他の管理	552,175	38. 4. 1 38. 9. 30	
	宮城ポンプ所 建設その2工事管理委託	ポンプ所上家 延床面積 1,169,835㎡ 電気設備 1式 オイルタンク設備 1式	445,000	38. 4. 3 38. 9. 25	
	日本堤ポンプ所 建設その5工事管理委託	ポンプ所上家 建築延床面積 3,099.86㎡ 電気設備その他 1式	752,000	38. 8. 21 39. 8. 19	繰越額 698,000円
	大島ポンプ所 構内管理委託その2	ポンプ所本館 および機械等の管理	1,552,775	38. 9. 1 39. 3. 31	
	志茂ポンプ所 上家新築工事設計委託	ポンプ所上家延 1,787㎡ 沈砂池上家 1,400㎡ 及付帯設備の設計委託	3,900,000	38. 12. 12 39. 3. 14	
	東雲ポンプ所上家 新築工事設計委託	ポンプ所上家延 1,860㎡ 沈砂池上家延 903㎡ 及付帯設備の設計委託	4,400,000	38. 12. 26 39. 3. 14	
	大島ポンプ所 整備工事	周壁 294.4㎡ コンクリート舗装 1,930.0㎡ 汚水管 57.4㎡ その他	26,230,133	38. 6. 13 39. 1. 30	
そ の 他					



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
そ の 他	山谷堀 地質調査工事	テストボーリング 11カ所	700,000	年 月 日 38. 12. 27 39. 2. 29	
	江東区大島町6丁目付近 応急漏水防止工事	堤外土表積土砂填充工事 1,375.00㎡ 堤外盛土工事 262,00㎡ モルタル填充工事 107カ所	7,950,000	38. 3. 12 38. 4. 22	
	尾久ポンプ所 建設その3工事管理委託	拡張第787号の工事管理	0	39. 1. 22 39. 6. 20	繰越額 340,000

## (3) 処 理 場 建 設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
構築物及び 建 物	森ヶ崎西処理場 建設その2工事	雨水沈砂池 6池 汚水沈砂池 6池	89,493,599	年 月 日 38. 4. 1 39. 3. 18	
	〃 建設その6工事	汚泥貯留槽 2槽 付属機械室 2棟 汚泥ポンプ室 その他	61,070,023	38. 6. 26 38. 12. 7	
	小台処理場 建設その8工事	曝気槽 4槽 } 第2沈澱池 4池 } の 第2汚泥ポンプ室80㎡ } 各一部	168,133,603	38. 10. 3 39. 11. 4	一部予算外 義務負担 39年度 210,485,953
	〃 曝気槽散気設備その2工事	散気板 4,536枚 空気管 1,407.0m	33,734,896	38. 10. 10 39. 3. 31	
	落合処理場 空気本管その他工事	空気管 850m 前曝気槽散気装置 2槽分 制水扉 32カ所	10,350,000	37. 10. 6 38. 5. 16	〃
	〃 散気設備その1工事	曝気槽散気装置 688組 } モノレール 800m } の一部 (竣工)	10,180,000	37. 10. 6 38. 4. 10	37年度予算 外義務負担
	〃 建設その4工事	第2沈澱池 5池 } 雨水放流渠 114.0m } の一部 (竣工)	110,890,464	37. 10. 6 38. 10. 4	〃
	砂町処理場 汚泥消化槽その3工事	汚泥消化槽 4槽 } 管廊 160m } の一部 (竣工)	148,780,254	37. 8. 30 38. 8. 20	〃
	森ヶ崎西処理場 放流渠吐口工事	放流渠吐口 鉄筋コンクリート造 矩形渠 巾3,600mm×高2,200mm 2連 21.40m	8,399,588	38. 11. 8 39. 2. 4	
	落合処理場 送泥管その10工事	ダクタイル鋳鉄管 1,772.05m 鋼 管 66.05m	27,838,176	38. 6. 6 38. 11. 29	
	〃 送泥管その11工事	ダクタイル鋳鉄管 2,069.0m 鋼 管 141.0m	34,026,367	38. 6. 6 38. 11. 29	
	〃 建設その5工事	高級処理量水槽 1槽 予備処理 〃 1槽 放 流 渠 15.03m 陸 橋 112.34m 造園 (曝気槽上) その他	90,079,321	38. 7. 6 39. 1. 29	
	〃 送泥管その8工事	国鉄委託分	46,809	37. 8. 27 37. 11. 5	委託料のみ 繰越
機械及び装置	小台処理場 汚水ポンプ設備その2工事	汚水ポンプ 1台 (ディーゼル機関)	9,600,000	38. 5. 6 39. 1. 25	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
機械及び 装 置	芝浦処理場 防泡設備工事	配水管 6,595.0m ポンプ井及びポンプ室 防泡ポンプ 2 台 電気設備 2 面	円 30,689,200	年 月 日 38. 8. 30 39. 3. 25	
	小台処理場 第二沈澱池機械設備その 2 工事	汚泥掻集機 2 池分 吸泥管弁 2 池分 手 摺 2 池分	38,300,000	38. 10. 1 39. 3. 31	
	〃 第一沈澱池 機械設備その 2 工事	汚泥掻集機 1 池分 吸泥管弁 1 組	20,200,000	38. 10. 1 39. 3. 25	
	〃 汚泥ポンプ設備その 2 工事	汚泥ポンプ(電動) 3 台 その他付属設備	8,100,000	38. 10. 1 39. 3. 31	
	砂町処理場 電気設備その 2 工事	配電盤工事 } 配線工事 } 一式 そ の 他	72,000,000	37. 10. 6 38. 9. 5	
	小台処理場 ボイラー設備その 2 工事	ボイラー 1 缶 重油貯留槽 1 基 汚泥バイパス管弁設備 1 式 管廊排水ポンプ 1 台	31,300,000	37. 10. 6 38. 7. 25	
	落合処理場 汚水ポンプ設備その 1 工事	汚水ポンプ φ 900 2 台 〃 φ 350 2 台 水中ポンプ 1 台 給水ポンプ 1 台	38,750,000	37. 10. 6 38. 8. 6	
	砂町処理場 汚泥脱水設備その 3 工事	真空ろ過機 4 台 真空ポンプ 2 台 空気圧縮機 1 台 給水用増圧ポンプ 1 台	60,200,000	37. 8. 30 38. 7. 1	
	落合処理場 電気設備その 1 工事	特高変電所 1 式 配電盤工事 1 式 配線工事 1 式 そ の 他	199,000,000	38. 4. 1 39. 1. 31	
	〃 送風機その 1 工事	送風機 3 台 同上用電動機 3 台 その他付帯設備	78,800,000	37. 8. 30 38. 8. 12	予算外義務 負担
	〃 消毒設備その 1 工事	真空式塩素滅菌機 1 台 および付帯設備	11,700,000	38. 7. 1 39. 1. 25	
	〃 第二沈澱池機械設備 その 1 工事	汚泥掻集機 2 池分 流入扉 } 各 3 池分 排水扉 }	77,850,000	38. 7. 6 39. 1. 20	
	〃 汚泥ポンプ設備その 1 工事	第一沈澱池汚泥ポンプ 3 台 第二 〃 2 台 前曝気槽 〃 1 台 送泥ポンプ 4 台	34,050,000	38. 5. 30 39. 1. 25	
	〃 第一沈澱池機械設備 その 1 工事	汚泥掻集機 流入扉 } 各 4 池分 排水扉 } 吸泥管弁 2 池分	39,070,000	38. 6. 26 39. 1. 25	
	〃 沈砂池機械設備 その 1 工事	阻水扉 5 組 沈砂池バケットエレベ ーター 4 台 グリットコレクター 4 台 戸格機 6 基	50,450,000	38. 6. 26 39. 1. 25	
設計管理 委 託	落合処理場 本館管理委託	処理場本館の管理	1,225,000	38. 4. 1 38. 9. 30	
	〃 建設その 5 工事管理 委託及び本館前造園工事設計委 託	38年度工事第 563 号 の工事管理	1,025,000	38. 8. 9 39. 1. 29	
	〃 本館管理委託その 2	本館 床面積15,080㎡ 機械類 その他	1,730,000	38. 10. 1 39. 2. 29	



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
設計管理 委 託	落合処理場 公舎新築に伴う 設計委託	公舎12世帯 延 574.2 $m^2$ の 設計	630,000	年 月 日 38. 12. 3 39. 1. 11	経理部へ委託
	芝浦処理場 第2ポンプ室上家 新築工事設計委託	ポンプ室延 754 $m^2$ 沈砂池上家延 274 $m^2$ の 設計	1,680,000	39. 1. 11 39. 3. 31	
そ の 他	落合処理場 建設その4工事	第2沈澱池 5池 雨水放流渠 114.00 $m$ の一部	9,198,003	37. 10. 6 38. 10. 4	一部予算外義 務負担
	〃 散気設備その1工事	曝気槽散気装置 688組 モノレール 800 $m$ の一部	60,000	37. 10. 6 38. 4. 10	〃
	芝浦処理場 汚泥処理工場西側埋立 その2工事	控弁 径50 $mm$ ×長16.00 $m$ 52組 〃50 ×13.50 36組 控壁 厚350 $mm$ ×高1,600 116.70 $m$ 〃400 ×〃1,800 29.50	22,369,826	38. 5. 1 38. 10. 23	
	森ヶ崎西処理場 地質調査工事	ラストボーリング 5カ所 サウンディング 35カ所	1,100,000	38. 8. 12 38. 11. 18	
	砂町処理場 南側敷地護岸築造工事	石枠護岸 528.0 $m$ 木柵 〃 50.0 $m$	57,008,331	38. 9. 5 39. 3. 20	
	落合処理場 整備工事	前庭造園 4,710 $m^2$ 守衛所 16.41 $m^2$ 門扉及周壁 防泡設備	59,298,346	38. 9. 30 39. 3. 19	
	小台処理場 整備工事	正 門 守衛所 金網扉 ブロック扉その他	9,707,324	38. 12. 20 39. 3. 19	
	落合処理場 公舎用地地質調査工事	公舎用地の地質調査	55,000	38. 12. 11 39. 1. 8	経理部へ委託
	〃 整備その2工事	造園及遊戯施設 柵及門扉 便 所	0		繰越額 6,425,000円
	〃 動力線引込工事	ケーブル 2,700.0 $m$	0		繰越額 23,437,000円 東電新宿支社 へ委託

## (4) 特別失業対策管渠施設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	豊島区高松町2丁目付近 枝 線 工 事	◎25~60 1,265.57	18,645,262	年 月 日 38. 7. 18 38. 12. 20	就労人員 4,862
	渋谷区千駄谷1・4丁目 〃 〃	◎25~70 1,516.20	30,185,757	38. 8. 9 39. 1. 11	5,272
	新宿区柏木2・3丁目 〃 〃	◎25~70 910.61	14,678,783	38. 8. 26 39. 1. 16	4,398
	北区滝野川3・5丁目 〃 〃	◎25~40 1,337.06	17,666,024	38. 9. 12 38. 12. 12	4,387

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
枝 線	渋谷区大和田町上通 3 丁目 〃 〃	◎25~35 1,556.12	22,770,434	円 年 月 日 38. 10. 12 39. 3. 27	4,641
	北区豊島 6・7 丁目 〃 〃	◎25~50 1,547.05	22,020,049	38. 11. 26 39. 3. 31	6,255
	新宿区戸塚町 3・4 丁目 〃 〃	◎25~60 1,380.75	19,760,756	38. 11. 1 39. 3. 24	5,270
	板橋区熊野町中丸町 〃 〃	◎25~50 1,247.40	16,303,838	38. 10. 25 39. 3. 9	3,528
	北区王子町 〃 〃	◎25~70 819.72	13,080,247	39. 1. 7 39. 3. 31	2,670
	〃 付近枝線その 2 工事	◎25~35 695.49	9,523,714	39. 1. 7 39. 3. 21	2,105
	渋谷区恵比寿南 2 丁目 付近枝線その 2 工事	◎25~60 1,595.31	26,911,039	38. 12. 26 39. 3. 31	4,335
	北区上十条 2.3 丁目 付近枝線工事	◎25~45 988.55	15,548,330	39. 1. 17 39. 3. 31	3,945
	新宿区戸塚町 3 丁目新宿 4 丁目 〃 〃	◎25 178.56	2,307,586	39. 2. 5 39. 3. 31	418

## (5) 整 備 拡 充

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
管 渠	谷田川幹線放流渠 その 5 工事	幹線□440 <sub>cm</sub> ×262 <sub>cm</sub> 337.10 <sub>m</sub> 枝線○70~□225×149 27.60	162,299,794	円 年 月 日 38. 4. 1 39. 1. 16	
	常盤橋地区千代田区大手町 2 丁目付近管渠移設その 1 工事	幹□250 ×250 ~ △270 ×270 53.0 <sub>m</sub>	20,952,636	38. 10. 3 40. 3. 31	繰越額 円 157,588,388
	〃 〃 〃 その 2 工事	幹□210 <sub>cm</sub> ×210 <sub>cm</sub> ~ □300×240 30.0 <sub>m</sub>	26,487,244	38. 10. 3 40. 3. 31	繰越額 円 187,382,756
	〃 〃 〃 その 3 工事	0	39,529,234	38. 10. 3 40. 3. 31	繰越額 円 326,670,766
	藍染川幹線 雨水吐その 2 工事	幹□520×416 100.00 <sub>m</sub> 枝○100 100.00 <sub>m</sub>	73,405,036	38. 10. 3 39. 6. 30	89,394,964円
	明石町幹線その 2 工事に伴う埋 戻工事施工委託		1,869,920	38. 9. 10 39. 1. 25	交通局へ委託
	白山 幹 線 雨水吐その 5 工事	幹□300×300~□330×330 82.92 <sub>m</sub> 枝○45 9.50 <sub>m</sub>	54,583,472	38. 12. 11 39. 3. 31	
	谷端川幹線 雨水吐その 5 工事	◎110~□330×330 105.20	31,746,068	38. 12. 12 39. 3. 31	
	〃 〃 〃 〃 その 6 工事	幹□330×330 31.00 枝○80~100 16.80 他に□330×330~△600 ×432.5 <sub>cm</sub> 32.90 <sub>m</sub>	43,101,810	39 1. 20 39. 3. 31	
	〃 〃 〃 その 7 工事	幹□600×432.5 24.00 <sub>m</sub> (他に△600×415 10.00)	19,881,302	39. 1. 17 39. 3. 31	



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
管 渠	番町幹線雨水吐その1工事に伴う地中線移設工事施工委託	(22,000Vケーブル) 3条	円 0	年 月 日 — — —	繰越額 円 3,524,945 東京電力へ委託
	番町幹線雨水吐その1工事 施 工 委 託	0	0	— 41. 1. 31	繰越額 円 145,000,000 帝都高速交通営団へ委託
	〃 に伴う配水管 移設工事施工委託	0	0	—	繰越額 円 2,877,000 水道局へ委託
	〃 伴う瓦斯管 移設工事 〃	0	0	—	繰越額 2,100,000 東京瓦斯へ委託
	谷端川幹線雨水吐 その4工事	幹○360×360 255.3	99,414,869	37. 10. 6 38. 9. 13	37年度予算外 義務負担
	白山幹線雨水吐 その3工事	幹□330×330～□440× 264 572.74m	258,716,861	37. 10. 6 39. 3. 25	〃
	谷端川幹線 雨水吐その4工事	0	1,720,652	37. 10. 6 38. 9. 13	一部予算外義務負担
	白山幹線 雨水吐その3工事	□330×330～440×264 ○370mm 0	12,650,869	37. 10. 6 39. 3. 25	〃
	〃 〃 その4工事	□360×360 0	10,633,974	37. 10. 6 38. 12. 3	〃
	藍染川幹線 雨水吐その1工事	幹□520×416 枝○180 31.0 8.7m	22,933,390	37. 12. 13 38. 5. 22	
	白山幹線雨水吐 その4工事	幹□360×360 363.1m	126,989,995	37. 10. 6 33. 12. 3	37年度予算外 義務負担
ポンプ所	汐入ポンプ所 上家新築工事設計委託	ポンプ所上家 沈砂池上家 955㎡ 340㎡	2,245,000	38. 8. 1 38. 10. 22	
	〃 雨水吐工事施工委託	□160×160 門扉 9.4m 1式	7,895,000	38. 9. 25 39. 3. 30	建設局へ委託
	〃 雨水放流渠工事	放 流 渠 □160×160 122.89m	21,203,925	38. 11. 25 39. 3. 20	
	銭瓶町ポンプ所 さくせい工事	35cm 100m 25cm 150m 掘削 2カ所	10,870,000	38. 11. 11 39. 2. 4	
	〃 建設その1工事	掘削量 33.655㎡ 門扉取除一式その他	38,493,000	38. 12. 2 39. 3. 24	
	湯島ポンプ所 地質調査工事	深度 40m 1カ所 〃 30m 2カ所	430,000	38. 12. 7 39. 1. 14	
	汐入ポンプ所 建設その1工事	現場打鉄筋コンクリート杭 76基	7,740,000	39. 1. 6 39. 5. 20	繰越額 24,810,000
	銭瓶町ポンプ所 設計委託	ポンプ所 の設計 延 6,810坪	20,400,000	39. 1. 4 39. 3. 31	
	湯島ポンプ所 上家新築工事設計委託	ポンプ所上家 延2,989.0㎡ の設計	5,700,000	39. 1. 9 39. 3. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
ポンプ所	銭瓶町ポンプ所 仮配管工事	仮配管 延長 132.7m 及び樹木移植	26,800,000円	39. 1. 9 39. 3. 31	
	湯島ポンプ所 建設工事に伴う樹木移植工事	移植樹木 10本	30,000	39. 2. 25 39. 3. 10	
	汐入ポンプ所 建設その2工事	0	0	40. 3. 31	繰越額 円 122,481,801
	湯島ポンプ所 建設その1工事	0	0		繰越額 円 89,680,000
処 理 場	三河島処理場 処理施設改造その2工事	第1沈澱池 4池 } の 曝気槽 2槽 } 一 第2沈澱池 3池 } 部	323,926,310	38. 4. 1 39. 7. 24	一部予算外義 務負担 39年度 145,762,597
	〃 〃 その3工事	高級処理放流渠297.80m 予 備 〃 160.05m 消毒槽4.5×2.9×80.6× 3回路 量水槽 3槽	63,189,014	38. 4. 1 38. 12. 5	
	〃 送泥管改造その8工事	送泥管○35cm 1,615.70m 鞘 管 ○80cm 26.00m	25,092,395	38. 6. 10 39. 1. 13	
	〃 〃 その9工事	送泥管○35cm 2,480.00m 鞘管○80cm 52.00m	35,512,218	38. 6. 10 38. 11. 21	
	〃 〃 工事施工委託	送泥管 ○35cm 65.00m	2,801,933	38. 5. 1 38. 11. 11	水道局へ委託
	〃 〃 その7工事	送泥管 ○35cm 134.50m	7,382,200	38. 7. 10 38. 12. 10	

(6) 都市改造下水施設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
管 渠	西大崎地区品川区平塚1丁目付近 管渠移設工事	○25cm~50cm 238.20m	2,843,958円	38. 6. 28 38. 6. 28	
	組合地区田端 付近管渠移設その18工事	○25~60 113.91	1,374,852	38. 8. 5 38. 8. 31	
	第8地区渋谷区神宮通1丁目 上通3丁目付近 管渠移設工事	○25~35 38.36	1,101,912	38. 8. 17 38. 9. 27	
	第32地区豊島区駒込1丁目 〃 〃	○25 201.20	1,673,231	38. 8. 22 38. 10. 10	
	第5地区品川区五反田3丁目 〃 〃	○30~150 344.35	37,299,561	38. 9. 16 39. 3. 3	
	第34地区荒川区日暮里3・4丁目 〃 〃	○25~90 412.68	4,852,309	38. 9. 16 38. 12. 5	
	第13地区豊島区西巣鴨2丁目 巣鴨6・7丁目 〃 〃	○25~60 488.42	6,431,170	38. 10. 1 38. 12. 13	
	新宿地区新宿区歌舞伎町 〃 〃	○110 34.60	3,987,553	38. 10. 10 38. 12. 7	
	第31地区豊島区巣鴨2・5丁目 〃 〃	○25~80 116.20	981,637	38. 10. 3 38. 11. 6	



種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
管 渠	第32地区豊島区駒込1丁目 付近管渠移設その2工事	◎25 <sub>cm</sub> ~50 <sub>cm</sub> 110.30 <sub>m</sub>	1,497,433 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 11. 4 38. 12. 20	
	西大崎地区品川区平塚1丁目 西大崎1丁目付近管渠移設工事	◎25~60 1,291.80	15,559,248	38. 11. 15 39. 3. 31	
	第24地区文京区駒込神明町 〃 〃	◎25 118.82	1,288,855	38. 11. 11 38. 12. 10	
	西大崎地区品川区平塚1丁目 西大崎1丁目付近汚水樹設置工事	33カ所	598,146	39. 2. 25 39. 3. 31	
	試 掘	61カ所	216,544		

## (7) 新河岸川浄化下水施設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
管 渠	志村幹線その4工事に伴う 地 質 調 査	孔径 85 <sub>mm</sub> 孔数 2カ所 深度 30 <sub>m</sub>	575,000 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 9. 17 38. 10. 28	
	板橋区志村町3丁目 付近枝線工事	□440×264 248.45	104,540,157	38. 10. 3 39. 3. 31	
	板橋区小豆沢4丁目 〃	◎60~□330×360 <sub>cm</sub> 199.62	68,086,069	38. 10. 3 39. 3. 24	
	岩淵幹線その11工事 〃	◎210 幹 627.79	161,300,375	38. 10. 3 39. 3. 31	
	〃 その13工事に伴う 地 質 調 査	孔径 85 <sub>mm</sub> 孔数 20 <sub>m</sub> 12カ所 30 <sub>m</sub> 4カ所	1,730,000	38. 10. 22 38. 12. 18	
	板橋区長後町1丁目付近枝線工 事に伴う 〃	孔径 85 <sub>mm</sub> 孔数 20 <sub>m</sub> 4カ所 30 <sub>m</sub> 3カ所	1,240,000	38. 10. 17 38. 12. 18	
	岩淵幹線その12工事に伴う 〃	孔径 85 <sub>mm</sub> 孔数 20 <sub>m</sub> 5カ所 30 <sub>m</sub> 1カ所	580,000	38. 10. 14 38. 12. 11	
	志村幹線その1工事	幹 □340×240 102.50 枝 ◎50 4.20 <sub>m</sub>	48,221,090	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その2工事	幹 □300×240 100.00 枝 ◎35~50 8.60	43,513,072	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その3工事	幹 □300×240 100.0 枝 ◎60~100 8.40	59,712,654	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その4工事	幹 □300×240 100.0 枝 ◎40~50 17.60	60,124,270	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その5工事	幹 □225×202~ 300×240 120.22 枝 ◎120 6.7	60,198,780	38. 10. 30 39. 3. 31	
	北区浮間5丁目 付近枝線工事	◎70~□240×168 165.45	67,008,750	38. 10. 30 39. 3. 31	
	岩淵幹線その12工事	◎210 幹 100.60	44,853,941	38. 12. 20 39. 3. 31	
	〃 その13工事	◎210 幹 105.50	46,004,153	38. 12. 20 39. 3. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
管 渠	北区浮間5丁目付近 枝線その2工事	◎110 <sub>cm</sub> 108.73 <sub>m</sub>	26,296,508	円 年 月 日 38. 12. 12 39. 3. 31	
	板橋区長後町1丁目 付近枝線工事	◎45~□440×264 87.30	48,663,572	39. 1. 8 39. 3. 31	
	〃 〃 〃 その2工事	□400×240 70.30	38,521,407	39. 1. 17 39. 3. 27	
	北区浮間5丁目付近 在来管復旧工事	在来管復旧 (84.5 <sub>m</sub> )	1,980,000	39. 3. 21 39. 3. 31	
	拡張工事の実施に伴う 調査及試掘	8か所	500,000	38. 4. 1 38. 9. 30	

第 2 節 改 良 工 事

総 括 表

種 別	施 行 内 容
管 渠 施 設 247,418,317円	管 渠 2,765.61 <sub>m</sub> 人 孔 250カ所 汚水枳 1,228カ所
ポ ン プ 施 設 131,280,567円	機械及び装置 三ノ橋ポンプ所 業平橋ポンプ所 町屋ポンプ所 銭瓶町ポンプ所 木場ポンプ所 汐留ポンプ所 桜橋ポンプ所 山谷ポンプ所 吾嬬ポンプ所 南千住ポンプ所 和泉ポンプ所 浜町ポンプ所
	構 造 物 洲崎仮排水所
	機械及び装置 三河島処理場 汚水ポンプ制水弁 第一汚泥ポンプ 電気設備



種 別	施 行 内 容
処 理 場 施 設      203,878,928円	芝 浦 処 理 場    電気設備 曝気槽, 曝気機 シツクナー減速設備 汚泥ポンプ サーキュレーター設備 中低段汙格設備
	砂 町 処 理 場    汚水ポンプ 塩素消毒設備 汚泥掻集機設備 サーキュレーター設備
	構 造 物    小 台 処 理 場    曝気槽覆網工事
	芝 浦 処 理 場    主ポンプ配電盤 給排水設備 防臭設備
	三 河 島 処 理 場    汚泥ポンプ し渣焼却設備 沈砂池改良 汙格機室改良

(1) 管 渠 施 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
管渠敷設	中央区湊町3丁目付近管渠改良工事	450~700mm 316.15m	10,136,536円	38.5.25 38.8.26	
	港区金杉橋~札の辻間管渠敷設替工事	250~700 557.84	17,836,461円	38.7.1 38.10.11	
	中央区日本橋茅場町3丁目14番地先管渠改良工事	250 58.60	1,583,242円	38.5.21 38.6.12	
	中央区銀座東7丁目付近管渠改良工事	600~1350 405.55	30,880,648円	38.9.16 39.2.20	
	中央区月島西仲通8丁目付近管渠改良工事	500~600 183.02	5,808,034円	38.8.26 38.11.15	
	文京区駒込千駄木町付近外1箇所管渠改良工事	250~450 128.30	5,231,667円	38.9.25 38.11.14	
	中央区明石町付近管渠改良工事	250~500 388.55	5,118,590円	38.11.1 38.12.20	
	台東区車坂町付近管渠改良工事	230~500 152.70	3,911,367円	38.11.20 38.12.24	

種 別	工 事 名	数	量	金 額	着 竣 手 工	備考
管渠敷設	千代田区永田町1丁目付近管渠改良工事	250~300mm	137.50m	1,702,285 <sup>円</sup>	38. 11. 18 38. 12. 23	
	足立区千住大川町付近管渠改良工事	350~900	437.40	19,716,290	39. 1. 17 39. 3. 31	
	外 23 件			53,772,544		
人孔 汚水樹並 びに取付 管	北部管理事務所三河島出張所管内人孔新設工事	人 孔	38カ所	3,715,816	38. 7. 26 38. 9. 21	
	〃 日本堤出張所管内人孔新設工事	人 孔	48	4,466,354	38. 8. 12 38. 10. 21	
	荒川区尾久町地内人孔改良工事	人 孔	40	2,839,603	38. 8. 15 38. 10. 14	
	中部管理事務所大手町出張所管内人孔改良工事	人 孔	52	1,739,450	38. 9. 16 38. 10. 15	
	人孔新設工事 〃	人 孔	10	1,508,079	38. 9. 10 38. 10. 15	
	北部管理事務所日本堤出張所管内汚水樹改良工事	汚 水 樹	500	2,584,533	38. 10. 9 38. 11. 25	
	中部管理事務所城山町出張所管内〃	汚 水 樹	219	3,036,218	38. 10. 21 38. 12. 16	
	台東区浅草京町1・2丁目外1カ所人孔汚水樹改良工事	人 孔 汚 水 樹	20 56	875,480	38. 11. 6 38. 12. 21	
	北部管理事務所三河島出張所管内汚水樹新設工事	汚 水 樹	300	3,973,161	38. 12. 7 39. 2. 15	
	墨田区小梅町2・3丁目付近汚水樹改良工事	汚 水 樹	83	587,200	38. 12. 13 39. 1. 20	
	東部管理事務所管内人孔新設工事	人 孔	15	5,576,577	39. 2. 26 39. 3. 31	
	中央区入船町3丁目~八丁堀1丁目間 人孔並汚水樹改良工事	人 孔 汚 水 樹	27 70	541,041	39. 3. 2 39. 3. 31	
	外 41 件			22,199,589		
その他	中部管理事務所管内防潮扉改良工事	防 潮 扉	417	1,025,000	38. 9. 16 38. 10. 21	
	新宿区早稲田鶴巻町付近早稲田幹線床板改良工事	床 板	22.00	1,140,000	38. 12. 17 39. 2. 7	
	外 3 件			293,164		
試掘費				2,463,295		
事務費				21,215,420		
合 計				247,418,317		



## (2) ポンプ所施設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備考
機 械 および 装 置	三之橋ポンプ所電気設備改良工事	特高開閉装置 配電盤手元操作盤 1式 19面	26,100,000 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 4. 26 39. 2. 29	
	業平橋ポンプ所雨水ポンプ改良工事	ポンプ、誘導電動機 蓄電気 2台 1台分	11,300,000	38. 4. 27 39. 2. 20	
	町屋ポンプ所揚泥機電気設備改良工事	集電装置 付帯工事 1式 1式	615,000	38. 6. 17 38. 7. 30	
	銭瓶ポンプ所沈砂搬出装置改良工事	フライトコンベヤー ホツパーゲート 1式 1式	785,000	38. 7. 1 38. 10. 25	
	木場ポンプ所照明換気設備改良工事	蛍光灯その他 換気扇 91基 1台	1,500,000	38. 7. 3 38. 10. 28	
	三之橋ポンプ所雨水ポンプ逆止弁改良工事	蝶形並びに逆止弁取替 駆動装置 1台分 1式	6,980,000	38. 8. 9 39. 3. 19	
	汐留ポンプ所汙格設備改良工事	汙格機 ベルトコンベヤー 6台 1台	2,864,000	38. 8. 5 38. 11. 18	
	業平橋ポンプ所変圧器改良工事	変圧器 特高断路器 7台 1組	4,100,000	38. 8. 6 39. 2. 18	
	桜橋ポンプ所排水ポンプ設置工事	排水ポンプ 電気工事 1台 1式	4,706,000	38. 8. 5 38. 11. 30	
	山谷ポンプ所汙格設備その他改良工事	汙格機 真空ポンプ 2台 1台	3,370,000	38. 9. 20 39. 1. 23	
	吾嬬ポンプ所排水施設改良その他工事	陶 管 人孔その他 274m 1式	3,259,066	38. 10. 7 38. 12. 16	
	南千住ポンプ所高架水槽改良その他工事	高架水槽 ポンプ類 1基 3台	4,800,000	38. 11. 12 39. 3. 14	
	桜橋ポンプ所照明設備その他改良工事	照明設備 付帯工事 1式 1式	435,000	38. 12. 6 39. 2. 20	
	和泉町ポンプ所し渣処理設備工事	粉碎機設備 付帯工事 1台 1式	755,000	38. 12. 16 39. 3. 26	
	浜町ポンプ所照明設備その他改良工事	照明設備 そ の 他 1式 1式	667,000	38. 12. 16 39. 3. 25	
	木場ポンプ所仮受変電設備工事	仮受変電室 移設工事 150m <sup>2</sup> 1式	10,200,000	38. 12. 24 39. 3. 31	
	業平橋ポンプ所特高ケーブル引替工事	特高ケーブル S L T A 220m S L 550m	4,500,000	39. 1. 13 39. 3. 31	
構造物	洲崎仮排水所設備工事	上屋並びにポンプ井 土木工事その他 1式 1式	40,043,150	38. 6. 10 39. 1. 31	
事務費			4,301,351		
合 計			131,280,567		

## (3) 処理場施設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 工 手 工	備考
機 域 および 装 置	三河島処理場汚水ポンプ制水弁改良工事	制水弁 電気工事	5 台 1 式	13,550,000 円	38. 6. 7 39. 2. 10
	芝浦処理場電気設備改良その他工事	配電盤 監視盤 制御操作盤	14面 4 面 12面	41,000,000	38. 5. 31 39. 3. 19
	砂町処理場直通電話線改良工事	電話ケーブル その他設備	1 式 1 式	2,170,000	38. 7. 1 39. 10. 25
	〃 汚泥ポンプ改良工事	汚泥循環ポンプ	12台	3,440,000	38. 7. 8 39. 2. 11
	芝浦処理場曝気機改良工事	減速機 揚水塔	4 台 32組	18,800,000	38. 7. 11 39. 2. 5
	〃 シツクナー減速設備改良その他工事	シツクナー	5 台	2,000,000	38. 7. 17 39. 11. 28
	〃 汚泥ポンプ改良工事	ポンプ類	11台	3,320,000	38. 10. 18 39. 3. 13
	三河島処理場第一汚泥ポンプ改良工事	汚泥ポンプ他 電気設備	3 台 1 式	3,200,000	38. 10. 25 39. 3. 31
	芝浦処理場中低段汙格設備改良その他工事	コンベヤー その他	6 基 1 式	15,650,000	38. 11. 5 39. 3. 31
	砂町処理場塩素消毒設備改良その他工事	塩素滅菌機 塩素気化器	1 台 1 台	2,495,000	39. 1. 4 39. 3. 31
	〃 汚泥掻集機設備改良その他工事	スボロケットホイール ベアリング	96コ 3,500コ	4,450,000	39. 1. 9 39. 3. 31
	芝浦処理場サーキュレーター設備改良その他工事	サーキュレーター 付帯工事	2 台 1 式	3,200,000	39. 1. 13 39. 3. 31
構造物	砂町処理場サーキュレーター設備改良その他工事	サーキュレーター 付帯工事	3 台 1 式	4,820,000	39. 1. 9 39. 3. 31
	小台処理場曝気槽沈澱池流出渠覆網工事	曝気槽覆網 第1.第2沈澱池覆網	2 槽分 7 池分	3,644,000	38. 7. 10 39. 9. 17
	芝浦処理場主ポンプ配電盤室改良その他工事	配電盤室 直員室, 蓄電池	63m <sup>2</sup> 1 式	4,050,000	38. 7. 3 39. 12. 16
	砂町処理場汚水ポンプ吐出管並びに污水管改良その他工事	可撓管 汚泥管	9 本 30.6m	6,980,000	38. 8. 23 39. 2. 22
	芝浦処理場給排水設備改良その他工事	配管工事 汚水ポンプ管弁	1 式 1 式	3,960,000	38. 8. 26 39. 1. 18
	三河島処理場汚水ポンプ吐出管改良工事	可撓管 フラツプ弁	10本 9 コ	6,200,000	38. 8. 28 39. 1. 19
	芝浦処理場防臭設備工事	再燃焼炉 上家並電気工事	1 基 1 式	4,450,000	38. 9. 12 39. 1. 14
	三河島処理場し渣焼却設備改良その他工事	し渣焼却炉 その他設備	1 基 1 式	18,850,000	38. 11. 9 39. 3. 30
	〃 沈砂池改良工事	沈砂池嵩上 砂洗槽	1 池 1 槽	8,980,000	38. 11. 6 39. 3. 30



種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
構造物	三河島処理場汙格機室改良その他工事	汙格機室 112㎡ 堰止門室外 127㎡	3,750,000	円 年 月 日 38. 12. 10 39. 3. 24	
構造物	砂町処理場場内堀その他工事	コンクリート堀 371.64m コンクリート舗装道路 5.0m×61.7m	5,100,000	39. 1. 9 39. 3. 31	
	三河島処理場篩渣焼却設備上家その他工事	上 家 235.21㎡ 付帯工事 1式	9,200,000	38. 12. 18 39. 3. 31	
設計委託	設計並監査委託	鉄骨スレート 231㎡	210,000	38. 10. 11 38. 11. 2	
事務費			10,409,928		
合 計			203,878,928		

### 第 3 節 設 備 補 修 工 事

#### 総 括 表

種 別	工 費		雑 補 修	合 計
	件 数	金 額		
管 渠 設 備 補 修	92	158,004,521 円	18,313,440 円	176,317,961 円
ポンプ所設備補修	10	15,657,000	4,271,906	19,928,906
処理場設備補修	11	23,195,000	12,644,541	35,839,541
合 計	113	196,856,521	35,229,887	233,086,408

#### (1) 管渠設備補修

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
管渠工事	千代田区神田神保町2丁目2番地先管渠補修工事	600mm 3.60m	116,633 円	年 月 日 38. 6. 19 38. 7. 3	
	墨田区既橋4丁目付近管渠補修工事	250~450 143.65	3,774,931	38. 11. 11 38. 12. 17	
	江東区深川三好町3丁目付近管渠補修工事	△225×255 71.00	3,770,000	38. 11. 1 38. 12. 18	
	千代田区神田旅籠町3丁目15番地先管渠補修工事	230 8.00	367,210	39. 2. 1 39. 2. 15	
	台東区浅草橋1・2丁目間管渠補修工事	230~380 16.00	300,000	38. 8. 23 38. 11. 17	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
管渠工事	文京区駒込蓬萊町1番地先管渠補修工事	500mm 14.55m	864,861 円	39. 3. 21 39. 3. 31	
	外 4 件		959,320		
損傷負担 工 事	中央区日本橋江戸橋1丁目付近管渠復旧工事	400~600 110.80	4,516,745	39. 1. 13 39. 3. 30	
	中央区日本橋江戸橋3丁目付近	250~600 321.90	11,055,253	39. 1. 13 39. 3. 31	
	中央区宝町1丁目付近	300 81.60	2,647,225	39. 1. 13 39. 3. 31	
	中央区銀座東1・2丁目付近	250~600 312.35	6,785,970	39. 1. 13 39. 3. 31	
	外 11 件		103,664,459		
人 孔 污水樹補修	東部管理事務所管内人孔鉄蓋取替工事	人孔鉄蓋 182枚	1,969,993	38. 7. 6 38. 9. 28	
	港区麻布筈町付近人孔嵩上工事	人 孔 11カ所	123,550	38. 8. 20 38. 9. 3	
	台東区浅草公園六区内人孔並污水樹嵩上切下工事	人孔 8カ所 污水樹20ヶ	111,232	38. 9. 13 38. 10. 16	
	墨田区堅川2・3丁目付近人孔及污水樹嵩上工事	污水樹34カ所 人孔 12ヶ	132,000	38. 9. 2 38. 9. 18	
	台東区浅草馬道2・3丁目外2箇所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 23カ所 污水樹17ヶ	131,264	38. 10. 21 38. 12. 6	
	文京区白山御殿町21~59番地先人孔切下工事	人孔 10カ所 污水樹5ヶ	117,070	38. 10. 15 38. 10. 19	
	荒川区尾久町5丁目外3箇所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 61カ所 污水樹31ヶ	161,117	38. 10. 25 38. 11. 25	
	千代田区有楽町1~2丁目丸の内1丁目付近人孔並污水樹嵩上工事	人孔 26カ所 污水樹13ヶ	208,808	38. 11. 11 38. 11. 30	
	江東区深川豊住町井住橋付近人孔嵩上工事	人孔 9カ所	160,945	38. 12. 4 38. 12. 16	
	荒川区町屋3・4丁目外2カ所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 95カ所 污水樹40ヶ	214,550	38. 12. 13 39. 2. 27	
	台東区浅草田原町2丁目付近外1カ所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 30カ所 污水樹53ヶ	118,000	39. 2. 10 39. 3. 14	
	中野区本町通1丁目1番地先人孔切下工事	人孔 4カ所	66,981	39. 3. 10 39. 3. 17	
	新宿区南元町付近外1カ所污水樹補修工事	污水樹31カ所	217,660	39. 3. 24 39. 3. 31	
	外 45 件		6,155,395		
そ の 他	千代田区神田神保町1丁目~神田小川町3丁目付近管渠防護工事	防護 340.30m	5,821,450	38. 8. 1 38. 10. 10	



種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
そ の 他	小台橋仮排水所付近吐口阻水扉補修工事	阻水扉 1 箇所	円 48,000	年 月 日 38. 9. 27 38. 10. 18	
	外 7 件		3,423,899		
雑 補 修	管 渠 補 修	249.30m	3,130,313		
	人 孔 補 修	426カ所	2,847,062		
	人 孔 蓋 補 修	661 ヶ	3,364,971		
	汚 水 樹 並 取 付 管 補 修	3,295 ヶ	7,065,715		
	そ の 他		1,905,379		
合 計			176,317,961		

## (2) ポンプ所設備補修

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 工	備 考
機械および電気設備補修	三之橋ポンプ所蓄電池補修工事	蓄電池 1 組 付帯工事 1 式	円 2,148,000	年 月 日 38. 5. 2 38. 8. 2	
	吾嬬ポンプ所汙格機補修工事	鎖 車 4 両分 鎖車軸 4 本	960,000	38. 6. 5 38. 8. 30	
	月島ポンプ所汚水ポンプ補修工事	汚水ポンプ 1 台 その他ポンプ 2 台	1,840,000	38. 6. 12 39. 2. 20	
	三之橋ポンプ所汚水ポンプ補修工事	渦巻ポンプ 1 台	1,820,000	38. 6. 13 39. 2. 29	
	銭瓶町ポンプ所汚水ポンプ補修工事	渦巻ポンプ 2 台	2,400,000	38. 11. 5 39. 3. 31	
	木場ポンプ所汙格機補修工事	軸取替 12本 レーキ取替 20本 チエン取替 80m	1,470,000	38. 11. 7 39. 3. 5	
	銭瓶町ポンプ所蓄電池補修工事	蓄電池 56槽 付帯工事 1 式	869,000	39. 1. 6 39. 2. 27	
建物および構築物補修	橋場ポンプ所上家補修その他工事	スチールサツシュ他 1 式 門 扉 2 扉	2,860,000	38. 8. 30 38. 11. 8	
	木場ポンプ所高圧変圧器室床面防護工事	防護面積 70.98㎡	510,000	38. 12. 10 39. 1. 9	
	小松川ポンプ所雨水ポンプ吐出管補修工事	雨水ポンプ吐出管 2 カ所	780,000	39. 2. 25 39. 3. 31	
雑 補 修	作業用営造物補修	250件	1,340,926		
	諸機械補修	540件	2,322,030		

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 竣 手 工	備 考
雑 補 修	構築物補修	33件	267,154 <sup>円</sup>		
	その他		341,796		
合 計			19,928,906		

## (3) 処理場設備補修

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 竣 手 工	備 考
機械および電気設備補修	芝浦処理場ボイラー補修工事	三胴水管式温水ボイラー 3基	1,585,000 <sup>円</sup>	38. 6. 20 38. 9. 20	
	三河島処理場攪拌機補修工事	攪拌車 31組 その他 1式	3,510,000	38. 7. 25 39. 1. 24	
	〃 汚水ポンプ電動機補修工事	汚水ポンプ高圧 3相誘導電動機 4台	4,200,000	38. 7. 29 39. 3. 27	
	砂町処理場ボイラー補修工事	三胴水管式温水ボイラー 1基	990,000	38. 7. 27 38. 11. 9	
	〃 汚泥脱水設備補修その他工事	真空ポンプ 2台 その他機械 3台	2,820,000	38. 9. 9 39. 1. 10	
	芝浦処理場汚水ポンプ電動機補修工事	固定子巻線巻替 2台 その他 1式	1,940,000	38. 10. 9 39. 2. 13	
	〃 汚水ポンプ補修工事	羽根車取替 1台 その他 1式	4,250,000	38. 11. 5 39. 3. 30	
	砂町処理場汚泥ポンプ補修工事	ポンプ 7台 その他 1式	1,160,000	38. 12. 10 39. 3. 31	
	三河島処理場採泥機補修工事	歯車付車輪用タイヤ 4台分 その他 1式	340,000	39. 2. 5 39. 3. 26	
構築物補修	砂町処理場機械類その他塗装工事	第1沈澱池掻集機 1式 他、	950,000	39. 2. 6 39. 3. 27	
	芝浦処理場ガスホルダーその他塗装工事	ガスホルダー 1基 その他 1式	1,450,000	38. 10. 17 38. 12. 10	
雑 補 修	作業用営造物補修	769件	1,816,624		
	諸機械補修	1,569件	7,789,324		
	構築物補修	239件	2,317,489		
	その他		721,104		
合 計			35,839,541		



第 4 節 そ の 他 工 事

総 括 表

種 別	区 分	工 事 内 容	金 額	備 考
管 渠 改 造 工 事	新 設	86.30m	1,504,020 <sup>円</sup>	
	移 設	71.10m	2,287,997	
	柵	3,190個	76,932,518	
消 化 槽 工 事	10 件		93,955,000	砂町処理場し尿消化槽補修工事 (清掃局より委託のもの)
公共下水道台帳整備	4 件	写真原図 115枚 台 帳 図 28ヶ そ の 他	1,955,000	

管 渠 改 造 工 事

種 別	区 分	数量又は件数	金 額	備 考
管渠改造工事	新 設	86.30 <sup>m</sup>	1,504,020 <sup>円</sup>	
	移 設	71.10	2,287,997	
その他受託工事	柵 工 事	3,190個	76,932,518	
合 計			80,724,535	

消 化 槽 設 備 補 修

工 事 名	事 業 内 容	金 額	着 手 工
砂町処理場し尿消化槽ボイラー補修工事	三胴水管式温水ボイラー 6基	3,330,000 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 7. 1 38. 12. 13
〃 変配電室並に変配電設備改良その他 工事	消化槽配電盤工事 1式 脱硫室配電盤工事 1式	14,750,000	38. 6. 28 39. 3. 19
〃 ガスタンク補修並に塗装工事	有水式車槽ガスタンク 2基 〃 複槽 〃 2基	5,510,000	38. 8. 6 39. 2. 28
〃 し渣脱水設備改良その他工事	し渣脱水器 2台 ホツパー設備 1式	26,900,000	38. 10. 31 39. 3. 30
〃 し尿ポンプその他補修工事	し尿ポンプ取替 2台 し尿ポンプ補修 1台	6,700,000	38. 10. 31 39. 3. 30
〃 スカンプレーカー攪拌機その他改良工事	電動機直結横軸型ブレードレス ポンプ 4台 その他	20,300,000	38. 12. 7 39. 3. 31

工 事 名	事 業 内 容	金 額	着 竣 手 工
砂町処理場し渣ホツパー上家その他工事	し渣ホツパー上家 44.72㎡	3,870,000 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 12. 7 39. 3. 31
〃 軀体補修工事	軀体補修 2 槽	2,450,000	39. 1. 18 39. 3. 31
〃 管弁類その他補修工事	抽出管取替 投入管 〃 35m 35m	7,450,000	39. 1. 18 39. 3. 31
〃 送泥管その他改良工事	送泥管 水道管 170m 150m	2,695,000	39. 2. 1 39. 3. 31
計		93,955,000	

## 公共下水道台帳整備

件 名	事 業 内 容	金 額	着 竣 手 工
公共下水道台帳系統図調整委託	延 長 写真原図作成 155,000m 54枚	200,000 <sup>円</sup>	年 月 日 38. 6. 29 38. 8. 2
〃 台帳図調整委託その1	延 長 台帳図作成 17,635m 写真原図 〃 18枚 32 〃	700,000	38. 8. 1 38. 10. 10
〃 〃 〃 その2	延 長 台帳図作成 21,780m 写真原図 〃 10枚 29 〃	720,000	38. 8. 3 38. 10. 12
〃 台帳調書作成	都区部の一部 195,000m	335,000	38. 12. 19 39. 3. 31
計		1,955,000	



# 昭和38年度局主要日誌

月 日	記 事	月 日	記 事
4月1日	機構の一部改正, 業務課, 建設事務所設計課 千住ポンプ所等の設置	10月18日	第4回下水道促進関東々北ブロック会議開催
5月1日	隅田, 千住ポンプ所運転開始	10月25日	三多摩地区環境整備連絡協議会設置
4月8日 5日15日	昭和38年度監査実施	10月25日	隅田ポンプ所落成式
5月17日	隅田川浄化対策に伴う下水道事業実施調査委員 会設置	11月14・ 15日	第26回6大都市下水道会議開催
5月25日	「石神井川下幹線その9工事」(シールド工 法)に全建賞授与	11月29日	千住ポンプ所落成式
5月 27・28日 6月 ~7月	下水道建設実務講習会開催 中学生の施設見学会実施 (砂町処理場~3,000人)	12月5日	常盤橋地区再開発事業および銭瓶町ポンプ所 起工式
6月20日 7月15日	昭和37年度決算審査始まる	12月5日	第7回全国下水道促進大会開催
6月25日	映画「東京の下水道」完成	39年1月 20~24日	38年度上半期出納監査, 随時監査終る
7月10日	小汀利得, 小川栄一両建設大臣特命査察委員 下水道整備状況視察	2月20日	38年度文化祭開催
7月20日	38年度起債許可額決まる(91.5億円)	2月25日	区部全域の都市計画下水道決定
7月27日	除害施設調査会設置	3月1日	落合処理場一部運転開始
7月~8月	巡回映画会始まる	3月3日	38年度東京都下水道事業会計更正予算可決
8月7日	39年度首都圏整備下水道計画決まる(263億円)	3月23日	39年度東京都下水道事業予算案可決
8月8日	排水設備研究会の設置	3月31日	千駄ヶ谷幹線開通
8月13日	厚生大臣小台処理場を視察		
8月17日 9月20日	38年度第1回業務監察実施		
8月20日	下水道局文化会設立		
8月21日	38年度事業概要刊行		
8月21日	第3回下水道促進全国婦人大会開催		
8月27日	交付公債(6億5千万円)発行きまる		
9月9日 ~13日	主婦の下水道施設見学会実施		
9月9日	第3回下水道促進デー実施		
9月12日	水洗便所助成規則改正(4月1日より適用)		
10月2日	38年度下水道事業会計追加予算決まる		
10月2日	常盤橋再開発計画に伴う関連5議案議決さる		
10月16日	料金制度調査会第2次答申される(料金体系)		
10月20日	排水設備技術者試験の実施		